

-平成21年度-

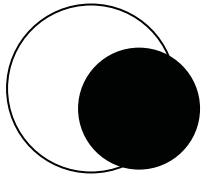
# 館報

# 2009

vol. 18







## はじめに

人と自然の博物館の新展開の、第2期中期目標は2009年に中間の3年目を消化しました。すでに定着した日常的な活動によって、シンクタンク機能を発揮し、生涯学習を支援する成果は、日本の博物館活動に転機をもたらす力にもなっていると自負しています。

事業部の制度をつくって、限られた数の館員相互が情報の交流を密にし、それぞれの持ち分を活かしながら全体としての活動を効率的に推進する方式に従い、相応の成果をあげているところですが、さらに主要な課題に関しては特別のタスクフォースを組織し、重点的に取り組みました。

恐竜・化石タスクフォースは、篠山層群を広く見渡しながらか活動を展開しています。発掘は、ますます腕も目もたしかになってくるボランティアの参加者も加わって、丹波市山南町で重点的に進めており、第4次発掘が滞りなく進められました。クリーニングにかかわる人たちの技能もますます錬磨され、日常的なクリーニング作業が、やがて大きな発見を促す基盤も整えつつあります。得られた資料に基づく研究は、部分的な成果を、分かったものから速報的に学会発表を重ねています。

生物多様性ひょうご戦略の策定にシンクタンク機能を発揮してきた延長線上で、生物多様性タスクフォースの活動も展開されました。地域の生物多様性戦略をつくる活動を支援しましたし、生物多様性関連の諸組織の情報交流を図る活動も展開しました。ひょうご戦略に基づいて推進されたレッドリストの改訂作業などに多くの館員が参加しました。これに関連して、足かけ11年かけた「兵庫県産維管束植物目録」完結の運びにいたったことにも言及する必要があります。レッドリストなど、社会貢献を期待する情報発信のためには、基盤となる生物多様性情報の構築が不可欠ですが、ひとはくの堅実な活動が時間をかけて着実に進められていることを示す典型的な例に挙げられるからです。

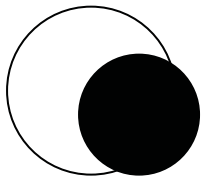
「ひとはく手帖」はひとはくの活動を広く知っていただき、参加を促す大切な媒体です。経費の関係で、一時は発行が危ぶまれていたこのパンフレットを、今ではさまざまな企業、団体などからの補助をいただいて刊行しております。ひとはくが社会貢献が、経済的な援助をいただけるものになっているかどうか、マーケティングタスクフォースで、外向けの募金活動だけでなく、自分たちの活動自体の評価も深めるはずで、09年夏には、有力週刊誌で、夏休みの最後に行ってみたい博物館として、ひとはくが取り上げられていたことは、外部からの評価の1例ともいえます。

博物館と学校との、いわゆる博学協働は喫緊の課題ですが、ひとはくの夏季教職員セミナーはカリキュラムにも磨きがかかり、協働の実をあげるように育っています。ボルネオジャングル体験スクールも09年には第11回が実施され、県外からの参加者も定着するようになりました。研修生の受け入れ、学校との協働プログラムなど、多彩な展開が博物館活動の意義を高めています。

地域における活動の推進はひとはくの得意分野ですが、09年にも加東市との協力協定の締結をはじめ、新旧のプロジェクトを展開しました。佐用町の昆虫館との協働は、不幸な水害によって大きな挫折も味わいましたが、逆に全国の仲間たちに呼びかけた募金によって、昆虫館の再建も可能になりました。

一部だけを紹介しましたが、09年におけるひとはくの諸活動の詳細は、この館報で見て評価いただければと思います。きびしくて建設的なご意見を寄せていただくようお願いいたします。ひとはくでは、09年の自分たちの活動を振り返り、すでに始まっている2010年度以降の活動がより堅実なものに育つよう09年の経験を活かしていきたいと思っております。

2010年9月 兵庫県立人と自然の博物館 館長 岩槻 邦男



# 目次

## ■組織及び施設概要

・ 沿革	4
・ 機能	5
・ 常設展示の概要	6
・ 施設の概要	8
・ 組織と職員	11
・ 各研究部の概要	14

## ■平成 21 年度事業報告

・ ひとくはくトピックス	16
・ タスクフォース活動報告	25
・ 平成 21 年度事業報告	29

## ■資料および個人別成果

### ○博物館概要等に関連する資料

・ 主な収蔵資料	38
・ 情報システム	39
・ 条例等	41
・ 博物館協議会委員名簿	48

### ○個人別成果報告に関する資料

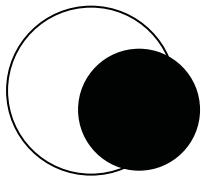
・ 館長	49
・ 自然・環境評価研究部	51
・ 自然・環境マネジメント研究部	92
・ 自然・環境再生研究部	132
・ 個人成果報告一覧	150

### ○博物館事業報告に関連する資料

・ セミナー一覧	154
・ 企画展等一覧	163
・ 生徒・学生等の受け入れ状況	165
・ 学校教育支援プログラム	166
・ 平成 20～21 年度 2 年間学校団体連続入館状況	167
・ 来館一般団体一覧	169
・ 来館学校団体一覧	173
・ 共催および協力事業等	176
・ ひとくはくフェスティバル' 09 参画団体	181
・ フロアサービス実績一覧	182
・ 外部資金導入状況	185

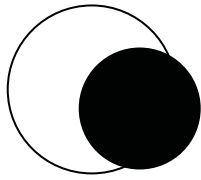
利用案内	187
------	-----

# 組織及び施設概要



## 沿革

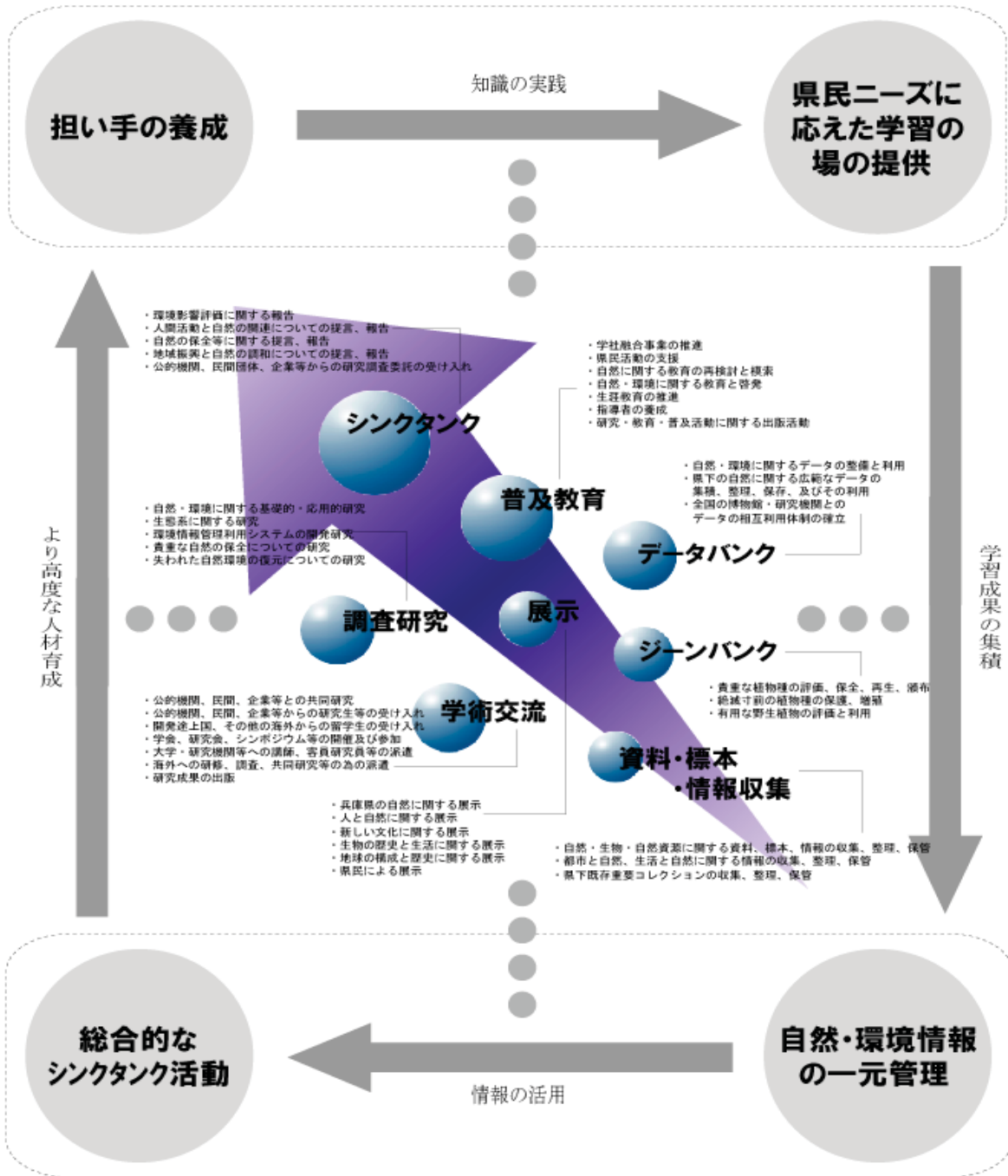
昭和44年2月26日	「県立自然科学博物館設置について」県議会に請願が行われた。
昭和44年6月5日	県議会において請願が採択された。
昭和48年6月	兵庫県自然保護協会から環境保全・自然保護活動の分野の博物館設置について要望書が提出された。
昭和51年5月	IFHP兵庫国際会議が開催され、人間居住環境研究センターを設置する必要性が認められた。
昭和59年4月	自然系博物館建設調査費が予算計上された。
昭和61年12月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想(報告)が策定された。
昭和63年8月	自然系博物館は三田市のホロンピア館を活用して建設することが決定した。
平成元年4月1日	兵庫県教育委員会社会教育・文化財課に自然系博物館(仮称)設立準備室が設立された。
平成3年12月	研究・収蔵棟が完成した。
平成4年3月25日	本館(ホロンピア館)の様態替え工事が完了した。
平成4年4月1日	兵庫県立人と自然の博物館の設置および管理に関する条例および同規則が施行され、同時に人と自然の博物館内に姫路工業大学自然・環境科学研究所が設立された。
平成4年6月25日	ジーンファームが完成した。
平成4年9月20日	エントランスホールが完成した。
平成4年9月30日	コートヤードゾーン、屋内展示工事、情報センター設備が完成した。
平成4年10月9日	兵庫県立人と自然の博物館開館および姫路工業大学自然・環境科学研究所開所の記念式典が挙行された。
平成4年10月10日	開館。
平成9年6月14日	マレーシア国立サバ大学と国際学術交流協定を締結した。
平成9年11月4日	文部省の科学研究費補助金取扱規定による研究機関に指定された。
平成10年3月12日	日本育英会施行令による日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所に指定された。
平成11年11月13日	NPO法人「人と自然の会」(博物館ボランティア)と協力協定を締結した。
平成13年4月	兵庫県教育委員会行政組織規則の改正に伴い、博物館の組織が大きく改編され規則の改定を行い、博物館事業の新展開を公表した。
平成14年4月	博物館事業の新展開を着実に推進するために、平成18年度までに実現させる数値目標と考え方を示した中期目標を公表した。
平成14年10月	博物館が開館10周年を迎え、10周年記念式典を執り行った。
平成16年4月	県立大学の統合に伴い、博物館に設立する研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称した。
平成18年6月	猪名川町と協力協定を締結した。
平成18年9月	丹波地域で恐竜化石が発見され、発掘を開始した。
平成19年3月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本構想が策定された。
平成20年3月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本計画が策定された。
平成20年4月	「ひとく恐竜ラボ」がオープンした。
平成20年7月	加東市と協力協定を締結した。
平成20年8月	佐用町昆虫館と連携協定を締結した。



# 機能

## 生涯学習の支援

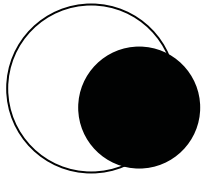
- ・展示法の創意工夫と資料の充実
- ・生涯学習実践フィールドの充実
- ・生涯学習の担い手の養成
- ・広報の充実



## 自然・環境に関するシンクタンク機能

- ・総合的なシンクタンク機能の充実
- ・自然・環境情報の一元管理と絶滅危惧植物の保護増殖

# 博物館の基本8機能と重点事業の展開方針



## 常設展示の概要

### ■テーマ1 兵庫の自然誌

南北とも海に接し、気候の変化が大きい兵庫県の特徴ある自然を大型パネル・映像・ジオラマなどで紹介します。「森に生きる」では兵庫県で見られる野生動物をはく製で紹介しています。



### ■テーマ2 人と自然

先人達がいかに自然とうまくつきあってきたか、現在その関係が急速に変化していることを、標本・映像などで紹介します。都市から熱帯夜をなくすゲームにも挑戦してみましょう。



### ■テーマ3 新しい文化

“モノ”と“ゴミ”が、豊かな暮らしのあり方や環境問題を問いかけます。動植物のすみかでもある自然と人とのつきあい方を考えた新しいまちづくりと生活スタイルを提案します。



### ■テーマ4 生物の世界

地球上の生物は、環境の変化に対応しながら多様な種を進化させてきました。ここでは、生物が複雑な関係の中で生活していること、生物の種の変異や進化、日本列島の生物相がどのようにできあがったのかを紹介します。



### ■テーマ5 地球・生命と大地

約 35 億年前の生命の誕生から人類誕生までの生物の歴史を多くの化石標本でたどります。また、森林の多様性、地球のプレート運動、日本列島の生い立ちを紹介します。







### ■ひとはくサロン

自由に閲覧できる「図書コーナー」や、自然環境についての最新の情報が集められている「情報コーナー」のほか、「さわれる標本コーナー」「休憩コーナー」などがあります。



### ■丹波の恐竜化石

2006年8月に丹波市山南町で発見された大型草食恐竜化石の肋骨、尾椎、血道弓などを展示しています。



### ■ひとはく恐竜ラボ

恐竜化石のクリーニング作業及び展示等を行う施設として「ひとはく恐竜ラボ」が2008年4月にオープンしました。研究員などによる作業風景を間近に見ることができます。



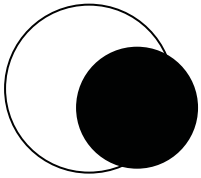
### ■ナチュラリストの幻郷

博物館に寄せられた多数のコレクションについて、標本を見てその意味を知り、ナチュラリスト達がどのような思いで何を夢見てコレクションを収集してきたかを感じ取ってください。



### ■共生の森

ラフレシアやオランウータンなど赤道直下のボルネオ島の貴重な標本類を展示しています。熱帯雨林を体感しながら「共生の森」について学ぶことができます。



## 施設の概要

### (1) 規模

- ・敷地(設置許可・使用承認面積): 37,036.54 m<sup>2</sup>、延床面積: 18,691 m<sup>2</sup>

### (2) 建物構造

- ・本館(鉄骨4階建) 建面積: 4,221 m<sup>2</sup>、延床面積: 12,222 m<sup>2</sup>
- ・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型) 建面積: 360 m<sup>2</sup>、延床面積: 360 m<sup>2</sup>
- ・研究、収蔵棟(鉄筋コンクリート3階建) 建面積 2,327 m<sup>2</sup>、延床面積: 5,988 m<sup>2</sup>
- ・ジーンファーム管理棟(軽量鉄骨平屋) 建面積 121 m<sup>2</sup>、延床面積: 121 m<sup>2</sup>
- ・ひとはく恐竜ラボ(鉄骨平屋) 建面積 260 m<sup>2</sup>、延床面積: 260 m<sup>2</sup>

### (3) 施設の概要

- ・本館(鉄骨4階建)

建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。展示関係のスペースをはじめとして、電子計算機室や各研究部・総務課・生涯学習課・情報管理課・各事業室を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。

- ・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型)

博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。

- ・研究、収蔵棟(鉄筋コンクリート3階建)

研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。屋上には植栽を実施。

- ・ジーンファーム

ジーンバンク事業を実践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。

- ・ひとはく恐竜ラボ

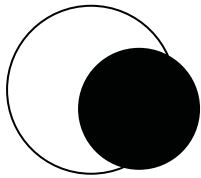
恐竜等の化石クリーニングを進めるための施設。クリーニング室、資料室、倉庫のほか、作業を公開し、発掘調査の成果を展示するホールを設置。

### (4) 施設状況

- ・展示関係: 4,124 m<sup>2</sup>
- ・管理関係: 349 m<sup>2</sup>
- ・収蔵関係: 2,966 m<sup>2</sup>
- ・研究関係: 2,105 m<sup>2</sup>
- ・教育普及関係: 1,324 m<sup>2</sup>
- ・エントランス: 360 m<sup>2</sup>
- ・機械、その他: 7,723 m<sup>2</sup>

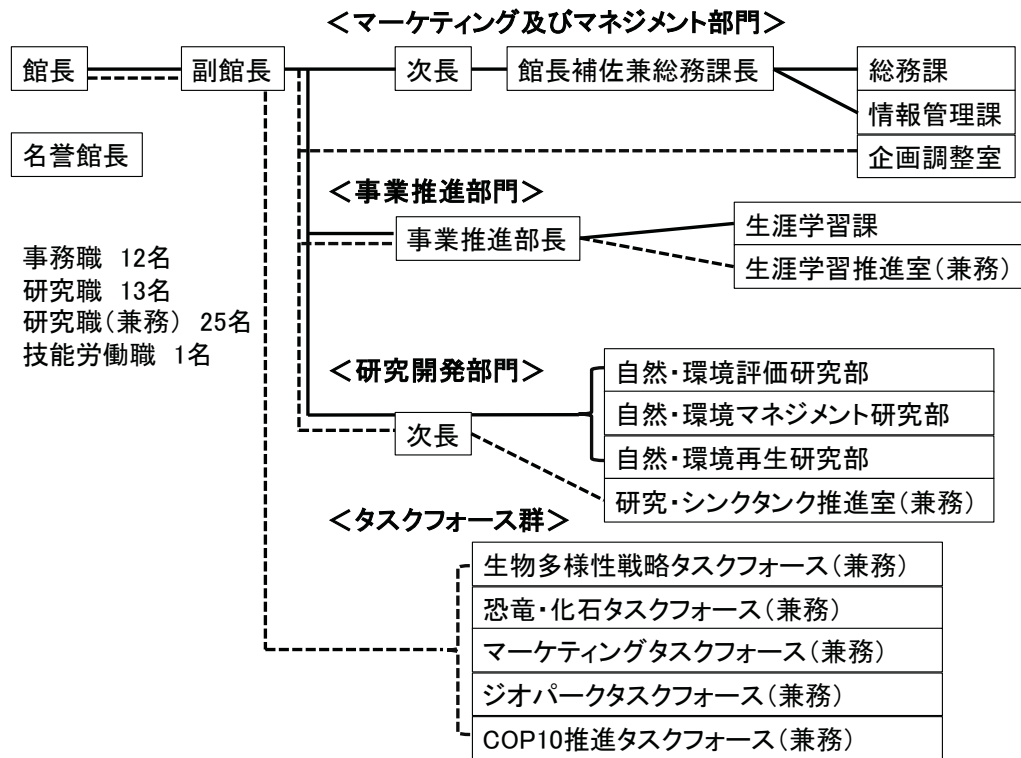






# 組織と職員

## (1) 組織図



※ 実線は組織規制上の職制で、点線は館長辞令による博物館独自の職制。

## (2) 職員数

平成22年4月1日現在

区分	事務職	研究職	技能労働職	非常勤嘱託員	合計
総務課	6		1	2 (館長・名誉館長)	9
情報管理課	2				2
生涯学習課	4				4
自然・環境評価研究部		7 (兼務 10)		1	8 (兼務 10)
自然・環境マネジメント研究部		4 (兼務 10)			4 (兼務 10)
自然・環境再生研究部		2 (兼務 5)			2 (兼務 5)
合計	12	13 (兼務 25)	1	3	29 (兼務 25)

※ (兼務)は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所との兼務職

### (3) 職員配置

名誉館長	河合 雅雄
館長	岩槻 邦男
副館長	中瀬 勲
次長(事務系)	森 正明
次長(研究系)	田原 直樹
館長補佐	岩崎 晃一
事業推進部長	(副館長兼務)
総合調整担当	服部 保
総合調整担当	小林 文夫
総合調整担当	江崎 保男

#### 【マーケティング及びマネジメント部門】

総務課	
課長	(館長補佐兼務)
主査	谷山 健一
主査	梶本 悦子
事務職員	花輪 美鶴
事務職員	津田 奈保子
技師	塚本 健司
情報管理課	
課長	山下 正人
主任指導主事	八尾 滋樹
企画調整室(研究員兼務)	
室長(研究員)	小舘 誓治
副室長(主任研究員)	八木 剛
研究員	赤澤 宏樹
研究員	北村 俊平
研究員	黒田 有寿茂
館長特任(研究員兼務)	
研究部長(自然・環境マネジメント研究部)	江崎 保男
研究部長(自然・環境再生研究部)	服部 保
研究部長(自然・環境評価研究部)	高橋 晃
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	先山 徹
研究員	鈴木 武

#### 【事業推進部門】

生涯学習課	
課長	平松 紳一
主任指導主事	西岡 敬三
主査	小林 美樹
教育事務推進専門員	矢野 啓司
生涯学習推進室	
室長(研究部長)	高橋 晃
副室長(主任研究員)	大谷 剛
副室長(研究員)	鈴木 武
演示フロアサービス担当(研究員兼務)	
マネージャー(研究員)	石田 弘明
スクールパートナー担当(研究員兼務)	
マネージャー(主任研究員)	大谷 剛
主任指導主事	西岡 敬三
主任指導主事	八尾 滋樹
特命研究員	長谷川 太一
広報・出版支援担当(研究員兼務)	

マネージャー(主任研究員)	布施 静香
	沢田 佳久
	上田 萌子
<u>フェスティバル担当(研究員兼務)</u>	
マネージャー(主任研究員)	半田 久美子
<u>連携担当(研究員兼務)</u>	
マネージャー(研究員)	橋本 佳延
<u>アウトリーチ拠点づくり担当(研究員兼務)</u>	
マネージャー(研究員)	鈴木 武
	松原 尚志
	武田 重昭
	三橋 弘宗
	山崎 義人
	石田 弘明
	遠藤 菜緒子
	黒田 有寿茂
	半田 久美子
	北村 俊平
	赤澤 宏樹
	池田 忠広
	加藤 茂弘
	上田 萌子

#### 【研究開発部門】

自然・環境評価研究部	
研究部長	高橋 晃
研究部長代理(主任研究員)	佐藤 裕司
(地域環境地質研究グループ)	
研究部長代理(主任研究員)	佐藤 裕司
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	先山 徹
主任研究員	加藤 茂弘
(埋蔵自然遺産研究グループ)	
主任研究員	古谷 裕
主任研究員	半田 久美子
主任研究員	松原 尚志
主任研究員	三枝 春生
研究員	池田 忠広
(森林多様性研究グループ)	
研究部長	高橋 晃
主任研究員	秋山 弘之
主任研究員	高野 温子
研究員	山本 伸子
主任研究員	布施 静香
(昆虫共生系研究グループ)	
主任研究員	太田 英利
主任研究員	橋本 佳明
主任研究員	八木 剛
研究員	沢田 佳久
自然・環境マネジメント研究部	
研究部長	江崎 保男
研究部長代理(主任研究員)	田原 直樹
(流域生態研究グループ)	
研究部長	江崎 保男

主任研究員 田中 哲夫  
 主任研究員 三橋 弘宗  
 (動物共生研究グループ)  
 主任研究員 大谷 剛  
 主任研究員 三谷 雅純  
 研究員 北村 俊平  
 研究員 遠藤 菜緒子  
 (コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ)  
 副館長 中瀬 勲  
 研究員 藤本 真里  
 研究員 赤澤 宏樹  
 研究員 武田 重昭  
 (コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ)  
 研究部長代理(主任研究員) 田原 直樹  
 研究員 山崎 義人  
 研究員 上田 萌子

自然・環境再生研究部  
 研究部長 服部 保  
 (植生創出研究グループ)  
 研究部長 服部 保  
 研究員 小舘 誓治  
 研究員 石田 弘明  
 研究員 橋本 佳延  
 (生物多様性保全研究グループ)  
 主任研究員 藤井 俊夫  
 研究員 鈴木 武  
 研究員 黒田 有寿茂

研究・シンクタンク推進室(研究員兼務)  
 室長(主任研究員) 田中 哲夫  
 副室長(主任研究員) 太田 英利  
 副室長(主任研究員) 三橋 弘宗  
研究促進・総合共同研究推進担当(研究員兼務)  
 マネージャー(研究員) 武田 重昭  
 主任研究員 加藤 茂弘  
 主任研究員 橋本 佳明  
 研究員 石田 弘明  
 研究員 遠藤 菜緒子  
研究環境整備・研究紀要担当(研究員兼務)  
 マネージャー(主任研究員) 秋山 弘之  
 主任研究員 小林 文夫  
 研究員 北村 俊平  
 主任研究員 藤井 俊夫  
 研究員 山崎 義人

資料データベース整備活用担当(研究員兼務)

マネージャー(主任研究員) 高野 温子  
 主任研究員 大谷 剛  
 主任研究員 松原 尚志  
 研究員 上田 萌子  
 研究員 橋本 佳延  
ジーンバンク活用担当(研究員兼務)  
 マネージャー(研究部長) 服部 保  
グローバルプログラム担当(研究員兼務)  
 マネージャー(主任研究員) 橋本 佳明  
研究企画開発担当(研究員兼務)  
 マネージャー(研究員) 武田 重昭

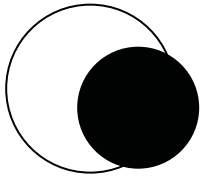
**【タスクフォース群】**

生物多様性戦略タスクフォース  
 リーダー(研究部長) 服部 保  
 サブリーダー(研究員) 橋本 佳延  
恐竜・化石タスクフォース  
 リーダー(主任研究員) 佐藤 裕司  
 サブリーダー(主任研究員) 古谷 裕  
 サブリーダー(主任研究員) 三枝 春生  
 サブリーダー(研究員) 山崎 義人  
 小林 文夫  
 先山 徹  
 加藤 茂弘  
 松原 尚志  
 半田 久美子  
 池田 忠広  
 太田 英利  
 石田 弘明  
 藤本 真里  
 平松 紳一  
 八尾 滋樹  
 谷山 健一

マーケティングタスクフォース  
 リーダー(主任研究員) 小林 文夫  
 サブリーダー(主任研究員) 秋山 弘之  
ジオパークタスクフォース  
 リーダー(主任研究員) 先山 徹  
 サブリーダー(研究員) 藤本 真里  
 研究部長代理(主任研究員) 田原 直樹  
COP10 推進タスクフォース  
 リーダー(研究員) 鈴木 武  
 サブリーダー(主任研究員) 八木 剛  
 主任研究員 三橋 弘宗  
 研究員 石田 弘明  
 研究員 橋本 佳延

(平成22年4月1日現在)

なお下線は館長辞令による人と自然の博物館独自の職制



## 各研究部の概要

### ■自然・環境評価研究部

自然環境保全の基盤となる地形学や地質学、過去と現在の生物を対象とした分類学や形態学、生物地理学等の分野の調査研究と資料収集活動に取り組んでいます。

本研究部では、これらの成果に基づき、過去から現在、そして兵庫県から地球レベルにいたる自然環境の変遷や生物相の由来、生物多様性を創出し維持している共生関係の解明を進め、自然環境保全のための有効な提案を行っていきます。

### ■自然・環境マネジメント研究部

人間の生活は、農山村はもちろんのこと、都市においても自然と深く結びついて成立しています。人間による自然へのインパクトが強力になっている現在、自然と環境のマネジメントが不可欠になっているのは、このことによります。

本研究部では、人間と野生動物の共存、自然と調和した地域づくり、都市の再生などに関する資料収集・調査・研究を行い、未来の人と自然のあり方を探求します。

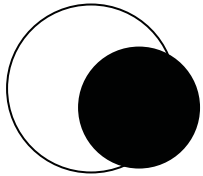
### ■自然・環境再生研究部

植生・植物に関する保全生態学や保全生物学の研究を行っています。現在、さまざまな要因によって自然が破壊され、里山や二次草原などの植生やフジバカマ、ヘイケイヌワラビ、カザグルマなどの植物が危機的な状況に陥っています。

本研究部では、そのような状況にある植生や植物の保全・復元・創出活動を積極的に進めています。このような活動を通じて、県下の植生・植物の生態情報の収集や貴重種のジーンファーム（ジーンバンク機能を果たす圃場）における保管などの事業も展開しています。



# 平成 21 年度事業報告



# ひとはくトピックス

## 1 加東市と協力協定を締結

ひとはくは加東市の推進する「まちまるごとミュージアム事業」に協力するため、加東市との間で協定を締結しました。その調印式が 2009 年 7 月 13 日に行われ、中瀬勲副館長と山本廣一市長の出席のもと協定書が交わされました。「まちまるごとミュージアム事業」とは、加東市の 3 町(滝野町、社町、東条町)合併 3 周年記念事業の一環として 3 年間の継続事業として実施されるもので、この事業をひとはくは加東市と連携し、その推進を支援することとなりました。

2009 年度は「昆虫」を主テーマに連携事業を実施しました。夏休み期間中の 8 月 1 日～8 月 9 日にはモルフォチョウを中心に展示会を開催しました。展示会に訪れた人たちは美しい蝶に感激、評判は上々でした。また、この展示会のイベントとして「子ども大昆虫調査隊」(7 月 29 日)が播磨中央公園で催されました。このイベントに参加した子どもたちの絵画作品も同時に展示されました。冬期には、加東市の小学校教員による環境学習プロジェクトに協力し、加東市の小学生・中学生による環境学習の成果作品を展示しました。冬の展示会(12 月 20 日～27 日開催)では、子どもたちの作品の中から優れた作品を選出し、第一回加東市ノーベル大賞が授与されました。ひとはく研究員が授賞作品の選定委員を務めました。12 月 20 日の大賞授与式には、環境学習に熱心に取り組んだ児童とその保護者が多数出席されました。



協力協定調印式の様子



夏の展示のオープニングセレモニー



子どもたちが描いた昆虫の絵の展示



冬の展示の様子

## 2 今年のひとはくは「恐竜大作戦！」

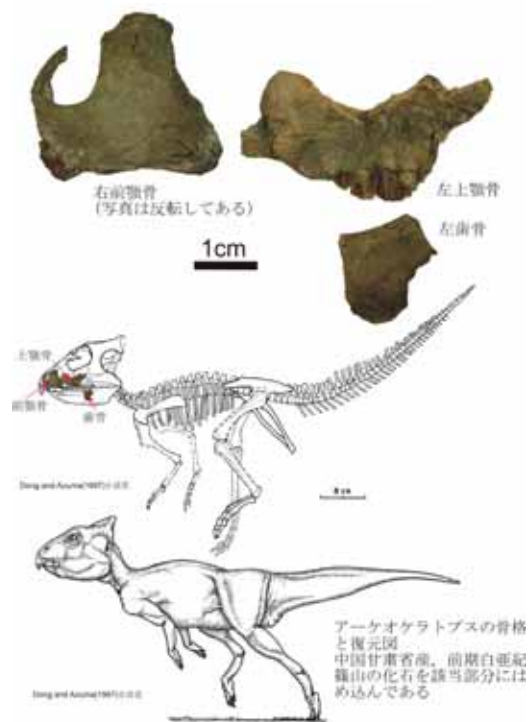
2009 年度は「ひとはく恐竜大作戦」と銘打ち、恐竜をテーマに演示等の多数のイベントを開催しました。大作戦の特別企画として、上半期には「丹波の恐竜を知ろうー3 年間の発掘報告ー」(2009 年 4 月 25 日～5 月 31 日)、下半期には「竜と獣の道～太古の兵庫を歩いた生き物たち～」(2009 年 10 月 24 日～2010 年 1 月 27 日)を催し、各種イベントはこの特別企画期間中に研究員、生涯学習課指導主事やフロアスタッフによって実施されました。上半期は新型インフルエンザの影響もありやや盛り上がりには欠けましたが、下半期は期間中に篠山市での「角竜類化石の発見」(11 月 26 日記者発表)や、三田市在住の小学生による「カエル化石の発見」(12 月 1 日記者発表)がマスコミに大きく取りあげられたこともあり、イベントはいずれも大にぎわいでした。

恒例のひとはくフェスティバルも今年のテーマは「恐竜」でした。恐竜疾走！コンテスト、恐竜〇×クイズ、君も発掘隊員！！丹波の恐竜化石を探し出そう、超かんたん！化石レプリカづくり、恐竜骨パズルなど、楽しいイベントが盛りだくさんでした。

調査では、今年度は第 4 次発掘調査が行われました。今回の発掘調査では、恐竜もしくはカメのものと見られる卵殻の化石や、丹波竜の胴椎の一部と思われる化石が発見されるなどの成果がありました。次回の発掘にも期待がかかります。



篠山市の角竜類化石  
(11 月 26 日記者発表資料)



### 3 佐用町昆虫館との連携協定締結と平成 21 年台風 9 号災害への支援

兵庫県立人と自然の博物館と佐用町昆虫館は、生物多様性の保全、環境学習・生涯学習の推進、地域づくりに寄与するため、2009年8月に連携に関する協定を締結し、いわば「姉妹館」として、互いの交流・連携を広く進めることとしました。佐用町昆虫館は、豊かな自然環境の中にあり、生きた昆虫を観察できる体験型施設であり、連携によって、ひとはくに乏しい機能を補強することが期待されます。

ところが、2009年8月9日、昆虫館にて協定書調印式が行われた日の夜、台風9号による豪雨で、昆虫館は敷地が土砂に埋まり、休館を余儀なくされました。この水害では、佐用町のみならず、宍粟市などの西播磨地域を中心に、大きな被害を受け、ひとはくも、独自にプロジェクトを立ち上げ、さまざまな支援活動を行ってきました。「佐用町昆虫館」の復興支援としては、ひとはくの岩槻館長、中瀬副館長が、NPO法人こどもとむしの会(内藤親彦理事長)と共同で、「佐用町昆虫館復興義援金」を立ち上げ、募金活動を行いました。また、昆虫館で飼われていたミツバチの救出、貴重な植物ハリマイノデの救出などを行ってきました。

さらに、災害の直後から、研究員が、博物館実習の学生さんの協力も得て、被災状況を現地取材して速報し、10月1日から11月23日にかけて、「がんばれ！佐用町」展として、佐用町各地の被災状況を写真パネルで紹介し、佐用町昆虫館での被災資料も展示しました。宍粟市一宮町では、豪雨によって河床が浸食されることで7千年から1万年前の泥炭層が現れました。堆積物には、大木の幹や種子、昆虫遺体などが含まれ、研究員らが今後分析を進め、大昔の環境を知る資料として、活用していきます。その他にも、洪水で流出した倒木の樹種調査や、千種川の河川改修へのアドバイスなど、専門性を活かした支援活動を行いました。



## 4 『企画展「初夏の鳴く虫と巡回展～ぎっちゃん君、参上！～」を開催』

「鳴く虫の巡回展」の話は、橿原市昆虫館が2007年に行った第18回特別展「バッタ・コオロギ・キリギリス」(8月1日～10月21日)に始まります。高価で有用な『バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑』を刊行したばかりの日本直翅類学会は、その宣伝を兼ねて、多数の生態写真や鳴く虫関連の民具の提供・その他の協力を申し出ました。この特別展を元に、「NPO 西日本自然史系博物館ネットワーク」が調整役となり、写真パネル主体の巡回展がつくられました。

2008年4月28日にNPO 西日本自然史系博物館ネットワーク所属の6館(伊丹市昆虫館、大阪市立自然史博物館、きしわだ自然資料館、兵庫県立人と自然の博物館、多賀町立博物館、橿原市昆虫館)が集まり、日程の調整等を行いました。この展示物を利用しながら、各館独自の展示を出し、その一部を巡回展の中に組み入れて「進化型巡回展」を目指していくという新しい試みです。

ひとはくの展示は、他館が注目しない初夏の鳴く虫に焦点をあてました。鳴く虫は春先から鳴き始め、初夏・夏・初秋と増えていくので、「初夏の鳴く虫と巡回展」と題し、初夏から夏休み一杯をカバーして



2009年6月6日～8月31日の開催としました。サブタイトルは、ひとはく連携活動グループ・鳴く虫研究会「きんひばり」がアイデアをひねり出した「ぎっちゃん君、参上!」です。「ぎっちゃん君(左図)」は、夏の鳴く虫の代表であるキリギリスの鳴き声「ギー、チョン」からつけました。総務課の川東丈純氏によるキャラクターイラストは、イメージアップにつながり、当館の独自性を強調しました。県立美術館との連携で作成された3mの巨大キリギリスは、オープンセミナー「巨大キリギリスをつくろう」で採色され(左下写真)、巡回展の後にフローラ88の空き店舗スペースに貸し出されました。また、鳴く虫を売り歩く「鳴く虫屋台」の再現モデルも(右下写真)、ひとはくの後に開催された多賀町立博物館と橿原市昆虫館に貸し出され、好評を得ました。



## 5 岩槻邦男館長が瑞宝重光章を受章

当館の岩槻邦男館長が、2010 年秋の叙勲にて瑞宝重光章を受章しました。瑞宝重光章は「国家または公共に対し功労があり、公務等に長年従事し、成績を挙げた者」とされています。館長は長年、シダ植物の系統と分類に関する研究や、東アジア・東南アジア植物相の研究、植物多様性の保全に関する研究などで多くの業績をあげてきており、日本学術会議委員、国際生物科学連合日本代表、(社)日本植物学会会長、日本植物分類学会会長、(社)日本植物園協会会長、国際植物園連合会長、学術審議会専門委員、環境保全審議会委員など国内外の要職を歴任してきました。これら要職やひとはく館長として、広く社会に対して植物への理解を深める教育・学習や施策に貢献し、書籍や講演などを通して生物多様性の大切さや持続的利用に関する啓蒙活動を続けてきたことが評価されたものと考えられます。

## 6 デジタル紙芝居など、フロアスタッフのオリジナルコンテンツが充実

ひとはくでは来館者サービスとして、事前申込みなしで参加できるオープンセミナーを毎日開催しています。とくにフロアスタッフのオープンセミナーは、2009 年度 765 回、のべ 16,818 人の方々に参加いただきました。なかでも人気なのが、大きなスクリーンで上映するデジタル紙芝居です。物語の構成、作画は、すべてフロアスタッフのオリジナルで、研究員にアドバイスを受けて完成させていきます。今年度も新作として「丹波の恐竜たんたんのひとはくナイトミュージアム」が「ひとはく恐竜・化石大作戦！」開催にあわせて完成しました。丹波市で発見された恐竜「たんたん」が館内を散歩しながら展示の見どころを楽しく案内するもので、物語の後には丹波の恐竜化石や化石のクリーニング作業などについての解説もあります。オープンセミナーとしてだけでなく、子どもを含む来館団体からのリクエストに応じて特注セミナーとしても 28 回実施しました。

このほか、新しい企画として、1 日中いつでも参加できるワークショップ「フロアスタッフと遊ぼう！スペシャル」を開催しました。内容は、「恐竜おりがみ」、「恐竜バルーンアート」、「恐竜ペーパークラフト」や「とっても簡単！化石のレプリカづくり」、「とびだす！恐竜カードづくり」、「パタパタ・プテラドン」など、22 回 1,779 人の方々に楽しんでいただきました。スタッフは受付業務から来館者対応、セミナー業務、コンテンツ制作まで幅広い仕事をこなしながら、日々研鑽を重ねて新しい来館者サービスを創出しています。

## 7 小学校3年生「環境体験学習」への本格的な取り組み

「環境体験学習」は、県下の小学校3学年で実施されている体験型の環境学習で、年3回程度の地域での自然体験活動をとおして環境の大切さを知る学習です。平成19年度より一部研究指定校で実施されていたものが、平成21年度県下公立全小学校805校で実施されました。ひとはくでは、事業実施当初より講師派遣や活動内容の相談等の支援を行っていましたが、全校実施にともない、生涯学習推進室や生涯学習課を中心に、来館団体に対しても「特注セミナー」等でも積極的に支援を行いました。その内容は、調査方法の指導（昆虫採集、植物観察、川の生き物調査等）や地域で実施された体験活動の考察、調査結果に対する専門的な総括等多岐に渡っていました。

平成21年度に来館した小学校数は210校（他府県、国立、私立を含む）で、そのうちの81校（38.6%）が「環境体験学習」（小学校3学年）による来館でした。更に、81校中58校（71.6%）が、学校の要望に応じて行った「特注セミナー」を受講しており、その内訳は、植物関係21校（36.2%）、動物（川の生き物等）関係19校（32.8%）、昆虫関係14校（24.1%）、地球科学関係2校（3.4%）、総合的な内容2校（3.4%）でした。また「特注セミナー」の形態は、講義形式が38校（65.5%）、実習等体験学習が19校（32.8%）、展示解説が1校（1.7%）でした。

セミナーの主なタイトルは以下のとおりです。

【植物分野】里山を観察してみよう、エドヒガンザクラについて、植物標本作成、植物観察のコツ

【動物（川の生き物等）】ビオトープ、カエルの生活から身近な水環境を考える、カワウの話、メダカ発表会、封入標本づくり

【昆虫】昆虫の観察について、ホテルについて、虫とりペナントレース、虫ビンゴ

【地球科学】丹波の恐竜化石について

【総合的な内容】身近な自然について、環境に関するはなし



## 8 「共生のひろば」発表会、共生のひろば展も好評。

発表数 58 件、聴講者 330 人！

人と自然の博物館では毎年 2 月 11 日に、各地域でひとはくの研究者と連携して様々な活動を行っているグループや個人による日頃の研究・活動の成果を発表する「共生のひろば」を開催しています。今年で第 5 回を迎え、16 件の口頭発表と 42 件のポスター・作品が出展されました。総勢 330 名の参加者が集まり互いの成果についての情報交換を行いました。発表会後の茶話会で行われた表彰式では、例年の館長賞、名誉館長賞に加え、審査員特別賞と会場からの投票によって決まる会場注目大賞も授与され、受賞者は多くの参加者からの拍手を浴びていました(下表参照)。またポスター・作品については、当館 2 階の企画展示室において 2 月 11 日から 4 月 4 日に実施した「共生のひろば展」にて展示し、2 月 11 日に訪れることができなかった多くの来館者に対しても情報発信する場を提供しました。

### 第 5 回 共生のひろば 受賞者一覧

館長賞	口頭	ミスジナガハグサ(イネ科イチゴツナギ属)の謎2 —ミスジナガハグサとナガハグサの相違点—	西野雅満(植物リサーチクラブ・ひとはく地域研究員)
	口頭	コヤマトビケラの生活史—幼虫集合行動の目的を探る—	松岡純平・原口太志(兵庫県立福崎高等学校生物部)
	ポスター	NPO 法人 日本ハンザキ研究所 が進める環境教育の実践	田口勇輝・栃本武良(特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所)
	ポスター	丹波地方の溜池・湿地における湿生・水生植物の植生	松岡成久(植物リサーチクラブ)
名誉館長賞	口頭	水生寄生蜂 <i>Apsilops</i> sp. (ヒメバチ科:トガリヒメバチ亜科)の生活史と寄主探索行動	長崎 撰(豊中市立第十四中学校)・平山智子(神戸女学院大学)
	口頭	学校のプールにいたミジンコ( <i>Daphnia pulex</i> )の行動と生態～耐久卵の殻の意味を中心に～	川底英剛・西 拓樹・木嶋崇人・神野泰淳・美間克也・伊藤 毅・高嶋志門(大阪府茨木市立三島中学校科学部)・佐々木宏展(同 顧問)
	ポスター	エコトランクで楽しく遊ぶ! 学ぶ!	赤阪幸司・芦田博貴・遠藤健彦・大島達也・神谷亜依・高島基郎・田中洋次・南部恭宏・藤長裕平(兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科)
	ポスター	摘み菜ご飯、できたよ! おいしいな!	西浦睦子・入口紀代里・鈴木久代・長町美幸・松浦百合・矢野直子(ひとはく連携活動グループ NPO 法人さんぼくらぶ)・平谷けいこ・社ひとみ(摘み菜を伝える会)
審査員特別賞	口頭	15年間で著しく減少した川西市加茂地区のヒメボタル	畚野 剛・市原敏彦・井上道博・恵須川満延・澤山輝彦・中本二郎・平田信活(川西自然教室)
	口頭	ムコのビオトープづくり活動を通して ～いのちをかんがえる～	池野知行・小南亘輝・北川達也・紀之内拓巳・坪田祐典・松矢一輝・勝井悠生・原 悠平・室山容一朗・大原創一朗・辻元凌太・門田歆大・芝本光希・小南智輝・郡山佳太・松下 修・藤奈央樹(武庫小学校 さかな委員会及び担当者)
	ポスター	六甲山におけるキノコの長期観測データを用いた出現種数の推定および気象要因との対応分析	森田綾子・大西里佳・田中友香里・鷲見秋彦・中川湧太(兵庫県立御影高等学校)
	ポスター	「高校生と学ぶ」～植物画を描く上での自立をめざして～	田地川和子・貴島せい子・肥田陽子(ひとはく連携活動グループ GREEN GRASS)
会場注目大賞	口頭	ムコのビオトープづくり活動を通して ～いのちをかんがえる～	池野知行・小南亘輝・北川達也・紀之内拓巳・坪田祐典・松矢一輝・勝井悠生・原 悠平・室山容一朗・大原創一朗・辻元凌太・門田歆大・芝本光希・小南智輝・郡山佳太・松下 修・藤奈央樹(武庫小学校 さかな委員会及び担当者)
	ポスター	丹波地方の溜池・湿地における湿生・水生植物の植生	松岡成久(植物リサーチクラブ)



## 9 NPO 法人 人と自然の会主催「ドリームスタジオ」が 150 回を超える

NPO 法人 人と自然の会は 1994 年、ボランティア養成講座をきっかけに発足したグループで 1999 年には NPO 法人格を取得し、同年 11 月にはひととはくと協力協定を結びました。ひととはくと連携グループ第 1 号といえるでしょう。人と自然の会は 1996 年にはじまった「ミュージアムフェスティバル（現在のひととはくとフェスティバル）」で「手作り工作」「ネイチャーテーリング」「花の教室」を実施しました。はじめて来館者を相手に実施したオリジナルプログラムでした。それが大成功し、「喜んでもらえた！ 楽しい！ もっとやりたい！」ということで、

1997 年から毎月第 3 日曜に実施するようになったのがボランティアデー（現在のドリームスタジオ）です。

第 1 回のテーマは「博物館の近くに住むカエルたち」「のぞいてみようミクロの世界」でした。「何をしよう」からはじまって、当日の運営、報告までこなしました。どんなプログラムがあったかは人と自然の会のホームページ（参照：<http://ukiuki.michikusa.jp>）でご覧になれます。「動物の名前のついた植物たち」、「さわってみよう地下からの贈り物」、「春だ！ つくしだ！ テントウムシだ！」、「紙すき！ わらすき！ 大好き！」、「おもいも 3 兄弟 もちをつくらう」、「しゃぼんだまほりでー」、「こんなものもお茶になる」、「みつばちになってみよう」、「ダチョウのたまごでアクセサリー」、「春を待ちわびた虫たち」、「音で遊ぼう ふく・ふる・たたく」…多種多様、奇想天外で多くの来館者を楽しませています。

2000 年からは第 3 日曜日を「博物館の日」と名づけてひととはくとしてもイベントを集中させるようになりました。そんなさまざまな歴史を刻んだドリームスタジオが 2009 年 11 月 15 日第 150 回（テーマ「森のクラフト」）を迎えました。ドリームスタジオの蓄積が生んだ「博物館の日」は、ひととはくにとっても特別な日になっています。



ドリームスタジオの様子は毎回黒い画用紙にはって 4 階に掲示



みんなで集めた 50 種類以上の木の実をつかったリースづくり（第 150 回「森のクラフト」）

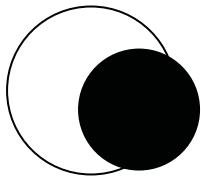
## 10 あしかけ 11 年、「兵庫県産維管束植物目録」が完成しました！

標本にもとづく植物目録として、1999 年から毎年、研究紀要「人と自然」に連載してきた「兵庫県産維管束植物」が、2009 年 12 月発行の同紀要に掲載された第 11 報により完結しました。大量の植物標本をもとにして、再同定を行いながらデータの入力、ソーティングをへてリスト化し、植物のグループごとに分けて出版してきたため、11 年間という多大な時間を要しました。この目録は兵庫県に産するシダ植物、裸子植物、被子植物のすべての種を掲載しており、亜種・変種・品種をあわせて全部で 191 科約 2,800 分類群を記録しました。これにより県内の植物相の概要がわかる資料となりました。



これまで兵庫県の植物を最も多く掲載している文献に「兵庫県植物目録」(紅谷進二(編) 1971 年)があり、そこには約 2,500 の分類群が記録されています。当時から約 40 年の間に 300 の分類群が新たにわかり追加されたこととなります。新発見のものも多いが、従来の分類から変更されたものや新しく帰化した植物が多く含まれています。参照した植物標本は、おもに人と自然の博物館と頌栄短期大学に収蔵された標本で、合せて 20 万点以上はあると思われませんが、そのうちリストに引用されたのは 6 万点ほどになります。標本の産地は県下全域にわたっているが、採集者のほとんどは専門家でなく一般県民です。多くの人たちが県内各地で植物を調べ、その際の標本と得られた知見が博物館に集積されたのです。これがなかったら本目録は完成しなかったといえます。

本目録の利用に関して、数年前から兵庫県下の植物を対象にした報告・記録に本目録を引用する例が増えてきています。昨年度、兵庫県が作成したレッドデータブック(兵庫の貴重な自然)植物編の第 3 版の編集過程で、種の選定やランク付けを検討する際に本目録の情報が大いに役立ちました。目録が完結し、今後はさらに利用が増えるものと期待できます。



# 平成 21 年度のタスクフォース事業報告

## タスクフォース(組織群)について

従来の組織群とは別に平成 20 年度から導入したものである。各タスクフォースは、短期の課題を達成するために結成したものである。構成員は、リーダーおよびサブリーダー、その他であり、人員は、実情に応じて年度途中でも変更可能にしている。また、新たなタスクフォースを発足できるようにしている。平成 21 年度は 6 つのタスクフォース(生物多様性戦略、恐竜・化石、マーケティング、グローバル・プログラム、ジオ・パーク、地域再生人材創出)が結成された。

### ■ 生物多様性 タスクフォース

#### (1) 生物多様性についての普及活動および県・市町・企業に対するシンクタンク活動

・市民グループの活動地における生物多様性戦略の策定を 2 件、支援した。また、兵庫県下の市町(神戸市、明石市、西宮市など)の戦略策定または戦略策定に向けた活動を支援した。

#### (2) 当館の生物多様性に関わる事業計画の立案と 2009 年から 2011 年にかけての実践

・年度当初に、ひとはくが実践できる生物多様性関連事業のメニューを経営戦略会議に提示し、2010 年度にそれらが推進室等によって実践される方針が確定した。

#### (3) 委員として RDB 改訂作業等への参画

・ひとはくの多数の研究員が、ひょうご戦略の推進に関わる委員会に参画した。

#### (4) 生物多様性ひょうごネットワーク(仮称)の形成支援

・平成 22 年度に生物多様性をテーマとして団体間の連携を活性化させるための活動紹介冊子の作成計画を策定した。

兵庫県下の市町(神戸市、明石市、西宮市など)の戦略策定または戦略策定に向けた活動を支援したことで、今年度の目標は概ね達成できた。市民グループの活動地における生物多様性戦略の実例を示すことができたことにより、次年度以降の活動にある程度の道筋をつけることはできた。ひょうご戦略の推進については、県自然環境課との連携を密にして実施している。ネットワークの形成については、市民グループの意見も集約しつつ慎重にすすめる必要がある。市民グループ版の生物多様性戦略の策定件数がやや低調であったため、今後派遣数増をめざして支援活動を活発にしたい。

### ■ 恐竜・化石 タスクフォース

#### (1) 第 4 次発掘調査の実施

・平成 21 年 12 月 8 日～平成 22 年 3 月 24 日。工事完了、ボランティア参加による調査(平成 21 年 1 月 9 日～平成 22 年 3 月 5 日、のべ 56 日間)、ボランティア参加のべ人数 494 人(登録は 58 名)、確認された化石の点数は 2667 点だった。

#### (2) 化石クリーニング作業、および調査研究の推進

・クリーニング作業は順調で、ティラノサウルス類の歯、角竜類化石、カエル化石の発見などにつながった。これらに基づいた学会発表が 5 件(うち 2 件は活用系)だった。

### (3) 国際シンポジウムに向けた準備

・国際シンポジウムに向けた方針を決定し、開催は平成 24 年度に変更した。毎年フォーラムを開催し、平成 22 年度は 12 月に開催予定である。

### (4) 恐竜化石を活かした教育普及活動の充実

・発掘体験指導員制度を平成 21 年 7 月より導入し、現在 16 名が登録しており、丹波および淡路で発掘体験事業等を展開している。  
・丹波市上久下地域づくりセンターでセミナーを実施した(6 回実施、参加者数 計 95 名)。  
・出版事業の支援:「丹波竜、太古から未来へ」(神戸新聞総合出版センター編)の監修およびマンガ「奇跡の恐竜、丹波竜」(漫画:所 十三、丹波市発行)への協力を行った。

### (5) 地域研究員の育成と各種事業へ参画促進

・地域研究員の新規登録人数は 15 名だった  
・化石発掘体験・調査事業(2009 年 7 月～2010 年 2 月)は開催数 50 件で、参加者数 958 人であった。

### (6) 展示および演示コンテンツの充実

<展示物>

・ベロキラプトル骨格標本の追加、レプリカ作成などを行った。

<演示コンテンツ>

・研究員による演示:「かんたん！恐竜の歯のレプリカ作り」(6 回実施、参加者数 103 人)、「君も発掘調査隊員!!丹波の恐竜化石を探しだそう(発掘体験)」(5 回実施、参加者数 199 人)などを開催した。  
・フロアスタッフによる演示(上半期 32 回、参加者数 687 人;下半期 111 回、参加者数 4063 人)などを開催した。

### (7) 三田の化石発掘体験広場の活用

・トライやるウィークで三田の化石発掘体験広場を活用した(平成 21 年 6 月)。

### (8) 研究成果や事業の新聞等への報道推進

・第 4 回丹波恐竜化石等発掘連絡協議会の開催について(平成 21 年 11 月 25 日、資料配付)  
・「原始的な角竜類の頭骨破片の発見について」(平成 21 年 11 月 26 日、篠山市役所)  
・「カエル類化石の発見について(平成 21 年 12 月 1 日、丹波の森公苑)  
・第 4 次発掘調査開始(平成 21 年 12 月 8 日、発掘現場)  
・第 4 次発掘調査、発掘ボランティア参加による発掘開始(平成 22 年 1 月 9 日、発掘現場)  
・第 4 次発掘調査の状況について(平成 22 年 2 月 4 日、発掘現場)  
・第 4 次発掘調査の状況について(平成 22 年 2 月 18 日、発掘現場)  
・第 4 次発掘調査の結果報告(平成 22 年 3 月 9 日、ひとはく)  
などを行った。

#### ■ マーケティング タスクフォース

##### (1) ひとはく事業実施に関わる企業との連携

・館員諸氏の日頃からの熱心な連携活動がひとはく手帖広告協賛企業・団体の拡大につながったと考えられる。

##### (2) 外部資金を活用したひとはく手帖広告協賛の募集による印刷資金調達

・目標の 150 万円を上回ることができた。

昨今の社会・経済状況から当初の目標達成は難しいと予想されたが、館員諸氏の尽力により、昨年度の額を超え、目標を達成することができた。募集要項の雛形を基にして、臨機応変に事業を進めたが、タイムスケジュール通りにスムーズに進行したとは必ずしもいえない。今後の改善点としては、募集様式の再吟味、原稿と協賛金銀行振り込みの締め切り期日を早めることなどがあげられる。また、団体・企業への広告協賛募集の呼びかけの範囲を館としてどのように考えるか検討する必要がある。

## ■ グローバル・プログラム タスクフォース

### (1) 学術交流事業等の推進

・各研究員により海外学術機関との学術交流が進められた。

### (2) JICA 研修等の受け入れ

・単発の JICA 研修をいくつか受け入れた。

2009.7 JICA 研修(11名): 収蔵庫見学, EnVision 環境保全事務所.

2010.2 JICA 研修(9名:チリ国環境教育関係行政官): 環境教育推進のための行政能力強化コース, NPO 法人こども環境活動支援協会.

### (3) ボルネオジャングル体験スクール運営支援

・第 11 回ボルネオジャングル体験スクール(平成 21 年 7 月 28 日～8 月4日)が実施され、マレーシア・サバ大学およびラハダトゥ・サイエンススクールとの連絡調整を支援した。出発直前にラハダトゥ・サイエンススクールで新型インフルエンザに罹患した生徒が出たため、最終的には同スクールとの交流プログラムだけを中止にして実施した。

・ボルネオジャングルの OB 会が神戸市内で実施され、今後、スクール修了生全体の交流の発展につなげる一歩になった。

### (4) 国際シンポジウム等の実施支援

・年度当初、恐竜・化石タスクフォースと数度の検討会議をもったが、国際シンポジウムの来年度開催がなくなったので、その後の合同検討会議は中断し、詳細は恐竜・化石タスクに預けることとした。

## ■ ジオ・パーク タスクフォース

### (1) 山陰海岸世界ジオパーク認定への支援

・世界申請候補として認定された。

### (2) 山陰海岸ジオパークの運営支援

・申請書に盛り込まれた運営組織図内に「ひとはく」の存在が明記された。自然研(コウノトリの郷公園)にジオ環境研究部門が設置された。

### (3) HP の立ち上げ等により、ひとはくにおける山陰海岸ジオパークへの支援活動をアピール

・HP はまだ立ちあげられていないが、ガイド養成や個々の学習プログラム内で、ひとはくの存在をアピールした。

### (4) 山陰海岸ジオパークにかかわる、ひとはくの活動を実施

・十分とは言えないが、22 年度には 10 のプログラムがノミネートされている。

前年度落選した「世界ジオパーク申請候補」に再度申請し、日本代表に認定された。また、運営に関する委員やガイド養成などの講師として参画し、地域への支援を継続している。ジオパーク内における活

動は地域主体で、「縁の下の力持ち」的な活動が多く、「ひとはくの活動」として一般市民に浸透するには至っていない。

世界ジオパーク認定に向けて、県民局と協力するとともに、今後はガイド養成などの世界認定への取り組みだけではなく、その後をにらんだ定常的なセミナー、キャラバンなどを開催していく。ジオ環境研究部門(≒ひとはく)主催の定常的なセミナーやキャラバンを実施し、世界認定後をにらんだ活動を展開していく。ひとはく手帖掲載のセミナー類を、ジオパーク推進協議会と共催で実施する。

#### ■ 地域再生人材創出 タスクフォース

##### (1) 文部科学省科学技術振興調整費新規課題「地域再生人材創出拠点の形成」の準備

・兵庫県立大学学長ファンドを獲得し、金沢大学、鹿児島大学、岐阜県立森林文化アカデミーなどの先進事例の視察を行い、文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」への申請を行った。

##### (2) 兵庫県、豊岡市、丹波市、篠山市等関係自治体、地元企業、NPO 等と連携した人材養成プログラムの開発

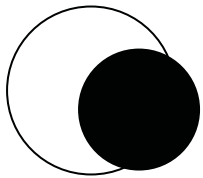
・主に兵庫県ビジョン課とともに、地域再生人材に関わる研究会を催すとともに、アンケート調査などを行い、地域再生に資する人材像について検討を進めた。

##### (3) 豊岡(コウノトリ)、丹波・篠山(恐竜化石等)の重点地域化

・丹波地域に兵庫県立大学による山南サテライトの設置などの準備作業が進めた。

今年度は地域再生人材創出拠点の形成への申請を契機として、人材養成プログラムに関する基本的な考え方や重点地域における拠点形成の方向性などを整理するとともに、館員になるべく周知することで、基本的な情報の共有を図った。兵庫県ビジョン課とともに、地域再生人材に関わる研究会を催すとともに、アンケート調査などを行い、地域再生に資する人材像について検討を進め、特に丹波地域に兵庫県立大学による山南サテライトの設置などの準備作業が進んでいる。

次年度以降は、今年度に検討した基本的な方向性をベースとして、本格的な実践に向けて、推進体制や資金調達などを含めて、館全体を上げて展開していくことが課題である。



## 平成 21 年度事業報告

人と自然の博物館では、その活動内容をよりわかりやすくかつ明確にするために、平成 14 年度から「中期目標」と「措置」を設けている。中期目標は、いわば博物館の行動の指針となる大項目である。これが全部で 9 項目設けられており、それぞれに達成を目指すべき目標値(指標)が設定されている。そして、この中期目標の各項目の下位項目として「措置」が設定されている。措置では、中期目標の達成と博物館活動の活性化に資する具体的な項目について、その行動の方針と具体的な数値目標が設定されている。

次ページ以降の図表および解説は、中期目標の各項目に沿って、平成 21 年度の博物館の活動内容とその自己評価、および平成 22 年度の事業方針を整理したものである。また、中期目標を支える措置の項目については、それぞれについての目標値・実績・達成度(%)を示した。

なお、平成 14 年度から平成 18 年度の活動成果をふまえて、平成 19 年度に中期目標と指標および措置について、社会のニーズへの対応を考慮して修正を行った。平成 21 年度は、平成 19-20 年度の実績や達成状況、博物館の将来構想を吟味したうえで中期目標と措置の最終案を設定し、それに従って事業を進めた。

# 1 研究

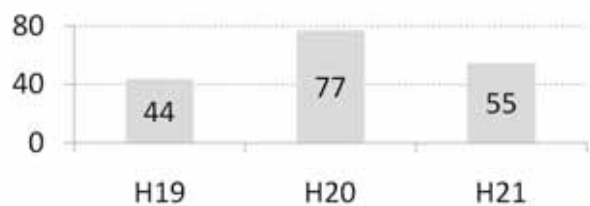
研究・  
シンクタンク  
推進室

兵庫から世界を対象に自然・環境に関する調査研究を行い、その成果を新しいプログラムやコンテンツ開発等の事業にフィードバックさせます。

## 1-1 学術論文数

学会等の査読を経て掲載された学術論文数

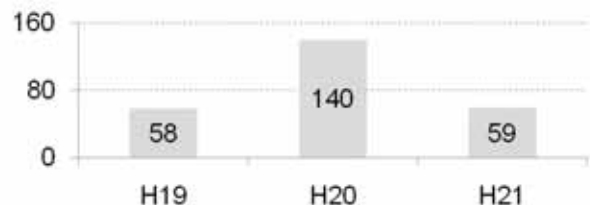
中期目標：40本/年  
平成21年度：55本(138%)



## 1-2 一般向け著書数(総説・その他)

自費出版を除く一般向け著書, 雑誌・新聞等の執筆数

中期目標：80本/年  
平成21年度：59本(74%)



### 平成21年度の取組みについて

全ての博物館活動の基礎となる「自然・環境」また「人と自然の共生」に関する研究を進め、その成果について研究員あたり最低年間1報を学会誌等で発表し、さらに一般市民向けの著書・新聞・雑誌等でもそのエッセンスを積極的に公表することを目標に掲げました。

### 平成21年度の達成状況と自己評価

学術論文の公表数は、目標値を上回りましたが平成20年度の7割の55報にとどまりました。一般向け著書等も20年度の半分以下の59報の公表で目標値に達することができませんでした。学術論文・一般向け著書数ともに、研究員による偏りがあり、最低限の目標が全ての研究員において達成されたわけではありません。

### 平成22年度の取組に向けて

最低限の学術論文また一般向け著書の公表が、博物館の総体として、また個々の全ての研究員においても達成されるよう努力を重ねることが肝要です。学術論文・一般図書等の20年度並の公表数を目標とします。研究環境改善のため、助成金の獲得にむけての情報を共有します。勉強会や個人研究・部門研究を推進し、さらに研究部横断的な課題に取り組む新たな「総合共同研究」の立ち上げを目標とします。



# 2 資料

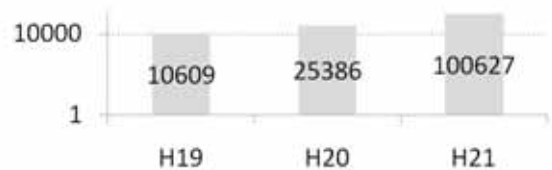
研究・  
シンクタンク  
推進室

質の高い特色ある資料の収集を行い、学術利用のみならず「演示」への利用を積極的に推進します。

## 2-1 資料の登録点数

「ひとく資料データベース」への年間登録件数

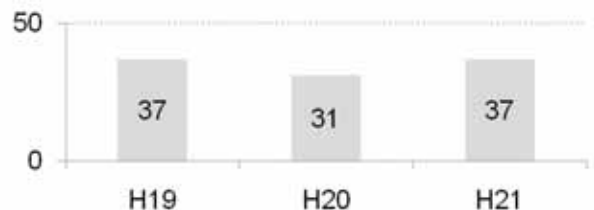
中期目標：10,000 点/年  
平成 21 年度：100,627 点(1006%)



## 2-2 資料の利活用件数

資料の館外利用件数(貸出資料件数・館外展示件数)とマルチメディアデータ等の提供件数の合計

中期目標：50 件/年  
平成 21 年度：37 件(74%)



### 平成 21 年度の取組みについて

収蔵資料および環境情報の収集・保存・利活用のシステム整備を行いました。資料収集方針に従った研究員自らの資料収集、県内外の自然史資料の受贈手続きを積極的に推し進めます。これらの資料や情報は利活用されて初めてその意義を発揮することから、登録件数だけでなく公開件数やその利活用の件数もその目標にあげました。

### 平成 21 年度の達成状況と自己評価

収蔵資料の登録点数は目標を大きく上回り、植物・昆虫標本を主として新たに 10 万点の登録を行いました。登録資料の一部は、地球規模生物多様性情報機構(GBIF)にデータを追加登録し、全世界で閲覧・利用できるようになりました。甲虫のホロタイプ 18 種(保科英人コレクション)など昆虫・植物コレクション 10 件、および篠山層群産獣脚類歯化石などその他のコレクション 7 件を受贈しました。ただ、博物館資料の貸し出し件数・館外展示・情報の貸し出し件数などの「利活用件数」は目標の 74%で 37 件と、普及教育用の「演示」への活用は低調に終わりました。

### 平成 22 年度の取組に向けて

資料の収集・受贈・整理登録は、分野に偏ることなく継続します。博物館資料・環境情報の利活用件数を増やすため、情報のインターネットによる公開や、県民や専門家にとって魅力的なコレクションの充実を図ります。一方で、演示をはじめとする環境学習などに有用な教材となる「資料」の整備を進めます。また地域住民や行政にとって有用な資料・情報が利用されるように「広報」をはじめ「利用の仕組み」を整備します。

# 3 生涯学習の支援

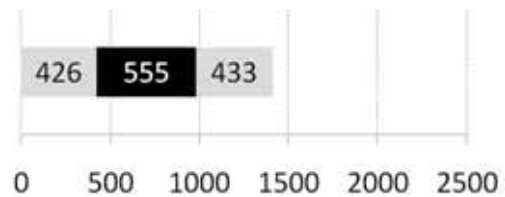
生涯学習課

「演示」手法を最大限に活用し、未体験者の来館と団体利用者の個人再来館を促し、参加者数・参加者層を拡大します。

## 3-1 ビジター数(総利用者数)

本館ビジター数、共催事業参加者数、館外展示観覧者数の合計

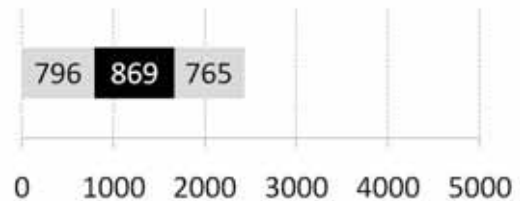
中期目標：2,500 千人/5年  
平成21年度：433 千人



## 3-2 来館団体数

来館幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校、大学、一般団体数の合計

中期目標：5,000 団体/5年  
平成21年度：765 団体



### 平成21年度の取組みについて

「ひとくは恐竜大作戦！」を展開する中で、春・秋の恐竜展示特別企画開催期間中にフロアスタッフによる新しいタイプのオープンセミナーや、夏休み中にも子ども向けのオープンセミナーなどを企画をしました。団体向け、とくに学校団体向けには環境体験学習を中心に特注セミナーの講座数を増やして、積極的に広報を行い、年間に326講座を開催しました。夏季教職員セミナーでは、新しく教員免許状更新講習に対応したプログラムも企画しました。

### 平成21年度の達成状況と自己評価

ビジター数は昨年度比22%減の43.3万人にとどまりました。本館ビジター数も同17%減で17万人でした。新型インフルエンザの影響が大きかった一般団体は、昨年度比139団体減の412団体にとどまりましたが、学校団体は同35団体増の352団体の来館がありました。これは「丹波の恐竜化石発見・発掘」の効果がやや薄らいできているものの、小学校3年生の環境体験学習事業のなかでの研究員等による専門的な学習のニーズが増えてきていると分析しています。

### 平成22年度の取組に向けて

「ひとくは生物多様性大作戦！」の展開、夏休みからの展示特別企画を広く広報し、10月の「COP10」にあわせて、9月以降は団体向けの「生物多様性トーク」などで来館者増に努めます。学校向けの環境学習に対応した特注セミナーの充実、一般来館者向けのオープンセミナーの充実などにより、来館者に満足していただき、リピーターを増やす取組みを進めます。また、館外諸施設との連携を深めてビジター増に繋がります。広報に関する館内連絡会議を定期的に行い、関係部署の連携を密に図り効果的な広報を展開します。

# 3 生涯学習の支援

生涯学習  
推進室

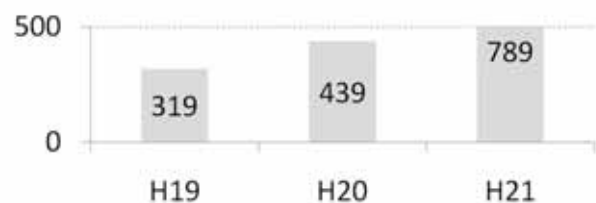
段階的・連続的な学習プログラムを提供し、地域研究員・連携活動グループを育成します。これらの「担い手」や他団体との連携を促進し、博物館事業の拡大を図ります。

## 3-3 地域研究員・連携活動グループ登録者数

地域研究員と連携活動グループ登録者数の合計

中期目標：500人(H23時点)

平成21年度：789人(158%)



## 3-4 他団体との連携プログラム数

共催事業、協力事業、後援事業、館外展示件数の合計(地域研究員・連携活動グループによるものを含む)

中期目標：100件/年

平成21年度：96件(96%)



### 平成21年度の取組みについて

共生博物館地域研究員養成事業として第4回「共生のひろば」を開催するにあたり、従来の発表会に加えてポスター・作品展示を企画展示室で行う「共生のひろば展」を約二か月間実施し、市民による調査・研究・活動の成果の発表の機会を拡充しました。また、「共生のひろば」を神戸大学との連携によるJST助成事業「地域科学技術理解増進活動推進事業『地域ネットワーク支援』」の一環として開催し、外部資金の導入を図りました。

### 平成21年度の達成状況と自己評価

「共生のひろば」発表会には、発表者と聴講者を合わせて300名の参加があり盛況でした。「共生のひろば展」は、長期にわたって作品展示ができ、出展者に好評でした。新規登録は地域研究員4件、連携活動グループ2件とやや低調でしたが、他団体との連携プログラム数は共催44件、協力26件、後援4件、館外展示10件で、このうちひとつは連携活動グループとの協働プログラムは10件と、充実しつつあります。

### 平成22年度の取組に向けて

地域研究員養成事業は、昨年度に引き続き「共生のひろば」発表会および「共生のひろば展」を、内容のさらなる充実を図りながら実施します。また、COP10の開催に合わせて、JSTの『地域ネットワーク支援』事業を活用しながら、生物多様性に関する県民・市民ネットワークの形成に向けた活動を進めます。県民・市民グループの活動のさらなる活性化と、グループ間の交流の円滑化を図ります。

# 4 シンクタンク活動の支援

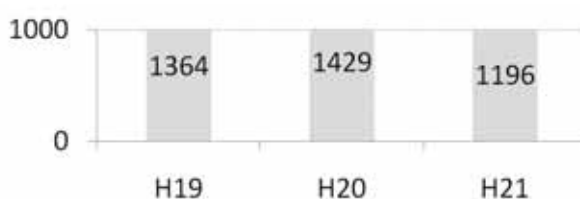
研究・  
シンクタンク  
推進室

自然・環境に関する県政課題に対して、適切な助言や提言等を行います。また、企業や行政団体等のニーズに応え、先駆的な調査研究を積極的に受託します。

## 4-1 県政・市町行政に対する貢献度

国・県・市町関連の委員会及びプロジェクト参画数

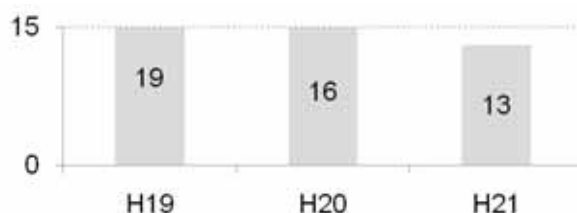
中期目標：1,000 件/年  
平成 21 年度：1,196 件(120%)



## 4-2 受託研究件数

調査研究受託契約件数

中期目標：15 件/年  
平成 21 年度：13 件(87%)



### 平成 21 年度の取組みについて

県・市また国関連部局の委員会・審議会等への学識経験者としての参画数 100 件、県職員等の来館相談目標数を 1,000 件に設定しました。関連部局・施設、また企業とともに地域の問題を解決する受託研究の目標獲得件数を 15 件に設定しました。

### 平成 21 年度の達成状況と自己評価

博物館研究員の県政関連の委員会・審議会等への学識経験者としての参画数は 277 件にのぼり、それに関連して博物館に来訪する県職員等関係者の来館は 987 名で目標をほぼ達成しましたが 20 年度の 1,429 名を大きく下回りました。受託研究はここ数年漸減傾向で、21 年度は 13 件と目標を下回り、総額も 939 万円に減少しました。

### 平成 22 年度の取組に向けて

博物館の各種の事業が行政施策また県民の活動に生かされ得る第一段階は達成していますが、実際に県政の遂行また県民グループの活動により有効に作用させる必要があります。COP10 の開催に合わせ、生物多様性兵庫戦略の地域での具体的な活動を推進し、その財政基盤の確保として、受託研究の獲得目標を前年度の五割り増し、1,500 万円とします。

# 5 マーケティング・マネジメント

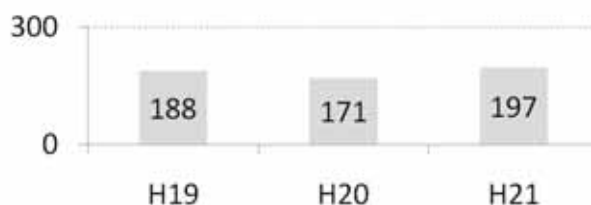
企画調整室

情報化社会に対応した情報提供を拡大し、広く県民の博物館事業への理解を醸成するとともに、博物館を活用する気運を高めます。

## 5-1 ホームページアクセス件数

ホームページに対するアクセス件数

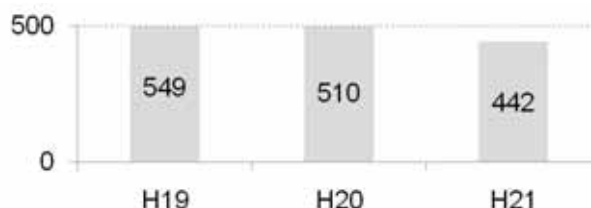
中期目標：300千件/年  
平成21年度：197千件(66%)



## 5-2 メディア等出演件数

新聞・雑誌等記事掲載件数、テレビ・ラジオ等への出演件数の合計

中期目標：500回/年  
平成21年度：442回(88%)



### 平成21年度の取組みについて

今年度は「ひとはく恐竜化石大作戦！」と称して、各事業を「恐竜化石」をテーマに実施しました。ホームページは、更新回数を増やすこと等によって、皆さんに博物館の存在を知っていただくよう(知名度の向上)に努力しました。

### 平成21年度の達成状況と自己評価

「恐竜化石」に関連した新事実の発表や恐竜展示特別企画、イベントなどが新聞に掲載され、テレビで報道されたりしましたが、それらのメディア等への出演件数は目標値に達しませんでした。しかし前年度と同様に知名度は確実に上がっていると思われます。ホームページのリニューアルを行い、更新件数(変化)も増えた結果、前年度よりもアクセス件数が増えましたが、目標には到達しませんでした。

### 平成22年度の取組に向けて

引き続き、「恐竜化石」に関する事業を展開することで、知名度の向上をはかりたいと考えています。また、平成22年は国際生物多様性年です。ひとはくのテーマを「生物多様性」とし、COP10(生物多様性条約締結国会議)の隣接会場へ出展し、生物多様性に関連するセミナーや体験型ツアーを行うなど、各種メディアに取り上げていただける事業を展開して行きたいと考えています。また、事業の報告などをホームページの「ひとはくブログ」(館員からの情報)などで発信するように館員に促していきたいと考えています。

# 5 マーケティング・マネジメント

企画調整室

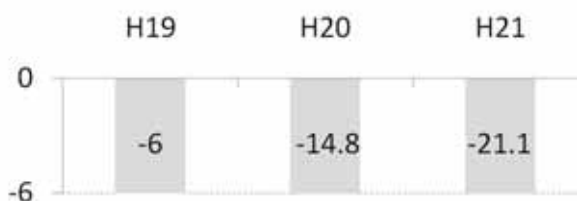
効率的で健全な博物館運営を目指します。

## 5-3 二酸化炭素排出量の削減

対平成 18 年度比での削減率

年度目標：-6%(H18 年度比)

平成 21 年度：-21.1%

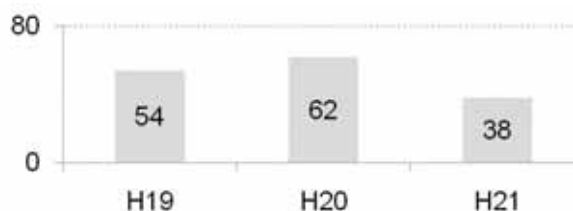


## 5-4 中期目標の達成度

中期目標の総指標数のうち達成した指標数の割合

年度目標：80%

平成 21 年度：38%



### 平成 21 年度の実績について

第 2 期中期目標の 3 年目の年度です。前年度に、「目標値の設定」を見直して正式版の中期目標を確定させています。継続して行っている事業を通じて多くの方に博物館の活動を知っていただくのはもちろんですが、特に、協力協定を締結した自治体や施設との連携を進めて行くことで、それぞれの地域の方々に知っていただく努力をし、地域の方々の協力のもとにメディアにも取り上げていただくようにしました。

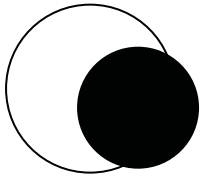
### 平成 21 年度の達成状況と自己評価

電気、水道、ガスの使用量から算出する二酸化炭素排出量は、前年度よりも、さらに削減ができました。しかし、中期目標の総指標数のうち達成した指標数の割合(達成度)は 38%であり、前年度よりもさらに減ってしまい、年度目標には到達できませんでした。中でも「一般向け著書(総説・その他)数」や「ビジター数(総利用者数)」、「来館団体数」、「ホームページアクセス件数」などは低調であったため、特に対策が必要だと考えています。

### 平成 22 年度の実績に向けて

来年度は、第 2 期中期目標の 4 年目となります。今期の目標値の達成に向けての対策だけでなく、次期中期目標の策定に向けての検討をはじめたいと考えています。

# 資料および個人別成果



# 博物館概要等に関連する資料

## ○主な収蔵資料

### 1) 主な購入資料

#### [化石]

オフサルモサウルス  
 ドイツ・メッスル産化石一式  
 ポプロフォネウス  
 アマリカマストドン全身骨格  
 ヒブセロサウルス卵化石  
 ユーステノプテロン  
 ケニア産人類・哺乳類化石レプリカー

#### [地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物  
 石鉄隕石  
 隕鉄

#### [動物]

オオヒクイドリ剥製  
 鳥類剥製  
 甲殻類剥製  
 軟体動物含浸標本  
 貝類含浸標本  
 鳥類生態写真  
 魚類生態写真

#### [昆虫]

タマバエ科他標本 (ママエフコレクション 8,500 点)  
 ノミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)  
 チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)  
 (台湾・中国産 1,300 点)  
 チョウ類他標本 (小林コレクション 11,000 点)  
 チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)  
 シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)  
 フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)  
 甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)  
 (高橋コレクション 7,248 点)  
 ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点)

#### [植物]

兵庫県産木材樹幹  
 外国産木材樹幹

屋久杉輪切り (年輪) 標本  
 種子標本 (種子コレクション)  
 特殊材

#### [映像資料]

兵庫の自然シリーズビデオ本  
 生物系ビデオ本  
 地球大紀行再編集ビデオ本

### 2) 主な寄贈資料

#### [化石]

神戸層群産植物化石 4,627 点 (堀冶三郎氏)  
 神戸層群産植物化石 2,656 点 (高岡得太郎氏)  
 日本産中生代貝類化石 890 点 (市川浩一郎氏)  
 高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点 (仙頭鷹雄氏)  
 備北・勝田層群産中新世化石 187 点 (岸本眞五氏)  
 岩手県一関地域産中新世貝類化石 80 点 (林広樹氏)  
 長野県富草層群産中新世貝類化石 49 点 (小関正嗣氏)

#### [地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7 点 (シルバー生野)

#### [動物]

貝類標本 10,000 点 (菊池典男氏)  
 鳥類標本 87 点 (中田富士雄氏)  
 鳥類標本 620 点 (西堀静江氏)  
 鳥類標本 130 点 (柴田嘉三氏)  
 鳥類標本 15,000 点 (小林登美子氏)

#### [昆虫]

ハエ類等標本 10,300 点 (田中梓氏)  
 チョウ類等標本 14,000 点 (柴田篤弘氏)  
 チョウ類等標本 5,700 点 (山本廣一氏)  
 チョウ類等標本 11,000 点 (小林登美子氏)  
 カリバチ類タイプ標本 367 点 (常木三澄子氏)  
 ハバチ類標本 14,000 点 (猪股光子氏)  
 ゴミムシ類標本 5,700 点 (大倉孝子氏)

#### [植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000 点 (中西田鶴子氏)  
 シダ類標本 4,000 点 (稲田政子氏)  
 高等植物標本 20,000 点 (細見末雄氏)

### 平成21年度の主な寄贈標本

昆虫標本(キベリオオツヤヒラタガムシ, パラタイプ)・昆虫生態関連文献資料(盛原潔コレクション)・林靖彦コレクション(含むパラタイプ)・中村剛之コレクション・保科英人コレクション(パラタイプ1種, ホロタイプ18種)・日本産蝶類(佐藤コレクション)・日本産植物標本(小豆むつ子・松岡成久・江村紳一 2009・吉田誠治・友永常太郎各コレクション)・スゲ属(*Carex*)タイプ標本(清水孝浩コレクション)・植物学文献(渡辺邦秋コレクション)・神戸層群産珪化木(喜久元・宮津コレクション他, 「地学研究」記載標本含む)・長岡桂介コレクション(養父市産出化石)・篠山層群産獣脚類歯化石・篠山層群産貝類化石・三畳系御祓山層群産貝類化石・ヤマドリ本剥製・土井敏男コレクション(無脊椎動物液浸標本)



## ○情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っている。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能である。

この機能を実現するためには、博物館自身が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要である。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行う。

なお、博物館の情報システムは以下の7つのサブシステムで構成されている。

### 1) システム構成



#### ① 収藏品管理システム～ひとはくデータベース～

100万点を超える収藏品を管理するシステムで、収藏品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひとはくデータベース」と呼んでいる。

博物館の収藏品（標本の管理単位）の属性データ及び静止画像・音・動画等のデータや収藏品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムである。データベースへの登録や検索は、館員の端末から Web ブラウザを利用して行う。



#### ② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムである。

ひとはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示するものである。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末から Web ブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現している。



#### ③ 普及広報システム

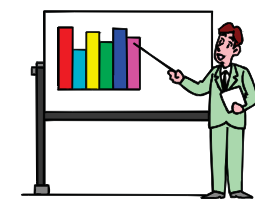
平成8年6月25日に館内に独自サーバを設置し、インターネット発信を開始した。現在の発信内容は、博物館の紹介・交通案内・展示解説・イベント情報などの基本情報の提供に加え、資料データベースの公開、館員の活動内容を紹介するミュージアムブログなど、内容の充実を図っている。



#### ④ 地理情報システム (GIS)

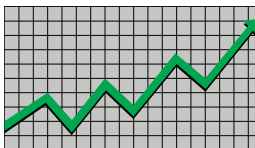
収藏品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである。

博物館の展示システム、資料データベース、ホームページと連携して利用でき、各種自然環境情報が閲覧可能なマップサーバとして機能している。



#### ⑤ 研究支援システム

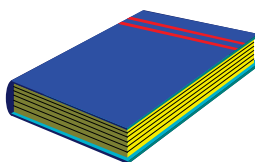
館内 LAN を利用して、各種データの解析、映像編集、作図等が行えるようになってきている。顕微鏡の精細な映像や博物館で作成したビデオ映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立っている。



#### ⑥ 運営支援システム

各種イベント、セミナー受講受付、団体受付に関し、館員の端末から Web ブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築している。

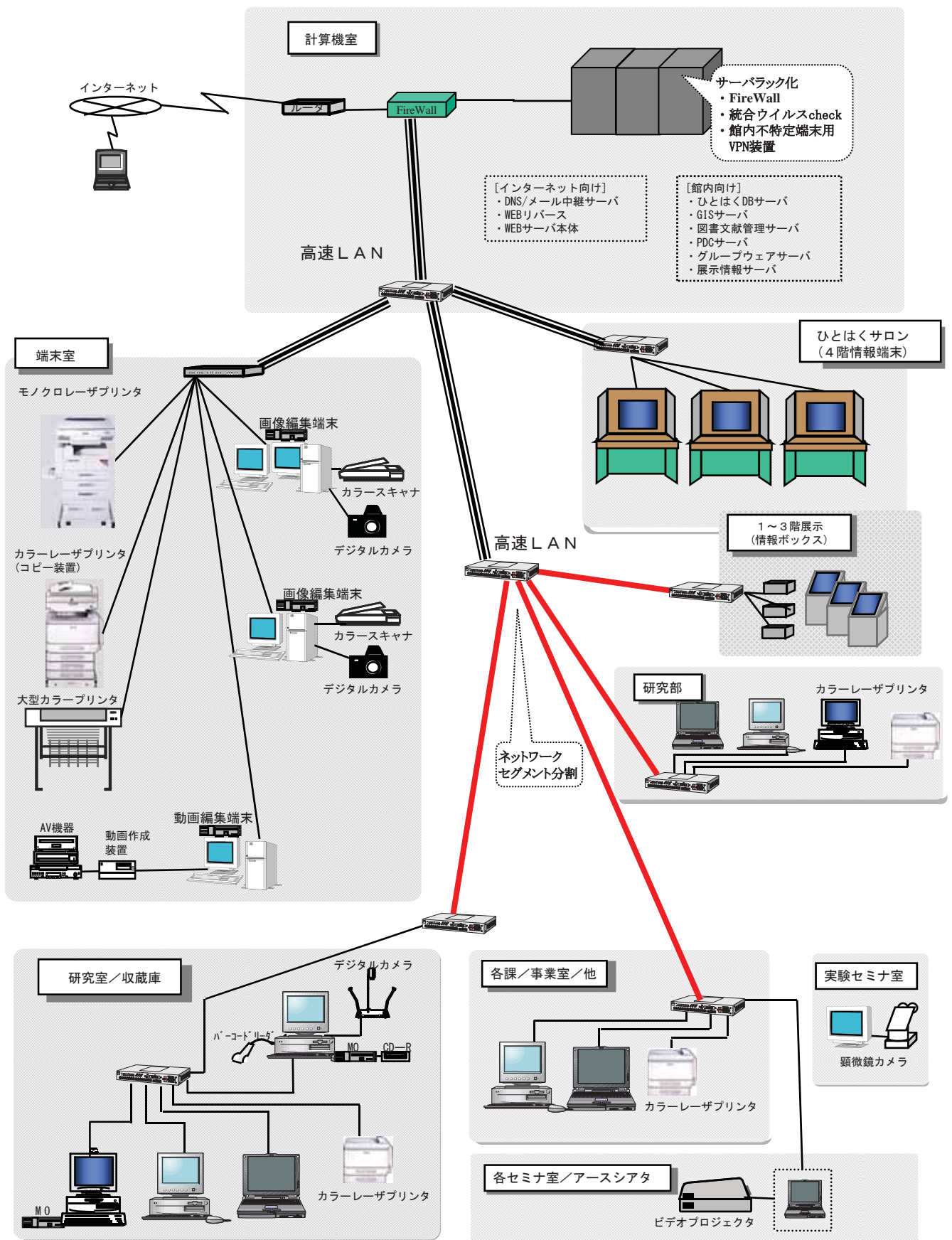
このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化が図られている。



#### ⑦ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する10万点を超える図書・文献等を管理するシステム。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できる。

## 2) システム概要図



# 〇条例等

## 兵庫県立人と自然の博物館 設置及び管理に関する条例

(平成4年3月27日)  
条例第25号

(沿革)

平成7年7月18日条例第24号改正 平成15年3月17日条例第7号改正  
平成16年3月26日条例第7号改正 平成18年9月28日条例第53号改正  
平成19年3月16日条例第9号改正 平成22年3月19日条例第6号

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務

2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

2 博物館資料を特別に展示している場合における観覧料は、前項の規定にかかわらず、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。

3 教育委員会は、博物館資料を特別に展示している場合における観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者（遵守事項等）

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
  - (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
  - (3) 許可を受けずに展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
  - (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
  - (5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。
- 2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又

は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(原状回復の義務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることができる。

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

(77) 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会 長	日 額	13,500円
	副会長	日 額	11,500円
	委 員	日 額	11,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（平成15年3月17日条例第7号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成 16 年 3 月 26 日条例第 7 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。（後略）

附 則（平成 18 年 9 月 28 日条例第 53 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 16 日条例第 9 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。（後略）

附 則（平成 22 年 3 月 19 日条例第 6 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。（後略）

別表第 1（第 5 条関係）

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	200 円	150 円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20 人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	150 円	100 円	
高校生	100 円	70 円	

全部改正〔平成 22 年条例 6 号〕

別表第 2（第 5 条関係）

区分	特別展示観覧料 (1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	2,000 円	1,600 円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20 人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	1,500 円	1,200 円	
高校生	1,000 円	800 円	

全部改正〔平成 22 年条例 6 号〕

別表第 3（第 9 条関係）

区分	使用料			備 考
	開館前から12時まで	13時から開館時まで	開館後から閉館時まで	
ホール	5,500 円	7,000 円	12,500 円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日以外の日をいう。
利便施設	使用料及び手数料徴収条例（平成 12 年兵庫県条例第 12 号）別表第 1 建物使用料の款専用使用の項の規定の例により算定した額（一般競争入札又は指名競争入札に付して、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした者のうち、価格その他の条件が県にとって最も有利なものをもって申込みをした者に対して利用を許可する場合にあっては、当該入札の落札者の申込みに係る価格に相当する金額）			
附属設備	別に教育委員会規則で定める額			

全部改正〔平成 15 年条例 7 号〕、一部改正〔平成 16 年条例 7 号・18 年 53 号・19 年 9 号・22 年 6 号〕

## 兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

（平成 4 年 3 月 27 日）  
教育委員会規則第 8 号

〔沿革〕

平成 4 年 10 月 26 日教育委員会規則第 19 号改正

平成 15 年 3 月 25 日教育委員会規則第 7 号改正

平成 16 年 3 月 26 日教育委員会規則第 14 号改正

平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 11 号改正

平成 22 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号

（趣旨）

第 1 条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成 4 年兵庫県条例第 25 号。以下「条例」という。）第 14 条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第 2 条 博物館の開館時間は、9 時から 17 時までとする。

2 博物館の観覧時間は、10 時から 17 時までとする。ただし、16 時 30 分以降は、入館させないものとする。

3 前 2 項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

（休館日）

第 3 条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その翌日（当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日）とする。

(2) 1 月 1 日から同月 4 日まで及び 12 月 28 日から同月 31 日までの日  
2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

（観覧料の納付）

第 4 条 条例第 5 条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10 時から 16 時 30 分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の 30 分前までとする。

（特別展示観覧料）

第 5 条 条例第 5 条第 2 項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

（特別観覧の許可等）

第 6 条 条例第 6 条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書（様式第 1 号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第 6 条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第 1 のとおりとする。

（展示品の利用）

第 7 条 条例第 8 条第 1 項第 1 号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

（施設の利用の許可等）

第 8 条 条例第 9 条第 1 項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の 5 日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書（様式第 2 号。以下「利用許可申請書」という。）を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設を利用しようとする者は、教育委員会が指定する期間に、兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書（様式第 3 号。以下「利便施設利用許可申請書」という。）に、利便施設の利用計画を記載した図面その他教育委員会が必要と認める書類を添付して提出しなければならない。

3 教育委員会は、利用許可申請書又は利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書（以下「利用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

4 利便施設に係る利用許可書の交付を受けた者は、その利用の内容を変更しようとするときは、あらかじめ兵庫県立人と自然の博物館利便施設利

用内容変更承認申請書（様式第4号。以下「利便施設利用内容変更承認申請書」という。）に、既に交付を受けた利用許可書その他教育委員会が必要と認める書類を添えて、これを教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

- 5 教育委員会は、利便施設利用内容変更承認申請書を受理した場合において、当該申請の内容がやむを得ないものであると認めるときは、これを承認するものとする。この場合においては、第3項の規定を準用する。
- 6 利用許可書の交付を受けた者は、その者の住所又は氏名（法人及び団体にあっては、所在地又は名称）を変更したときは、速やかにその旨を教育委員会に通知しなければならない。

（使用料の額）

第9条 条例別表第3の規定により教育委員会規則で定める額は、別表第2に定めたとおりとする。

（特別観覧料及び使用料の納付）

第10条 特別観覧許可書及び利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、利便施設について条例第9条第1項の許可を受けた場合であって、当該許可の期間が翌年度以降にわたるときは、翌年度以降の使用料は、毎年度、当該年度分をその年度の初めに納付するものとする。

（観覧料等の免除）

第11条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料（特別展示観覧料を含む。）、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めたとおりとする。

- (1) 65歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。観覧料（特別展示観覧料を含む。）の2分の1に相当する額
- (2) 教育委員会が特別の理由があると認めるとき。観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額

（観覧料等の還付）

第12条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めたとおりとする。

- (1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。観覧料等に相当する額
- (2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。
  - ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額
  - イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。当該使用料の2分の1に相当する額

2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書（様式第5号）を教育委員会に提出しなければならない。

（寄託又は寄贈）

第13条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

（権限の委任）

第14条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

- 2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

（補則）

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則

（施行期日）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項（観覧時間に係る部分に限る。）、第4条から第6条まで、第9条（特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。）、第10条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）並びに第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則（平成4年10月26日教育委員会規則第19号）

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則（平成15年3月25日教育委員会規則第7号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日教育委員会規則第6号抄）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。（後略）

別表第1（第6条関係）

区 分	特別観覧料（1点1回につき）		
熟 覧	150 円		
模写・模造	2,000 円		
撮 影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単色	150 円	1,000 円
	原色	300 円	2,000 円

- 備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。  
 2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。  
 3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別紙第2（第9条関係）

- 1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金 額	4,400 円	5,600 円	10,000 円

- 2 附属設備の使用料

附属設備	金額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250 円
持込み電気器具用コンセント （録音器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 2,000 円
持込み電気器具用コンセント （録画器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 3,000 円
持込み電気器具用コンセント （ミキシングセットを持込む場合）	持込み器具1式につき 5,000 円

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号

（第6条関係）

特別観覧許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話 ー ー ー 番

次のとおり申請します。

品 目	点 数	所 有 番 号	備 考
観 覧 希 望 日 時	年 月 日 時から 時まで		
研 究 の 方 法	熟 覧	模 写	模 造
研 究 の 目 的	撮 影		

様式第2号  
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

利用目的	
利用室名	
附属設備の名称	
期 間	年 月 日 時から ( 日 時間) 時 まで
利用者数	
※使 用 料	円
※備 考	

(注) ※印の欄は、申請者において記入しないでください。

様式第3号  
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

利 便 施 設 の 用 途	
利用許可を受けようとする利便施設	
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで
※使 用 料	円
※備 考	

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。  
2 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第4号  
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

変更の内容	事 項	変 更 前	変 更 後
	利便施設の用途		
変更の理由	利用許可を受けようとする利便施設		
	利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日から 年 月 日まで

(注) 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第5号  
(第12条関係)

兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話 ー ー 番

次のとおり請求します。

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号
返 還 請 求 の 内 容	※還付金の内訳
利 用 等 の 日 時	年 月 日 時から ( 日 時間) 時 まで
既 納 付 額	円
返還を受けようとする理由	
※ 還 付 率	パーセント
※ 還 付 額	円

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。  
2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議会  
の組織及び運営に関する規則 (平成4年3月27日)  
(教育委員会規則第9号)

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号）第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に關して必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に關して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の  
管理に関する規程 (平成4年3月31日)  
(教育長訓令第2号)

(趣旨)

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則（平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。）第15条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に關して必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 教育長は、規則第14条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第11条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育長訓令第4号）

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

# 兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程（抜粋）

（平成4年3月31日）  
（教育長訓令第2号）

〔沿革〕

昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第14号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号、9月10日第17号、11月19日第18号、17年2月22日第5号、3月30日第6号、9月30日第14号、18年3月31日第5号、12月26日第14号、平成19年3月30日第5号

## 第1章 総則

（目的）

第1条 この規程は、兵庫県教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もつて教育行政事務の適正かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

（機関の分類）

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

（機関の定義）

## 第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の第4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等をいう。

（行政機能の発揮）

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となつて教育行政機能の発揮に努めなければならない。

（規定の範囲）

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規程で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

（組織の特例）

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

## 第5章 教育機関

### 第10節 県立人と自然の博物館

（位置）

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号）第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

（業務）

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
  - (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
  - (3) 博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。
  - (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
  - (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
  - (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
  - (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
  - (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
  - (9) 前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務
- （組織）

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置

く。

事業推進部  
総務課  
情報管理課  
生涯学習課  
自然・環境評価研究部  
自然・環境マネジメント研究部  
自然・環境再生研究部  
（事業推進部の事務）

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料の展示及び普及教育に関すること。
- (2) 大学、他の研究機関との相互協力に関すること。
- (3) 自然、生命及び環境に関する学術研究集会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。
- (5) その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。

（総務課の事務）

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 公印の保管に関すること。
  - (2) 文書の收受、発送、保存等に関すること。
  - (3) 職員の進退及び服務に関すること。
  - (4) 給料その他の諸給与に関すること。
  - (5) 児童手当に関すること。
  - (6) 会計経理に関すること。
  - (7) 県立人と自然の博物館の管理に関すること。
  - (8) 人と自然の博物館協議会に関すること。
  - (9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。
  - (10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。
- （情報管理課の事務）

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。
  - (2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。
  - (3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。
  - (4) 情報機器の管理に関すること。
  - (5) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。
- （生涯学習課の事務）

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
  - (2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。
  - (3) 他の博物館等との相互協力に関すること。
  - (4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。
  - (5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。
  - (6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。
- （自然・環境評価研究部の事務）

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指標生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること（情報管理課の所掌に属するものを除く。）。
  - (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。
- （自然・環境マネジメント研究部の事務）

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること（情報管理課の所掌に属するものを除く。）。
  - (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。
- （自然・環境再生研究部の事務）

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさ

どる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること（情報管理課の所掌に属するものを除く。）。
- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。
- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

第71条 法令並びに附属機関設置条例（昭和36年兵庫県条例第20号）第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担任事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名称	担任専務	担当課
人と自然の博物館協議会	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

（組織）

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制

（教育機関の長）

第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務（県立嬉野台生涯教育センターの所長にあつては、県立婦人研修館の事務を含む。）を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立特別支援教育センター、県立但馬やまびこの郷（さと）及び県立嬉野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。

（館長及び副館長）

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、副館長を置くことがある。

2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。

3 副館長は、館長の命を受け、所属の職員を指揮監督するとともに、館長の職務を補佐する。

（副所長等）

第79条の3

4 県立図書館、県立嬉野台生涯教育センター、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長（県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。）又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。

（部長等）

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、

職名	組織	職務
部長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館の部並びに県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園の研究部	上司の命を受け、部又は研究部の事務を掌理し、又は処理する。
課長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

（所長補佐等）

第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことがある。

4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校長、次長又は副園長の職務を補佐する。

（主任指導主事等）

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主幹	上司の命を受け、教育機関の事務のうち、困難の度が高い事務を掌理し、又は処理する。
主任指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任調査専門員	上司の命を受け、埋蔵文化財の調査に関する特殊の専門的事務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

（主任研究員）

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

（その他の職）

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

（補職）

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることがある。

（職務代理）

第81条 所長、校長、館長（県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。）若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合にあつては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長、（副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあつては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長）が、その他の教育機関にあつては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

職名	職務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。
電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
試験研究技術員	上司の命を受け、動物飼育作業の試験研究又は指導業務の補助に従事する。



主任保安員 又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

## 兵庫県立人と自然の博物館 美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日)  
条例第16号

(沿革)

平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正、平成17年3月28日第15号改正、平成19年2月28日第2号改正、3月16日第25号改正

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。一部改正〔平成14年条例第32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。

3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもつて美術品等を取得することができる。一部改正〔平成15年条例第37号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。一部改正〔平成19年条例第2号〕  
(繰替運用等)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

2 知事は、基金の有利かつ効率的な運用のため他の財政上の必要があると認めるときは、第2条の規定にかかわらず、基金の全部又は一部を県債管理基金に積み立てることができる。一部改正〔平成11年条例第43号・19年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年10月8日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成14年3月27日条例第32号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成15年3月17日条例第37号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第15号)

この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例（平成17年兵庫県条例第14号）の施行の日から施行する。

附 則 (平成19年2月28日条例第2号)

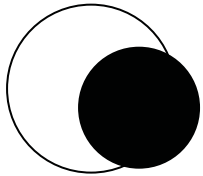
この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月16日条例第25号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

## 博物館協議会委員名簿

区 分	役 職	氏 名
学校教育関係者	三田市立つつじが丘小学校長	井上みち代
"	神戸市立雲雀丘中学校長	小林孝雄
"	県立小野高等学校長	石原元秀
社会教育関係者	県立歴史博物館長	端 信行
"	兵庫県社会教育委員 (中部学院大学教授)	寺見 陽子
"	兵庫県社会教育委員専門部会専門委員 (ライフデザイン研究所FLAP代表)	岩木 啓子
学識経験者	大阪市立自然史博物館長	山西 良平
"	大阪府立大学大学院教授	上甫木 昭春
"	JT生命誌研究館館長	中村 桂子
"	兵庫県立大学副学長	鈴木 胖
"	三田市長	竹内 英昭
"	神戸山手大学客員教授	貴多野 乃武次
"	辻本智子デザイン研究所代表取締役 淡路夢舞台温室プロデューサー	辻本 智子
公募委員 (家庭教育)		梶元梨香
公募委員		吉田滋弘



# 個人別成果報告に関する資料

No. 0

●館長

## 岩槻邦男, IWATSUKI Kunio

昭和9(1934)年兵庫県生。京都大学大学院理学研究科博士課程終了。理学博士。

東京大学名誉教授

所属学協会: (社)日本植物学会(評議員, 編集顧問, 元会長ら), (社)日本植物園協会(顧問, 元会長ら), 日本植物分類学会(元会長ら), 日本シダ学会, 生きもの文化誌学会(編集委員), 熱帯生態学会, 植物形態学会, 日本地衣学会; 国際植物園連合(直前会長), 国際植物分類学連合(元理事ら), 国際植物形態学会(評議員), アメリカ植物分類学会(名誉会員), 国際シダ学連合, インドシダ学会(名誉会員), アメリカシダ学会, イギリスシダ学会, その他

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 論文・著書

Wang, Faguo, K.Iwatsuki & Fuyu Xing. 2008. A New Name of Bolbitis from China. Amer. Fern J.98 (2): 96-97.

岩槻邦男, 他 6 名(共同編集・執筆)『植物の百科事典』(朝倉書店)

岩槻邦男, 『博物館で生物多様性を考える』(研成社)

##### ■ その他著作(一部)

岩槻邦男, 生物多様性を生きる 17 生物多様性の持続的利用 ログストン 77:44-47(3月)

岩槻邦男, 生物多様性の持続的利用—生物多様性の危機と保全— 足立辰雄・所伸之(編)『サステナビリティと経営学』38-54(5月15日)

岩槻邦男, 随想 自分の環境を知る 兵庫教育 699: 34-38(5月)

岩槻邦男, 生物多様性を生きる 18 持続的利用とリサイクル ログストン 78:48-51(6月)

岩槻邦男, 日本列島の自然と外来種 グローバルネット 226:2-3(9月)

岩槻邦男, 自然と人為 野鳥 741:16-17(2月)

岩槻邦男, 南アルプス, 世界自然遺産登録に向けて何が必要なのか 『わたしたちの世界遺産 3 世界遺産登録・最新事情, 長崎・南アルプス』104-108(2月)

岩槻邦男, 外来種の本当の脅威は人々の無関心 都市問題 101:67-74(3月)

岩槻邦男, 巻頭言 生物多様性を生きる—生物多様性を護るとはということか 『森林環境 2010—生物多様性 COP10 へ』8-13(3月)

岩槻邦男, , インタビュー: 森で学ぶ「人と自然の共生」 『森発見』17:6-13(3月)

岩槻邦男, 人の暮らしと生物多様性 『CEL』92:3-8(3月)

##### ■ 学会役員など

(社)日本植物園協会, 顧問, 元会長ら

(社)日本植物学会, 元会長ら

アメリカ植物分類学会, 名誉会員

インドシダ学会, 名誉会員

インドネシア学術機構(LIPI), 科学顧問

マレーシア植物誌委員会, 評議員

国際植物形態学会, 評議員

Indian Fern Journal(印), 編集顧問

ビオヒストリー(生き物文化誌学会, 日), 編集委員

##### ■ 助成を受けた研究

「自然史系博物館の連携研究員養成法の研究」日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 研究代表者(平成 21 年度総額:143 万円)

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 整理同等資料

ベトナム産シダ植物(1990年代東大隊採集品)の同定

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催(共催)セミナー(兵庫県内での講演を含む)

樹木環境ネットワーク協会大阪支部総会, 記念講演「人と自然の共生—グリーンセイバーに期待する—」4月12日

博物館セミナー『日本列島の歴史』全7回 5月9日, 6月13日, 9月12日, 10月10日, 11月14日, 2月13日, 3月13日

館外講演等

岩槻邦男, 2009.4.18, 25 「人と自然の共生を考える」グリーンセイバー, アドバンス講義, 大阪, 環境工科専門学校, 東京都

岩槻邦男, 2009.4.20 井植記念館講演「人と自然の共生」

岩槻邦男, 2009.5.10 南アルプス協議会講演「世界自然遺産への道—南アルプスの自然のすばらしさ」

岩槻邦男, 2009.5.22 生物多様性の日シンポジウム基調講演「Alien Species」, パネルコーディネータ

岩槻邦男, 2009.5.30 兵庫県立大学大学院新研究科創立記念講演「緑による環境・景観の創成」

岩槻邦男, 2009.6.13 JICA ひょうご応援団 1周年記念総会等

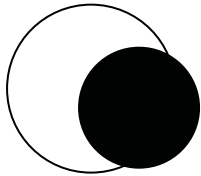
岩槻邦男, 2009.6.17 兵庫県介護老人保健施設協会総

会記念講演「共生社会に生きる—自然に優しく, 人に優しく」  
 岩槻邦男, 2009.9.26 国崎CC 講演「生物多様性の危機と里山」  
 岩槻邦男, 2009.10.31 コウノトリの郷公園創立 10 周年講演会「人と自然の共生—コウノトリが教えてくれること」  
 岩槻邦男, 2009.12.13 コスモスフォーラム:パネラー  
 岩槻邦男, 2010.2.27 神奈川県環境局講演「地球温暖化と生物多様性」  
 岩槻邦男, 2010.3.9 共生河川研究会講演「生物多様性を考える」  
 岩槻邦男, 2010.3.14 栗東自然の会講演「人と自然との共生—生物多様性を考える—」  
 岩槻邦男, 2010.3.19 三田高齢者大学講演「学ぶ喜び, 生きる喜び—生かされている生を考える—」  
 岩槻邦男, 2010.3.21 生物多様性 EXPO 大阪講演「生物多様性を考える」  
 岩槻邦男, 2010.3.27 世界遺産フォーラム in 飯田:パネラー「世界自然遺産としての南アルプス」  
 テレビ・ラジオ出演, 新聞取材等  
 岩槻邦男, 2010.1.1. 読売新聞夕刊  
 岩槻邦男, 2009.12. 日本経済新聞夕刊  
 地域研究員養成事業  
 2010.2.11 共生のひろば コメンテーター

## 2. シンクタンク事業

- 行政等支援(委員会, 法人等役員など)  
 政府機関等委員  
 環境省関係委員(特定外来種検討委員会, 世界自然遺産検討委員会, 里地里山保全・検討会議委員, インベントリーイニシアティブ委員, 他)  
 (独)理化学研究所, 相談役  
 (独)国立科学博物館評議員, アドバイザー;同筑波実験植物園運営委員会, 会長  
 (国)自然科学研究機構国立遺伝学研究所アドバイザー;同生物資源委員会, 幹事  
 (独)科学技術振興機構 GBIF 技術専門委員会, 委員  
 日本学術会議第 20 期, 21 期連携会員  
 JICA 地球環境部森林・自然環境グループ国内支援委員

会, 委員長  
 国際機構等  
 国際植物園連合(IABG)直前会長  
 法人等役員  
 国際生物学賞委員会, 委員, 選考委員  
 コスモス国際賞委員会, 委員  
 日本国際賞審査委員会, 委員(第 2 部会長)  
 みどりの学術賞, 選考委員(委員長代理)  
 (財)WWF-ジャパン, 常任理事  
 (財)藤原ナチュラルヒストリー振興財団, 理事(7 月まで), 顧問(7 月以後)  
 (財)松下幸之助花博記念財団, 理事  
 (財)日本自然保護協会, 評議員  
 (財)国際花と緑の博覧会記念協会, 参与, コスモスフォーラム実行委員長  
 (財)公園緑地管理財団, 緑・花試験実行委員会副会長  
 (財)科学技術振興財団, 研究植物園助成選考委員  
 (財)昭和聖徳記念財団, 研究助成選考委員  
 (NPO)聚, グリーンセイバー実行委員長  
 (NPO)ベルデ, 理事  
 (IUCN メンバー)生物多様性 Japan, 代表  
 兵庫県関係委員ら  
 兵庫県生涯教育審議会, 委員  
 兵庫県環境審議会, 専門委員, 生物多様性ひょうご戦略策定小委員会委員長  
 (財)ひょうご科学技術協会, 理事  
 JICA 兵庫応援団, 会長  
 特別プロジェクト  
 ○サバプロジェクト  
 第 11 回ジャングルスクール企画と事前学習, OB 会などに参画した。  
 JICA の BBEC 事業支援委員会委員長として協力した。  
 ○GBIF  
 国内技術専門委員会委員として, とりわけ博物館における活動などに協力した。  
 ○生物多様性関連  
 生物多様性ひょうご戦略つくりとその後の展開に向けて, ひとはくと兵庫県の協働づくりに貢献した。



# 個人別成果報告に関する資料

No. 1

## ●自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/  
埋蔵自然遺産研究グループ

### 小林 文夫, KOBAYASHI Fumio

地域環境地質研究グループ/研究・シンクタンク推進室  
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門  
教授

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究所 共生博物部門 兼  
担

昭和23年新潟県生. 東京教育大学大学院理学研究科博士課程  
修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会等所属,  
The Cushman Foundation for Foraminiferal Research, The  
Paleontological Research 所属

#### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

##### 1. 事業推進部門

なし

##### 2. タスクフォース

マーケティング タスクフォース(リーダー)

恐竜・化石タスクフォース(普及教育活動担当, 地質調査担  
当)

##### 3. 研究開発部門

研究開発部門調整担当, 旧地球科学研究部研究担当, 「人  
と自然」第20号編集担当, 学術交換図書 of 整理

#### <研究開発>

##### 1. 調査研究

###### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 中・古生代基盤岩の地質構造発達史
2. 後期古生代・中生代有孔虫化石群集解析
3. 「小林文夫コレクション」の世界

###### ■ 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の  
地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.  
部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテンツ  
の探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

###### ■ 論文・著書

Kobayashi, F. and Martini, R. 2009. PTB (Permian-Triassic  
Boundary) succession in the western Dolomites of the  
Southern Alps. The Journal of the Geological Society of  
Japan. Vol.15, No.43, 7-8.

Kobayashi, F., Shiino, Y., and Suzuki, Y. 2009. Middle  
Permian (Midian) foraminifers of the Kamiyasse  
Formation in the Southern Kitakami Terrane, NE Japan.  
Paleontological Research, Vol. 14, No. 1, 79-99.

Kobayashi, F., Ross, C. A., and Ross, J. R. P. 2010.

Thailandina and Neothailandina, and their subfamily  
Thailandininae: An example of an invalid taxonomic  
group of Permian fusuline foraminifera. Journal of  
Paleontology, Vol. 84, No. 2, 360-361.

###### ■ その他著作

Kobayashi, F. and Furutani, H. 2009. Early Permian  
fusulines from the western part of Mt. Ryozen, Shiga  
Prefecture, Japan. Humans and Nature, No. 20, 29-54.

###### ■ 研究発表

小林文夫(2010.1)赤坂石灰岩下部層のフズリナ化石によ  
る2分帯. 日本古生物学会第159回例会. 滋賀県立琵琶  
湖博物館.

###### ■ 学会役員など

日本地質学会, 代議員.

日本地質学会, 関西支部行事委員.

GEOBIOS (Journal of the European Paleontological  
Association), レフェリー.

Rivista Italiana di Paleontologia e Stratigrafia, レフェリー.

地質学雑誌, レフェリー.

Paleontological Research, レフェリー.

化石(日本古生物学会), レフェリー.

###### ■ 助成を受けた研究

有孔虫化石の群集解析によるペルム系・三畳系石灰岩  
の起源と搬入・定置過程. 日本学術振興会科学研究費  
基盤研究(C), 研究代表者(金額80万円/340万円).

##### 2. 資料収集・整理

###### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 石灰岩・石灰岩礫岩石薄片の作成と登  
録(1700点). 滋賀県霊仙山, 岐阜県赤坂石灰岩, 大  
滝地域, 山口県美祢市ペルム系・三畳系, 秋吉石灰  
岩, トルコ共和国タウルス山地, フランスジュラ山地ジ  
ュラ系・白亜系, ジュネーブ南方サレーブ山地白亜系  
など(小林文夫コレクション).

2009.4-2010.3 石灰岩薄片写真資料(1400点:小林文夫  
コレクション)

2009.9-2009.11. 石灰岩岩石資料の整理と登録(1100点).

2009.5. 岐阜県大滝地域のジュラ系地質資料

2009.10. 9. 長野県木曾地方の地質資料

2009.11-12. 愛媛県中部・南部の石炭系・ペルム系・三畳  
系・白亜系地質資料

2009. 12. 奄美大島ジュラ系・白亜系地質資料

2010.3. 美祢市石炭系・ペルム系・三畳系地質資料

2010.3. 秋吉石灰岩地質資料.

###### ■ 整理同定担当資料

小林文夫コレクション(中・古生代石灰岩岩石薄片).

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■ セミナー

館主催セミナー

小林文夫・高橋晃・高野温子・山本伸子, 2009.4, 「今年こそ! 多紀アルプス自然探訪」, 篠山市野外. (20名)

小林文夫, 2009.5, 「篠山層群の観察」, 丹波市野外. (14名)

小林文夫, 2009.10, 「篠山川と武庫川の流路の争奪合戦～恐竜化石が河床に顔を出した～」, 丹波市上久下地域づくりセンター. (10名)

小林文夫, 2009.11, 「海の一生」 クラーク記念国際高校 芦屋キャンパス. (88名)

小林文夫, 2009.4, 「プレート運動と大地の変貌」, 博物館. (特注セミナー, 大阪府立泉北高校 26名)

小林文夫, 2009.5, 「篠山川河床の地質記録の解説+展示解説」(特注セミナー, 神戸大理学部学生・教員 27名)

小林文夫, 2009.7, 「海の一生」 森子ども会, 博物館. (34名)

小林文夫, 2009.10, 「プレート運動と大地の変動」, 博物館. (特注セミナー, 加古川市立山手中学校 143名)

小林文夫, 2009.11, 「地球大紀行」, 博物館. (特注セミナー, 尼崎市立武庫中学校 135名)

小林文夫, 2009.6, 「薄くしてみる岩石・化石」, 博物館. (オープンセミナー, 47名)

小林文夫, 2009.6, 「薄くしてみる岩石・化石」, 博物館. (オープンセミナー, 40名)

館外講演

小林文夫, 2009.5, 「野外観察－教科書的でない川, 武庫川－」, 講師, 仁川(26名)

小林文夫, 2009.5, 「教科書的でない川, 武庫川」, 講師, フレミア宝塚(26名)

小林文夫, 2009.7, 「丹波の地形と地質」, 講師, 柏原自治会館, 丹波シニアカレッジ(25名).

小林文夫, 2009.11, 「なぜ恐竜化石は河床に顔を出したか－武庫川と篠山川の争奪合戦－」, 講師, 県土整備部土木事務所次長会議特別講演, 養父市八鹿(40名)

小林文夫, 2009.11, 「生物の大量絶滅の歴史」, 兵庫県立大学公開講座講師, 兵庫県立大学本部(12名).

兵庫県立大学・大学院教育

修士課程講義「地域地質論」

修士論文作成指導

非常勤講師

2009.5. 「地形のデザイン」, 神戸芸術工科大学, 分担.

#### ■ 研修生等の受入

博物館実習

2009.8 博物館実習ガイダンス(17名), 博物館地学部門実習(静岡大・神戸大・近畿大生の3名)

卒論生等

2006.8-2009.12 ジュネーブ大学 Faculte des Sciences,

Section des Sciences de la Terre PHD student Jerome

Chablais, 日本の古生代・中生代テクトニクス, 同三畳

系地質・三畳紀有孔虫化石

### 2. シンクタンク事業

#### ■ 行政等支援

相談・指導助言

篠山層群の地質解説 in 「丹波竜」(神戸新聞総合出版センター編)

来訪者 9 件, 14 名. 電話・FAX 相談 17 件.

## 佐藤 裕司, SATO Hiroshi

自然・環境評価研究所

地域環境地質研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門

教授

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科 共生博物部門 兼担

昭和32年大阪府生まれ。神戸大学大学院理学研究科修士課程修了。学術博士(神戸大学)。日本第四紀学会、日本陸水学会、日本藻類学会、日本珪藻学会、日本環境教育学会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室

#### 2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース(リーダー)

#### 3. 研究開発部門

研究部長代理、研究部門会計担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 完新世の相対的海水準変動に関する研究
2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と保全に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」、研究分担者。部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」、研究分担者。

##### ■ その他著作

佐藤裕司・杉野伸義・宮田祥史(2008) 広島県東広島市・関川(太田川水系)における淡水産紅藻チスジノリの生育状況。人と自然, 20:129-132.

佐藤裕司(2010) 久美浜コアのイオウ含有量と珪藻遺骸群集の分析による堆積環境。植村善博編, 『京丹後市久美浜湾の古環境と形成過程—阿蘇海・天橋立との比較—』。京丹後市教育委員会, 39-42.

##### ■ 研究発表

◎谷川晃一郎・兵頭政幸・佐藤裕司・加藤茂弘・久保純子(2009) 兵庫県豊岡盆地における完新世の相対的海水準変動と堆積環境。日本地球惑星科学連合2009年大会, 幕張メッセ国際会議場(5月)。

◎北場育子・原田麻央・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・松下まり子(2009) 大阪湾堆積物の花粉、珪藻および硫黄分析に基づく海洋酸素同位体ステージ21の気候変化と海水準変動。日本第四紀学会2009年大会, 滋

賀県立琵琶湖博物館, 草津市(8月)。

◎谷川晃一郎・兵頭政幸・佐藤裕司(2009) 兵庫県豊岡盆地の堆積物コアを用いた完新世の詳細な古環境復元。日本第四紀学会2009年大会, 滋賀県立琵琶湖博物館, 草津市(8月)。

山田真央・兵頭政幸・北場育子・佐藤裕司・松浦秀治・近藤恵・竹下欣宏・F. Aziz・Sudijono・熊井久雄(2009) インドネシア・サンギランにおけるジャワ原人化石産出層の珪藻・硫黄分析。日本第四紀学会2009年大会, 滋賀県立琵琶湖博物館, 草津市(8月)。

◎先山 徹・佐藤裕司・古谷 裕・高橋 晃・藤本真里・山崎義人(2009) 地域と連携した博物館の学習プロジェクト—人と自然の博物館による恐竜発掘と生涯学習。日本地学教育学会第63回全国大会, 三重大学, 津市(8月)。

◎先山 徹・高橋 晃・佐藤裕司・平松紳一(2009) 博物館における学校・地域との連携—兵庫県立人と自然の博物館を例に—。日本地質学会第116年学術大会, 岡山理科大学, 岡山市(9月)。

##### ■ 学会役員など

2009.5 日本珪藻学会第30回大会・会長

2009.4-2010.3, 日本珪藻学会編集委員

日本珪藻学会, レフェリー

##### ■ 助成を受けた研究

恐竜発掘を素材にした、地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築。文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者(金額10万円/370万円)。

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 現生淡水藻類の標本採集。丹波市・上郡町など。

2009.11-2010.3 篠山層群産恐竜化石の発掘。丹波市。

##### ■ 整理同定担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

田中哲夫・佐藤裕司, 2009.4.25, 26, 5.9, 10, 「ため池をさぐる」, (全4回, のべ43名)。

佐藤裕司, 2009.8.12, 教職員セミナー「クマムシの観察」, (10名)

佐藤裕司, 2009.9.26, 「微生物が語る水惑星の環境史」(丹波市上久下地域づくりセンター), (3名)

田中哲夫・佐藤裕司, 2009.10.7, 14, 高校連携セミナー

「身近な環境を調査しよう〜ビオトープ池を調べる〜」, キリンビール(株)神戸工場, (のべ18名)

佐藤裕司, 2010.2.26, 特注セミナー「地球史から読み解く温暖化問題」, 明石市立高齢者大学あかねが丘(122

名)  
 佐藤裕司, 2010.3.20, 「地球温暖化 CO2 犯人説はウソか  
 本当か?」, (18 名)  
 ◎解説! 恐竜ラボ, 2009.4.12. (23 名)  
 ◎解説! 恐竜ラボ, 2009.6.7. (18 名)  
 ◎解説! 恐竜ラボ, 2009.7.12. (17 名)  
 ◎解説! 恐竜ラボ, 2009.8.2. (37 名)  
 ◎ギャラリートーク「竜と獣の道」, 2009.12.13. (10 名)  
 君も発掘調査隊員!!丹波の恐竜化石を探しだそう(石割  
 体験), 2009.12.13. (43 名)  
 館外講演  
 2009.5.21, 芦屋川カレッジ大学院「環境問題入門」, 芦屋  
 市民センター. (28 名)  
 2009.7.9, 芦屋川カレッジ大学院「地球史から読み解く温  
 暖化問題」, 芦屋市民センター. (28 名)  
 2009.9.3, 川西市生涯学習短期大学(レフネック)・オーブ  
 ン講座「地球史から読み解く温暖化問題」, 川西市生  
 涯学習センター. (133 名)  
 2009.11.13, TAMBA シニアカレッジ(教養講座)「水惑星  
 の環境史」, 丹波市春日公民館. (20 名)  
 兵庫県立大学・大学院教育  
 兵庫県立大学全学共通教育科目「共生生物学」(オムニ  
 バス形式, 代表)  
 兵庫県立大学環境人間学研究所共生博物部門・教務担  
 当  
 大学院担当授業科目「陸・水圏自然史特別演習」  
 ラジオ・テレビ等出演  
 2009.7.24, 「子どもたちに生物多様性の大切さをおしえよ  
 う」朝日ファミリー  
 ■ 地域研究員養成事業  
 成果発表  
 2010.2.11, 共生の広場「安室川の淡水産紅藻チスジリ  
 を復活させる試み(part IV)」, 上郡町立上郡中学校科  
 学部(指導・協働)  
 ■ 学校教育支援  
 トライやるウィーク  
 2009.6.3, 上野台中学校, 藍中学校, けやき台中学校,  
 狭間中学校, 合計 4 名  
 学校団体対応  
 2009.7.23, 愛媛県立松山南高校(38 名)講義「地球史か  
 ら見た温暖化問題」  
 2010.2.25, 東条町立東条東小学校(32 名)実習「川の微  
 生物」  
 講師派遣

2009.10.27, 加東市立米田小学校(小学5年生, 15名)「プ  
 ランクトンを顕微鏡で見よう」  
 2010.1.27, 加東市立鴨川小学校(小学5,6年生, 10名)  
 「生物多様性はなぜ大切か」  
 ■ 研修生等の受入  
 卒論生等  
 2009.4.1-2010.3.31, 大学院生 1 名(神戸大学大学院理学  
 研究科博士課程後期課程), 卒論生 1 名(神戸大学理  
 学部)  
 ■ フェスティバル等  
 2009.11 ひとつはくフェスティバル, 「恐竜関連イベント担  
 当」.  
 ■ 展示  
 企画展  
 特別企画「丹波の恐竜を知ろうー3 年間の発掘報告ー」  
 (分担)  
 特別企画「竜と獣の道」(分担)  
 2. シンクタンク事業  
 ■ 受託研究  
 「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ビオトープ創出  
 に関する研究」分担者, キリンビール株式会社神戸工  
 場.  
 ■ 収蔵庫・ジーンファームの公開  
 地学系収蔵庫等の案内, 2 回, 8 名.  
 ■ 行政等支援  
 委員会等 (計 4 件)  
 2009.4-2010.3, 安室川自然再生検討会, 委員, 兵庫県  
 上郡土木事務所.  
 2009.4-2010.3, 安室川自然再生検討会・技術部会, 委員,  
 兵庫県上郡土木事務所.  
 2009.6-2010.3, 貴重な野生生物等(植物)専門委員会,  
 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.  
 2009.7-2010.3, 加東市とひとつはく協力協定連携推進会議  
 委員.  
 相談・指導助言  
 来訪者 17 件, 30 名. 電話・FAX 相談 15 件, メール相談  
 20 件.  
 ■ 学会開催等支援  
 2009.5 日本珪藻学会第 30 回大会開催, 人と自然の博  
 物館, 79 名.



## 先山 徹, SAKIYAMA Tohru

自然・環境評価研究所

地域環境地質研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門

准教授.

昭和29年岐阜県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本地学教育学会, 日本岩石鉱物科学会, 地学団体研究会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室, フェスティバル担当: ひとつはくフェスティバルで, 特に恐竜に関連したイベントを計画・実施.

#### 2. タスクフォース

ジオパークタスクフォース(リーダー).

恐竜・化石タスクフォース(サブリーダー活用担当).

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 花崗岩を主とする火成岩類の岩石学的研究
2. 地学教育・理科教育の研究
3. 文化財・歴史的建造物に使用された石材の産地同定に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者. 部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究代表者.

##### ■ その他著作

- 先山 徹(2009) 額安寺五輪塔の石材. 大和郡山市文化財調査報告書, 大和郡山市.
- 先山 徹(2009) 彦根城の岩石. 彦根市文化財調査報告書, 彦根市.
- 先山 徹(2010) 本堂礎石の岩石について. 加西市法華山一条寺調査報告書, 加西市教育委員会.
- 先山 徹(2009) 竜山石はどんな石—竜山石と大谷石. 広報たかさご, 7月号.
- 先山 徹(2010) 竜山石の名前. 広報たかさご, 3月号.
- 先山 徹(2010) ジオパークへ行こう. ひとつはく新聞, 3月号.

##### ■ ブログへの情報提供

1件

##### ■ 研究発表

◎先山 徹・高橋 晃・佐藤裕司・平松紳一(2009)博物館における学校・地域との連携～兵庫県立人と自然の博物館～. 日本地質学会. 岡山大学, 岡山市.

◎先山 徹・佐藤裕司・古谷 裕・高橋 晃・藤本真里・山崎義人(2009) 地域と連携した博物館の学習プログラム—人と自然の博物館による恐竜発掘と生涯学習—. 日本地学教育学会, 三重大学, 津市.

##### ■ 学会役員など

地学団体研究会, 常任エディター.

##### ■ 助成を受けた研究

恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額 110 万円/370 万円).

### 2. 資料収集・整理

#### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 山陰海岸ジオパーク地域の岩石および景観写真. 豊岡市, 香美町, 新温泉町, 鳥取県鳥取市・岩美町, 京都府京丹後市.

#### ■ 整理同定担当資料

岩石, 鉱物.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

- 加藤茂弘・先山 徹, 2009.4, 「春の石めぐりハイキング—丹生山地と帝釈鉱山—」, 神戸市北区・野外, (33名)
- 先山 徹, 2009.5, 「オープンセミナー・石や砂で絵を描こう」, 博物館, (55名)
- 先山 徹・西岡敬三, 2009.5, 「オープンセミナー・チョー簡単! 化石レプリカづくり」, フローラ 88, (47名)
- 古谷 裕・加藤茂弘・先山 徹, 2009.5, 「南あわじで地層を見る」, 南淡路市・野外, (4名)
- 先山 徹, 2009.6, 「オープンセミナー・ホテル石を光らせよう」, 博物館, (117名)
- 先山 徹, 2009.6~2010.1, 「石ころクラブ」, 博物館・豊岡市野外, (全9回, 104名)
- 先山 徹, 2009.7, 「丹波の石を見分けよう」, 丹波市上久下地域づくりセンター, (23名)
- 先山 徹, 2009.8, 「石の見分け方—ふしぎな岩石と鉱物」博物館, (31名)
- 先山 徹, 2009.8, 「教職員セミナー チョコとココアでおいしい火山実験をしよう」博物館, (18名)
- 先山 徹, 2009.8, 「教職員セミナー 石の見分け方—兵庫を代表する岩石と鉱物」博物館, (27名)
- 先山 徹, 2009.8, 「教職員セミナー 丹波の恐竜とその頃の日本」博物館, (41名)
- 先山 徹, 2009.8, 「教職員セミナー 地震の揺れ方と液状化の実験をしよう」博物館, (10名)
- 先山 徹, 2009.9, 「石の見分け方—顕微鏡で見る鉱物と岩石」博物館, (16名)
- 先山 徹, 2009.8, 「石の見分け方—火山はどうして噴火するか」博物館, (12名)

加藤茂弘・先山 徹, 2009.10, 「秋の石めぐりハイキングーたつの市ー」, たつの市・野外, (20名)

高橋 晃・先山 徹, 2009.10, 「丹波の恐竜と巨樹を訪ねて」, 丹波市, 野外, (11名)

先山 徹, 2009.12, 「丹波珪石で火打石セットを作ろう」, 丹波市上久下地域づくりセンター, (19名)

先山 徹, 2009.12, 「オープンセミナー・展示解説「竜と獣の道展」&ひとはく恐竜ラボ」, 博物館, (28名)

古谷 裕・先山 徹, 2009.11, 「オープンセミナー・君も発掘隊員！丹波の恐竜化石をさがしだそう」, 博物館, (50名)

先山 徹・古谷 裕, 2009.12, 「オープンセミナー・君も発掘隊員！丹波の恐竜化石をさがしだそう」, 博物館, (80名)

先山 徹, 2009.5, 「オープンセミナー・石や砂で絵を描こう」, 博物館, (55名)

先山 徹, 2009.7, 特注セミナー「花崗岩の話」, シニア自然大学鉱物クラブ, 博物館(23名)

先山 徹, 2009.10, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 朝来市立生野中学校, 博物館(48名)

先山 徹, 2010.2, 特注セミナー「丹波の恐竜と地層」, 大阪教育大学付属高等学校天王寺校舎, 丹波市・博物館(32名)

先山 徹, 2010.2, 特注セミナー「南極大陸とジオパーク」, シニア自然大学鉱物クラブ, 博物館(20名)

先山 徹, 2010.3, 特注セミナー「地震のゆれ方と断層」, 南あわじ市松帆小学校, 博物館(43名)

先山 徹, 2010.3, 特注セミナー「丹波の恐竜化石発掘と恐竜がいたところの日本」, シニア自然大学つちのこクラブ, 博物館(16名)

館外講演

先山 徹, 2009.5, 「兵庫県立文化体育館地球学セミナーー丹波の恐竜と恐竜がいたところの日本」, 兵庫県立文化体育館(23名)

先山 徹, 2009.6, 「ジオパークツアー(竹野)」, 山陰海岸ジオパーク推進協議会, 豊岡市竹野海岸(30名)

先山 徹, 2009.7, 「父島の地質と小笠原の成り立ち」, 兵庫県立大学公開講座, 日食観測クルージング船上, (500名)

先山 徹, 2009.9, TAMBA シニアカレッジ「恐竜がいたところの日本」, 丹波市ライブピア市島(19名)

先山 徹, 2009.10, 「山陰海岸ジオパークーめざせ世界ジオパークー」, 香美町海の文化館(40名)

先山 徹, 2009.10, 「甲山周辺の地形と地質」, 六甲山自然案内人の会, 西宮市(38名)

先山 徹, 2009.11, いきいき学舎・フレミラ「中山寺の石を見よう」, 宝塚市老人福祉センター, 宝塚市フレミラ(20名)

先山 徹, 2009.11, いきいき学舎・フレミラ「宝塚の地質と岩石」, 宝塚市老人福祉センター, 宝塚市フレミラ(20名)

先山 徹, 2009.12, 「兵庫の石」, 淡路文化会館老人大学, 淡路文化会館(22名)

先山 徹, 2010.1, TAMBA シニアカレッジ「恐竜がいたところの日本」, 丹波市中央公民館(23名)

先山 徹, 2010.1, 「生涯学習の場での地学教育ー兵庫県丹波地域の恐竜発掘と山陰海岸ジオパークー」, 鳥取県地学会, 鳥取県立博物館(40名)

先山 徹, 2010.3, 「ジオパーク活動の意味」豊中駅前まちづくり会社, ホテルアイボリー(20名)

先山 徹, 2010.1, 「ジオパークガイド養成講座・京丹後」, 山陰海岸ジオパーク推進協議会, 京丹后市役所丹後庁舎(40名)

先山 徹, 2010.3, 「山陰海岸ジオパークの特徴と竹野海岸」, 竹野スノーケルセンター・ビジターセンター(25名)

兵庫県立大学・大学院教育  
人と自然の共生(分担)  
非常勤講師

2009.4ー2009.9. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学,

- キャラバンおよび地域研究員養成事業  
展示作成  
2009.5 丹波地域, 丹波恐竜発掘状況等展示. (ゆめタウン氷上, 協働)  
セミナー担当  
2009.5 キャラバン丹波地域 かんたん化石レプリカづくり(講師・企画運営)  
2009.11 ひとはくフェスティバル「かんたん化石レプリカづくり」, 石ころクラブ(指導)  
成果発表  
2010.2 共生の広場 「山陰海岸ジオパーク地形・地質模型」, 石ころクラブ(指導・協働)
- ミニキャラバン事業  
2009.11 ふれあいの祭典・かんたん化石レプリカづくり(講師・企画運営)
- 連携事業  
共催事業  
2009.5, 大人の理科教室, 神戸新聞文化センター(セミナーの実施)  
2009.7ー9, バリのワンダフルデザイン, 淡路夢舞台温室(展示制作)  
2009.7ー12 丹波を知ろう・恐竜を知ろう, 丹波市(セミナーの実施)  
協力事業  
2010.3~, 大恐竜展, 大阪市自然史博物館(展示貸出)
- 学校教育支援  
講師派遣  
2009.8, 伊丹市教員研修「土の中の鉱物を見よう」, 伊丹市理科部会, 伊丹市立総合教育センター(10名)  
2009.11, 「地震の揺れ方と液状化の実験をしよう」, 加東市米田小学校6年生, (17名)

2009.12, 「色々な鉱物に触れてみよう」, 淡路市立志筑  
小学校6年生, (50名)

2010.1, 「みなぎ台周辺の地層」, 三木市立みなぎ台小  
学校6年生, 三木市吉川町野外(58名)

2010.1, 「有馬層群の観察と平木鉱山」大阪府高等学校  
地学研修, 加東市平木・三木市吉川(20名)

■ フェスティバル等

2009.11 ひとほくフェスティバル, 「恐竜×クイズ」(分担  
者).

■ 展示

企画展

2009.4.25 - 2009.5.30, 特別企画「丹波の恐竜を知ろう  
—3年間の発掘報告—」(責任者).

ミニ企画等

2009.12.12 - 2010.1.11, ミニ企画展「トラさんようこそ」(分  
担者).

2. シンクタンク事業

■ 受託研究

「城郭石垣の石材産地分析」. NPO 法人城郭遺産による  
街づくり協議会, 研究代表者(金額 30 万円)

「野島断層の保存・活用に関する研究業務」. 淡路市教育  
委員会. 研究分担者(27 万円)

■ 行政等支援

委員会等 (計 5 件)

2009.4 - 2010.3 山陰海岸ジオパーク専門部会, 兵庫分  
会長, 山陰海岸ジオパーク推進協議会.

2009.4 - 2010.3 玄武洞公園整備検討委員会, 委員, 豊  
岡市.

2009.4 - 2010.3 高砂市文化財調査専門部会, 委員, 高  
砂市.

2009.4 - 2010.3 六甲山自然保護センター, コーディネ  
ーター, 兵庫県神戸県民局.

2009.10 - 2010.3 生野鉱山の文化的景観調査委員会,  
協力員, 朝来市教育委員会.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 20 名. 電話・FAX 相談 5 件, メール相談 5  
件.

## 加藤 茂弘, KATO Shigehiro

自然・環境評価研究所

地域環境地質研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

昭和35年岐阜県生. 東京大学大学院理学系研究科博士課程  
単位取得後退学. 理学修士. 日本地理学会, 日本第四紀学会,  
日本人類学会, 日本活断層学会, 日本地形学連合等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース(展示・セミナー等)

#### 3. 研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進(研究部担当)

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

火山灰層序に基づく第四紀古環境変動に関する研究  
近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究  
地震断層の保存と活用に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の  
地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.  
部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテンツ  
の探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

加藤茂弘(2010)アプター低地—引き裂かれていく大陸.  
加藤碩一・山口 靖・渡辺 宏・山崎晴雄・汐川雄一・薦  
田麻子(編著), 『宇宙から見た地形』, 100-103, 朝倉  
書店.

##### ■ その他著作

◎Okada, A., Katoh, S., Toda, S. (2010)  
Hokudan International Symposium on Active Faulting  
2010 One-Day Field Trip Guide. The Operation  
Committee of the Hokudan International Symposium in  
Active Faulting, 23p.

##### ■ 研究発表

◎Mishima, T., Hyodo, M., Matsushita, M., Katoh, S.  
(2009.5) A geomagnetic record of the Gauss-Matuyama  
polarity transition recovered from an Osaka Bay sediment  
core. 日本地球惑星科学連合 2009 年大会, 幕張メッセ  
国際会議場, 千葉.

◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子(2009.5)マ  
ツヤマーブリュンヌ地磁気逆転トランジションに起こっ  
た寒冷化イベント. 日本地球惑星科学連合 2009 年大  
会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉.

◎谷川晃一郎・兵頭政幸・佐藤裕司・加藤茂弘・久保純子  
(2009.5)兵庫県豊岡盆地における完新世の相対的海

水準変動と堆積環境. 日本地球惑星科学連合 2009 年  
大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・加藤茂  
弘・田中里志 (2009.6) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠  
山層群より産出した恐竜類の歯について. 日本古生物  
学会 2009 年年会, 千葉大学, 千葉.

岡田篤正・加藤茂弘・石村大輔(2009.8)三方低地の地下  
地質に基づく三方断層帯の活動性の解明. 日本第四  
紀学会, 滋賀県立琵琶湖博物館, 滋賀.

◎北場育子・原田麻央・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・  
松下まり子(2009.8)大阪湾堆積物の花粉, 珪藻および  
硫黄分析に基づく海洋酸素同位体ステージ 21 の気候  
変化と海水準変動. 日本第四紀学会, 滋賀県立琵琶  
湖博物館, 滋賀.

◎上田哲士・山口 寛・小川康雄・村上英記・加藤茂弘  
(2009.9) Audio-frequency magnetotelluric (AMT) 法によ  
る山崎断層系大原断層の地下比抵抗構造探査. 地球  
電磁気・地球惑星科学学会 2009 年秋学会, 金沢大学,  
金沢.

三島稔明・兵頭政幸・谷川晃一郎・石田拓也・加藤茂弘・  
楊天水・Li Huidi・楊振宇(2009.9)中国 Lingtai レスセ  
クションにおける Gauss-Matuyama 地磁気逆転記録の  
予察的報告. 地球電磁気・地球惑星科学学会 2009 年  
秋学会, 金沢大学, 金沢.

石村大輔・竹村恵二・岡田篤正・加藤茂弘(2009.11)三方  
湖周辺の地下地質に基づく過去 10 万年間の堆積環境  
と三方断層帯の活動について. 日本活断層学会 2009  
年度秋季学術大会, 東洋大学, 東京.

◎Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Matsushita, M.  
(2009.12) A cooling event during the last geomagnetic  
polarity reversal: synchronous occurrence with a large  
decrease in field intensity. AGU2009Fall Meeting,  
Moscone Convention Center, San Francisco, California,  
USA.

Ishimura, D., Okada, A., Katoh, S., Takemura, K. (2010.1)  
Coseismic subsidence events identified in boring cores  
around Lake Mikata, central Japan. Hokudan  
International Symposium on Active Faulting 2010, 淡路  
市北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市

◎Ueda, S., Yamaguchi, S., Murakami, H., Katoh, S., Ogawa,  
Y., Kamataki, T., Yamada, Y. (2010.1) Magnetotelluric  
investigations of the Yamasaki Fault System, southwest  
Japan. Hokudan International Symposium on Active  
Faulting 2010, 淡路市北淡震災記念公園セミナーハウ  
ス, 淡路市.

##### ■ 学会役員など

日本活断層学会, 理事.

日本活断層学会, 普及教育専門委員会委員長.

国際地理学会京都大会準備委員会, 日本第四紀学会代  
表委員.

日本第四紀学会, 編集委員.

Quaternary International, レフェリー.  
第四紀研究, レフェリー.

■ 助成を受けた研究

近畿三角帯とその周辺地域の中期更新世テクニクスと地形発達. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額 91 万円/468 万円)

三方湖低地の地下地質と三方断層の活動解明. 東京地学協会, 研究分担者(金額 23.1 万円)

エチオピアにおける人類と類人猿化石の探索と進化的意義に関する研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(A)(海外学術), 研究分担者(金額 416 万円)

■ 海外調査

2009.7, 9, 11 台湾(台中市国立自然科学博物館, 921 地震教育園地)

2000.2-3 エチオピア(コンソ遺跡, チョローラ層分布地域他)

## 2. 資料収集・整理

■ 資料収集

2009.6-7 福井県若狭町三方五湖周辺の第四紀火山灰層やボーリングコア試料の収集.

2009.11-2010.3 宍粟市福知溪谷の泥炭層の収集.

■ 受贈担当資料

2009.4 福井県若狭町三方湖岸 60mボーリングコア.

■ 整理同定担当資料

後期新生代(とくに第四紀)の火山岩類(火山灰, 溶岩, 凝灰岩など)およびボーリングコア.

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

■ セミナー

館主催セミナー

◎加藤茂弘, 2009.4, ペーパークラフトで学ぶ火山のしくみ. 人と自然の博物館. (10 名)

加藤茂弘・先山 徹, 2009.4, 「春の石めぐりハイキングー丹生山地と帝釈鉱山ー」, 神戸市北区・野外. (33 名)

◎加藤茂弘, 2009.5, ペーパークラフトで学ぶ断層と地震. 人と自然の博物館. (10 名)

◎加藤茂弘・池田忠広, 2009.5, 「かんたん恐竜の歯のレプリカづくり」, 人と自然の博物館. (16 名)

加藤茂弘, 2009.5, 「大阪地域の活断層と近未来の大地震」, シニア自然大学 16 期花組, 人と自然の博物館. (60 名)

先山 徹・加藤茂弘, 2009.7, 「石ころクラブ」, 人と自然の博物館. (2 回, 32 名)

加藤茂弘, 2009.8, 「地学系収蔵庫ツアー」, 人と自然の会新入会員研修, 人と自然の博物館. (15 名)

加藤茂弘, 2009.9, 「地震と防災」, 西脇市にしたか婦人クラブ, 人と自然の博物館. (24 名)

加藤茂弘, 2009.10, 「鯨絵とたまし絵」, 人と自然の博物館. (12 名)

加藤茂弘・先山 徹, 2009.10, 「秋の石めぐりハイキングーたつの市ー」, たつの市・野外. (20 名)

古谷 裕・先山 徹・加藤茂弘, 2009.5, 「南あわじで地層を見る」, 南あわじ市・野外. (2 回, 25 名)

館外講演

加藤茂弘, 2009.9, 「日本における地震断層の保存と活用」, 台湾 921 地震教育園地(国立自然科学博物館分館)招待講演講師, 台湾 921 地震教育園地. (30 名)

加藤茂弘, 2009.10, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 阪神シニアカレッジ 4 年生, 講師, 宝塚リオ (150 名)

加藤茂弘, 2009.10, 「兵庫県の活断層と近未来の大地震」, 阪神シニアカレッジ 2 年生, 講師, 宝塚リオ (160 名)

加藤茂弘・森 康成ほか 3 名, 2009.11, 「台湾 921 地震教育園地と淡路市(北淡震災記念公園)との防災活動や地震防災・地学教育等に関する意見交流会」, 台湾 921 地震教育園地. (20 名)

加藤茂弘, 2009.12, 「宝塚の活断層と大地震の長期予測」, いきいき学舎・フレミラ(環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚(32 名)

加藤茂弘, 2009.12, 「中山寺周辺の活断層地形の観察: 有馬ー高槻活断層帯」, いきいき学舎・フレミラ(環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚(32 名)

加藤茂弘, 2010.1, 「北淡国際活断層シンポジウム 2010: 研究者と市民との交流会」, 企画・司会進行, 北淡国際活断層シンポジウム実行委員会, 北淡震災記念公園 セミナーハウス(200 名)

加藤茂弘・岡田篤正・遠田晋次, 2010.1, 「北淡国際活断層シンポジウム 2010: 六甲山巡検」, 企画・運営・講師, 北淡国際活断層シンポジウム実行委員会, E-Defense・有馬温泉・六甲断層ほか(28 名)

非常勤講師

2009.4ー2009.9. 「自然地理学概論・演習」, 兵庫教育大学.

2009.9 「フィールドワーク技法 II」, 兵庫教育大学.

■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2009.5 キャラバン丹波地域 かんたん化石レプリカづくり(講師), 丹波の森公苑. (50 名)

2009.11 ひとはくフェスティバル「かんたん化石レプリカづくり」, 石ころクラブ(指導)

2010.2, 丹波の恐竜化石発掘現地解説, 丹波市上滝. (70 名)

■ 連携事業

連携グループ等

東中国クマ集会(副担当)

Run Run Plaza(副担当)

南あわじ地学の会(副担当)

協力事業

2009.10 東播磨南北道路部分開通イベント「県立人と自

- 然の博物館展示コーナー(展示製作・実施), 兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所 東播磨南北道路対策室, 加古川市神野町福留(東播磨南北道路), 加古川市.
- 2010.1 北淡国際活断層シンポジウム 2010 普及講演会 および研究者との交流会(企画・実施). 北淡国際活断層シンポジウム実行委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市.
- 学校教育支援
    - トライやるウィーク
    - 2009.6.2, 三田市立上野台中学校, 三田市立狭間中学校, 三田市立けやき台中学校, 三田市立藍中学校, 各1名.
    - 学校団体対応
    - 2009.4, 「くらやみで光る鉱物を調べてみよう」, 大阪府立泉北高等学校(17名)
    - 2009.11, 「六甲山地周辺の地形と地質」, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生(41名)
    - 講師派遣
    - 2009.6, 「近未来の南海地震を考える」, 「グラリンで学ぶ耐震と免震」講師, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生(41名).
    - 2009.12, 「ペーパークラフトで学ぶ火山」, 「山崎断層と近未来の大地震」講師, 高砂市立荒井小学校6年生(120名).
  - 研修生等の受入
    - 卒論生等
    - 2009.4.1-2010.3.31, 北場育子(神戸大学大学院理学研究科博士課程1年), 大阪湾堆積物の花粉分析によるマツヤマープリュンヌ地磁気逆転期の高精度気候層序.
    - 2009.4.1-2010.3.31, 石村大輔(京都大学大学院理学研究科博士課程1年), 三方鳥浜60mボーリングコアの解析に基づく三方断層帯活動史の解明.
  - 展示
    - ミニ企画等
    - 2009.9.1-10.31, ミニ企画展示「だまし絵といろいろなだまし」(企画・展示作成).
- ## 2. シンクタンク事業
- 受託研究
    - 「野島断層の保存・活用に関する研究業務」. 淡路市教育委員会. 研究代表者(27万円)
  - 収蔵庫・ジーンファームの公開
    - 地学系収蔵庫等の案内, 12回, 34名.
  - 行政等支援
    - 委員会等 (計2件)
    - 2009.4- . 野島断層活用委員会, 委員, 淡路市教育委員会.
    - 2009.3-2010.3. 北淡国際活断層シンポジウム 2010 実行委員会, 委員及び事務局幹事, 淡路市教育委員会.
    - 相談・指導助言
    - 来訪者5件, 10名. 電話・FAX 相談30件, メール相談50件.
    - 2009.9 台湾 921 地震教育園区内の地震断層のTOT溶液を用いた保存処理と指導. 台湾 921 教育園区, 台湾.
    - 2009.12 野島断層保存館内の地震断層の保存・修復作業の指導・予言. 淡路市教育委員会.
    - 2010.2 鯨絵等の震災関連資料の展示活用についての助言. 徳島県立博物館.
  - 学会開催等支援
    - 2010.1 北淡国際活断層シンポジウム 2010 開催. 526名.

## 古谷 裕, FURUTANI Hiroshi

自然・環境評価研究所

埋蔵自然遺産研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門

准教授.

昭和27年島根県生. 名古屋大学大学院理学研究科博士課程単位取得満了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース, 恐竜・化石大作戦展示統括

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 古生代放散虫化石の研究
2. 兵庫県内の中・古生層の研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究代表者.  
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

##### ■ その他著作

Fumio Kobayashi and Hiroshi Furutani (2009) Early

Permian fusulinnes from the western part of Mt.Ryozen, Shiga Prefecture, Japan. *Humans and Nature* (人と自然), 20, 29-54.

古谷 裕(2010)身近な化石の話. ひとくレター(メールマガジン, 1月29日).

◎Saegusa, H., Ikeda, T., Tanaka, S., Matsubara, T., Furutani, H., and Handa, K. (2009) Preliminary observations on vertebrate fossils from the Lower Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. *Abstracts and Post-symposium Field Excursion Guidebook 4th International Symposium of the IGCP 507, Paleoclimates of the Cretaceous in Asia and their global correlation*, 60-61.

##### ■ 研究発表

◎先山 徹・佐藤裕司・古谷 裕・高橋 晃・藤本真里・山崎義人(2009)地域と連携した博物館の学習プログラム—人と自然の博物館による恐竜発掘と生涯学習—. 日本地学教育学会, 三重大学, 津市.

◎Saegusa, H., Ikeda, T., Tanaka, S., Matsubara, T., Furutani, H., and Handa, K. (2009) Preliminary observations on

vertebrate fossils from the Lower Cretaceous Sasayama

Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. *4th International*

*Symposium of the IGCP 507, Paleoclimates of the*

*Cretaceous in Asia and their global correlation*, 熊本大学,

熊本市.

##### ■ ブログへの情報提供

2件

##### ■ 助成を受けた研究

恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者(金額10万円/370万円).

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.11 含化石岩石資料, 上郡町.

2010.3 含化石岩石資料. 宮崎県高千穂町, 五ヶ瀬町.

##### ■ 整理同定担当資料

無脊椎動物化石.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

古谷 裕・先山 徹・加藤茂弘, 2009.5, 「南あわじで地層を見る」, 南あわじ市, (2回, 25名)

◎古谷 裕, 2009.8, 「いろいろな化石を見る」, 博物館. (19名)

古谷 裕「地層の見方・調べ方 in 淡路」, 南あわじ市(11名)

古谷 裕「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 篠山市・丹波市(28名)

◎古谷 裕, 2009.8, 「いろいろな化石を見る」, 南あわじ市. (5名)

◎古谷 裕, 2009.4~2010.3, 「顕微鏡で見る化石」, 博物館. (6回, 269名)

古谷 裕, 2009.5~2009.11「実演, 解説! 恐竜ラボ」, 博物館. (6回, 81名)

古谷 裕・フロントスタッフ, 2009.10「フカタン, 化石を探そう」, 博物館・深田公園. (16名)

古谷 裕・先山 徹, 2009.11~2009.12, 「君も発掘隊員 丹波の恐竜化石を探しだそう」博物館. (2回, 130名)

館外講演

古谷 裕, 2009.6, 「文体地球学セミナー 篠山層群・丹波帯の地層と化石」, 兵庫県立文化体育館, 講師. (22名).

古谷 裕, 2009.7, 「宝塚市民カレッジ 本科・宝塚学コース 古生物・地質学から見た宝塚」, 宝塚市立東公民館, 講師. (30名)

古谷 裕, 「親子で楽しむ夏休み 化石のレプリカをつくろう」, サンピア明石, 講師. (35名)

古谷 裕, 2010.2 「いきいき学舎フレミラ 街の中で化石

- 探し、宝塚で見られる地層と化石」, 講師, フレミラ宝塚(63名)
- 古谷 裕, 2010.2 「超丹波帯の時代, 古生代とは?」, 丹波市青垣公民館, 講師, (15名)
- 兵庫県立大学・大学院教育共生生物学(分担)
- キャンパバンおよび地域研究員養成事業
    - 主担当
    - 2009.4～2010.3 「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」
    - セミナー担当
    - 2009.6 丹波地域 「超丹波帯の時代, 古生代とは」(講師)
    - 2010.2 丹波地域 「超丹波帯の時代, 古生代とは?」(講師)
  - ミニキャンパバン事業
    - 2009.10, ふれあいフェスティバル(分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 明石公園.
  - 連携事業
    - 連携グループ等
    - 南あわじ地学の会(主担当)
    - 篠山層群をしらべる会(顧問)
    - 共催事業
    - 2009.4～2009.5, ～民俗学のふるさと・銀の馬車道ふれあい事業～「歴民に化石がやってくる! ～第3幕中生代II～」, 福崎町教育委員会(展示製作)
    - 2009.8, 篠山市立中央図書館企画展「篠山に生きた古生物展」, 篠山市立中央図書館, (展示製作)
    - 協力事業
    - 2009.5, GW フェア 恐竜フェスティバル, 丹波の森ショッピングタウン(資料貸し出し, 展示製作)
    - 2009.10, 東播磨南北道路部分開通イベント「県立人と自然の博物館展示コーナー(展示製作・実施)」、兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所 東播磨南北道路対策室
    - 2009.11, 六甲山ウォーク 2007, 国土交通省六甲砂防事務所(展示制作)
  - 学校教育支援
    - 学校団体対応
    - 2009.4, 大阪府立泉北高等学校(17名)
    - 2009.4 兵庫県立大学附属中学校1年生(42名)
    - 2009.4 相生私立中学校(51名)
    - 2009.8 兵庫県立柏原高等学校(31名)
    - 2009.9 稲美町立天満小学校3年生(108名)
    - 2009.10 高砂市立伊保小学校5年生(124名)
    - 2009.10 西脇市立西脇中学校2年生(205名)
    - 2009.11 兵庫県立大学附属中学校1年生(9名)

- 講師派遣
- 2009.8. 「初任者研修 篠山市教育委員会第2回校外研修」, 篠山市立西紀高齢者コミュニティセンター, 講師, 篠山市教員(8名)
- 2009.10 「苧野小学校周辺の地層」, 姫路市立苧野小学校, 講師, (8名)
- 2009.11 「生瀬小学校周辺の地層・岩石・化石」, 西宮市立生瀬小学校, 講師, (93名)
- 2009.11 「ようこそ! キッズラボ! ～古谷博士 with こども研究員～」, 講師, キッズプラザ大阪, 講師, (28人)
- 2009.12 「南甲子園小学校周辺の岩石・化石」, 西宮市立南甲子園小学校, 講師, (146名)
- 2009.12 「光明小学校周辺の岩石・化石」, 宝塚市立光明小学校, 講師, (50名)
- 2010.1 「伊保小学校とその周辺の化石」, 高砂市立伊保小学校, 講師, (118名)
- 2010.1 「篠山で地層を観察する」, 篠山市立八上小学校, 講師, (27名)
- 2010.2 「神原小学校周辺の地層・岩石・化石」, 西宮市立神原小学校, 講師, (60名)
- 研修生等の受入
    - 博物館実習
    - 2009.8.10, 学生3名.
  - フェスティバル等
    - 2009.11 ひとつはくフェスティバル, 「電子顕微鏡で見る虫の顔・小さな化石」(責任者).
  - 展示
    - 企画展
    - 2009.4.25 - 2009.5.31, 特別企画「丹波の恐竜を知ろう」(分担者).
    - 2009.10.24 - 2009.12.27, 特別企画「竜と獣の道」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

- 受託研究
  - 「野島断層の保存・活用に関する研究業務」. 淡路市教育委員会. 研究分担者(27万円)
- 行政等支援
  - 委員会等 (計1件)
  - 2010.3- . 丹波市山南町化石工房展示プロポーザル審査.
  - 相談・指導助言
  - 来訪者 10件, 12名. 電話・FAX 相談 11件, メール相談 2件.



## 三枝 春生, SAEGUSA Haruo

自然・環境評価研究所

埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門 准教授.

昭和33年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

恐竜タスクフォース(サブリーダー)

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
2. 恐竜を中心とした兵庫県産出の脊椎動物化石

##### ■ 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.  
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

- Saegusa, H. and Haile-Selassie, Y. (2009) Chapter 15 Proboscidea. In (Y. Haile-Selassie and G. WoldeGabriel eds). *Ardipithecus kadabba: Late Miocene Evidence from the Middle Awash, Ethiopia. The Middle Awash Series Volume 2*, 469-516. University of California Press, Berkeley.
- White, T.D., Ambrose, S.H., Suwa, G., Su, D.F., DeGusta, D., Bemor, R.L., Boisserie, J.-R., Brunet, M., Delson, E., Frost, S., Garcia, N., Giaourtsakis, I.X., Haile-Selassie, Y., Howell, F.C., Lehmann, T., Likius, A., Pehlevan, C., Saegusa, H., Semperebon, G., Teaford, M., Vrba, E. (2009) Macrovertebrate paleontology and the Pliocene habitat of *Ardipithecus ramidus* *Science* 326, 87-93.
- ##### ■ その他著作
- ◎三枝春生(2009) 兵庫県における恐竜等白亜紀脊椎動物化石群の調査研究について, 博物館研究, vol. 44, No.2, 18-22.
- ◎三枝春生(2009) 期待高まる世紀の発見「丹波竜」の全貌に迫る! 「恐竜2009-砂漠の奇跡」公式カタログ, 60-63, 日本経済新聞社.
- ◎三枝春生(2009) ティラノサウルス類の歯の発見につい

て, ひとく新聞, 9月30日号.

- ◎Tadahiro Ikeda and Haruo Saegusa (2009) Preliminary report on fossil lizards from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, SW Japan. *Journal of Vertebrate Paleontology*, 29 (3, supplement): 119A.
- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Tanaka, S., Matsubara, T., Furutani, H., and Handa, K. (2009) Preliminary observations on vertebrate fossils from the Lower Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. *Abstracts and Post-symposium Field Excursion Guidebook 4th International Symposium of the IGCP 507, Paleoclimates of the Cretaceous in Asia and their global correlation*, 60-61.
- ##### ■ 研究発表
- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・加藤茂弘・田中里志(2009) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群より産出した恐竜類の歯について. 日本古生物学会2009年年会, 千葉大学, 千葉市.
- 三枝春生(2009) 長鼻類臼歯の咀嚼様式の進化. 化石研究会第27回総会・学術大会, 鶴見大学, 横浜市.
- Tomida, Y., Nakaya, H., Saegusa, H., Miyata, K., and Fukuchi, A. (2009) Miocene land mammals and stratigraphy of Japan. *Neogene Terrestrial Mammalian Biostratigraphy and Chronology in Asia—A Symposium and Workshop toward the Establishment of a Continent-Wide Stratigraphic and Chronologic Framework*, Beijing.
- Yupa, T., Ratanasthien, B., Saegusa, H., Tanaka, S., Nakaya, H. and Jintasakul, P. (2009) Proboscidean fossil in Thailand and Paleoenvironment. *Neogene Terrestrial Mammalian Biostratigraphy and Chronology in Asia—A Symposium and Workshop toward the Establishment of a Continent-Wide Stratigraphic and Chronologic Framework*, Beijing.
- ◎Tadahiro Ikeda and Haruo Saegusa (2009) Preliminary report on fossil lizards from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, SW Japan. 69th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, University of Bristol, Bristol, United Kingdom.
- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Tanaka, S., Matsubara, T., Furutani, H., and Handa, K. (2009) Preliminary observations on vertebrate fossils from the Lower Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. 4th International Symposium of the IGCP 507, Paleoclimates of the Cretaceous in Asia and their global correlation, 熊本大学, 熊本市.
- Zin-Maung-Maung-Thein, Takai, M., Uno, H., Saegusa, H., Thaug-Htike, Tsubamoto, T., Egi, N., Nishimura, T., Wynn, J., Yoneda, M. (2010) Preliminary Report of the Middle Miocene Thanbinkan Mammalian Fauna (Central Myanmar) and its Paleoenvironmental Analysis. 日本古

生物学会第159回例会, 滋賀県立琵琶湖博物館, 草津市.

- 学会役員など  
化石研究会特集号編集委員, レフェリー  
Paleontological Research, レフェリー
- 助成を受けた研究  
篠山層群産恐竜化石の研究. 文部科学省科学研究費基礎研究(B), 研究代表者(金額500万円/1481万円).
- 海外調査  
2009.11 中国・北京, 石家荘  
2009.12 タイ・カラシン, ナコンラチャシマ, ミャンマー・ヤンゴン  
2010.3 中国・北京, 鄭州, 蘭州, 杭州

## 2. 資料収集・整理

- 資料収集  
2009.1-3 丹波市産恐竜化石の発掘, 丹波市.
- 整理同定担当資料  
脊椎動物化石(哺乳類, 恐竜類).

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

- セミナー  
館主催セミナー  
三枝春生, 2009.5, 「丹波の恐竜化石第三次発掘報告会」, 人と自然の博物館(全1回, 28名).  
三枝春生, 2009.7, 「兵庫の恐竜」, 人と自然の博物館(全1回, 44名).  
◎池田忠弘・三枝春生, 2009.7, 「カエルの骨格標本作製教室」, 人と自然の博物館(全2回, 11名).  
三枝春生, 2009.11, 「丹波の恐竜—研究の現状と展望」, 上久下地域づくりセンター(全1回, 19名).  
三枝春生, 2009.11, 「丹波市における恐竜等の化石発掘について」, 講師, 兵庫県中学校理科教育研究大会 丹有大会記念講演, 人と自然の博物館(50名).  
◎三枝春生, 2009.4-2009.5, 「実演, 解説恐竜ラボ!」, 人と自然の博物館.(全6回, 108名)  
館外講演  
三枝春生, 2009.7, 「丹波の恐竜化石」, 講師, 姫路赤十字病院地域医療連携交流会, ホテル日航姫路(60名).  
三枝春生, 2009.7, 「丹波の恐竜化石」, 講師, 文体地球学セミナー, 兵庫県立文化体育館(40名).  
三枝春生, 2009.9, 「丹波の草食恐竜—第三次発掘調査結果」, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ, ソリオ2内シニアカレッジ学習室(100名).  
三枝春生, 2009.10, 「丹波の草食恐竜—第三次発掘調査結果」, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ, ソリオ2内シニアカレッジ学習室(100名).  
三枝春生, 2009.10, 「丹波の草食恐竜—第三次発掘調査結果」, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ, ソリオ2内

シニアカレッジ学習室(100名).

- 三枝春生, 2009.10, 「丹波の恐竜化石発掘3年間の成果」, 講師, 丹波の森大学, たんば田園交響ホール(400名).
  - 三枝春生, 2009.10, 「地球史をひも解く恐竜化石」, 講師, 自然を生かした地域づくり, ひょうご講座, 兵庫県民会館(40名).
  - 三枝春生, 2009.11, 「丹波の恐竜化石」, 講師, 御船町恐竜博物館地学セミナー, 御船町カルチャーセンター(40名).
  - 三枝春生, 2009.12, 「丹波の恐竜を知らう」, 講師, 兵庫県立大学第8回「知の創造」シリーズフォーラム, 兵庫県公館(140名).  
兵庫県立大学・大学院教育  
共生生物学(野外実習分担)  
ラジオ・テレビ等出演  
2010.6.20, ティラノサウルス類化石に関する各社ニュース, ABC, YTV, サン, 毎日  
2009.11.27, 「荒川強啓デイ・キャッチ」, TBSラジオ  
2010.1.9, 丹波恐竜化石発掘に関する各社ニュース, NHK, 関西, ABC, YTV, サンテレビ  
2010.2.18, 丹波恐竜化石発掘に関する各社ニュース, NHK, 関西, ABC, YTV, サンテレビ  
2010.3.9, 丹波恐竜化石発掘に関する各社ニュース, NHK, 関西, ABC, サンテレビ
  - キャラバンおよび地域研究員養成事業  
2009.6. 地域研究員新規受け入れ16名
  - 連携事業  
共催事業  
2009.6, 現生貝エビと篠山層群化石探索会, 西紀南部開発促進協議会(セミナーの実施, 展示)
  - 学校教育支援  
トライやるウィーク  
2009.6.2, 上野台, 狭間, けやき台, 藍中学校各1名, 計4名.
  - 展示  
ミニ企画等  
2009.4.25-5.31, 特別企画「丹波の恐竜を知らう—3年間の発掘報告—」(分担者).  
2009.10.24-12.27, 特別企画「竜と獣の道展」(分担者).  
2009.12.5-1.11, 臨時企画「篠山の角竜と丹波の蛙化石」(分担者).
- ### 2. シンクタンク事業
- 行政等支援  
委員会等(計4件)  
2009.4-2010.3. 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会委員, 篠山市.  
2009.9. 旧上久下村営上滝発電所展示備品設置提案プロポーザルに係る選考委員会委員, 丹波市.  
2009.10-11. 長崎県鷹島船唐津化石発掘調査支援, 長崎

県松浦市。  
2010.3. 丹波竜化工工房拡充工事企画提案プロポーザルに係る選考委員会委員，丹波市。  
相談・指導助言  
2009.4－8. 「恐竜 2009-砂漠の奇跡」展に対する学術協力，日本経済新聞社。  
2009.5 篠山層群の化石に関する取材への対応，日経ナショナルジオグラフィック社。

2009.6 エリテリウムが発見に対するコメント，メールおよび電話，朝日新聞社。  
2009.10 ラミダス猿人の生活環境の研究に関するコメント，メールおよび電話，朝日新聞社。  
2010.2 インターネット配信番組サイエンスネットワーク取材への対応，科学技術振興機構。  
2010.3 「大恐竜展」関連記事取材への対応，読売新聞社。

## 半田 久美子, HANDA Kumiko

自然・環境評価研究所

埋蔵自然遺産研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和45年栃木県生。大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了。理学修士。

日本植生史学会, 日本花粉学会, 日本第四紀学会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室, フェスティバルマネージャー ひとつはくフェスティバル'09の実行委員会事務局長として企画運営を行う

#### 2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース, 発掘担当, 山南化工工房クリーニングスタッフ支援担当, ボランティア顕彰式担当

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 新生代における植生・植物相の変遷史
2. 花粉の形態分類学的研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者。  
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者。

##### ■ 論文・著書

◎寺田和雄・半田久美子(2009)古第三系神戸層群の材化石(予報)。福井県立恐竜博物館紀要8, 17-29。

##### ■ その他著作

◎Saegusa, H., Ikeda, T., Tanaka, S., Matsubara, T., Furutani, H., and Handa, K. (2009) Preliminary observations on vertebrate fossils from the Lower Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. Abstracts and Post-symposium Field Excursion Guidebook 4th International Symposium of the IGCP 507, Paleoclimates of the Cretaceous in Asia and their global correlation, 60-61.

##### ■ ブログへの情報提供

1件

##### ■ 研究発表

寺田和雄・半田久美子(2010)古第三系神戸層群の材化石群集に植物相変遷が見られるか? 日本植物分類学会第9回大会, 愛知教育大学, 刈谷市。

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・加藤茂弘・田中里志(2009)兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群より産出した恐竜類の歯について。日本古生物学

会2009年年会, 千葉大学, 千葉市。

◎Saegusa, H., Ikeda, T., Tanaka, S., Matsubara, T., Furutani, H., and Handa, K. (2009) Preliminary observations on vertebrate fossils from the Lower Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. 4th International Symposium of the IGCP 507, Paleoclimates of the Cretaceous in Asia and their global correlation, 熊本大学, 熊本市。

##### ■ 学会役員など

日本花粉学会, 図書幹事。

日本植生史学会, 編集書記。

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 神戸層群産珪化木, 神戸市, 西宮市, 東条町, 三木市。

2009.12 和泉層群産木材化石, 南あわじ市。

2010.1-3 篠山層群産恐竜化石発掘, 丹波市。

##### ■ 受贈担当資料

2009.10 神戸層群の珪化木(三田市福島産)。1点。

2009.11 神戸層群産珪化木(喜久元コレクション)。5点。

2009.12 神戸層群産珪化木(宮津コレクション)。19点。

2009.12 神戸層群産珪化木(地学研究記載標本)。2点。

2010.2 神戸層群産珪化木(北区道場町産)。1点。

##### ■ 整理同定担当資料

植物化石。

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2009.4「神戸層群の木材化石を観察しよう」, 神戸市立森林植物園森林展示館研修室。(21名)

半田久美子, 2009.8「花粉の観察:花粉だんごを調べよう」, 人と自然の博物館。(14名)

半田久美子, 2009.8「珪化木を観察しよう」, 人と自然の博物館。(7名)

半田久美子, 2009.12「花粉だんごの中の花粉の観察」, 人と自然の博物館。「愛蜂家養成講座・上級」の一部を分担, 16人)

◎半田久美子, 2009.4-2009.12「実演, 解説! 恐竜ラボ」, 人と自然の博物館。(6回, 248人)

◎半田久美子ほか, 2009.4-2009.5「かんたん! レプリカ作り」, 人と自然の博物館。(3回, 53人)

◎半田久美子ほか, 2009.12「君も発掘調査隊員! 丹波の恐竜化石を探そう」, 人と自然の博物館。(30人) 館外講演

半田久美子, 2009.7「神戸層群の化石」, 豊中市教育センター, 講師, 人と自然の博物館(40名)

半田久美子, 2009.8「神戸市周辺で見られる化石と地層」, 神戸市教育委員会 理科授業実践力向上研修, 講師,

人と自然の博物館(83名)

半田久美子, 2010.3, 「丹波の恐竜化石について」, 神戸教悠会, 講師, 人と自然の博物館. (40名)

半田久美子, 2010.3「化石のおはなし-白川周辺の化石を中心に」, 北須磨文化センター-科学者シリーズ第4弾, 講師, 北須磨文化センター. (65名)

■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2010.1. 学校キャラバン 神戸層群の植物化石と珪化木

■ 学校教育支援

学校団体対応

2009.4. 京都府立桃山高等学校1年生(88名).

講師派遣

2009.5, 「兵庫県立人と自然の博物館の展示と研究」, 講師, 神戸大学附属中等教育学校1年生(114名).

2009.5-2010.2, 「プロジェクト学習」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生(4名).

■ 研修生等の受入

博物館実習

2009.8. 神戸大学, 静岡大学, 近畿大学(3名)

卒論生等

2009.4.1-2011.3.31, 仁木 佐知恵(神戸女学院大学 人間科学研究科 環境科学分野 前期博士課程), セイウミツバチの植物利用の在来種に与える影響.

■ フェスティバル等

2009.11 ひとつはくフェスティバル(フェスティバルマネージャー・実行委員会事務局長).

■ 展示

ミニ企画等

2010.2.6 -2010.3.31 トピックス展「河原で採集した珪化木(竹内コレクション展)」(責任者).

## 2. シンクタンク事業

■ 行政等支援

委員会等(計1件)

2009.7-2010.3 加東市とひとつはく協力協定連携推進会議委員

相談・指導助言

来訪者10件, 20名. 電話・FAX 相談5件, メール相談1件.

## 松原 尚志, Takashi MATSUBARA

自然・環境評価研究所

埋蔵自然遺産研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

昭和43年宮城県生. 東北大学大学院理学研究科博士課程(後期)単位取得退学. 博士(理学). 日本古生物学会, 日本貝類学会, Paleontological Society (USA)等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース, 「ひとくはく恐竜・化石大作戦!!」幟(のぼり)デザイン. 特別企画「竜と獣の道展」責任者. 同特別企画ポスター・チラシ・クリアフォルダのデザインおよび関連イベントの企画・実施. 第4次発掘調査および恐竜化石産地周辺の地質調査.

#### 3. 研究開発部門

研究・シンクタンク推進室 資料担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 北西太平洋地域の新生代貝類に関する研究
2. 下部白亜系篠山層群に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者. 部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

Matsubara, T. (2009) Neogene molluscan fauna from the Yunokogawa Formation in the Shimokita Peninsula, northeast Japan. *Paleontological Research*, vol. 13, 173-192.

Matsubara, T. (2009) A checklist of species-group names of Cenozoic Campanile (Gastropoda: Campanilidae). *Paleontological Research*, vol. 13, 285-292.

◎松原尚志 (2009) 古第三紀堆積岩類. 3.2.1. 中国山地南部～瀬戸内海東部沿岸. 日本地質学会(編), 日本地方地質誌「中国地方」, 110-112. 朝倉書店, 東京.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘 (2009) 東京大学総合研究博物館所蔵の新生代軟体動物タイプ標本図説. 4. カネハラカガミ属. ちりぼたん, vol. 40, 23-28.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘・天野和孝 (2010) 東京大学総合研究博物館所蔵の新生代軟体動物タイプ標本図説. 6. カガミガイ属. ちりぼたん, vol. 40, p. 98-106.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘・天野和孝 (2010) 東京大学総合研究博物館所蔵の新生代軟体動物タイプ

標本図説. 7. ヤベホタテガイ属. ちりぼたん, vol. 40, no. 2, p. 107-113.

大石雅之・松原尚志・小守一男 (2010) 岩手県二戸郡一戸町の中中新統末ノ松山層から産出した

*Desmostylus* の臼歯. 岩手県立博物館研究報告, no. 27, 1-11.

佐々木猛智・松原尚志・伊藤泰弘・天野和孝 (2009) 東京大学総合研究博物館所蔵の新生代軟体動物タイプ標本図説. 5. スカシガイ科. ちりぼたん, vol. 40, 29-44.

鈴木茂之・松原尚志・松浦浩久・檀原 徹・岩野英樹 (2009) 岡山市周辺の吉備高原に分布する古第三系「山砂利層」と海成中新統. 地質学雑誌, vol. 115 補遺, 139-151.

山野井 徹・齋藤喜和子・松原尚志・小守一男 (2010) 岩手県二戸地域の門ノ沢層(中新統)からマングローブ(メヒルギ属)化石の発見. 地質学雑誌, vol. 116, 114-117.

##### ■ その他著作

松原尚志 (2009) 表紙イラストの説明. ちりぼたん, vol. 40 (50周年記念号), 64.

松原尚志 (2009) 佐賀県の古第三系杵島層産のフタバシラガイ科二枚貝類の新種(要旨). *Venus*, vol. 67, 77.

松原尚志 (2009) 瀬戸内海東部沿岸地域の海成古第三系と貝類化石群. 日本地質学会第116年学術大会(岡山)講演要旨, 00.

松原尚志・塩見良三 (2010) 岩滝コアの貝類遺骸群集と阿蘇海の古環境. 植村善博(編), 京丹後市久見浜湾の古環境と形成過程—阿蘇海・天橋立との比較—, 107-112. 京丹後市教育委員会, 京丹後.

◎澤田順弘・入月俊明・酒井哲弥・尾崎正紀・松原尚志 (2009) 中国地方の後期古第三紀から中新世にかけての諸問題. 日本地質学会第116年学術大会(岡山)講演要旨, 00.

◎Saegusa, H., Ikeda, T., Tanaka, S., Matsubara, T., Furutani, H., and Handa, K. (2009) Preliminary observations on vertebrate fossils from the Lower Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. Abstracts and Post-symposium Field Excursion Guidebook 4th International Symposium of the IGCP 507, Paleoclimates of the Cretaceous in Asia and their global correlation, 60-61.

##### ■ 研究発表

松原尚志 (2009) 佐賀県の古第三系杵島層産のフタバシラガイ科二枚貝類の新種. 平成21年度日本貝類学会大会. 大阪市立自然史博物館, 大阪.

◎松原尚志 (2009) 瀬戸内海東部沿岸地域の海成古第三系と貝類化石群. 日本地質学会第116年学術大会, 岡山理科大学, 岡山.

松原尚志 (2010) 門ノ沢動物群に付随するツキガイ類(二枚貝綱)3種の分類学的再検討. 日本古生物学会第

159 回例会, 滋賀県立琵琶湖博物館, 大津.  
松原尚志・小守一男・大石雅之 (2009) 岩手県一戸町の  
中新統末ノ松山層から産出した *Desmostylus* 臼歯につ  
いて. 日本古生物学会 2009 年年会, 千葉大学, 千  
葉.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・加藤茂  
弘・田中里志 (2009) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠  
山層群より産出した恐竜類の歯について. 日本古生物  
学会 2009 年年会, 千葉大学, 千葉.

◎澤田順弘・入月俊明・酒井哲弥・尾崎正紀・松原尚志  
(2009) 中国地方の後期古第三紀から中新世にかけて  
の諸問題. 日本地質学会第 116 年学術大会, 岡山理  
科大学, 岡山.

#### ■ 学会役員など

日本貝類学会, 編集委員.

日本古生物学会「Paleontological Research」レフェリー.

日本貝類学会「Venus」レフェリー.

日本貝類学会「ちりぼたん」レフェリー.

#### ■ 助成を受けた研究

中国地方における第三系の年代と地質学的背景の再検  
討. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者  
(代表者: 島根大学教授 澤田順弘; 金額 20 万円/  
140 万円).

## 2. 資料収集・整理

#### ■ 資料収集

2009.11. 中新世貝類化石. 島根県.

2010.1-3. 篠山層群産恐竜化石. 丹波市.

2010.3 始新世貝類化石. 岡山県.

#### ■ 受贈担当資料

2009.9 中新統北但層群産貝類化石(長岡桂助氏コレク  
ション). 800 点.

#### ■ 整理同定担当資料

新生代化石貝類標本(二枚貝綱, 腹足綱, 掘足綱)

池邊展生博士蔵書・地質資料

森下 晶博士蔵書

## < 事業推進 >

### 1. 生涯学習事業

#### ■ セミナー

館主催セミナー

◎松原尚志, 2009.4-2009.11, 「実演・解説ひとほく恐竜ラ

ボ」, 博物館. (全 6 回, 137 名)

松原尚志, 2009. 5, 「化石のレプリカをつくろう」, 博物館.  
(15 名)

松原尚志・池田忠広, 2009. 5, 「かんたん恐竜の歯のレプ  
リカづくり」(17 名)

松原尚志, 2009.11, 「小さな化石の抽出と観察」, 博物館.  
(5 名)

#### 館外講演

松原尚志, 2009.9, 「岡山市周辺の吉備高原に分布する  
古第三系「山砂利層」と海成中新統」, 日本地質学会第  
116 年学術大会見学旅行, 講師(分担), 岡山市北部  
(20 名)

#### ラジオ・テレビ等出演

2009.10, 「竜と獣の道展の開催」, サンテレビ.

#### ■ 学校教育支援

##### 講師派遣

2009.12, 松原尚志, 「兵庫県の化石」(高校連携セミナ  
ー), クラーク記念国際高等学校, 芦屋(109 名)

#### ■ 研修生等の受入

##### 博物館実習

2009.8.18-8.19, 神戸大学理学部 1 名, 静岡大学理学部 1  
名, 近畿大学農学部 1 名.

#### ■ フェスティバル等

◎2009.11 ひとほくフェスティバル, 「君も発掘隊員, 丹  
波の恐竜化石をさがしだそう!!」, 博物館. (全 2 回, 65  
名)(分担者).

#### ■ 展示

##### 企画展等

2009.10.24-2009.12.27, 特別企画「竜と獣の道展 ―太古  
の兵庫を歩いた生き物たち」(責任者).

## 2. シンクタンク事業

#### ■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 4 回, 26 名.

#### ■ 行政等支援

##### 相談・指導助言

来訪者 15 件, 18 名. 電話・FAX 相談 4 件, メール相談  
20 件.

#### ■ 学会開催等支援

2009.9 日本地質学会第 116 年学術大会(岡山)シンポジ  
ウム「中国地方における新生界の諸問題: 新たな地平  
をめざして」世話人・座長(分担).

## 池田 忠広, IKEDA Tadahiro

自然・環境評価研究部  
埋蔵自然遺産研究グループ  
研究員

昭和53年埼玉県生。鹿児島大学大学院理工学研究科博士課程修了。理学博士。日本古生物学会、日本爬虫両棲類学会、Society of Vertebrate Paleontology 所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 発掘担当

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 下部白亜系篠山層群産有鱗類化石の分類学的研究
2. 日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」、研究分担者。部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」、研究分担者。

##### ■ その他著作

- ◎Tadahiro Ikeda and Haruo Saegusa (2009) Preliminary report on fossil lizards from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, SW Japan. Journal of Vertebrate Paleontology, 29 (3, supplement): 119A.
- Saegusa, H., Ikeda, T., Tanaka, S., Matsubara, T., Furutani, H., and Handa, K. (2009) Preliminary observations on vertebrate fossils from the Lower Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. Abstracts and Post-symposium Field Excursion Guidebook 4th International Symposium of the IGCP 507, Paleoclimates of the Cretaceous in Asia and their global correlation, 60-61.

池田忠広(2009)ちいさな骨の世界。ひとはく図鑑。ひとはく新聞(9月30日)。

##### ■ 研究発表

- ◎Tadahiro Ikeda and Haruo Saegusa (2009) Preliminary report on fossil lizards from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, SW Japan. 69th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, University of Bristol, Bristol, United Kingdom.
- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・加藤茂弘・田中里志(2009)兵庫県丹波市の下部白亜系篠山

層群より産出した恐竜類の歯について。日本古生物学会2009年年会、千葉大学。

- ◎Haruo Saegusa, Tadahiro Ikeda, Satoshi Tanaka, Takashi Matsubara, Hiroshi Furutani, and Kumiko Handa (2009) PRELIMINARY OBSERVATIONS ON VERTEBRATE FOSSILS FROM THE LOWER CRETACEOUS SASAYAMA GROUP IN HYOGO PREFECTURE, SW JAPAN. 4th International Symposium of the IGCP 507, Kumamoto University, Japan.

##### ■ 助成を受けた研究

篠山層群産恐竜化石の研究。文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者(金額110万円/500万)

##### ■ 海外調査

2009.9 米国 アリゾナ州 Midwestern University

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2010.1-3 下部白亜系篠山層群産恐竜化石の発掘。丹波市、兵庫県。

##### ■ 整理同定担当資料

有鱗類化石(トカゲ類)  
両棲類化石(カエル類)

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

池田忠広, 2009. 4-8, 「恐竜について学ぼう」, 博物館(全4回, 446名)

◎池田忠広, 2009. 4-5, 「かんたん! 恐竜の歯のレプリカ作り」, 博物館(全3回, 50名)

◎池田忠広, 2009. 4-9, 「実演 解説! 恐竜ラボ」, 博物館 恐竜ラボ(全4回, 72名)

池田忠広, 2009. 4-9, 「解説! 恐竜化石」, 博物館(全2回, 83名)

池田忠広, 2009. 7-11, 「丹波の恐竜化石」, 博物館(全8回, 290名)

池田忠広, 2009. 7-8, 「恐竜化石展示解説ツアー」, 博物館(全2回, 39名)

池田忠広, 2009. 7, 「恐竜の話」, 博物館(全1回, 16名)

池田忠広, 2009. 7, 「カエル骨格作成教室」, 博物館(全2回, 11名)

◎池田忠広, 2009. 8, 「丹波の恐竜化石講義・発掘体験」, 博物館(全1回, 20名)

池田忠広, 2009. 8, 「恐竜とは何か? ~丹波の恐竜化石の発見と発掘」, 博物館(全1回, 28名)

池田忠広, 2009. 10, 「有鱗類の化石」, 博物館(全1回, 5名)

◎池田忠広, 2009. 10-11, 「展示解説「竜と獣の道展」& ひとはく恐竜ラボ」, 博物館(全2回, 50名)

池田忠広, 2009. 11, 「へびの世界」, 博物館(全1回, 4



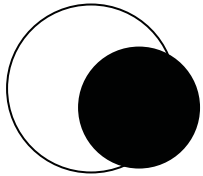
- 名)
- 池田忠広, 2009.12, 「丹波の恐竜化石発掘最新」, 博物館(全1回, 59名)
- 館外講演
- 池田忠広, 2009.5, 「丹波竜等の恐竜化石紹介」, 講師, JR西日本福知山支社, 丹波市山南町 上久下地域づくりセンター(20名)
- 池田忠広, 2009.8, 「篠山層群の恐竜化石」, TAMBAシニアカレッジ, 講師, 丹波市山南町 山南住民センター(9名)
- 池田忠広, 2009.8, 「丹波の恐竜化石」, 子どもと本のまつり, 講師, 吹田市立中央図書館(49名)
- 池田忠広, 2009.8, 「恐竜の歯のレプリカ作り」, 大人の理科教室, 講師, 神戸新聞文化センター, ミント神戸(7名)
- 池田忠広, 2009.9, 「丹波の恐竜化石について」, 講師, 三田市けやきクラブ, 三田市けやき台コミュニティハウス(42名)
- 池田忠広, 2009.10, 「有鱗類の化石」, 講師, 篠山層群をしらべる会, 篠山市城北公民館(7名)
- ラジオ・テレビ等出演
- 2009.12, 「ニュース番組」, サンTV
- 2009.12, 「ニュース番組」, NHK 総合
- 2009.12, 「中村こずえの興味津津」, 静岡放送
- 地域研究員養成事業  
セミナー

池田忠広, 2009.10, 「有鱗類の化石」, 講師, 篠山層群をしらべる会, 篠山市城北公民館(7名)

- 学校教育支援  
トライやるウィーク  
2009.6.2-6.5, 三田市立上野台中学校1名, 三田市立狭間中学校1名, 三田市けやき台中学校名, 三田市立藍中学校1名.  
学校団体対応  
2009.4, 追手門学院小学校(166名)  
2009.6, 加東市滝野南小学校(61名)  
2009.6, 尼崎市立名和小学校(159名)  
2009.7, 県立西宮北高等学校(13名)  
2009.8, 広野大空ひまわり学級(60名)  
2009.10, 県立加古川東高等学校(40名)  
2009.11, 県立福崎高等学校(42名)  
講師派遣  
池田忠広, 2009.11, 「中生代の生き物たち」, 阪神中学校理科研究大会, 講師, 芦屋市立精道中学校(90名)
- フェスティバル等  
2009.11 ひとほくフェスティバル, 「君も発掘調査隊!! 丹波の恐竜化石を探そう」(責任者).

## 2. シンクタンク事業

- 行政等支援  
相談・指導助言  
来訪者1件, 2名. 電話・FAX相談3件, メール相談2件.



# 個人別成果報告に関する資料

No. 2

●自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/  
昆虫共生系研究グループ

## 高橋 晃, TAKAHASHI Akira

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ

研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門/  
大学院環境人間学研究科共生博物部門 教授.

昭和29年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 植生史学会, ヒマラヤ植物研究会, 国際材解剖学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室/室長

演示, イベント, 連携事業, スクールパートナー事業等, 生涯学習事業推進の統括

#### 2. タスクフォース

グローバル・プログラム・タスクフォース/タスクフォースリーダー

ジャングル体験スクール運営, JICA カウンターパート研修受入講師等

#### 3. 研究開発会議

自然・環境評価研究部/部長

研究部における諸事業推進の統括

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 熱帯産樹種の生長解析・木材解剖学
2. 兵庫県産植物の分類・地理学的研究
3. 植物を素材にした自然史教育の研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による, 環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.  
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究代表者.

##### ■ 論文・著書

小豆むつ子・布施静香・高橋 晃(2009)ノアザミ(キク科)の開花期にみられる小花の形態変化—雌株と両性株の比較—. 人と自然(20), 73-79.

##### ■ その他著作

◎福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃(編)(2009)兵庫県産維管束植物 11. 人と自然 (20), 139-189. (編集および

カヤツリグサ科分担執筆)

◎高橋 晃(2010)今年のひとはくは生物多様性 大作戦. ひとはく新聞

高橋 晃(2009)山へ木を切りに行ってきました. ひとはくメルマガ

◎福岡・黒崎・高橋(編)収蔵資料集「兵庫県産維管束植物目録」. 人と自然の博物館ホームページ.

#### ■ ブログへの情報提供

1件

#### ■ 研究発表

先山徹・高橋晃・佐藤裕司・平松紳一(2009)博物館における学校・地域との連携～兵庫県立人と自然の博物館を例として～. 地質学会, 岡山大学.

小豆むつ子・布施静香・高橋晃(2010)ノアザミ(キク科)の開花期にみられる小花の形態変化—雌株と両性株の比較—. 日本植物分類学会第9回大会, 愛知教育大学, 刈谷市.

#### ■ 助成を受けた研究

自然史系博物館の連携研究員養成法の研究, 科学研究費・基盤研究(C), 研究分担者. (分担金10万円/総額110万円)

恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築, 科学研究費・基盤研究(C), 研究分担者. (分担金10万円/総額110万円)

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4.11 種子植物, 篠山市・香美町の山間部.

2009.5 種子植物, 茨城県北茨城地域.

2009.6 種子植物, 岩手県和賀山周辺.

##### ■ 受贈担当資料

2009.4.1 清水孝浩ベンケイワラスゲ(アイソタイプ), 寄贈, 1点.

2009. 吉田誠治コレクション(日本産植物標本), 寄贈, 111点.

2009.3.27 材鑑標本(2008 東北大), 交換, 56点.

2009.4.3 アジア・日本産植物標本, 東北大, 交換, 281点.

2009.5.26 材鑑証拠標本(2009 茨城), 交換, 182点.

2009.8.12 材鑑証拠標本(2009 岩手南部), 交換, 197点.

2009.8.12 材鑑標本(2009 茨城), 交換, 150点.

2009.8.17 材鑑プレパラート標本(2004 内之浦), 交換,

- 117 点。  
 2009.9.16 材鑑プレパラート標本(2004 宮崎北部), 交換, 171 点。  
 2009.9.25 材鑑証拠標本(2009 道南), 交換, 91 点。  
 2009.9.25 材鑑標本(2009 岩手南部), 交換, 156 点。  
 2009.10.26 友常永太郎コレクション(日本産植物標本), 寄贈, 765 点。  
 2009.10.26 友常永太郎コレクション(植物学関連文献), 寄贈, 74 点。  
 2009.12.16 材鑑標本(2009 道南), 交換, 71 点。  
 2010.1.31 国立科学博物館カヤツリグサ科標本, 交換, 641 点。  
 2010.2.10 松岡成久コレクション 2009(日本産植物標本), 寄贈, 169 点。  
 2010.3.24 渡辺邦秋コレクション(植物学関連文献), 寄贈, 一式
- 整理同定担当資料  
 種子植物(日本産, 外国産), 材鑑標本・プレパラート標本

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■ セミナー

##### 館主催セミナー

- 高橋 晃・高野温子・山本伸子 2009.4 植物リサーチクラブ専修科1, 博物館. (9名)  
 高野温子・高橋 晃・山本伸子 2009.4 白髪岳の植物を調べる ①早春の植物, 文保寺・篠山市. (21名)  
 小林丈夫・高橋 晃・高野温子・山本伸子 2009.4 多紀アルプス自然探訪, 三嶽・篠山市. (20名)  
 高野温子・高橋 晃・山本伸子 2009.5 白髪岳の植物を調べる ②初夏の植物, 白髪岳・篠山市. (21名)  
 ◎高橋 晃・山本伸子 2009.6 オープンセミナー, 野草茶を楽しもう1, 博物館. (115名)  
 ◎山本伸子・高橋 晃 2009.6 オープンセミナー, 野草茶を楽しもう2, 博物館. (65名)  
 高橋 晃・高野温子・山本伸子 2009.6 植物リサーチクラブ専修科2, 博物館. (9名)  
 高橋 晃 2009.7 特注セミナー, 収蔵庫見学, 兵庫教育大学, 博物館. (20名)  
 高橋 晃・長谷川太一 2009.7 親子でつくろう植物標本1, 博物館. (15名)  
 高橋 晃 2009.7 特注セミナー, 日本人と木の文化, 愛媛県立松山南高校, 博物館. (38名)  
 高橋 晃・石田弘明・上田萌子・西岡敬三・八尾滋樹 2009.7-8 ボルネオジャングル体験スクール, マレーシア・サバ州. (28名)  
 山本伸子・高橋 晃 2009.8 夏季教職員セミナー, 植物標本の作り方, 博物館. (21名)  
 高橋 晃・山本伸子 2009.8 夏季教職員セミナー, 植物を観察して描いてみよう, 博物館. (10名)

- 山本伸子・高橋 晃 2009.8 親子でつくろう植物標本2, 博物館. (15名)  
 高橋 晃・高野温子・山本伸子 2009.9 植物リサーチクラブ専修科3, 博物館. (8名)  
 高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ 2009.10 植物画を描こう1, 博物館. (7名)  
 高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ 2009.10 植物画を描こう2, 博物館. (9名)  
 高野温子・高橋 晃 2009.10 秋の砥峰高原を歩く, 砥峰高原・神河町. (13名)  
 高橋 晃・高野温子 2009.10 植物園を歩く・食べられる木の実を探しに行こう, 大阪市立大学理学部附属植物園, 交野市. (15名)  
 高橋 晃・先山 徹 2009.11 丹波の恐竜と巨樹をたずねて, 上久下・丹波市. (11名)  
 ◎橋本佳明・高橋 晃・布施静香・北村俊平 2009.11 オープンセミナー, 収蔵庫見学ツアー, 博物館. (38名)  
 高橋 晃・高野温子・布施静香 2009.11 植物リサーチクラブ専修科4, 博物館. (6名)  
 高橋 晃・高野温子・布施静香 2010.1 植物リサーチクラブ専修科5, 博物館. (4名)  
 高橋 晃・高野温子・布施静香 2010.2 植物リサーチクラブ専修科6, 博物館. (7名)  
 布施静香・高橋 晃・高野温子 2010.2 植物リサーチクラブ 標本の調べ方 1, 博物館. (8名)  
 布施静香・高橋 晃・高野温子 2010.3 植物リサーチクラブ 標本の調べ方 2, 博物館. (6名)  
 ◎高橋 晃・橋本佳明・布施静香・北村俊平 2010.3 オープンセミナー, 収蔵庫見学ツアー, 博物館. (35名)  
 館外講演など  
 高橋 晃, 2009.10 兵庫の美しい花々, 講師, 神戸ファッション造形大学公開講座. (35名)  
 兵庫県立大学・大学院教育  
 2009.7 環境人間学研究科担当科目「多様性生物学特別演習」, (主任)  
 2010.3 環境人間学研究科共生博物部門博士前期課程・修士論文審査(副査)  
 2009.4-2010.3 環境人間学研究科 入試委員会委員  
 2009.9 県立大学共通教育科目「共生生物学」(集中), (分担)  
 非常勤講師など  
 2009.10-2010.2 植物多様性論, 神戸大学発達科学部。
- キャンパバンおよび地域研究員養成事業  
 副担当  
 2008.4-10 但馬地域, 香美町村岡区ハチ北地区  
 セミナー担当  
 2009.5 但馬地域 ハチ北自然案内講座「春の植物」, ハチ北観光協会. (ハチ北高原, 指導・協働) (11名)  
 2009.10 但馬地域 ハチ北自然案内講座「秋の植物」, ハチ北観光協会. (ハチ北高原, 指導・協働) (9名)
  - 連携事業

## 連携グループ等

GREEN GRASS (アドバイザー, 主担当:植物画研究会  
運営支援)

ハチ北高原自然協会(アドバイザー, 主担当:自然案内  
人講座等運営支援)

地域研究員:福岡忠彦(アドバイザー, 主担当)

地域研究員:西野雅満(アドバイザー, 主担当)

地域研究員:西野眞美(アドバイザー, 主担当)

地域研究員:林 美嗣(アドバイザー, 主担当)

地域研究員:法西 浩(アドバイザー, 副担当)

## 成果発表

2010.2 第5回共生のひろば, 続・花粉を観る, 福岡忠彦  
(指導・助言)

2010.2 第5回共生のひろば, ミスジナガハグサ Poa  
subcaerulea(イネ科イチゴツナギ属)の謎2〜ミスジナガ  
ハグサとナガハグサの混乱〜, 西野雅満(指導・助言)

2010.2 第5回共生のひろば, 装飾花をもった花たちPart  
2. 装飾花の役割 ~生育環境と花の立体配置に着目  
して~, 西野眞美(指導・助言)

2010.2 第5回共生のひろば, トラックで移住するシダ植  
物, 林 美嗣(指導・助言)

2010.2 第5回共生のひろば, 鎮守の森は何十年経って  
も変わらないの? -西宮市越木岩神社社叢における  
1978年から30年後の植生変化-, 増井啓治(指導・  
助言)

2010.2 第5回共生のひろば, ラフィア繊維の布とかご,  
福田笑子(指導・助言)

2010.2 第5回共生のひろば, 丹波地方の溜池・湿地に  
おける湿性・水生植物の植生, 松岡成久(指導・助言)

2010.2 第5回共生のひろば, 高山におけるシカ食害の  
状況, 伊東吉夫(指導・助言)

2010.2 第5回共生のひろば, 高校生と学ぶ~植物画を  
描く上での自立をめざして~, 田地川和子・貴島せい  
子・肥田陽子(指導・助言)

## 共催事業

2009.4-2010.2 植物画研究会, 人と自然の博物館周辺,  
ひとはく連携活動グループ GREEN GRASS (講師・運  
営アドバイザー). (8回・42名)

2009.9-10 ハチ北自然高原~小さな秋みーつけた~モ  
ニターツアー, ハチ北高原大沼周辺, ハチ北観光協  
会(講師・アドバイザー). (4名)

2010.1 県美ひとはく連携セミナー「背景画のなかの植  
物」, 兵庫県立美術館(講師). (85名)

## 協力事業

2009.4-2010.3 六甲山魅力再発見市民セミナー, 六甲山  
自然保護センター, 六甲山を活用する会(アドバイザ  
ー).

2009.8 夏の六甲山子どもパークレンジャーを目指そう!  
六甲山小学校・記念碑台周辺, 六甲山を活用する会  
(アドバイザー).

## ■ 学校教育支援

## 学校団体対応

2009.4.24 展示解説, 大阪大学理学部生物科学科1年  
生. (55名)

2009.4.25 オリエンテーション, 兵庫県立大学附属中  
学校1年生. (44名)

2009.11.11 まとめ講評, 兵庫県立大学附属中学校1年  
生. (44名)

## 講師派遣

2009.5-2010.2 「植物のなかま分け」, 研究指導, 兵庫  
県立大学附属中学校3年生. (全5回:3名)

2010.3 職業人講話・博物館の仕事, 講師, 三田祥雲館  
高校1年生. (21名)

## ■ 研修生等の受入

### 研修生

2009.7.16 JICA 研修, 自然史系博物館の資料と収蔵庫,  
EnVision 環境保全事務所. (11名)

2010.2.19 JICA 研修:環境教育推進のための行政能力  
強化コース, NPO 法人こども環境活動支援協会, チリ  
国環境教育関係行政官(9名)

## ■ フェスティバル等

2009.11 ひとはくフェスティバル実行委員会事務局幹事

## ■ 展示

ミニ企画等

2009.12-2010.1 干支展「トラさんようこそ」(展示写真協  
力)

## 2. シンクタンク事業

### ■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 10回, 115人

### ■ 行政等支援

委員会等

2008.4 環境省版レッドデータブック兵庫県主任調査員,  
環境省自然環境局.

2008.4 希少野生動物種保存推進員, 環境省自然環  
境局.

2008.4 六甲山環境整備協議会, アドバイザー, 六甲山  
を活用する会.

2009.4-2010.3 神戸版レッドデータブック検討委員会委  
員, 神戸市環境局.

2009.4-2010.3 兵庫の貴重な自然・貴重な野生生物等  
(植物)専門委員会委員, 兵庫県農政環境部環境創造  
局.

2009.4-2010.3 公園・花・こども国際フォーラム実行委員  
会委員, 公園・花・こども国際フォーラム実行委員会,  
淡路.

2009.4-2010.3 第3回国際メタセコイアシンポジウム実行  
委員会委員, 日本植生史学会.

## 視察対応

5件

2009.8 展示・収蔵庫見学, 内閣法制局参事官・文部科  
学省大臣官房総務課法令審議室室長.

2009.8 展示見学, ロシア・ハバロフスク少年少女交流  
団.  
2009.10 展示・収蔵庫見学, 国立科学博物館館長・経営  
管理部長.  
2009.12 展示製作, 名古屋大学生命農学研究科准教  
授.

2010.3 生涯学習事業・学校対応・展示見学, 三重大学  
教育学部教授・琵琶湖博物館主任学芸員, 蒲郡情報  
ネットワークセンター生命の海科学館学芸員.  
相談・指導助言  
電話・メール・手紙等による相談 10件(5名)  
来訪者 5名

## 秋山 弘之, AKIYAMA Hiroyuki

自然・環境評価研究部／森林多様性研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門

准教授.

昭和31年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本蘚苔類学会, 米国植物分類学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

マーケティング(副担当) ひとく手帖広告協賛

#### 2. タスクフォース

マーケティングタスク(サブリーダー)

#### 3. 研究開発部門

研究シンクタンク 研究紀要担当(編集責任者)

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 東南アジア産蘚苔類の分類学的・植物地理学的研究
2. 半数体植物における種分化のあり方に関する研究
3. タイ国インタノン山蘚類相の研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による, 環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.  
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

Akiyama, H. (2009) Taxonomical studies of mosses of Seram and Ambon (Mollucas, East Malesia) collected by Indonesia-Japanese Botanical Expeditions, X. *Humans and Nature* 20: 15-28.

Akiyama, H. (2009) A revised list of bryophytes reported from Seram (Ceram) and Ambon islands, the Mollucas, based on collections made on the 1984-1986 Japan-Indonesia collaborative expeditions. *Acta Phytotax. Geobot.* 60(2): 97-126.

Akiyama, H., H. Masuzaki & T. Yamaguchi (2009) Habitat and morphological differentiation between *Pohlia annotina* and *P. drummondii* (Mniaceae) at higher elevations in Yakushima Island, Japan. *Bryologist* 112(4): 749-761.

Akiyama H. & H. Tsubota (2009) *Symphyodon leiocarpus*, sp. nov. (Symphyodontaceae, Musci) from Thailand, classified in the new subgenus *Macrothmniopsis*. *Acta Phytotax. Geobot.* 60(2): 87-96.

Miwa, H., I. J. Odrzykoski, A. Matusi, M. Hasegawa, H. Akiyama, Y. Jia, R. Sabirov, H. Takahashi, D.E. Boufford & N. Murakami (2009) Adaptive evolution of rbcL in

*Conocephalum* (Hepaticae, bryophytes). *Gene* 441(1-2): 169-175.

秋山弘之(2009) ハクサンナガダイゴケ *Trematodon hakusanensis* は, 配偶体・胞子体ともに特異な形状を有する独立種である. *蘚苔類研究* 9(11): 343-344.

秋山弘之(2009) ミズキヤラハゴケ再訪—アクアリウムに使われる蘚苔類—. *蘚苔類研究* 9(11): 348-354.

秋山弘之(2009) アジア産蘚苔類分類・生態ノート, 17. 屋久島産ヒメシノブゴケ(蘚類シノブゴケ科)で観察された早落性小枝. *蘚苔類研究* 9(11): 357.

秋山弘之(2009) アジア産蘚苔類分類・生態ノート, 19. 地中深く伸びるボルネオ産ネジクチスギゴケ属 *Dawsonia superba* のシュート地下部について. *蘚苔類研究* 9(12): 391-394.

秋山弘之(2009) アジア産蘚苔類分類・生態ノート, 20. タイ北部産の苔類 *Lejeunea tuberculosa* Steph. (苔類クサリゴケ科)で見つかった虫食い. *蘚苔類研究* 10(1): 15-17.

秋山弘之・大石善隆(2009) アジア産蘚苔類分類・生態ノート, 18. ボルネオ産 *Dawsonia beccarii* 自然集団が雄花盤をつけるタイミングとその位置. *蘚苔類研究* 9(11): 358-363.

##### ■ ブログへの情報提供

ブログ 2 件

##### ■ 研究発表

秋山弘之(2009) タイ北部インタノン山のコケ植物調査. 日本蘚苔類学会, 埼玉市

秋山弘之(2009) 屋久島を彩るコケ植物の多様性. 日本植物分類学会(講演会), 吹田市

##### ■ 学会役員など

日本植物分類学会 図書幹事, 編集委員.

日本蘚苔類学会 庶務幹事, 編集委員.

平岡環境科学研究所 監事.

##### ■ 助成を受けた研究

熱帯雲霧林の林冠内植物の多様性と動態: 気候変動モニタリングに向けたサイト構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(B)(一般), 研究分担者(金額 40 万円/340 万円).

##### ■ 海外調査

2010.1 タイ国チェンマイ県

### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 蘚苔類 (三田市, 宝塚市, 西宮市, 神戸市, 篠山市, 香美町, 南光町)

2010.1 蘚苔類 タイ国チェンマイ県

##### ■ 整理同定担当資料

(蘚苔類, 菌類).

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

■ セミナー

館主催セミナー

秋山弘之, 2009.6 「よくわかる苔のすべて」 博物館(全1回, 17名)

秋山弘之, 2009.7 「とっとこ倶楽部 夏のキノコ探検隊1」 神戸市(全1回, 12名)

秋山弘之, 2009.10 「とっとこ倶楽部 秋のスペシャル コケとキノコ」 神戸市(全1回, 14名)

秋山弘之, 2009.10 「芦屋でまなぶ森・川・海の自然7～芦屋をとりまく森のキノコ～」芦屋市(全1回, 7名)

秋山弘之, 2009.11 「とっとこ倶楽部 秋のキノコ1」三田市(全1回, 20名)

秋山弘之, 2009.6 「オープンセミナー 苔のすべて」博物館(全1回, 7名)

秋山弘之, 2009.10 「オープンセミナー キノコのことがよくわかる」博物館(全1回, 20名)

秋山弘之, 2006.7 「ふかたん コケとキノコを探す」博物館(全1回, 10名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生(分担)

兵庫県立大学附属中学校

2年生プロジェクト学習(分担全6回)

■ 連携事業

2009.7, シニア自然大学講演会(150名)

2009.11, シニア自然大学コケ植物観察会(18名)

■ 学校教育支援

学校団体対応

2009.6, 西宮市立安井小学校3年生(114名).

2009.8, 兵庫県立柏原高校「探求II」授業享祿(8名)

■ 研修生等の受入

2009.9, JICA 研修(標本管理・データベース)(1名)

2. シンクタンク事業

■ 行政等支援

兵庫県レッドデータブック (蘚苔類担当)

## 高野 温子, TAKANO Atsuko

自然・環境評価研究所

森林多様性研究グループ／研究・シンクタンク推進グループ  
主任研究員

昭和46年大阪府生. 大阪市立大学理学研究科後期博士課程  
修了. 理学博士.

日本植物学会, 日本植物分類学会, 米国植物分類学会他所  
属

### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

グローバル・プログラムタスクフォース

#### 3. 研究開発部門

資料データベース整備活用マネージャー, 博物館資料の受  
け入れ・貸し出しに関すること

収蔵庫入庫説明会

小薫蒸・資料審査会・収蔵庫モニタリング調査

NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク 技術講習会  
企画運営

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. ショウガ科植物の分類学的研究
2. 兵庫県産植物の分類学的研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による, 環境学習  
支援および地域振興に関する研究」研究分担者  
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」研究分担  
者.

##### ■ 論文・著書

A. Takano, A. Julius, M. Mohamed. (2009) First report of  
flexistylis in *Plagiostachys* (Zingiberaceae). *Acta Phytotax.*  
*Geobot.* 60: 57-59.

##### ■ その他著作

高野温子(2010) 書評 フィールドの生物学②サイチョウ  
ー熱帯の森にタネをまく巨鳥ー 北村俊平著 熱帯生  
態学会ニューズレター 78: 4.

##### ■ 研究発表

高野温子・岡田博(2010) 日本産アキギリ属の分子系統.  
種子植物談話会.  
高野温子・岡田博(2010) 日本産シソ科アキギリ属(*Salvia*)  
の分子系統解析. 日本植物分類学会, 愛知教育大学,  
刈谷市

##### ■ 学会役員など

Plant Species Biology, レフェリー  
人と自然, レフェリー  
Novon, レフェリー

##### ■ 助成を受けた研究

雌しべが動いて性が変わる:フレキシスタイリーの起源と  
進化に関する研究. 文部科学省科学研究費若手研究  
(B), 研究代表者(金額 100 万円/310 万円)  
兵庫県の希少種オチフジはなぜ種子をつくらないの  
か? 保全のための生物学的研究. ひょうご科学技術協  
会 奨励研究(金額 92 万円)

##### ■ 海外調査

2009. 9. マレーシア・サバ州

### 2. 資料収集・整理

#### ■ 資料収集

2009.4. 篠山市, 宍粟市, 佐用町

2009.5. 篠山市, 宍粟市, 佐用町

2009.6. 三田市, 福井県, 岐阜県

2009.7. 神奈川県, 三田市, 徳島県

2009.8. 篠山市,

2009.9. 福井県

2009.10. 神河町

2009.11. 篠山市

#### ■ 受贈担当資料

江村紳一コレクション 2009

#### ■ 整理同定担当資料

植物(ラン科, ショウガ科, カヤツリグサ科スゲ属)

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

2009.4-2010.2.高橋晃・高野温子・布施静香・山本伸子.  
植物リサーチクラブ専修科講座(全6回 のべ48名)

2009.4. 高野温子・高橋晃・山本伸子. 白髪岳の植物を調  
べる①早春の植物(21名)

2009.4. 小林文夫・高橋晃・高野温子・山本伸子. 今年こ  
そ! 多紀アルプス自然  
探訪(21名)

2009.5. 高野温子. 標本資料を理解する.(40名)

2009.5. 高野温子・高橋晃・山本伸子. 白髪岳の植物を調  
べる②初夏の植物(21名)

2009.5. 高野温子. 見てびっくり! 身近な植物を顕微鏡  
で観察しよう(64名)

2009.6. 高野温子. 標本資料を理解する(38名)

2009.10. 高野温子・高橋晃. 秋の砥峰高原を歩く(13名)

2010.2-3. 布施静香・高橋晃・高野温子. 植物リサーチ  
クラブ 標本の調べ方 全2回(のべ18名)

##### ■ 学校教育支援

学校団体対応

2009.4. DNA 抽出実験. 大阪府立泉北高校(16名).

2009.5. クイズ! 兵庫県の植物. 神戸市立有野台小学校  
(106名).

2009.6. 植物のクイズと熱帯林の減少に関する講義. 姫



路市立高岡小学校

(144名)

2009. 9, クイズ! ドングリを見分けよう. 猪名川町立阿古  
谷小学校(19名)

2009. 10, クイズ! 兵庫県の植物. 西宮市立上ノ原南小  
学校(96名)

2010. 2, クイズ! 兵庫県の植物. 宝塚市光明小学校(43  
名)

2010. 2, 収蔵庫見学. 京都府立農芸高等学校(11名)

■ 展示

ミニ企画等

2009. 12.12. - 2010.1.11. ミニ企画展「トラさんようこそ！」

(分担者)

2. シンクタンク事業

■ 収蔵庫・ジーンファームの公開  
生物系収蔵庫の案内 6件44人

■ 行政等支援  
委員会等 1件

2008.4. ため池生物多様性保全計画検討会委員. いな  
み野ため池ミュージアム運営協議会  
相談・指導助言

来訪者 5件, 10名, 電話 18件, メール相談 27件, 手紙  
1件, テレビ出演 1件

## 布施 静香, FUSE Shizuka

自然・環境評価研究所

森林多様性研究グループ／研究・シンクタンク推進室  
研究員

昭和51年奈良県生。大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了。博士(理学)。日本植物学会、日本植物分類学会、種生物学会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室、広報・出版支援担当室員 ひとつはくブログの執筆・公開

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. ノアザミの性表現に関する研究
2. サンショウ属の分類学的研究
3. 双子葉植物から単子葉植物への進化の道すじの推定に関する研究
4. 単子葉植物の大規模分子系統樹の構築
5. 伊豆・丹沢地域産単子葉植物の形態的独自性とその成立の歴史に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」、研究分担者。  
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」、研究分担者。

##### ■ 論文・著書

◎小豆むつ子・布施静香・高橋晃(2009)ノアザミ(キク科)の雌株及び両性株における小花の構造。人と自然 No.20, 73-39.

◎M. N. Tamura, H. Azuma, J. Yamashita, S. Fuse and T. Ishii (2009) Biosystematic Studies on the Family Tofieldiaceae II. Phylogeny of Species of the Genera *Tofieldia* and *Triantha* Inferred from the Plastid and Nuclear DNA Sequences. 60(3): 131-140.

##### ■ その他著作

布施静香(2010) お茶になる草木。ひとつはく図鑑、ひとつはく新聞:ハーモニイ68:4.

##### ■ ブログへの情報提供

18件

##### ■ 研究発表

小豆むつ子・布施静香・高橋晃(2010)ノアザミ(キク科)の開花期にみられる小花の形態変化—雌株と両性株の比較—, 日本植物分類学会第9回大会。愛知教育大

学, 愛知。

田村実・布施静香・東浩司・山下純・金眞玉・李南淑・石井孝明(2010)ハナゼキシヨウ(チシマゼキシヨウ科)の分割, 日本植物分類学会第9回大会。愛知教育大学, 愛知。

##### ■ 学会役員など

種生物学会, 会計幹事。

種子植物談話会, 事務局 世話人。

日本植物学会, レフェリー。

##### ■ 助成を受けた研究

双子葉植物から単子葉植物への進化の道すじの推定—単子葉植物の起源を探る 第一段階—。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 研究分担者(金額 7.5 万円/481 万円)

伊豆・丹沢地域産単子葉植物の形態的独自性とその成立の歴史。新技術開発財団 植物研究助成, 研究分担者(金額 127 万円/252 万円)

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-9 野菜の花, 奈良県

2009.10 種子植物, 神奈川県・静岡県・栃木県

2009.11 種子植物, 篠山市

##### ■ 受贈担当資料

2009.1 兵庫県種子植物(小豆むつ子コレクション2009). 19点

2009.3 兵庫県種子植物(牛島コレクション2009). 5点

##### ■ 整理同定担当資料

種子植物

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

高橋晃・高野温子・布施静香・山本伸子, 2009.4-2010.2, 「植物リサーチクラブ専修科講座」, 博物館。(全6回, うち11/22, 1/10, 2/7を分担, のべ17名)

布施静香, 2009.11, 高校連携講座(祥雲館高校):植物標本の作製方法や意義, 博物館。(のべ4名)

橋本佳明・高橋晃・布施静香・北村俊平, 2009.11, 生物系収蔵庫ツアー(38名)

高橋晃・高野温子・布施静香, 2010.2-3 植物リサーチクラブ「標本の調べ方」, 博物館。(全2回, 13名)

橋本佳明・高橋晃・布施静香・北村俊平, 2009.11, 生物系収蔵庫ツアー(30名)

##### ■ フェスティバル等

2009.11 ひとつはくフェスティバル, 舞台照明担当。

#### 2. シンクタンク事業

##### ■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 6回, 72名。

■ 行政等支援

委員会等（計1件）

2005.4ー. 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員. 環

境省.

相談・指導助言

電話4件, メール相談1件, 郵送1件

## 山本伸子, YAMAMOTO Nobuko

自然・環境評価研究所

森林多様性研究グループ／生涯学習推進室

研究員

昭和56年岡山県生。岡山理科大学大学院総合情報研究科修士課程修了。日本植物学会、植物地理・分類学会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室 広報・出版支援補助等

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

種子植物の系統分類学的研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」、研究分担者。

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」、研究分担者。

##### ■ 論文・著書

Yamamoto, N., Ikeda, H. and Hoshino, T. 2008.

Cytotaxonomical studies of flowering plants in Yakushima Island, Kagoshima Prefecture, Japan Part I: dwarf taxa. J. Phytogeogr. Taxon. 56: 79-93.

Yamamoto, N., Yano, O. & Ikeda, H. 2009. A new hybrid, *Crepidiastrum* × *semiauriculatum* (Asteraceae: Lactuceae), from Okayama prefecture, western Japan. J. Jpn. Bot. 84(4): 224-228.

##### ■ ブログへの情報提供

23件

##### ■ 研究発表

山本伸子 (2009) 屋久島から見いだされたバラ科ヒメキンミズヒキの一新変種。生物系三学会中国四国支部大会, 高知大学, 高知市。

##### ■ 海外調査

2009.6-7 西ネパール・バジヤン地域: 高山植物の調査。

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-9, 種子植物, 篠山市, 養父市, 香美町, 佐用町, 茨城県, 高知県。

##### ■ 整理同定担当資料

種子植物。

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

高橋 晃・高野温子・山本伸子, 2009.4 植物リサーチクラブ専修科, 博物館, (8名)。

高野温子・高橋 晃・山本伸子, 2009.4 白髪岳の植物を調べる ①早春の植物, 篠山市, (21名)。

小林文夫・高橋 晃・高野温子・山本伸子, 2009.4 今年こそ! 多紀アルプス自然探訪, 篠山市, (21名)。

高野温子・高橋 晃・山本伸子, 2009.5 白髪岳の植物を調べる ②初夏の植物, 篠山市, (21名)。

◎高橋 晃・山本伸子, 2009.5 オープンセミナー野草のお茶をたのしもう, 博物館, (180名)

◎高橋 晃・山本伸子, 2009.6 オープンセミナー身近な植物観察, 博物館, (21名)

高橋 晃・高野温子・山本伸子, 2009.6 植物リサーチクラブ専修科, 博物館, (9名)。

山本伸子, 2009.6 高校連携セミナー植物の多様性を調べる 1, 博物館, (12名)。

山本伸子・高橋 晃, 2009.8 夏季教職員セミナー植物標本の作り方, 博物館, (22名)。

高橋 晃・山本伸子, 2009.8 夏季教職員セミナー植物を観察して描いてみよう, 博物館, (10名)。

◎山本伸子・高橋 晃, 2009.8 親子で作ろう植物標本, 博物館, (16名)。

高橋 晃・高野温子・山本伸子, 2009.9 植物リサーチクラブ専修科, 博物館, (8名)。

山本伸子, 2009.9 高校連携セミナー植物の多様性を調べる 2, 博物館, (10名)。

山本伸子, 2009.9 高校連携セミナー植物の多様性を調べる 3, 博物館, (10名)。

##### ■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2009.5 但馬地域「ハチ北自然案内人育成講座」(15名)。

#### 2. シンクタンク事業

##### ■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 2回, 35名。

##### ■ 行政等支援

相談・指導助言

電話相談 4件

## 太田 英利, OTA Hidetoshi

自然・環境評価研究所

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門  
教授。

昭和34年愛知県生。京都大学大学院理学研究科修士課程修了。博士(理学)。

日本爬虫両棲類学会, 日本動物学会, 動物分類学会, 日本生物地理学会, 日本動物行動学会, 沖縄生物学会, American Association for the Advancement of Science, American Society of Ichthyologists and Herpetologists, Biological Society of Washington, British Herpetological Society, Herpetologists' League, Linnean Society of London, Societas Europaea Herpetologica, Society for the Study of Amphibians and Reptiles 等所属

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

グローバルタスクフォース(サブリーダー)

#### 3. 研究開発分門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. アジア・オセアニア熱帯・亜熱帯の爬虫・両生類の系統分類・生物地理に関する研究
2. 有鱗目爬虫類における形態形質の進化に関する研究
3. 琉球列産爬虫・両生類の自然史に関する研究
4. 琉球列島における外来種のインパクトと防除に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者。  
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者。

##### ■ 論文・著書

Kawai, A., J. Ishijima, C. Nishida, A. Kosaka, H. Ota, S. Kohno, and Y. Matsuda (2009) The ZW sex chromosomes of *Gekko hokouensis* (Gekkonidae, Squamata) represent highly conserved homology with those of avian species. *Chromosoma*, 118: 43-51.

Kuraishi, N., M. Matsui, and H. Ota (2009) Estimation of the origin of *Polypedates leucomystax* (Amphibia: Anura: Rhacophoridae) introduced to the Ryukyu Archipelago, Japan. *Pacific Science*, 63: 317-325.

Nakamura, Y., A. Takahashi, and H. Ota (2009) Evidence for

the recent disappearance of the Okinawan tree frog *Rhacophorus viridis* on Yoronjima Island of the Ryukyu Archipelago, Japan. *Current Herpetology*, 28: 29-33.

Ota, H., Y. Yasukawa, J. Fu, and T.-H. Chen (2009) *Cuora flavomarginata* (Gray 1863). In: A.G.J. Rhodin, P.C.H. Prichard, P.P. van Dijk, R.A. Saumure, K.A. Buhlmann, and J.B. Iverson (eds.), *Conservation Biology of Freshwater Turtles and Tortoises: A Compilation Project of the IUCN/SSC Tortoise and Freshwater Turtle Specialist Group*. Chelonian Research Monographs 5, doi:10.3854/crm.5.035.flavomarginata.v1.2009 (published on line)

Matsui, M., N. Kuraishi, J.-P. Jiang, H. Ota, A. Hamidy, N. L. Orlov, and K. Nishikawa. (2010) Systematic reassessments of fanged frogs from China and adjacent regions (Anura: Dicroglossidae). *Zootaxa*, (2345): 33-42.

Tominaga, A., H. Ota, and M. Matsui (2010) Phylogeny and phylogeography of the sword-tailed newt, *Cynops ensicauda* (Amphibia: Caudata), as revealed by nucleotide sequences of mitochondrial DNA. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 54: 910-921.

太田英利 (2009) 亜熱帯沖縄の冬の寒さと動物たち。山里勝己・平啓介・宮城隼人・牛窪潔(編), 「融解する境界 やわらかい南の学と思想・2」, 140-156, 沖縄タイムス社

太田英利 (2009) ミヤラヒメヘビ, ヨナグニシュウダ。

佐々木健志(編), 「琉球大学資料館(風樹館)収蔵タイプ標本目録」, 10-11, 琉球大学資料館(風樹館)。

太田英利 (2009) 琉球列島の陸生動物・島々の歴史と種の多様性, 固有性, 遺伝, 63(6): 101-106.

##### ■ その他著作

太田英利(2009) 日本の亜熱帯化と生物多様性の変質シリーズ 身近な生物多様性。ひとく新聞(12月25日)。

太田英利・星野一三雄(2010) オキナワキノボリカゲに関する一般的な知見。日南市オキナワキノボリカゲ委員会(編), 「日南市オキナワキノボリカゲ委員会 報告書」, 7-12, 日南市。

##### ■ 研究発表

Takahashi, A., H. Otsuka, and H. Ota (2009) Diversity and biogeography of the Late Pleistocene terrestrial turtle fauna of the Ryukyu Archipelago, Japan. *Gaffney Turtle Symposium*. Royal Tyrrell Museum of Paleontology, Drumheller, Alberta, Canada.

Chang Min-Ho・太田英利・Song Jae-Young・Oh Hong-Shik (2009) 韓国, 済州島のシロスジカナヘビ (*Takydromus wolteri*) の移動。日本爬虫両棲類学会第48回大会, 天理大学, 天理市。

本多正尚・富永篤・田中聡・松井正文・太田英利(2009) 沖縄諸島と奄美諸島の間でのイボイモリ(両生綱, イモリ科)の遺伝的分化。日本爬虫両棲類学会第48回大会, 天理大学, 天理市。

石橋葵・那須哲夫・末吉豊文・星野一三雄・岩本俊孝・太田英利 (2009) 宮崎県日南市に生息するオキナワキノボリトカゲ (*Japalura polygonata polygonata*) の形態と成長について. 日本爬虫両棲類学会第 48 回大会, 天理大学, 天理市.

那須哲夫・河野慎也・末吉豊文・星野一三雄・岩本俊孝・太田英利 (2009) 人為的移入に由来するオキナワキノボリトカゲ (*Japalura polygonata polygonata*) の九州南部産個体群の現状について. 日本爬虫両棲類学会第 48 回大会, 天理大学, 天理市.

太田英利(2009) 琉球列島の陸生動物における遺伝的多様性と隠蔽種. 第 1 回 JBON ワークショップ(分科会 1, 種・遺伝子・島嶼分科会), 東京大学駒場キャンパス, 東京都目黒区.

太田英利(2009) 琉球列島産陸生動物の多様性と生物地理学的理解の今昔, そして未来. 日本動物学会第 80 回大会内, 成茂記念動物科学シンポジウム, 静岡コンベンションアーツセンター, 静岡市.

太田英利(2009) 鹿児島県のウミヘビ類に関する注目すべき 2 記録(爬虫綱, コブラ科). 日本爬虫両棲類学会第 48 回大会, 天理大学, 天理市.

蔀優子・山本友里恵・太田英利 (2009) 沖縄産ヤモリ属 (*Gekko*) 2 種で孵化温度が孵化幼体の運動能力に及ぼす影響. 日本爬虫両棲類学会第 48 回大会, 天理大学, 天理市.

住田正幸・佐藤直樹・倉林敦・大海昌平・勝連盛輝・太田英利・福庭博子・菅原芳明・藤井保 (2009) 絶滅危惧種イシカワガエルにおける飼育下繁殖の試みと交配後隔離機構の解明. 動物学会第 80 回大会一般講演, 静岡コンベンションアーツセンター, 静岡市

住田正幸・佐藤直樹・倉林敦・大海昌平・太田英利・勝連盛輝・福庭博子・菅原芳明・藤井保 (2009) 沖縄島産と奄美大島産イシカワガエルにおける遺伝的分化と繁殖隔離機構. 日本動物学会中国四国支部第 61 回大会. 高知大学, 高知市.

富永篤・松井正文・林光武・西川完途・太田英利・五箇公一(2009) 日本産イモリ属 2 種の遺伝的分化. 日本生物地理学会第 64 回年次大会, 立教大学, 東京都豊島区.

#### ■ 学会役員など

日本爬虫両棲類学会, 英文誌「Current Herpetology」  
Managing Editor

沖縄生物学会, 「沖縄生物学会誌」編集委員

Asiatic Herpetological Research Society, 英文誌「Asiatic Herpetological Research」Associate Editor

Society for the Study of Amphibians and Reptiles, 英文誌「Journal of Herpetology」Associate Editor

Herpetologists' League, EE Williams Award 選考委員

Linnean Society of London, フェロー(FL.S.)

学術雑誌「BioFormosa」, 「Hamadryad」, 「Russian Journal of Herpetology」, 「Tropical Natural History」等, 編集ボ

ードメンバー

#### ■ 助成を受けた研究

琉球列島産ウミヘビ亜科における遺伝的多様性と個体群分類. 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 研究代表者(金額[直接経費] 110 万円/300 万円).

国内外来種オキナワキノボリトカゲの生態系への影響評価に関する研究. 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 研究分担者(金額[直接経費] 190 万円/350 万円)

西表島を中心とする琉球列島島嶼群の生物学的構造とその保全に関する研究. 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(B), 研究分担者(金額[直接経費] 170 万円/1240 万円)

#### ■ 海外調査

2009.12 タイ・バンコク周辺

## 2. 資料収集・整理

#### ■ 整理同定担当資料

ウミガメ類.

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■ セミナー

館主催セミナー

太田英利, 2009.9, 「カエルたちの生活から身近な水環境を考える」, 人博特注セミナー(56 名)

太田英利, 2010.1, 「琉球の自然と風景」, ひとつは風景画セミナー第 2 回講師, 兵庫県立美術館(20 名)

館外講演

今井美紀・川東丈純・木割大雄・太田英利, 2009.7, 「カエルにさわろう」, 文化庁支援柿衛文庫「芭蕉展」記念ワークショップ, 伊丹市立稲野小学校, 鈴原小学校, 花里小学校(150 名),

太田英利, 2009.7, 「琉球列島と周辺地域の動物たち: 島の歴史と動物相の変遷」, 九州高校理科教育研究会沖縄大会/生物分科会特別講演, パシフィックホテル沖縄(120 名)

太田英利, 2009.11, 「琉球列島産陸生動物の多様性と生物地理」, 兵庫県立大学生命理学研究科セミナー, 兵庫県立大学光都キャンパス(25 名)

Ota, H., 2009.12, 「Historical biogeography of the Ryukyu Archipelago, Japan, and adjacent regions in East Asia」, Special Seminar in Graduate School of Biology, Chulalongkorn University, Bangkok (35 staff and students).

太田英利, 2009.12, 「東アジア熱帯・亜熱帯島嶼域の歴史生物地理と自然史-爬虫・両生類の分散, 隔離, 種分化, 絶滅を中心に」, FYCS 第 36 回研究会講演, 慶應義塾大学日吉校(15 名)

太田英利, 2010.1, 「久米島の自然の特徴と持続的利用にむけた課題」, ラムサール条約登録記念久米島ワーク

ショップ基調講演, 環境省, 沖縄県久米島町宇江城公民館(60名)

太田英利, 2010.3, 「琉球列島とその周辺におけるヤモリ属の染色体の多様性と進化」, シンポジウム「ウィルスベクターとトランスポソンがもたらすゲノム・イノベーションと生物進化のパラダイムシフト」, 琉球大学西原キャンパス(35名).

ラジオ・テレビ等出演

太田英利, 2009.12, 「“絶滅危惧なのに、駆除が必要な生き物”について」, 中部日本放送ラジオ「多田しげおの気分爽快!」, 10分間, ほかに4件.

## 2. シンクタンク事業

### ■ 受託研究

「南九州におけるオキナワキノボリカゲ外来個体群の生息状況に関する調査」. 宮崎県日南市, 鹿児島県指宿市(委託: 日南市)

### ■ 行政等支援

委員会等 計13件

2009.4ー. 世界自然保護基金日本委員会(WWFジャパン)自然保護委員, WWFジャパン.

2009.4ー. 雑誌「SEEDer」編集委員.総合地球環境学研究所—昭和堂印刷.

2009.4ー. WWFジャパン南西諸島生物多様性評価プロ

ジェクト委員, WWFジャパン.

2009.4ー. 宮崎県日南市オキナワキノボリカゲ委員会学術顧問, 日南市.

2009.5ー. 外来生物対応方策検討委員会委員, 兵庫県.

2009.7ー. 希少野生生物保護検討委員会委員, 兵庫県.

2009.7ー. 新石垣空港環境モニタリング委員会委員, 沖縄県.

2009.9ー. 動物分布図作成ワーキンググループ委員(両生・爬虫類担当), 環境省.

2009.9ー. 西表島エコロード検討委員会委員, 沖縄県.

2009.11ー. 絶滅の恐のある野生動物の種の選定・評価検討会 爬虫・両生類分科会委員, 環境省.

2010.1—3. 大保ダムモニタリング部会委員, 内閣府, 沖縄総合事務局, 北部ダム事務所.

2010.1ー. オオヒキガエル防除事業対策会議委員, 環境省.

2010.2.ー. 沖縄県外来性爬虫類対策会議委員, 環境省, 自然保護課, 野生生物課, 沖縄事務所.

相談・指導助言

来訪者6件, 15名. 電話・FAX相談12件, メール相談2件.

## 橋本佳明, HASHIMOTO Yoshiaki

自然・環境評価研究所

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 准教授.

昭和31年大阪府生, 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了, 学術博士, 昆虫学会等所属

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

研究シンクタンク 副室長

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 膜翅目昆虫(アリ類等)の系統分類学的研究
2. 熱帯雨林生物多様性に関する研究
3. 昆虫を素材にした環境教育システムの研究
4. 共生生物学

##### ■ 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による, 環境学習支援および地域振興に関する研究」・但馬地域, 研究分担者.

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

Yoshiaki HASHIMOTO, Yuko Morimoto & Erwin S. WIDODO (2010) Vertical habitat use and foraging activity of arboreal and ground ants in a Bornean Tropical Rainforest. *Sociobiology* 55, (in press)

##### ■ その他著作

橋本佳明 (2009) 兵庫県立人と自然の博物館の昆虫コレクション昆虫と自然 44 巻 11 号 31-33

##### ■ ブログへの情報提供

ひとはく: ブログ 2 件

##### ■ 研究発表

橋本佳明 (2009) ボルネオ島熱帯雨林の樹冠層におけるアリとアリ擬態クモ類の多様性構造 日本昆虫学会第 69 回大会 三重大学

Hashimoto, Y. (2009) Do biodiversity of ant-mimic spiders associate with ant biodiversity? – canopy-ground comparisons within Bornean tropical forest ANeT 7th conference Indonesia LIP

Hashimoto, Y. (2009) Comparative anatomy and phylogenetic implications of the skeleto-musculature of

mandibles in ants (Formicidae) ANeT 7th conference Indonesia LIP

##### ■ 学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference Collections (ANeT) 評議委員.

Insectes sociaux レフェリー

Asian myrmecology レフェリー

Japanese Journal of Entomology レフェリー

##### ■ 助成を受けた研究

アリ類の種多様性はアリゲモ類の種多様性の鋳型となっているか 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額 91 万円/487 万円).

地球規模生物多様性情報機構(GBIF)の促進における生物多様性データベース作成課題「鱗翅目データベース」 独立行政法人 科学技術振興機構, 研究分担者

東南アジア熱帯雨林における土壌呼吸のホットスポット現象に関する研究 文部科学省科学研究費 若手研究 (A) 研究分担者

熱帯雨林の林冠における節足動物の多様性と群集構造 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者

##### ■ 海外調査

2009.8 マレーシア・サラワク州

2009.9 タイ国 サケラート

2009.9 マレーシア・サラワク州

2010.1 マレーシア・サラワク州

2010.3 タイ国 サケラート

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.8 マレーシア・サラワク州 アリ類の採集

2009.9 タイ国 サケラート アリ類の採集

2010.3 タイ国 サケラート アリ類の採集

##### ■ 整理同定担当資料

岩田久二雄フィールドノート 2000 点

坂口チョウ類コレクション 6000 点

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

橋本佳明. 2009.5「アリ学入門編」(10 名)

橋本佳明. 2009.9「アリ学応用編」(10 名)

橋本佳明. 2009.11 「熱帯雨林の奇妙なアリたちの生態と生物多様性保全」(10 名)

橋本佳明・高橋晃・布施静香, 2009.11 「生物系収蔵庫ツアー」博物館. (40 名)

高橋晃・布施静香・橋本佳明, 2009.3 「生物系収蔵庫ツアー」博物館. (40 名)

橋本佳明・川東丈純 2009.8 「ギッチョン君講談とトーク」博物館. (40 名)



#### 館外講演

橋本佳明, 2009.4. 有馬富士講演 (40 名)

橋本佳明, 2009.10. 兵庫県立大付属高校 (120 名)

非常勤講師など

2009.5. 「アリとハチのデザイン」 神戸芸術工科大学 80 名

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学 (分担)

兵庫県立大学附属中学校

1 年生プロジェクト学習

ラジオ・テレビ等出演

NHK 教育 未来への航海

#### ■ ミニキャラバン事業

担当 2009.7 淡路島 「ラン展」

#### ■ 学校教育支援

学校団体対応

2009.4 兵庫県立大付属中学校 (43 名)

2009.8 百合学院中学校 (95 名)

#### ■ 研修生等の受入

2009.9, JICA 研修(標本管理・データベース) (1 名)

## 2. シンクタンク事業

#### ■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

6 回

#### ■ 行政等支援

相談・指導助言

来訪相談 7 件, 電話相談 22 件

## 沢田佳久, SAWADA Yoshihisa

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 助教.  
昭和34年京都府生. 九州大学大学院農学研究科修了, 農学  
博士, 日本昆虫学会等所属

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. オトシブミ, チョッキリの多様性

##### ■ 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による, 環境学習  
支援および地域振興に関する研究」

##### ■ 論文・著書

沢田佳久(2009)コチョッキリ属の潜葉性. 昆虫と自然,  
44(6): 9-12

沢田佳久(2009)船越山でタカハシトゲゾウムシを採集.  
きべりはむし, 32(2): 41.

##### ■ その他著作

安田守・沢田佳久(2009)オトシブミハンドブック, 文一総  
合出版, 東京, 80pp.

##### ■ ブログへの情報提供

25件

##### ■ 研究発表

沢田佳久(2009)オトシブミの性的二型. 日本昆虫学会第  
69回大会, 三重大学, 津市.

沢田佳久(2009)ホリカワアシブトゾウムシの生態. 昆虫学  
会近畿支部大会, 兵庫県博, 三田市.

##### ■ 学会役員など

日本昆虫学会, 電子化推進委員.

日本ゾウムシ情報ネットワーク, 地域ファウナ調査会幹事

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 各種昆虫類, 三田市等

2009.5-6 京都大学芦生研究林付近の甲虫類, 京都府

2009.4-10 奈佐山付近の甲虫類, 豊岡市

##### ■ 受贈担当資料

2009.10 キベリオオツヤヒラタガムシ, パラタイプ(藤原氏  
コレクション)1点

2010.3 芝田太一氏記載, ヒゲナガゾウムシ科, パラタイ  
プ(林氏コレクション)8点

2010.3 木元新作氏同定, ハムシ科標本(林氏コレクシ  
ョン)18点

2010.3 ハネカクシ上科等, パラタイプ, 同定済標本等  
(林氏コレクション)88点

2010.3 タマキノコムシ科等ホロタイプ等(保科氏コレク  
ション)19点

2010.3 日本産ゾウムシ科標本(中村氏コレクション)2221  
点

##### ■ 整理同定担当資料

昆虫(双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

## 八木剛, YAGI Tsuyosi

自然・環境評価研究所

昆虫共生系研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和43年大阪府生. 神戸大学大学院農学研究科修士課程修了. 農学修士. 日本昆虫学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室・広報支援担当

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

研究担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 昆虫分布の解釈に関する研究
2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による, 環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究代表者.

##### ■ その他著作

石田弘明・八木 剛・山下治子(200) ■イタリアの自然史系ミュージアム【2】歴史と伝統に裏打ちされた「こだわりの展示」. *Musee* 88:18-21.

八木 剛・石田弘明・山下治子(200) ■イタリアの自然史系ミュージアム【3】ホテルは飛ぶか? PAV (Parco d'Arte Vivente) の取り組み. *Musee* 89:20-23.

八木 剛(200) ■水害の試練から立ち上がる佐用町昆虫館. *Musee*, 90:17.

八木 剛(2010) 昆虫リテラシー向上のための基礎資料— 展覧会「神戸元町・夏の昆虫館」における展示標本への人気投票から見た, 男女別, 年齢層別の昆虫の好み—. *きべり*はむし, 32(2):26-37.

##### ■ ブログへの情報提供

15件

##### ■ 研究発表

安岡拓郎・八木 剛・前藤 薫・竹田真木生(2009) ヒメボタルの発光時刻の地理的変異とその分布. 日本昆虫学会第69回大会, 三重大学

安岡拓郎・八木 剛・前藤 薫・竹田真木生(2009) ハンドソーティングとベイトトラップによるヒメボタルの幼虫の捕獲効率. 日本昆虫学会近畿支部2009年度大会・日本鱗翅学会近畿支部第139回例会 合同大会, 兵庫県立人と自然の博物館

##### ■ 学会役員など

日本昆虫学会, 近畿支部幹事.

##### ■ 助成を受けた研究

博物館での「演示」の実施による環境学習効果の研究.  
科学研究費補助金基盤研究(C). 研究代表者(60万円/350万円).

### 2. 資料収集・整理

#### ■ 資料収集

2009.5-2009.10 ヒメボタル等. 京都市, 三田市, 宝塚市, 佐用町, 香美町, 奈良県, 岐阜県, 長野県

#### ■ 整理同定担当資料

昆虫(双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

八木 剛. 2009.4-2010.2. 「ユース昆虫研究室」. 国営明石海峡公園(神戸地区)・ハチ北高原(香美町)・博物館(全13回,延べ169名).

八木 剛. 2009.4-6. 「キリギリスの赤ちゃんを育てよう」. 博物館(全3回,延べ54名)

八木 剛. 2009.6. 「ヒメボタル観察オールナイトハイキング」. 武田尾 一生瀬(終夜) \$5名

八木 剛. 2009.8. 「夏季教職員セミナー: 体験的な環境学習に活かす校区の昆虫しらべ」. 博物館(17名).

八木 剛. 2009.8. 「クラーク記念国際高等学校連携セミナー: 六甲山のホテル」. クラーク記念国際高等学校(117名).

特注セミナー

2009.5 「兵庫のホテル」こどもエコクラブ グリーンキッズ, (14名)

2009.8 「トンボとりペナントレース」みこころ幼稚園親子学級, (140名)

2009.9 「ビオトープについて」NPO 法人シニア自然大学校, (60名)

2009.9 「ビオトープについて」NPO 法人シニア自然大学校, (59名)

2009.10 「ビオトープについて」NPO 法人シニア自然大学校, (62名)

館外講演

2009.5 博物館学芸員専門講座, 国立教育政策研究所(40名)

2009.5 「昆虫少年, 長じて次世代育ててに組み込む」豊中アイボリーフォーラム, 豊中駅前まちづくり会社

2009.6 「秘密基地としてよみがえった佐用町昆虫館」兵庫県博物館協会研修会, 兵庫県立歴史博物館(40名)

2009.6 「ホテルのタバ ーゲンジボタル編ー」佐用町昆虫館

2009.6 「ヒメボタルのひみつ」第12回ヒメボタルサミット in 天王山, 大山崎ふるさとセンター(80名)

2009.7 「ヒメボタル観察会」, 国崎クリーンセンター

2009.7 「ホテルのタバ ーヒメボタル編ー」佐用町昆虫館

2009.8 「むしむしクイズ退会」兵庫県学校厚生会館(神戸元町・夏の昆虫館)

2009.8.9 「ミヤマアカネ」フレミラ宝塚

2009.8 「秋の鳴く虫」フレミラ宝塚

2009.9 「博物館について」フレミラ宝塚

2009.9 「地域の自然環境を次世代に」須磨区G3サミット, すまいるプラザ大黒.

2009.9 「ヒメボタルの生息環境」姫螢研究会 in 八王子, 八王子市勤労会館.

2010.1 「里山のホタル」県立美術館

2010.2 「博物館のシンクタンク機能」愛知県博物館協会 研修会, 愛知芸術文化センター

2010.2 「秘密基地としてよみがえった佐用町昆虫館」小規模ミュージアムの集い, 高槻市立芥川緑地資料館 非常勤講師

2009.9 「環境生態学」滋賀大学教育学部

2010.1 「生物学のすすめ」神戸大学理学部 ラジオ・テレビ等出演

2009.4

- キャラバンおよび地域研究員養成事業 展示作成 加東市まち丸ごとミュージアム
- ミニキャラバン事業 2009.8. 「神戸元町・夏の昆虫館」(主担当). アートホール神戸
- 連携事業 連携グループ等 NPO 法人人と自然の会(アドバイザー:主) run♪run♪ plaza(アドバイザー:主) テネラル(アドバイザー:主) あかねちゃんクラブ(アドバイザー:主) きんひばり(アドバイザー:副) さんぽクラブ(アドバイザー:副) 地域研究員: 吉田浩史(アドバイザー:主) 成果発表 2010.2 共生の広場「15年間で著しく減少した川西市加茂地区のヒメボタル」畚野 剛(ほか)(指導・助言) 2010.2 共生の広場「あいなな昆虫 2009」ユース昆虫研究室(指導・助言) 2010.2 共生の広場「明石公園で虫をみつけたよーぼくたち・わたしたちの昆虫採集」明石市立明石小学校(指導・助言) 2010.2 共生の広場「兵庫県の昆虫たち」高尾海星(指導・助言) 2010.2 共生の広場「昆虫の不思議」矢部清隆(指導・助言) 2010.2 共生の広場「コガネムシ天国」河原大芽(指導・助言) 2010.2 共生の広場「ハチ北高原でつかまえた昆虫」岸本将希(指導・助言) 共催事業

2009.4.19, 5.17「かわいい春をみつけよう」. run♪run♪ plaza, 深田公園(全2回)

2009.4-2010.3「ドリームスタジオ」(全12回), 「花工房」(全12回), 「古代体験」ほか. NPO 法人人と自然の会, 博物館

2009.7-8 「ひとほく博士と行くハチ北高原サマースクール」. run♪run♪ plaza, 博物館・ハチ北高原(全5回)(延べ103名)

2009.4, かわいい春をみつけよう run♪run♪ plaza 深田公園(16名)

2009.6. かわいい春をみつけようスペシャル 今年はホタルを見に行こう!, run♪run♪ plaza 佐用町昆虫館

2009.6. 「昆虫アドベンチャー(1泊2日)」. run♪run♪ plaza, 三田市波豆川(20名)

2009.7. 「パンパといっしょの昆虫アドベンチャー」. run♪run♪ plaza 明石公園(60名)

2009.8. 第5回みやまあかね祭, あかねちゃんクラブ. 宝塚ゴルフクラブ(227名)

2009.10. 「いどうこんちゅうかん」, 佐用町昆虫館・NPO 法人こどもとむしの会(佐用町内保育園・幼稚園4園)

- 学校教育支援 学校団体対応 2009.5. 「昆虫の話」尼崎市立園田北小学校4年生(51名). 2009.5. 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」宝塚市立西山小学校4年生(88名). 2009.8 「昆虫の話」三田市立三輪小学校, (85名) 2009.9 「深田公園で虫取り」明石市立朝霧小学校, (108名) 2009.9 「昆虫の話」尼崎市立武庫の里小学校, (100名) 2009.9 「トンボとりペナントレース」西宮市立段上小学校, (102名) 2009.10 「ホタルについて」稲美町立天満東小学校, (67名) 2009.10 「みやまあかねについて」小林聖心女子学院小学校, (108名) 講師派遣 2009.4.5 「明石公園の昆虫」明石市立明石小学校3年生 2009.1 「校庭の昆虫」明石市立朝霧小学校3年生 2009.2 「環境学習(ホタルについて)」淡路市立生田小学校3,4年生(11名) 2009.7. 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」宝塚市立西山小学校4年生(88名).
- フェスティバル等 2009.11 ひとほくフェスティバル, ゆるキャラ大集合(責任者).
- 展示 企画展 2009.6-8 初夏の鳴く虫と巡回展「ぎっちゃん君参上!」(分担者)

## 2. シンクタンク事業

### ■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 5回, 50名.

### ■ 行政等支援

委員会等 (計2件)

2009.4 兵庫県立ささやまの森公園運営協議会, 委員

2009.4 名古屋城外堀ヒメボタル調査アドバイザー, 名古屋市

2009.11 神戸版レッドデータ検討委員会, 委員

2009.12 公園・花・みどり国際フォーラム実行委員  
相談・指導助言

2009.6. ヒメボタルの保全について, 国土交通省淀川河川事務所

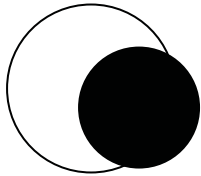
2009.9. 西日本高速道路(株)

2009.8- 佐用町昆虫館連携協定締結, 佐用町昆虫館復興支援ネットワーク

### ■ 学会開催等支援

2009.12 日本昆虫学会近畿支部大会・日本昆虫学会近畿支部例会合同大会(昆虫学公開研究発表会)開催.  
100名

2010.2 兵庫トンボ研究会総会開催. 15名



# 個人別成果報告に関する資料

No. 3

● 自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ/  
動物共生研究グループ

## 江崎 保男, EZAKI Yasuo

自然・環境マネジメント研究部/流域生態研究グループ  
研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 教授。  
昭和26年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。日本鳥学会, 応用生態工学会, 日本生態学会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

研究系次長, 館内研究者の指揮・総括

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

- ダム水源地を含む流域生態系保全に関する研究
- 人と陸域生物群集の相互作用に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者

部門研究「共生の現実と未来」, 研究代表者。

##### ■ 論文・著書

山岸哲・松原始・平松山治・鷲見哲也・江崎保男(2009) チドリ3種の共存を可能にしている河川物理, 洪水にともなう砂礫の分級. 応用生態工学, No.12, 79-85.

##### ■ その他著作

一方井誠治・江崎保男・木原淳二・岡田真美子・三宅康成(2009)パネルディスカッション「環境人間学の目指すところ」. 兵庫県立大学環境人間学部研究報告, No.11, 23-34.

江崎保男(2009)冬晴れの記憶. ひとはいくコラム, ひとはいく新聞(12月25日).

##### ■ 研究発表

江崎保男・脇坂英弥・遠藤菜緒子(2009)京都巨椋干拓地における水田鳥類群集の変化—30年前との定量比較. 日本鳥学会2009年度大会, 北海道大学, 函館。

◎前田了・大迫義人・江崎保男(2009)再導入されたコウノトリの繁殖における雌雄の役割分担. 日本鳥学会2009年度大会, 北海道大学, 函館。

##### ■ 学会役員など

日本鳥学会, 副会長(2009.12 まで), 会長(2010.1~)

日本鳥学会, 評議員

応用生態工学会, 幹事長(2009.9 まで), 理事(2009.10 ~)

日本鳥学会員近畿地区懇談会, 世話人

平成21年度科学研究費補助金(特定奨励費)「山階鳥類研究所データベースシステムの構築と公開」, 外部評価委員

(財)姫路工業大学後援財団, 評議員

##### ■ 助成を受けた研究

人と軋轢を生じているカワウ・サギ類との共生を果たす戦略の基礎研究. 平成21年度兵庫県立大学特別教育研究助成金. 研究代表者(金額70万円/70万円)

水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究ダム水源地環境整備センター. 研究代表者(金額40万円/40万円)

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 鳥類関連資料.

##### ■ 整理同定担当資料

鳥類

##### 4) 資料の貸し出し

2010.1 兵庫県自然環境課(イヌワシ写真)

2010.3 兵庫県警察本部総務部県民広報課(イヌワシ写真)

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

江崎保男, 2009.8, 教職員セミナー「生態系ってなに?」, 博物館. (全1回, 20名)

◎江崎保男・風間美穂, 2009.6, ひとはいくセミナー「ため池地域の人と自然」, 博物館. (全1回, 23名)

◎江崎保男, 2008.6, ひとはいくオープンセミナー「自然ってなんだろう?」, 博物館. (全1回, 12名)

江崎保男, 2009.7, 特注セミナー「地球環境問題—不出来な textbook を棄て, wise な頭を使おう」(シニア自然大学), 博物館. (全1回, 62名)

館外講演

江崎保男, 2009.5.16, 「時間軸で環境を評価する<鳥類からの評価>」, 環境技術指導者養成講座, 大阪産業大学(15名).

江崎保男, 2009.6.11, 「生態学者が考える環境目標設定

の方法論(招待講演)」、新しい河川整備・管理の理念とそれを支援する河川技術に関するシンポジウム、土木学会水工学委員会河川部会、東京大学、東京(100名)。

江崎保男, 2009.9.28, 「パネルディスカッション:ダム湖の生物群集と物質循環～健全な生態系管理をめざして～」, コーディネーター, 第12回水源地生態研究セミナー, 星稜会館, 東京(100名)。

江崎保男, 2009.10.1, 「生物多様性はなぜ重要か」, ナチュラルウォッチャーリーダー・ナチュラルウォッチャー研修会, (財)ひょうご環境創造協会, 人と自然の博物館(52名)。

江崎保男, 2009.10.8, 「自然とはなにか, なぜ必要か」, 講師, ひょうご講座, 県民会館(40名)。

江崎保男, 2009.11.21, 「自然とは, そして健全な自然とはなにか」, 講師, 第5期森林・湿原サポーター養成講座, NPO法人こども環境活動支援協会, 甲山自然の家(50名)。

江崎保男, 2009.12.5, 「パネルディスカッション:河川・流域の管理と連携～河川, ため池, 播磨灘につながる水圏ネットワーク」, コーディネーター, 近畿現地ワークショップ in 加古川, 応用生態工学大阪, 西脇市青年自然の家(50名)。

江崎保男, 2009.12.5, 「川は森に発し, 海に下る(基調講演)」, 講師, 平成21年度森・川・海再生事業, 加古川流域交流フォーラム, 北播磨・東播磨・丹波県民局, 嬉野台生涯教育センター(150名)。

江崎保男, 2010.2.15, 「自然とはなにかーエコロジカルな視点から」, 講師, シニア自然大学校, 大阪NPOプラザ(200名)。

兵庫県立大学・大学院教育  
自然・環境科学研究所 所長・  
同 教授  
環境人間学研究科 共生博物館門長  
同 教授  
評議員  
職務発明審査会 委員  
将来計画委員会 委員  
附属学校委員会 委員  
生態学特別演習(講義)  
特別ゼミナールⅠ  
特別ゼミナールⅡ  
特別研究  
大学院生の指導(指導教員として)

2008.4-2010.3, 風間美穂(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「開放水面に営巣するカイツブリ～人為がもたらす営巣場所の変化～」修士論文主査。

2008.4-2010.3, 前畑晃也(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「兵庫県におけるカワウ *Phalacrocorax carbo* 個体群の確立に関する研究～分布と個体数の観点～」, 修士論文主査。

2008.10-2010.3, 前田 了(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「再導入されたコウノトリ(*Ciconia boyciana*)の繁殖における雌雄の役割分担」, 修士論文主査。

2008.10-2010.3, 佐藤 直(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「都市に生息するカラスの生態に関する研究」, 修士論文主査。

2009.4-, 薮 優子(環境人間学研究科博士前期課程1年), 「ヤモリの生態に関する研究」。

2009.4-, 山田映子(環境人間学研究科博士前期課程1年), 「カラス類の生態に関する研究」。

学生指導(副指導教員として)

2008.4-2010.3, 荒川 裕(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「オオカマキリのエソグラム作成とそれに基づく生態学的研究」, 修士論文副査。

2008.4-2010.3, 遠藤美香(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「集落の食物資源量がニホンザルの土地利用に与える影響」, 修士論文副査。

平成22年度大学院環境人間学研究科博士前期課程(A日程)専門科目の出題および採点委員  
同 口述試験 面接委員  
平成22年度大学院環境人間学研究科博士後期課程(B日程)専門科目の出題および採点委員  
同 口述試験 面接委員  
環境人間学部教員選考委員会, 外部委員  
自然・環境科学研究所教員選考委員会, 委員

■ 地域研究員養成事業  
主担当  
溝田浩美(ひとはく地域研究員)  
楠瀬雄三(ひとはく地域研究員)  
脇坂英弥(ひとはく地域研究員)  
工 義久(ひとはく地域研究員)  
成果発表指導  
2010.2 共生のひろば「冬季における大阪城の樹林性鳥類相」, 楠瀬雄三・福井 亘(指導)

■ フェスティバル等  
2009.11 ひとはくフェスティバル, 「館内支援」。

**2. シンクタンク事業**

■ 受託研究  
「恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり関連地域環境基礎調査」, (財)兵庫丹波の森協会, (30万円)

■ 行政等支援  
委員会等(計19件)  
2009.6- 兵庫県環境審議会, 委員(鳥獣部会長), 兵庫県。  
2006.12- コウノトリ保護・増殖(野生化)対策会議, 委員, 兵庫県。  
2008.8- 水源地生態研究会, 委員長, (財)ダム水源地環境整備センター。  
2004.4- 川上ダム自然環境保全委員会, 委員, 水資源開発機構。

2004.4- 川上ダム希少猛禽類保全委員会, 委員長, 水資源開発機構.  
2004.4- 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会, 委員, 大阪府.  
2004.10- 畑川ダム環境保全検討委員会, 委員, 京都府.  
2006.2- 渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター.  
2006.11- 利根川水系河川整備計画有識者会議, 委員, 国土交通省.  
2007.11- 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会, 委員, 国土交通省.  
2008.8- 与布土ダム環境保全検討委員会, 委員, 兵庫県.  
2009.4.1- 河川・海岸環境機能等検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター.  
2009.9.4- 外来生物対応方策検討委員会, 委員, 兵庫県.

2006.6- 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」, アドバイザー, 兵庫県.  
2007.6- 金出地ダム鳥類モニタリング, アドバイザー, 兵庫県.  
2007.7- 平成 21 年度緑のふるさと林道建設事業(奥寄線) 調査業務, アドバイザー, 京都府.  
2009.10- 緑の生活林道建設業務丹波広域基幹林道, アドバイザー, 京都府.  
2007.8- 丹住谷川通常砂防事業, アドバイザー, 京都府.  
2008.3- 上流武庫川自然を活かした治水対策, アドバイザー, 兵庫県.  
相談・指導助言  
来訪者 50 件, 220 名. 電話・FAX 相談 50 件, メール相談 10 件.



## 田中 哲夫, TANAKA Tetsuo

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 准教授.

昭和23年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本生態学会, 日本魚類学会, 兵庫県県政学会, 魚類自然史研究会, 関西自然保護機構, 兵庫陸水生物研究会, ひょうご水辺ネットワーク等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

### 1. 事業推進部門

なし

### 2. タスクフォース

なし

### 3. 研究開発部門

研究・シンクタンク推進室室長

<研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究
2. 外来生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究
3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究
4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

##### ■ 共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館の実践」, 研究分担者.

部門研究「共生の現実と未来」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

田中哲夫(2010)総論ため池. 丸山直樹他(編), 「野生動物保護の辞典」, 314-320, 朝倉書店, 東京, 792p.

##### ■ その他著作

田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・今西将行・谷本卓弥(2010)キリンビール神戸工場レフュジアビオトープに関する研究 VII, レフュジアビオトープ研究会.  
服部保・田中哲夫・八木剛(監修)(2009)生きている由良川, NPO 法人野生生物を調査研究する会, 293pp.

##### ■ 研究発表

田中哲夫・藤田茂宏・谷本卓也・山科ゆみ子・三浦靖弘(2009)カワバタモロコの増殖速度と卵の捕食. 第49回魚類自然史研究会, 人と自然の博物館, 三田市.

田中哲夫・佐藤裕二・永吉照人・谷本卓弥(2009)希少淡水生物のレフュジアビオトープ(キリンビール神戸工場の環境への取り組み). 第49回魚類自然史研究会, 人と自然の博物館, 三田市.

田中哲夫・藤田茂宏・谷本卓也・山科ゆみ子・三浦靖弘(2010)自らの卵捕食がカワバタモロコ個体群動態に及ぼす影響. 日本生態学会, 東京大学駒場, 東京都.

##### ■ 学会役員など

魚類自然史研究会, 第49回魚類自然史研究会開催幹事.

##### ■ 助成を受けた研究

治水と希少水生生物の保全是両立するか. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額143万円/480万円).

## 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 兵庫県産水生生物.

##### ■ 受贈担当資料

2009.10 兵庫県産甲殻類(土井コレクション2). 50点.

##### ■ 整理同定担当資料

淡水魚および水生生物全般.

<事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

田中哲夫, 2009.4-2009.5, 「ため池を探る」, 博物館・三田市香下ため池群. (全4回, 43名)

◎田中哲夫, 2009.5, 「魚をつかまえてみよう」, 有馬富士フェスティバル, 有馬富士公園, 三田市(40名).

◎田中哲夫, 2009.6, 「芦屋でまなぶ森・川・海の自然～川の魚と水生昆虫」, 芦屋市(44名).

◎田中哲夫, 2009.8, オープンセミナー「川魚の暮らし」, 博物館常設展示前. (全2回, 39名)

田中哲夫, 2009.8, 夏季教職員セミナー「ビオトープ調査法」, 博物館. (11名)

◎田中哲夫, 2009.9, ふかたん「水辺の探検隊」, 博物館. (21名)

田中哲夫, 2009.9-2009.10, 「ビオトープ池を調べる」, 祥雲館高校連携セミナー. (全3回, 21名)

館外講演

田中哲夫, 2009.6, 「武庫川の魚類と環境」, 講師, 兵庫県高等学校教育研究会生物部会丹南氏部会, 篠山産業高校丹南分校, 篠山市(7名).

田中哲夫, 2009.8, 「川の生き物観察会」, 講師, 山東の自然に親しむ会, ふるさといきもの館(30名).

田中哲夫, 2010.1, 環境学習「ひょうごの魚」, 神戸市立東条小学校(12名).

田中哲夫, 2010.3, 「川の生態系と生物多様性」, 講師, 第2回「森～川～海を結ぶ都市河川の自然再生」, 東灘区民センター, 神戸市(40名).

特注ゼミ

田中哲夫, 2009.11, 「兵庫の淡水魚」, 兵庫県内水面漁場管理委員会研修会, 博物館(12名).

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学集中講義「共生生物学」(分担)

2009.9, 「キリンビオトープの環境への取り組み」, キリン

ビール神戸工場, 神戸市(40名).

兵庫県立大学公開講座「ひょうごの生物多様性とその保全戦略」(分担).

2009.11, 「ひょうごの淡水魚の多様性」, 県立大学本部, 神戸市(14名).

兵庫県立大学付属中学プロジェクト研究「水辺の環境」5名担当.

非常勤講師

2009.6, 「流れと生物」, 神戸芸術工科大学「自然とデザイン」, 神戸市(80名).

2009.10, 「武庫川の淡水魚」, 神戸大学「生物学野外実習」, 篠山市(30名).

2009.10, 「武庫川の水生动物」, 神戸大学「生物学野外実習」, 篠山市(30名).

2009.11, 「治水と河川環境」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市(150名).

2009.11, 「進化と生物多様性」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市(150名).

2009.11, 「外来生物と環境」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市(150名).

■ キャンパイン事業および地域研究員養成事業

主担当

谷本卓弥(ひとく地域研究員;主アドバイザー)

琢磨千恵子(ひとく地域研究員;主アドバイザー)

法西 浩(ひとく地域研究員;主アドバイザー)

藤田茂宏(ひとく地域研究員;主アドバイザー)

副担当

森本静子(ひとく地域研究員;副アドバイザー)

「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」(分担)

セミナー担当

2009.6 「芦屋でまなぶ森・川・海の自然～川の魚と水生昆虫」, (講師・企画運営)

成果発表

2010.2 共生のひろば「千疋貯水池に注ぐ波豆川と羽東川下流の回遊性水生生物」, 法西 浩(ひとく地域研究員)(指導).

2010.2 共生のひろば「昆陽池の水生生物相について」, 兵庫県立伊丹北高校自然科学部・谷本卓弥(ひとく地域研究員)(指導).

■ ミニキャンパイン事業

2009.5, 有馬富士フェスティバル(分担者), 三田市自然学習センター, 有馬富士公園, 三田市.

■ 連携事業

連携グループ等

丹波のホトケドジョウを守る会(ひとく連携活動グループ;主アドバイザー)

山東の自然に親しむ会(ひとく連携活動グループ;副アドバイザー)

NPO 里山レンジャー(ひとく連携活動グループ;副アドバイザー)

## 成果発表

2010.2 共生のひろば「自然にふれあい、ふるさと与布士(ようど)の良さを発見しよう!」, 朝来私立与布士小学校3年・大槻かおり・藤本邦彦(ひとく連携活動グループ山東の自然に親しむ会)(指導).

## 共催事業

2009.8, ふるさといきもの館「川の生き物観察会」, 山東の自然に親しむ会(ひとく連携活動グループ)(講師)

2009.10, 第49回魚類自然史研究会, 人と自然の博物館, 三田市(開催幹事)

## ■ 学校教育支援

### 学校団体対応

2009.6, 環境学習「メダカやドジョウはなぜ少なくなったのか」, 三田市立三田小学校(109名)

2009.10, 「篠山川の生物」, 兵庫県立鳳鳴高校, 博物館(18名).

2009.11, 「川の魚」, 神戸市立淡河小学校, 博物館(12名).

2010.2, 環境学習「メダカとドジョウ学習発表会」, 三田市立三田小学校(106名).

2010.3, 環境学習「ビオトープに関する質問会」, 明石市立貴崎小学校(106名).

2009.11, 環境学習「川の魚」, 神戸市立淡河小学校, 博物館(12名).

2010.2, 環境学習「メダカ学習発表会」, 神戸市立三田小学校, 博物館(110名).

### 講師派遣

2009.5, 環境学習「メダカの放流にむけて」, 講師, 宝塚市立西谷小学校(65名).

2009.6, 「武庫川の魚類調査」, 講師, 篠山産業高校丹南分校, 篠山市(12名).

2009.9, 環境学習「キリンビオトープ観察会」, 丹波市立和田小学校(64名).

2010.1, 環境学習「ドジョウはなぜ少なくなったのか」, 東条市立鴨川小学校(10名).

## ■ 研修生等の受入

### 博物館実習

2009.8.7-8.13, 京都府立大学農学部学生1名, 神戸大学発達科学部学生1名, 神戸大学理学部学生1名.

## ■ フェスティバル等

2009.11 ひとくフェスティバル, 「駐車場誘導」.

## ■ 展示

### 企画展

2009.9-2009.11.23, 写真展「コウノトリのいる風景」(分担者).

### ミニ企画等

2010.2-2010.3.28, ミニ企画展「日本一のダリアを守りたい～ふるさと西谷を感じよう～」(分担者).

2010.2-2010.5.16, ミニ企画展「六甲山のキノコ展—リアルな森の妖精たち—」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

### ■ 受託研究

「キリンビール神戸工場におけるレフュジアビオトープに関する研究」. 代表者: キリンビール神戸工場. (70万円).

### ■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫の案内, 8回, 40名.

### ■ 行政等支援

委員会等 (10件)

2009.4-2010.3. 県立宝塚西谷の森公園運営協議会, 委員, 宝塚市.

2009.6-2010.3. 「兵庫の貴重な自然」改定方針検討委員会, 委員, 兵庫県環境課.

2009.4-2010.3. 大滝ダム運用環境調査委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2009.4-2010.3. 尼崎市環境審議会, 委員, 尼崎市環境局.

2009.4-2010.3. 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵

庫県環境影響評価室.

2009.4-2010.3. 武庫川水系に生息・生育する生物及びその生活環境の持続に関する2つの原則に係る専門検討委員会, 委員, 兵庫県県土整備部土木局.

2009.4-2010.3. 猪名川自然環境委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 猪名川河川事務所.

2009.4-2010.3. 猪名川自然環境委員会・構造部会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 猪名川河川事務所.

2009.6-2010.3. 武庫川水系「ひょうごの川」自然環境調査, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局.

2009.4-2010.3. 円山川水系自然再生推進委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.

相談・指導助言

来訪者 20件, 50名. 電話・FAX 相談 30件, メール相談 20件.

### ■ 学会開催等支援

2009.10 第49回魚類自然史研究会, 46名.

## 三橋 弘宗, MITSUHASHI Hiromune

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ／研究・シンクタンク推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 講師。  
昭和45年京都府生。京都大学大学院理学研究科博士前期課程修了。理学修士。日本生態学会、日本陸水学会、応用生態工学会、アメリカベントス学会、兵庫陸水生物研究会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

地域再生人材

#### 3. 研究開発部門

研究・シンクタンク推進室副室長

兵庫県立大学自己評価委員(大学認証評価報告書作成担当, 第2期中期目標とりまとめ担当)

兵庫県立大学自然・環境科学研究所内自己評価委員長(教員評価システムの構築担当)

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究
2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究
3. 樹脂を活用した展示物の作製技法に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」分担者

部門研究「共生の現実と未来」分担者

##### ■ 論文・著書

丹羽英之・三橋弘宗・森本幸裕(2009) 流域スケールでの環境類型区分と指標群落の抽出, 保全生態学研究 14(2), 173-184

Akasaka M., Takamura N., Mitsuhashi H. & Kadono Y. (2009). Effects of land use on aquatic macrophyte diversity and water quality of ponds. *Freshwater Biology*, 55, 909-922.

三橋弘宗 (2010)「生物多様性情報の整備法」. 保全生態学の技法 (編: 鷺谷いずみら). 東京大学出版会 東京, 103-128.

三橋弘宗 (2010)「小さな自然再生のすすめ」. ローテク&エコテク風土記〜川もまちも元気になる! (編: FRONTMOOK 編集部). リバーフロント整備センター 東京, p. 40-43

Uematsu Y., Koga T., Mitsuhashi H. & Ushimaru A. Abandonment and intensified use of agricultural land decrease habitats of rare herbs in semi-natural grasslands.

*Agriculture, Ecosystems & Environment*, 135, 304-309.

Iwata T., Urabe J. & Mitsuhashi H. (2010). Effects of Drainage-Basin Geomorphology on Insectivorous Bird Abundance in Temperate Forests. *Conservation Biology*, 24 inpress.

##### ■ その他著作

三橋弘宗(2009) 六甲山のキノコ展を終えて, ひとく新聞 65号

三橋弘宗(2009) 兵庫県版レッドデータブック絶滅種の競演, ひとく新聞 66号

三橋弘宗(2009) 「見えないもの」を「見える」ように, STORK(豊岡市広報誌), 豊岡市

三橋弘宗(2009) 生態系の見本市「戸島湿地」の再創造, ぱたぱた, NPO 法人コウノトリ湿地ネット

三橋弘宗(2009) 円山川下流域, ひょうごの自然 15, エコひょうご(秋号)53号, p.12.

三橋弘宗(2009) 小さな自然再生のすすめ, 第7回自然再生セミナー講演録

(<http://www.rfc.or.jp/gyoji/20091001/kouen5.pdf>), 財団法人リバーフロント整備センター

三橋弘宗(2010) 小型サンショウウオの存続可能性を規程する景観構造の評価と保全計画への適用, 点から空間へ〜新たな漁場の造成や管理を探る〜, 水産工学研究所推進会議報告集, 水産庁.

##### ■ ブログへの情報提供

15件

##### ■ 研究発表

三橋弘宗(2009) パソコンで分布図をつくる方法, 第49回魚類自然史研究会, 人と自然の博物館, 三田市

丹羽英之・三橋弘宗・大澤 剛士・森本幸裕(2009) 水系の環境類型区分をつくるときの空間スケールとサンプリング方法の影響, 第13回応用生態工学会, 埼玉会館, さいたま市

大澤剛士・三橋弘宗・丹羽英之(2009) 河川敷における外来植物種の侵入・優占リスク推定, 第13回応用生態工学会, 埼玉会館, さいたま市

三橋弘宗(2010) 自然再生事業による浅瀬創出とコウノトリの利用, 第57回日本生態学会, 東京大学駒場, 東京都.

竹下邦明, 三橋弘宗, 若宮慎二, 神谷毅, 日下慎二 (2010) コウノトリ採餌適地モデルによる湿地環境の評価, 第57回日本生態学会, 東京大学駒場, 東京都.

赤坂宗光, 樋口伸介, 三橋弘宗, 角野康郎(2010) ため池の水生植物の消失と市街化・護岸率の関係: 形質に注目して, 第57回日本生態学会, 東京大学駒場, 東京都.

大澤剛士, 三橋弘宗(2010) コウノトリ, 第57回日本生態学会, 東京大学駒場, 東京都.

三橋弘宗(2010) 博物館の生態学6 ~視覚と体験で伝える生態学の理論~, デモンストレーション, 第57回日本生態学会, 東京大学駒場, 東京都.

三橋弘宗(2010)もつと使える景観生態学:ランドスケープ  
×α, 第57回日本生態学会, 東京大学駒場, 東京都.

■ 学会役員など

日本生態学会近畿地区委員

日本生態学会保全生態学研究 編集幹事

関西淡水動物談話会 世話人

NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク事務局

■ 助成を受けた研究

コウノトリはなぜ豊岡盆地で生き残ったのか?—標本と  
歴史資料が語る生態系のしくみ—. 文部科学省科学  
研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額 80 万円/400  
万円).

## 2. 資料収集・整理

■ 資料収集

2009.4—2010.3 兵庫県産水生生物.

■ 受贈担当資料

2009.4 兵庫県県土整備部河川計画室調査標本(武庫川  
水系魚類・底生動物). 200 点.

■ 整理同定担当資料

底生動物および水生生物全般.

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

■ セミナー

館主催セミナー

三橋弘宗, 2009.6, 一般セミナー「芦屋川の水生生物と水  
環境」, クラーク記念国際高校連携セミナー, 芦屋市  
(全1回128名)

三橋弘宗, 2009.6, 池尻川のホタル観察—川のしくみを  
学ぶ—, 池尻川, 三田市 (41人)

三橋弘宗, 2009.6, 芦屋でまなぶ森・川・海の自然—川の  
魚と水生昆虫—, 芦屋市(44人)

三橋弘宗, 2009.8, 体験しよう! 川の水生昆虫の学習と調  
査, 教職員セミナー, 芦屋市立精道小学校, 芦屋市  
(11人)

三橋弘宗, 2009.8, 「水生昆虫の顕微鏡写真でオリジナル  
カードをつくろう」, オープンセミナー, 博物館 (102  
人)

三橋弘宗, 2009.9, 豊岡で学ぶ自然再生の理論と実践—  
川の自然再生—, 豊岡市 (全2回, 8人)

三橋弘宗, 2009.9, 芦屋でまなぶ森・川・海の自然—芦屋  
の里山—, 芦屋市(18人)

三橋弘宗, 2009.11, 芦屋でまなぶ森・川・海の自然—モク  
ズガニとウミボタルの観察—, 芦屋市(25人)

三橋弘宗, 2009.11, 封入標本をつくろう, 博物館(20人)

三橋弘宗, 2010.3, 「水生昆虫の顕微鏡写真でオリジナル  
カードをつくろう」, オープンセミナー, 博物館 (64人)

館外講演

三橋弘宗, 2009.5, 守りたい神戸の生き物100選, 神戸市  
中学校理科部会総会(311人)

三橋弘宗, 2009.5, 生物多様性の保全計画, 保全対策,  
保全施策のフレームワーク:数値目標をいかに設定し,  
実現可能性をいかに担保するのか?, JBON(保全・再  
生分科会), Japanese Biodiversity Observation Network  
(50人)

三橋弘宗, 2009.7, 水生生物の観察, 東条東小学校(40  
人)

三橋弘宗, 2009.7, 河川講習会, 兵庫県県土整備部河川  
計画室(61人)

三橋弘宗, 2009.7, 水辺のいきものみつけ体験, ひょうご  
環境創造協会(50人)

三橋弘宗, 2009.8, 君にもできる自然再生, 日本生態学  
会(145人)

三橋弘宗, 2009.8, 川を学ぼう(指導者研修会), 青垣町  
生きものふれあいの郷(30人)

三橋弘宗, 2009.8, 川ガキ養成講座, 三田土木事務所  
(174人)

三橋弘宗, 2009.10, 川の自然再生セミナー, リバーフロ  
ント整備センター(140人)

三橋弘宗, 2009.10, 昆虫類の種多様性と生息環境特性,  
日本昆虫学会(121人)

三橋弘宗, 2009.10, 博物館スタッフのための技術講座(照  
明), NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク(24  
人)

三橋弘宗, 2009.10, 津門川の川づくり勉強会, にしきた  
街づくり協議会(46人)

三橋弘宗, 2009.11, 国土交通省多自然川づくり近畿地区  
ブロック担当者会議, 追手門学院大阪城スクエア(150  
人)

三橋弘宗, 2009.11, 点から空間へ—新たな漁場の造成  
や管理を探る, 水産工学研究所推進会議(90人)

三橋弘宗, 2009.12, ワークショップ 21世紀の生物多様性  
研究, 国立科学博物館・東京大学・国立遺伝子学研究  
所(85人)

三橋弘宗, 2010.1, 生物多様性の保全を実践するために  
必要なこと, 北海道大学農学部(40人)

三橋弘宗, 2010.2, パソコンで分布図を作成する方法,  
NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク(51人)

三橋弘宗, 2010.2, 天然アユが遡上する武庫川づくりフォ  
ーラム 2010, 武庫川づくりと流域連携を進める会(120  
人)

三橋弘宗, 2010.2, 小さな自然再生のすすめ, 水戸市環  
境保全会議, (130人)

三橋弘宗, 2010.3, 武庫川の水生生物からみた水質と生  
息環境, 武庫川づくりと流域連携を進める会(60人)

三橋弘宗, 2010.3, ENOS わくわく生きもの学校, ENOS・豊  
岡市(32人)

特注ゼミ

三橋弘宗, 2009.4, 川のしくみと自然再生, 兵庫県建設業  
協会豊岡支部, 豊岡市(40人)

三橋弘宗, 2009.6, 篠山市内における水辺の生き物観察

会、篠山市曾地地区農地水環境保全向上活動の会、篠山市(60人)

三橋弘宗, 2009.7, 水生生物観察会, 大阪ひがし幼稚園, 丹波市(100人)

三橋弘宗, 2009.7, 生物多様性保全のための野生動物問題解決手法コース, JICA, 博物館(11人)

三橋弘宗, 2009.9, GISによる天然資源農作物の管理, 名古屋大学, 博物館(6人)

兵庫県立大学・大学院教育  
トビケラ目カクツツトビケラ科の生活史戦略, 渡辺昌造, 社会人コース(修士論文指導)

■ キャラバン事業および地域研究員養成事業  
主担当  
森本静子(ひとく地域研究員;主アドバイザー)  
副担当  
琢磨千恵子(ひとく地域研究員;副アドバイザー)  
東山真也(ひとく地域研究員;副アドバイザー)  
セミナー担当  
三橋弘宗, 2009.6, 芦屋でまなぶ森・川・海の自然～川の魚と水生昆虫～, 芦屋市(44名)  
三橋弘宗, 2009.9, 芦屋でまなぶ森・川・海の自然～芦屋の里山～, 芦屋市(18人)  
三橋弘宗, 2009.11, 芦屋でまなぶ森・川・海の自然～モクズガニとウミボタルの観察～, 芦屋市(25人)

■ ミニキャラバン事業  
2009.5, 有馬富士フェスティバル(分担者), 三田市自然学習センター, 有馬富士公園, 三田市.

■ 連携事業  
連携グループ等  
NPO 法人さんびす(ひとく連携活動グループ;主担当)  
里山レンジャー(ひとく連携活動グループ;主担当)  
水辺のフィールドミュージアム(ひとく連携活動グループ;主担当)  
丹波のホトケドジョウを守る会(ひとく連携活動グループ;副アドバイザー)  
成果発表  
2010.2 共生の広場「六甲山におけるキノコの長期観測データを用いた出現種数の推定および気象要因との対応分析」兵庫県立御影高等学校2年(指導).  
2010.2 共生の広場「みんなで出来る川の自然再生～竹筋コンクリート水制のつくり方～」水辺のフィールドミュージアム研究会(指導).

共催事業  
2010.1 六甲山のキノコ展, 主催: 県立御影高校, 御影公会堂, 神戸市東灘区(352人)

■ 学校教育支援  
学校団体対応  
三橋弘宗, 2009.4, 研究と私, 県立大学附属中学校, 博物館(44人)  
三橋弘宗, 2009.6, 標本づくり, 県立御影高等学校, 博

館(24人)

三橋弘宗, 2009.7, 標本づくり, 県立御影高等学校, 博物館(25人)

三橋弘宗, 2009.8, 水生昆虫の話, 神戸市立岩岡中学校, 博物館(7人)

三橋弘宗, 2009.8, 自然との共生「川の生物」, 神戸大学附属住吉小学校, 博物館(123人)

三橋弘宗, 2009.9, 水田の生き物, 明石市立大久保小学校, 博物館(158人)

三橋弘宗, 2009.10, きこの標本づくり, 県立御影高等学校, 博物館(26人)

三橋弘宗, 2009.10, 水生生物の話, 川西市立川西北小学校, 博物館(86人)

三橋弘宗, 2009.10, 川のいきもの, 佐用町立上月小学校, 博物館(18人)

三橋弘宗, 2009.11, 河川生態系のしくみと自然再生, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習, 博物館(14人)

三橋弘宗, 2009.11, 水辺の生き物とその暮らし, 明石市立大久保南小学校, 博物館(214人)

三橋弘宗, 2009.12, 水辺の生き物とその暮らし, 姫路市手柄小学校, 博物館(97人)

三橋弘宗, 2010.1, 体験型! 生態系のしくみを知ろう, 明石市立二見北小学校, 博物館(151人)

三橋弘宗, 2010.2, 環境体験学習のまとめ, 川西市立多田小学校, 博物館(123人)

三橋弘宗, 2010.2, 水辺の生き物とその暮らし, 宝塚市立高司小学校, 博物館(58人)

三橋弘宗, 2010.2, 川のしくみを学ぼう, 芦屋市立精道小学校, 博物館(141人)

三橋弘宗, 2010.2, 芦屋川の生き物, 体験型! 生態系のしくみを知ろう, 芦屋市立宮川小学校, 博物館(130人)

三橋弘宗, 2010.3, 封入標本づくり, 加東市立東条東小学校, 博物館(37人)

講師派遣  
三橋弘宗, 2009.6, 池尻川の生物観察会, 三田市立富士小学校, 三田市(50人)

■ フェスティバル等  
2009.11 ひとくフェスティバル駐車場誘導

■ 展示  
企画展  
2009.9-2009.11.23, 写真展「コウノトリのいる風景」(主担当)  
ミニ企画等  
2010.2-2010.3.28, ミニ企画展「日本一のダリアを守りたい～ふるさと西谷を感じよう～」, (主担当)  
2010.2-2010.5.16, ミニ企画展「六甲山のキノコ展 2010—リアルな森の妖精たち—」, (主担当)

## 2. シンクタンク事業

- 収蔵庫・ジーンファームの公開  
液浸収蔵庫の案内, 5 回, 18 名.
- 行政等支援  
委員会等 (12 件)  
2009.4-2010 安室川自然再生検討委員会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所  
2009.4-2010 安室川自然再生検討委員会技術部会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所  
2009.4-2010 武庫川上流リネッサンス懇談会, 委員, 兵庫県三田土木事務所  
2009.4-2010 GBIF技術専門委員会, 委員, 独立行政法人科学技術振興機構  
2009.8-2010.3 外来生物対応方策検討委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.  
2009.4-2010.3 武庫川水系に生息・生育する生物及びその生活環境の持続に関する2つの原則に係る専門検討委員会, 委員長, 兵庫県県土整備部土木局.  
2009.6-2010.3 武庫川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局.  
2009.4-2010.3 円山川水系自然再生推進委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.  
2009.4-2010.3 円山川水系自然再生推進委員会技術部会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.  
2009.10-2010.3 円山川水系蓼川堰改修課題検討会, アドバイザー, 兵庫県豊岡土地改良事務所  
2009.10-2010.3 高橋川水系河川整備計画検討委員会, 副委員長, 兵庫県神戸土木事務所.  
2009.10-2010.3 千種川水系河川整備計画検討委員会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所.  
相談・指導助言  
来訪者 65 件, 195 名. 電話・FAX 相談 60 件, メール相談 50 件.

## 大谷 剛, OHTANI Takeshi

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／生涯学習推進室／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 教授。  
昭和22年福島県生, 北海道大学大学院理学研究科博士課程  
単位取得退学。理学博士。日本昆虫学会, 日本生態学会, 日  
本動物行動学会, 国際社会性昆虫学会, 兵庫県生物学会,  
日本直翅類学会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門 生涯学習推進室

副室長, スクールパートナーマネージャー

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

資料担当(資料審査会座長)

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. ミツバチ類の収穫ダンスに関する基礎的研究
2. 1 個体追跡法に基づく動物の行動研究
3. 動物の歩行肢に関する考察

##### ■ 共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館  
学の実践」, 研究分担者。

##### ■ 論文・著書

大谷 剛・樽井康弘・長岡一夫(2009)オオスズメバチの  
巣の掘り出し・展示・関連メモ。兵庫生物, No.13(5),  
295-298.

##### ■ その他著作

大谷 剛(2009)「昆虫標本づくり」で思うこと。キッピーフ  
レンズ通信, 第10号, 1.

##### ■ ブログへの情報提供

5 件

##### ■ 研究発表

大谷 剛(2009)収穫ダンス初期に観察されたセイヨウミツ  
バチのワーカーパイピング。日本昆虫学会近畿支部  
大会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市  
(2009.12.12)。

大谷 剛(2009)多くのハチの雄は雌バチに擬態する。西  
日本ハチ類研究会 12 月例会, 大阪市立自然史博物  
館, 大阪府(2009.12.19)。

##### ■ 学会役員など

兵庫県生物学会, 編集委員。

##### ■ 助成を受けた研究

新規神経毒系殺虫剤がミツバチ概日振動, 帰巣行動の  
攪乱にかかわる可能性。山田養蜂場みつばち緊急基

金・CCD 緊急公募助成金(研究代表者:竹田真木生),  
研究分担者(金額 225 万円/450 万円)。

## 2. 資料収集・整理

### ■ 資料収集

2009.3-7 ゲンジボタル幼虫上陸数観察・成虫飛来数。神  
戸市北区道場町。

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■ セミナー

館主催セミナー

◎大谷 剛, 2009.4~2009.8, 「愛蜂家養成講座・初級」,  
博物館。(全4回, 28+26+22+17=93名)

◎大谷 剛, 2009.5.23, オープンセミナー「巨大キリギリス  
をつくろう」, 博物館。(32名)

◎大谷 剛, 2009.5.24, 「家族で蜂蜜しばり5月」, 博物館。  
(全1回, 36名)

◎大谷 剛, 2009.6~2009.9, 「初級鳴く虫インストラク  
ター養成講座」, 博物館・深田公園。(全3回, 8+8+7=23  
名)

◎大谷 剛, 2009.6.13, 「初夏の鳴く虫観察会」, 博物館  
とその周辺。(3名)

◎大谷 剛, 2009.6.14, オープンセミナー「鳴く虫・トリ・カ  
エル聞き分け選手権」, 博物館。(13名)

◎大谷 剛, 2009.6.21, オープンセミナー「トリビアの泉風  
鳴く虫の知識」, 博物館。(11名)

◎大谷 剛, 2009.6.28, 「家族で蜂蜜しばり6月」, 博物館。  
(全1回, 37名)

◎大谷 剛, 2009.7.18, 「芦屋でまなぶ森・川・海④~森  
の昆虫は何を食べ, 何に食べられるか~」, 芦有ゲ  
ート~芦屋村。(10名)

◎大谷 剛, 2009.8.9, オープンセミナー「鳴く虫カードで  
あそぼう」, 博物館。(168名)

◎大谷 剛, 2009.8.13, 「芦屋でまなぶ森・川・海⑤~真  
夏の鳴く虫を聞く~」, あしや市民活動センター。(29  
名)

◎大谷 剛, 2009.8.22, オープンセミナー「夏の鳴く虫観  
察会」, 博物館。(7名)

◎大谷 剛, 2009.8(土・日・月), 「昆虫標本づくり実演コ  
ーナー2009」, 博物館。(9回,  
23+33+21+32+16+8+12+23+8=176名)

◎大谷 剛, 2009.7.31, 8.6, 「親子でつくる昆虫標本」, 博  
物館。(全2回, 39+36=75名)

◎大谷 剛, 2009.8.11, 8.18, 教職員セミナー「昆虫標本  
をつくってみませんか?」, 博物館。(全2回, 2+2=4  
名)

大谷 剛, 2009.8.12, 「ハチの知識増強講座」, 博物館。  
(全1回, 4名)

◎大谷 剛, 2009.8~2009.10, 「上級鳴く虫インストラク  
ター養成講座」, 道場町下部・博物館。(全4回,



- 3+4+4+4=15名)
- ◎大谷 剛, 2009.9~2009.12, 「愛蜂家養成講座・上級」, 博物館. (全4回, 15+14+12+13=54名)
- ◎「きんひばり」・大谷 剛, 2009.10.3, 「親と子の鳴く虫のタベ, 鳴く虫5種類覚えよう」, 神戸市北区道場町日下部ふれあい会館. (全1回, 9名)
- 館内特注セミナー
- 大谷 剛, 2009.7.15, 「ハチミツ搾り体験」, 宝塚市立老人福祉センター いきいき学舎「フレミラ」環境・自然コース (20名).
- 大谷 剛, 2009.7.15, 「毒をもつ虫とのつきあい方」, 宝塚市立老人福祉センター いきいき学舎「フレミラ」環境・自然コース (28名).
- 大谷 剛, 2009.9.17, 「鳴く虫で自然を感じる」, まちの寺子屋師範塾(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所) (21名).
- 大谷 剛, 2010.3.12, 「ハチの話」, シニア自然大学「自然と文化科」(48名).
- 館外講演
- ◎大谷 剛, 2009.4.12, 「ホテル調査講習会」, 講師, NPO法人「キッピーフレンズ」, 三田市立有馬富士自然学習センター(13名).
- ◎大谷 剛, 2009.4.14, 「ホテル幼虫の上陸を見る会」, 講師, NPO法人「さんぼくらぶ」, 神戸市北区道場町川北集会所・塩田八幡宮周辺(42名).
- ◎大谷 剛, 2009.6.5, 「ホテルの観察会」, 講師, NPO法人「さんぼくらぶ」, 神戸市北区道場町川北集会所・塩田八幡宮周辺(29名).
- ◎大谷 剛, 2009.6.14, 「ひとほく大谷先生のホテル観察会と鳴く虫のタベ」, 講師, ゆりのきフィールドウォーカー, 人と自然の博物館・深田公園・深田川沿い市民農園周辺(31名).
- ◎大谷 剛, 2009.7.19, たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり」, 講師, NPO法人たかつき, 大阪府衛生会地域交流支援センター(39名).
- 大谷 剛, 2009.7.21, 「海洋島の動植物―特異さと脆さ―」, 兵庫県立大学日食観測アカデミック・ツーリズム・プログラム (490名).
- 大谷 剛, 2008.8.1, 「有馬温泉近隣の鳴く虫」, 世界の鳴く虫・昆虫展セミナー, 有馬温泉瑞宝園 (18名).
- 大谷 剛, 2008.8.4, シニアウォーキング入門教室「身近な昆虫(1)―直翅目(バッタ目)の昆虫たち―」, 尼崎市いきいき100万歩運動事業, 尼崎市立総合老人福祉センター講義室 (44名).
- 大谷 剛, 2009.8.8, 「ハチハチクイズ」, 講師, フローラ88イベント, フローラ88特設ステージ (13名).
- 大谷 剛, 2009.8.26, 「あなたのハチの知識は正しいですか」, 高齢者大学講座, 淡路文化会館「いざなぎ学園」高齢者大学, 淡路文化会館視聴覚室(20名).
- ◎大谷 剛, 2009.8.30, たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり, 仕上げ, 標本箱へ」, 講師, NPO法人たかつき, 大阪府衛生会地域交流支援センター(35名).
- 大谷 剛, 2009.9.22, 「昆虫のだまし」, 一日だけのひとはく美術館「ひとはくだましセミナー」, 兵庫県立美術館(43名).
- ◎大谷 剛, 2009.9.28, 9.30, 「イナゴを採って食べる」, 講師, NPO法人「さんぼくらぶ」, 神戸市北区道場町(15+12=27名).
- 大谷 剛, 2009.10.4, 「オオカマキリの生態」, 講演会「柳田國男とカマキリについて」, 財団法人柳田國男・松岡家顕彰会記念館(9名).
- 大谷 剛, 2009.11.17, シニアウォーキング入門教室「身近な昆虫(2)―ゴミムシ・ガ・ハチ・アブ・カメムシのトピックス―」, 尼崎市いきいき100万歩運動事業, 尼崎市立総合老人福祉センター講義室 (44名).
- 大谷 剛, 2010.1.21, 「ハンミョウのはなし」「りんぷんのはなし」, ひとはくがやってくる in つつじが丘小学校, 猪名川町立つつじが丘小学校体育館(266+218=484名). 兵庫県立大学・大学院教育 昆虫行動特論(主任)
- 2008.10-2010.3, 荒川 裕(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「オオカマキリのエソグラム作成とそれに基づく生態学的研究」, 修士論文主査.
- 2009.4-, 坂本和繁(環境人間学研究科博士前期課程1年), 「直翅目昆虫の音声情報の機能に関わる研究」, 指導教員.
- 2008.10-2010.3, 佐藤 直(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「都市に生息するカラスの生態に関する研究」, 修士論文副査.
- 2008.10-2010.3, 前田 了(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「再導入されたコウノトリの繁殖における雌雄の役割分担」, 修士論文副査.
- 2008.10-2010.3, 前畑晃也(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「兵庫県におけるカワウ *Phalacrocorax carbo* 個体群の確立に関する研究～分布と個体数の観点～」, 修士論文副査.
- 2008.10-2010.3, 風間美徳(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「開放水面に営巣するカイツブリ～人為がもたらす営巣場所の変化～」, 修士論文副査.
- 2008.10-2010.3, 遠藤美香(環境人間学研究科博士前期課程2年), 「集落の食物資源量がニホンザルの土地利用に与える影響」, 修士論文副査.
- 非常勤講師
- 2009.5.11, 「昆虫野外観察」, 神戸市シルバーカレッジ.
- 2009.6.24, 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.
- ラジオ・テレビ等出演
- 2009.4.13, 「ミツバチの減少について」, 日本テレビ「ズームイン朝!! SUPER」(電話インタビュー, 7:15~)
- 2009.4.20, 「ミツバチの減少の原因について」, テレビ朝日「NEWS ゆう」(16:10~)

- 2009.5.25, 「はちみつ搾りを体験, 三田で児童ら」, 神戸新聞朝刊記事
- 2009.10.27, 「千回刺されても好き」, 神戸新聞夕刊記事
- キャラバンおよび地域研究員養成事業  
セミナー担当
  - 2009.7.18 「芦屋でまなぶ森・川・海④～森の昆虫は何を食べ、何に食べられるか～」(講師・企画運営)
  - 2009.8.13 「芦屋でまなぶ森・川・海⑤～真夏の鳴く虫を聞く～」(講師・企画運営)
  - ミニキャラバン事業
  - 2009.5, ありまふじフェスティバル 2009 春(分担者), ありまふじフェスティバル 2009 春実行委員会, 県立有馬富士公園.
  - 2009.7.20-8.31, 世界の鳴く虫・昆虫展(分担者), 有馬温泉瑞宝園.
  - 連携事業  
連携グループ等
  - 鳴く虫研究会「さんひばり」(主担当)
  - NPO 法人「さんぼくらぶ」(主担当)
  - アピス同好会(主担当)
  - 成果発表
  - 2008.2 共生のひろば 「鳴く虫界のナマケモノ(?)」, ヒサゴクサキリ(第一報)」, 「鳴く虫ワールド 2008」, 鳴く虫研究会「さんひばり」(指導・協働)
  - 2008.2 共生のひろば 「手探りの活動開始—ハチに魅せられて」, アピス同好会(指導・協働)
  - 2008.2 共生のひろば 「さんぼは自然体験のはじまり」, NPO 法人「さんぼくらぶ」(指導・協働)
  - 共催事業
  - 2009.8.1-8.16, 昆虫標本・ビデオの展示, NPO 法人北はりま田園空間博物館(展示協力)
  - 協力事業
  - 2009.7.19, 8.30, NPO 法人たかつき子ども自然体験学校(講演・体験指導)
  - 2009.6.14, 「ひとほく大谷先生のホタル観察会と鳴く虫の夕べ」, ゆりのきフィールドウォーカー(講演・体験指導)
  - 2009.7.29-7.30, 子ども塾「スーパーヘルンさん講座」, 松江市役所(講演・指導)
  - 学校教育支援  
トライやるウィーク
  - 2009.6.9-6.12, 三田市立ゆりのき台中学校 2 名, 三田市立八景中学校 2 名.
  - 学校団体対応
  - 大谷 剛, 2009.4.22, 「雄バチはハチ擬態か」, 大阪府立泉北高等学校(25 名).
  - 大谷 剛, 2009.4.29, 「雄バチはハチ擬態か」, 県立宝塚北高等学校(42 名).
  - ◎大谷 剛, 2009.6.21, 「ミツバチのからだ」, 芦屋市立潮見小学校(82 名).
  - 大谷 剛, 2009.8.5, 「ハチミツ搾りを体験しよう!」, NPO 法人さんぼくらぶ(8 名).
  - 大谷 剛, 2009.8.28, 「昆虫 30 分ピックス」, 三田市立武庫小学校(102 名).
  - 大谷 剛, 2009.9.4, 昆虫ピックス「昆虫いろいろ」, 川西市立明峰小学校(163 名).
  - 大谷 剛, 2009.10.27, 「昆虫 30 分ピックス」, 神戸市立狩場台小学校(42 名).
  - 大谷 剛, 2009.11.25, 「昆虫の足はなぜ 6 本?」, 福崎町立福崎小学校(72 名).
  - 大谷 剛, 2010.2.12, トリビアの泉風「昆虫の知識」, 宝塚市立良元小学校(154 名).
  - 学校キャラバン
  - 2010.1.21-1.26, 「ひとほくがやってくる in つつじが丘小学校」, 猪名川町立つつじが丘小学校体育館.
  - 講師派遣
  - 2010.2.26 「里山の鳴く虫、鳴く虫カードであそぼう」, 講師, 大阪府能勢町立天王小学校 4-6 年生(8 名).
  - 研修生等の受入  
卒論生等
  - 2009.4.22-2009.7.2, 仁木佐知恵(神戸女学院大学大学院人間科学研究科修士課程 1 年), テーマ「ミツバチの個体マーク技術の習得」.
  - 展示  
ミニ企画等
  - 2009.12.12-2010.1.11, ミニ企画展「トラさんようこそ!」(分担者).
- ## 2. シンクタンク事業
- 収蔵庫・ジーンファームの公開  
生物系収蔵庫等の案内, 2 回, 6 名.
  - 行政等支援  
相談・指導助言  
来訪者 4 件, 8 名. 電話・FAX 相談 25 件, メール相談 9 件.
  - 2009.6 家畜伝染病予防法違反被疑事件についての鑑定囑託, 鑑定者, 大阪府警察本部.
  - 学会開催等支援
  - 2009.12 日本昆虫学会近畿支部 2009 年度大会・日本鱗翅学会近畿支部例会合同大会(会場係). 73 名.

## 三谷 雅純, MITANI Masazumi

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 准教授

昭和29年香川県生. 京都大学大学院動物学研究科博士後期課程修了. 理学博士. 日本霊長類学会, International Primatological Society, 日本生態学会, 日本熱帯生態学会, 日本アフリカ学会, 日本哺乳類学会, 兵庫県政学会所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

研究環境整備・研究紀要マネジメント・グループ(紀要担当/会計担当)

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 熱帯林の霊長類の生態と保全
2. 身体障害者／障害児の社会教育のあり方
3. GIS を利用した哺乳類の空間分布

##### ■ 共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館の実践」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

三谷雅純・渡邊邦夫(2009)植生と霊長類個体数の変動を中心としたパンガンダラン自然保護区の2008年の現状. 霊長類研究/Primate Research, No.25, 5-13.

Masazumi MITANI, Kunio WATANABE, Kunkun J.

GURMAYA, Erri N. MEGANTARA, Asep R.

PURNAMA and Yan Sofian SYARIEF (2009) Plant

species list from the Pananjung Pangandaran Nature

Reserve, west Java, Indonesia, sampled in the El

Niño-Southern Oscillation year of 1997. 人と自然/

Humans and Nature, No. 20, 113 -120

##### ■ その他著作

- ◎三谷雅純(2009)ヒトと人の関係とは?/霊長類学が目指すもの. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (38), 毎日新聞(4月7日).
- ◎三谷雅純(2009)ヒトは長生きする生き物/科学から見た高齢者の役割. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (39), 毎日新聞(4月14日).
- ◎三谷雅純(2009)寿命異なるオスとメス/社会の仕組み大きく影響. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (40), 毎日新聞(4月21日).

◎三谷雅純(2009)森でのいい歳の取り方/信望集めて生きのびる. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (41), 毎日新聞(4月28日).

◎三谷雅純(2009)役割果たす高齢者/「むだ」を拒まない社会. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (42), 毎日新聞(5月12日).

◎三谷雅純(2009)森の「師匠」に老後の壁/農耕の村にはなじみず. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (43), 毎日新聞(5月19日).

◎三谷雅純(2009)インフルに細心注意/栄養不足の高齢者は危険. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (44), 毎日新聞(5月26日).

三谷雅純(2009)インドネシアーあたたかな南の島で(3). ひとはくブログ(5月27日).

◎三谷雅純(2009)インフルで集会断念/社会見わたす機会失う. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (45), 毎日新聞(6月2日).

◎三谷雅純(2009)脳の病気で疲れやすく/失語症は少しずつ改善. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (46), 毎日新聞(6月9日).

◎三谷雅純(2009)誤解で生じるころの病/人間関係なしには生きられず. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (47), 毎日新聞(6月16日).

◎三谷雅純(2009)ゆっくり続く回復/脳こうそくの体験者は実感. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (48), 毎日新聞(6月30日).

◎三谷雅純(2009)市民活動の可能性と「東中国クマ集会」の役割, くまいるクラブ 10:6-10, 東中国クマ集会.

◎三谷雅純(2009)障害児の「チャンス」大切に/時には突き放すことも必要. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (49), 毎日新聞(7月7日).

◎三谷雅純(2009)指先で「ものを見る」/広瀬浩二郎さんの世界. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (50), 毎日新聞(7月14日).

◎三谷雅純(2009)敏感な指生かす点字/すべての人は文字必要. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (51), 毎日新聞(7月28日).

◎三谷雅純(2009)ヒト, どうぶつを語る さまざまな動物とさまざまな人と. どうぶつと動物園 61:35, 東京動物園協会.

◎三谷雅純(2009)手話はりっぱな言語/音とは別のしくみで処理. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (52), 毎日新聞(8月4日).

三谷雅純(2009)インドネシアーあたたかな南の島で(4). ひとはくブログ(8月24日).

◎三谷雅純(2009)生きるすべ訓練で取得/ろう学校をへて表具師に. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (53), 毎日新聞(9月8日).

◎三谷雅純(2009)ろう, 難聴, 中途失聴/条件により教育にくふう必要. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (54), 毎日新聞(9月29日).

- ◎三谷雅純(2009)ろう者を排除しない社会/いたわりでなく共に生きる. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (55), 毎日新聞(10月6日).
- ◎三谷雅純(2009)直感力とことばを使う力—1/絵でものを考える. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (56), 毎日新聞(10月20日).
- ◎三谷雅純(2009)直感力とことばを使う力—2/「類人猿の手話」の限界. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (57), 毎日新聞(10月27日)
- ◎三谷雅純(2009)狩猟採集とADHD—1/不安定な環境に適合. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (58), 毎日新聞(11月17日).
- 三谷雅純(2009)インドネシア—あたたかな南の島で(5). ひとくブログ(11月27日).
- ◎三谷雅純(2009)狩猟採集とADHD—2/「移り気」は研究に必要. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (59), 毎日新聞(12月1日).
- ◎三谷雅純(2009)狩猟採集とADHD—3/現代<森の民>のリズム. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (60), 毎日新聞(12月22日).
- ◎三谷雅純(2010)進化史からみた学習障害—1/人口の3~10%にも. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (61), 毎日新聞(1月5日).
- ◎三谷雅純(2010)進化史からみた学習障害—2/組み変わる脳の働き. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (62), 毎日新聞(1月19日).
- ◎三谷雅純(2010)進化史からみた学習障害—3/脳の使い方に違い. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (63), 毎日新聞(1月26日).
- ◎三谷雅純(2010)わたしの文章作法/すべての人にわかりやすく. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (64), 毎日新聞(2月2日).
- ◎三谷雅純(2010)<ことば>と<ところ>/しゃべれないと弱くなる. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (65), 毎日新聞(2月9日).
- ◎三谷雅純(2010)赤ちゃんと脳科学—1/音を聞くと色が見える. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (66), 毎日新聞(2月23日).
- 三谷雅純(2010)インドネシア—あたたかな南の島で(6). ひとくブログ(2月26日).
- ◎三谷雅純(2010)赤ちゃんと脳科学—2/混乱が進化の原因. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (67), 毎日新聞(3月2日).
- ◎三谷雅純(2010)<ことば>の大切さ/<ところ>と深く関係. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (68), 毎日新聞(3月9日).
- ◎三谷雅純(2010)さまざまな人間—1/「進んだ社会」はない. 霊長類学の窓:ヒトは人のはじまり (69), 毎日新聞(3月16日).
- ブログへの情報提供  
4件

- 研究発表  
渡邊邦夫・三谷雅純・田中俊明・Bambang Suryobroto・Hadi Islamul・Kunkun J Gurnay・Erri N Megantara・I Wayan Dirgayusa・Made Wedana・Edy Brotoisworo (2009)インドネシア, パンガンダラン自然保護区におけるシルバールトン(*Trachipithecus auratus*)の個体群動態. 第15回野生生物保護学会大会, 日本獣医生命科学大学, 武蔵野市.
- 学会役員など  
PREMATES, レビューワー.  
霊長類研究, レビューワー.  
人と自然/Humans and Nature, レビューワー.
- 助成を受けた研究  
アジア産旧世界ザルの道具使用等社会行動に関する研究とその保全. 文部科学省科学研究費基盤研究(B)(海外学術調査), 研究分担者(500千円/1,900千円). 東西日本で比較したニホンザル各種パラメータの人為的な影響による変容. 平成21年度京都大学共同利用研究, 研究代表者(109千円/109千円).
- 海外調査  
2009.8-9 インドネシア(ジャワ島・スマトラ島)

## 2. 資料収集・整理

- 資料収集  
2009.4-2010.3 ユニバーサル・ミュージアムに関する資料.  
2009.9 インドネシア西ジャワ州パンガンダラン自然保護区(the Pananjung Pangandaran Nature Reserve)の植物標本190点.  
2010.3 兵庫県産哺乳類標本(骨, 毛皮, 内臓)45点.
- 整理同定担当資料  
2009.4-2009.9 インドネシア, 西ジャワ州, パンガンダランの植物の同定.

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

- セミナー  
館主催セミナー  
三谷雅純, 2009.4, オープンセミナー「チンパンジー, アイの描いた絵について」, 博物館. (8名)  
三谷雅純, 2009.4, オープンセミナー「道具を使うチンパンジー」, 博物館. (15名)  
三谷雅純, 2009.8, 夏期教職員セミナー「体の不自由な子どもたちとの野外活動入門」, 博物館. (11名)  
三谷雅純, 2009.11, 「霊長類学の冒険:ヒトとは何者なのか?」, 博物館. (5名)  
三谷雅純, 2009.12, 「霊長類学が描くヒトの姿—われわれは何者か?」(県立有馬高等学校連携セミナー), 博物館. (47名)  
三谷雅純, 2009.12, 「サルに学ぶヒトの知恵」, 博物館. (14名)

三谷雅純, 2010.1, 「霊長類学が描くヒトの姿—われわれは何者か? (続編)」(県立有馬高等学校連携セミナー), 博物館. (37名)

#### 館外講演

三谷雅純, 2009. 4, 「身体障害者, 熱帯雨林に行く〜わたしとサルとゴリラたち〜」, リーガロイヤル・ホテルリーガクラブ(60名).

三谷雅純, 2009. 11, 「失語症者にべんりな道具」, 小規模作業所トークゆうゆう(10名).

#### 非常勤講師

2009.4-2010.3, 「サイエンス・サロン談話会」, 市民団体「サイエンス・サロン」.

2009.6, 「自然とデザイン ユニバーサル・ミュージアムとデザイン」, 神戸芸術工科大学.

#### ■ 連携事業

##### 連携グループ等

東中国クマ集会(協働)

#### ■ 学校教育支援

##### 学校団体対応等

2009.10, 西脇市立西脇南中学校(145名).

2009.12, 兵庫県立有馬高等学校(40名).

2010.1, 兵庫県立有馬高等学校(40名).

#### ■ フェスティバル等

2009.11 ひとほくフェスティバル, 記録担当.

2010.2 共生のひろば2009, 記録担当.

#### ■ 展示

##### ミニ企画等

2009.12.12—2010.1.11, 干支展「トラさんようこそ! ~危機的状況!トラをとりまく現状~」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

#### ■ 行政等支援

##### 委員会等(計3件)

2009.4-2010.3. Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).

2009.4-2010.3. Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).

2009.4. 関西テレビ青少年育成事業団, 理事, 関西テレビ青少年育成事業団.

##### 相談・指導助言

来訪者6件, 30名. FAX相談0件, メール相談50件.

2009.4- 障害者の人権について

2009.4- 失語症者の発話機能補填について

2009.4- 脳梗塞者に無理のない野外活動について

2009.4- 青少年のキャンプを中心とした野外活動について

## 遠藤 菜緒子, ENDO Naoko

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／研究・シンクタンク推進室

研究員

昭和48年宮城県生. 立教大学大学院理学研究科博士課程後期課程修了. 理学博士. 日本鳥学会, 日本生態学会, Waterbirds Society (アメリカ)所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. カワウおよびサギ類の集団繁殖地に係る研究
2. ひとはいくサーチプロジェクト「カワウ」

##### ■ 共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者.

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」, 研究分担者.

##### ■ ブログへの情報提供

10件

##### ■ 研究発表

江崎保男・脇坂英弥・遠藤菜緒子(2009) 京都巨椋干拓地における水田鳥類群集の変化—30年前との定量比較. 日本鳥学会大会, 北海道大学函館キャンパス, 函館市.

◎江崎保男・遠藤菜緒子・前畑晃也(2009) 人と軋轢を生じているカワウ・サギ類との共生を果たす戦略の基礎研究. 平成21年度兵庫県立大学研究発表会, 兵庫県立大学書写キャンパス, 姫路市.

◎遠藤菜緒子(2010) 兵庫県におけるサギ類およびカワウコロニーの分布とコロニー形成プロセスの観察. 大阪鳥類研究グループ総会, 大阪市立自然史博物館, 大阪市.

##### ■ 助成を受けた研究

人と軋轢を生じているカワウ・サギ類との共生を果たす戦略の基礎研究. 平成21年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究分担者.

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 兵庫県のカワウ・サギ集団繁殖地のデータ収集. 県内各地.

2009.4-2010.3 兵庫県のカワウねぐらのデータ収集. 県内各地.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

◎遠藤菜緒子, 2009.5, 「鳥のたまごもようを描こう」, 博物館. (8名)

◎遠藤菜緒子, 2009.5, 「鳥のくちばしレプリカをつくろう」, 博物館. (36名)

◎遠藤菜緒子, 2009.5, 「鳥を見つけてみよう」, 有馬富士公園. (7名)

◎遠藤菜緒子, 2009.8, 「常設展示トーク『兵庫の自然誌 森にいきる』」, 博物館. (20名)

◎遠藤菜緒子, 2009.9, 「常設展示トーク『兵庫の自然誌 森にいきる』」, 博物館. (11名)

◎遠藤菜緒子, 2009.10-2010.2, 「リサーチプロジェクト カワウ」有馬富士公園・博物館. (全3回26名)

◎遠藤菜緒子, 2009.12, 「鳥のたまごもようを描こう」, 博物館. (8名)

◎遠藤菜緒子, 2010.1, 「芦屋川と野鳥のくらし」, クラーク国際記念高等学校連携セミナー, 芦屋川. (116名)

◎遠藤菜緒子, 2010.2, 「常設展示トーク『兵庫の自然誌 森にいきる』」, 博物館. (5名)

◎遠藤菜緒子, 2010.2, 「ふかたん冬の鳥」, 博物館. (21名)

館外講演

遠藤菜緒子, 2009.5, 「庭からつながる野鳥のくらし」, エクステリア風雅舎(24名).

##### ■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」(分担者)

脇坂英弥(ひとはいく地域研究員)

楠瀬雄三(ひとはいく地域研究員)

工 義尚(ひとはいく地域研究員)

セミナー担当

2009.5 「芦屋で学ぶ森・川・海の自然②～浜辺の鳥 食べ物のとり方を観察しよう」(講師・企画運営)

2010.1 「芦屋で学ぶ森・川・海の自然⑩～芦屋の街 野鳥図鑑をつくろう」(講師・企画運営)

##### ■ ミニキャラバン事業

2009.5, 有馬富士フェスティバル'09 春(責任者), 有馬富士フェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

##### ■ 連携事業

連携グループ等

NPO法人人と自然の会カワセミの会(副担当)

協力事業

2009.7-12, 平成21年度森林動物研究センター「企画展」, 兵庫県森林動物研究センター(展示協力)

- 学校教育支援
  - 学校団体対応
  - 2009.6, 豊能町立東ときわ台小学校3・4年生(48名).
  - 2009.7, 武庫川女子大学附属中学校SSクラス1年生(50名).
  - 2009.7, 香川県立観音寺第一高等学校1年生(37名).
  - 2009.8, 三田市立あかしや台小学校3年生(83名).
  - 2009.10, 箕面市立西南小学校3年生(107名).
  - 2009.10, 豊岡市立港中学校1年生(30名).
  - 2009.10, 明石市立大観小学校3年生(57名).
  - 2009.10, 大阪教育大学附属池田小学校5年生(122名).
  - 2010.3, けやき台児童クラブ(36名).
- 展示
  - 企画展

2009.9.12-2009.11.23, 写真展「コウノリのいる風景」(分担者).  
 ミニ企画等  
 2009.12.12-2010.1.11, ミニ企画展「トラさんようこそ！」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

- 収蔵庫・ジーンファームの公開
  - 生物系収蔵庫等の案内, 1回, 1名.
- 行政等支援
  - 相談・指導助言
  - 来訪者4件, 6名. 電話・FAX相談34件, メール相談1件.
  - 2009.6 「カワウの生態とモニタリング手法」, 講師, カワウ被害に関する学習会, 浜坂町商工会.

## 北村 俊平, KITAMURA Shumpei

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／企画調整室

研究員

昭和50年石川県生. 京都大学大学院理学研究科博士課程後期課程修了. 理学博士. 日本生態学会, 日本熱帯生態学会, Association for Tropical Biology and Conservation 所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. マーケティング・マネジメント部門

企画調整室

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 東南アジアの熱帯林における動物による種子散布の研究
2. 日本国内の動物による果実食と種子散布情報の収集

##### ■ 共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者.

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

Kitamura, S., Thong-Aree, S., Madsri, S., & Poonswad, P. (2010) Mammal diversity and conservation in a small isolated forest of southern Thailand. *Raffles Bulletin of the Zoology* 58, 145-156.

Kitamura, S., Suzuki, S., Yumoto, T., Wohandee, P., & Poonswad, P. (2009) Evidence of the consumption of fallen figs by Oriental Pied Hombill *Anthracoceros albirostris* on the ground in Khao Yai National Park, Thailand. *Ornithological Science* 8, 75-79.

北村俊平(2009)サイチョウ—熱帯の森にタネをまく巨鳥—タイ・カオヤイの森での1000日間の記録. フィールドの生物学シリーズ②. 東海大学出版会.

##### ■ その他著作

北村俊平(2010)サイチョウ—熱帯の森にタネをまく巨鳥. バードリサーチニュースレター7(1), 2-3.

北村俊平(2009)タイの熱帯林から日本の里山へ. 鳥学通信 24号.

◎小箆誓治, 田原直樹, 藤本真理, 武田重昭, 北村俊平(2010)博物館における自己点検・評価の取り組みについて. *博物館研究* 45(3), 27-31.

◎北村俊平(2010) シリーズ身近な生物多様性 生きものつながりからみた生物多様性, ひとほく新聞 68号

◎北村俊平(2009) ひとほく in 陶器まつり, ひとほく新聞 67号

##### ■ ブログへの情報提供

2件

##### ■ 研究発表

北村俊平, Siripom Thong-Aree, Sitichai Madsri, Poonswad Pilai (2010)タイ南部のフタバガキ林に生息するサイチョウ類が散布する果実の特性. 第57回日本生態学会, 東京大学, 東京.

北村俊平(2010)タイの熱帯季節林におけるサイチョウ類による種子散布. 第8回動物社会学研究会, 大阪市立大学, 大阪市.

北村俊平(2010)タイの熱帯林に生息するサイチョウ類による種子散布とその保全. 第122回生態研セミナー, 京大大学生態学研究センター, 大津市.

北村俊平(2009)タイの熱帯季節林におけるサイチョウ類による種子散布. 日本鳥学会員近畿地区懇談会第96回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.

北村俊平, Siripom Thong-Aree, Sitichai Madsri, Poonswad Pilai (2009)自動撮影法から明らかになったタイ南部の孤立林における地上性哺乳類・鳥類の種多様性. 第18回日本熱帯生態学会, 大阪市立大学, 大阪.

##### ■ 学会役員など

日本熱帯生態学会広報委員(ニューズレター編集担当).

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 受贈担当資料

2009.10 ヤマドリ(石井コレクション). 1点.

##### ■ 整理同定担当資料

陸生脊椎動物(鳥類).

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

橋本佳明・高橋晃・布施静香・北村俊平, 2009.11, 生物系収蔵庫ツアー(38名)

橋本佳明・高橋晃・布施静香・北村俊平, 2009.11, 生物系収蔵庫ツアー(30名)

##### ■ キャンパシおよび地域研究員養成事業

副担当

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」(分担者)

##### ■ ミニキャンパシ事業

2009.5, 有馬富士フェスティバル(分担者), 三田市自然学習センター, 有馬富士公園, 三田市.

2009.10, 県立美術館・博物館ワークショップ大集合!! (責任者), 兵庫陶芸美術館, 篠山市.

##### ■ 学校教育支援

学校団体対応



2009.5, 神戸市立櫛谷中学校 1 年生(120 名).

■ 展示

企画展

2009.9.12-2009.11.23, 企画展「コウノリのいる風景」(分  
担者).

ミニ企画等

2009.12.12-2010.1.11, ミニ企画展「トラさんようこそ！」(分  
担者).

2010.2.11-2010.5.16, ミニ企画展「六甲山のキノコ展  
2010」(分担者).

2010.2.20-2010.3.28, ミニ企画展「日本一のダリアを守りた  
い〜ふるさと西谷を感じよう〜」(分担者).

2. シンクタンク事業

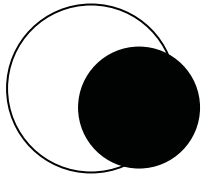
■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 6 回, 9 名.

■ 行政等支援

相談・指導助言

来訪者 0 件, 0 名. 電話・FAX 相談 29 件, メール相談 0  
件.



# 個人別成果報告に関する資料

No. 4

## ●自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/  
コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ

### 中瀬 勲, NAKASE Isao

自然・環境マネジメント研究部  
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/事業推進  
部

副館長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門  
教授。

昭和23年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会、日本都市計画学会、環境情報科学センター等所属。

#### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

##### 1. 事業推進部門

事業推進部長

##### 2. タスクフォース

なし

##### 3. 研究開発部門

なし

#### <研究開発>

##### 1. 調査研究

###### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

###### ■ 共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」、研究分担者。

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究—兵庫県内の都市公園を事例として」、研究分担者。

###### ■ 論文・著書

◎客野尚志・嶽山洋志・中瀬勲・角野幸博・山崎亮・澤田雅浩(2009)多自然居住地域における人工動向の影響要因と安心安全に関する住民の生活実情、ランドスケープ研究。

赤澤宏樹・中瀬勲(2009)米国シカゴ・パークディストリクトとNPOの協働に関する研究。環境情報科学論文集, No.23, 391-394.

◎嶽山洋志・中瀬勲(2009)兵庫県の環境教育「自然学校」の前後における地域学習の重要性と今後のあり方について。環境情報科学論文集, No.23, 477-480.

中瀬勲(2009)公園マネジメントと指定管理者との間に横たわる地域性の課題。平成20年度日本造園学会全国大会分科会講演集, 77-78.

中瀬勲(2009)生物多様性私論。西宮自然保護協会; さざなみ, No. 28, 15-24.

赤澤宏樹・中瀬勲(2009)国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性。第2回(財)公園緑地管理財団研究成果報告会, 13-21.

中瀬勲(2009)災害時における植物の役割。人間・植物関係学会雑誌, 8(2), 5-8.

中村良夫・中瀬勲(2009)対談—『市民力によるランドスケープマネジメント』の意味。ランドスケープ研究, 73(2), 182-188.

###### ■ その他著作

中瀬勲(2009)20年目の新たな出発。丹波の森公苑年報, Vol.6.

中瀬勲(2009)更なる展開に向けて。広報誌たんばの森, No.39.

中瀬勲(2009)公園緑地のマネジメント。公園緑地, 70(3).

中瀬勲(2009)これからの地域における文化活動の課題。丹波文化団体協議会会報, No.10.

中瀬勲(2009)公園・環境のマネジメント。兵造協, No.27.

中瀬勲(2009)生物多様性。ぬくもり, 第27号.

中瀬勲(2009)公園マネジメントへの道程。公園緑地, Vol.70, 26-27.

中瀬勲(2009)兵庫県立大学専門職大学院緑環境景観マネジメント研究科。HIT Spring NEWS, No.219

中瀬勲(2009)緑環境景観マネジメント—新研究科の挑戦—。OSAKA ROTARY Club Weekly Bulletin, No.2682.

中瀬勲他共著(2009)「成熟型ランドスケープの創出」—緑環境景観マネジメント—。ソフトサイエンス社、東京都。

中瀬勲(2009)秋の味風景。人博コラム、人博新聞(9月30日)。

中瀬勲(2009)多自然居住地域の安全・安心。造園連新聞「続・千樹・萬幹」。

中瀬勲(2009)過去の開発、これからの開発—緑環境の保全に向けて—。関西自然保護機構会誌, 57号, 5-11.

###### ■ ブログへの情報提供

0件

###### ■ 研究発表

客野尚志・嶽山洋志・中瀬勲・角野幸博・山崎亮・澤田雅浩(2009)多自然居住地域における人工動向の影響要因と安心安全に関する住民の生活実情。社団法人日

本造園学会, 東京都。  
赤澤宏樹・中瀬勲(2009) 国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性。公園緑地管理財団 第14回技術研究発表会, 東京都。  
赤澤宏樹・中瀬勲(2009) 国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性。第2回(財)公園緑地管理財団研究成果発表会, 東京都。

#### ■ 学会役員など

(社) 日本造園学会, 校閲委員。  
(社) 日本造園学会, ランドスケープマネジメント研究委員会, 企画責任者。  
(社) 日本造園学会, 景観計画・デザイン研究委員会, 委員。  
(社) 日本造園学会, 常務理事, 副学会長  
(社) 日本造園学会, 関西支部監事。  
(社) 日本造園学会, 理事, 学会長。  
(社) 日本造園学会, 代議員。  
(社) 日本都市計画学会, 学術研究発表論文・一般研究論文審査部会, 委員。  
(社) 環境情報科学センター, 評議員。  
(社) 環境情報科学センター, 環境情報科学論文集査読委員会, 委員。  
兵庫県政学会, 評議員。  
(社) 日本造園学会 CPD プログラム認定委員会, 委員。

#### ■ 助成を受けた研究

文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額200万円/300万円)。

## 2. 資料収集・整理

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー  
中瀬勲, 2009.8-2009.12, 「造園景観学講座」, 博物館, (全10回, 150名)  
中瀬勲, 2009.11.13, 「生物多様性について」, 博物館特注セミナー, (1回, 8名)。  
館外講演  
中瀬勲, 2009.4.18, 「社会潮流と自然環境」, 宝塚教養学校, 講師, (8名)。  
中瀬勲, 2009.4.23, 「兵庫県立大学自然・環境科学研究所の歩み」, 自然史機構を考える研究会, 講師, (20名)。  
中瀬勲, 2009.4.25, 「生物多様性への取り組み」, 姫路市環境セミナー, 講師, (160名)。  
中瀬勲, 2009.4.26, 「新アクアピア～おらが町の博物館～」, 会館記念基調講演, (60名)。  
中瀬勲, 2009.5.8, 「緑環境景観マネジメント-新研究科の

試み」, 大阪ロータリークラブ例会, 講師, (140名)。  
中瀬勲, 2009.5.30, 「全国初の農学・環境系専門職大学院から発信するハイブリッドな教育の展開」, 兵庫県立大学専門職大学院緑環境景観マネジメント研究科開設記念式典, (200名)。  
中瀬勲, 2009.5.31, 「丹波の森構想評価・検証結果報告」, たんばのもりびとシンポジウム, (財)兵庫丹波の森協会, (300名)。  
中瀬勲, 2009.6.2, 「環境からの地域づくり～豊岡コウノトリのまちづくりから～」, 平成21年兵庫県立大学社会名プロフェッショナルコース, ひょうごのまちから学ぶ環境型地域づくり, 講師, (18名)。  
中瀬勲, 2009.6.4, 「緑と公園のデザインとマネジメント」, 関西学院大学総合政策学部研究会, 講師, (100名)。  
中瀬勲, 2009.6.12, 「芥川連続フォーラム」, NPO 芥川クラブ, パネラー, (120名)。  
中瀬勲, 2009.6.27, 「新たな公による地域再生シンポジウム, 地域づくり対談」, NPO 地域再生センター, 対談者, (90名)。  
中瀬勲, 2009.7.7, 「学ぶ喜び, 生きる喜び～生涯学習の勧め～」, 兵庫県立嬉野台生涯教育センター創立30周年記念式典, 記念講演, (500名)。  
中瀬勲, 2009.7.11, 「地域の安全・安心な環境をまもり育てるために」, 平成21年度生涯学習カレッジ, 「リバgles猪名川」, 講師, (200名)。  
中瀬勲, 2009.7.18, 「地域住民が主役となって花と緑のまちづくりを進めていく必要性について」, 大阪市緑化リーダー養成講座基調講演, 講師, (200名)。  
中瀬勲, 2009.9.1, 「花と緑のまちづくりと私たちの役割」, 阪神シニアカレッジ, 講師, (34名)。  
中瀬勲, 2009.9.4, 「兵庫のがんばる名」, 丹波の森大学, コーディネーター, (100名)。  
中瀬勲, 2009.9.14, 「多自然居住地域の集落問題を考える-農地・森林・集落・名のこれから-」, (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構, コーディネーター, (90名)。  
中瀬勲, 2009.9.16, 「街づくりと造園学」, いきいき学舎・フレミラ, 宝塚市立老名福祉センター, 講師, (30名)。  
中瀬勲, 2009.9.16, 「地域(環境学)のすすめ」, いきいき学舎・フレミラ, 宝塚市立老名福祉センター, 講師, (30名)。  
中瀬勲, 2009.9.25 学会誌特集対談, 「市民力によるランドスケープマネジメント」, (社)日本造園学会, 対談者。  
中瀬勲, 2009.9.26, 「環境総論」, 宝塚環境大学, 講師, (8名)。  
中瀬勲, 2009.9.27, 「丹波地域における集落活性化について」, 丹波市自治会長会講演会, 講師, (200名)。  
中瀬勲, 2009.10.10, 「兵庫みらいフォーラム」, 兵庫県企画県民部, 基調講演講師, コーディネーター, (400名), 神戸市, 姫路市, 豊岡市(ネットワークTV会

議).

中瀬勲, 2009.10.11, 「環境 NPO・NGO Hyogo 対話」,  
(財)ひょうご環境創造会議, コーディネーター, パネ  
ラー, (200 名).

中瀬勲, 2009.10.14, 「地域の安全・安心」, 震災記念ひょう  
ご 21 研究機構, 講師, (8 名).

中瀬勲, 2009.10.16, 「神戸生物多様性国際対話 2009」,  
外務省, 環境省, 神戸市, 報告者, パネラー, (500  
名).

中瀬勲, 2009.10.25, 「地域の自然・文化遺産をいかした  
まちづくり」, 地域文化を考えるシンポジウム, 兵庫県  
地域文化団体協議会・(財)兵庫県芸術文化協会・(財)  
兵庫丹波の森協会, コーディネーター, (300 名).

中瀬勲, 2009.10.31, 「人と自然の共生する地域づくり」,  
コウノトリの郷公園開園 10 周年記念シンポジウム, パ  
ネラー, (500 名).

中瀬勲, 2009.11.6, 「これまでの振り返り: 人と自然の共生  
する地域づくり」, 丹波の森大学, 兵庫丹波の森協会,  
講師, (100 名).

中瀬勲, 2009.11.16, 「兵庫県夢ビジョンについて」兵庫県  
職員研修所, 講師, (80 名).

中瀬勲, 2009.12.4, 「造園」, 神戸シルバーカレッジ, 講  
師, (38 名).

中瀬勲, 2009.12.5, 「水辺と緑の魅力ある街・空間」, たか  
つき環境市民会議, 講師, (250 名).

中瀬勲, 2009.12.11, 「風景を学ぶ」, 丹波の森大学, 兵  
庫丹波の森協会, 講師, (100 名).

中瀬勲, 2009.12.13, 「背景面のランドスケープ」, 県立美  
術館ひとく連携セミナー, 講師, (40 名).

中瀬勲, 2009.12.19, 「環境基本計画の策定から始まる地  
域主体の環境づくり」, 加東市・加東市市民会議, 講師,  
(200 名).

中瀬勲, 2010.1.29, 「2040 年代の北播磨は, どのような地  
域か?」, 北はりまフォーラム, 講師, (90 名).

中瀬勲, 2010.2.1, 「県のビジョン」, 兵庫県自治研修所,  
講師, (90 名).

中瀬勲, 2010.2.2, 「環境体験事業の意義」, 環境体験事  
業淡路地域フォーラム, 淡路教育事務所, 講師, (90  
名).

中瀬勲, 2010.2.8, 「県のビジョン」, 兵庫県自治研修所,  
講師, (90 名).

中瀬勲, 2010.2.12, 「幼児期のひょうごの環境学習・教育  
実践発表会」, 兵庫県農政環境部, 講評, (350 名).

中瀬勲, 2010.2.27, 「たんばの道について考える The 談  
会」, 丹波県民局, 講師, コーディネータ, (80 名).

中瀬勲, 2010.3.1, 「地域の景観を学ぶ」, 阪神シルバー  
カレッジ, 講師, (40 名).

中瀬勲, 2010.3.2, 「近畿圏における近郊緑地に関する意  
見交換会」, 国土交通省, 講師, (80 名).

兵庫県立大学・大学院教育  
環境戦略特論(主任, 分担, 指導補助)

2009.4, 緑景観マネジメント論, (主任).

2009.10-2010.3, 緑地計画, (主任).

非常勤講師

2009.4-2009.9, 造園学, 神戸大学.

2009.10-2010.3, ランドスケープデザイン論, 名古屋工業  
大学.

ラジオ・テレビ等出演

2009.4.28, 「元気で魅力ある地域づくりの現場から」, 日  
曜さわやかトーク;サンテレビ

■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2009.8-12 造園景観額講座(全 10 回)(講師・企画運  
営)

成果発表

2010.2 共生の広場「淡路産翼竜の発見まで」, 南淡路  
地学の会(指導・協働)

■ ミニキャラバン事業

2009.10, ふれあいフェスティバル(分担者), ふれあいフ  
ェスティバル実行委員会, 明石公園.

■ 連携事業

連携グループ等

アビス同好会(主担当)

成果発表

2009.2 共生の広場「淡路産翼竜の発見まで」, 南淡路  
地学の会(指導・協働)

共催事業

2009.11, 地域づくり推進研修会, 佐用町役場上月支所  
(セミナーの実施)

協力事業

2009.11, 六甲山ウォーク 2007, 国土交通省六甲砂防事  
務所(展示制作)

**2. シンクタンク事業**

■ 行政等支援

委員会等 (計 101 件)

1993.3- . (財)丹波の森協会, 理事.

1994.10- . 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.

1996.4- . (財)丹波の森協会, 丹波の森研究所, 所長.

1996.7- . 兵庫県立丹波の森公苑運営委員会, 委員,  
(財)丹波の森公苑.

1997.8- . 阪神シニアカレッジ運営委員会, 委員, 兵庫  
県.

1997.8- . 「なごさ海道」推進会議, 代表委員, (財)大  
阪湾ベイエリア開発推進機構.

1997.8- . 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー,  
(国土交通省)建設省.

1997.10-2009. 9. 兵庫県都市計画地方審議会, 委員,  
兵庫県県土整備部(まちづくり部).

1998.8- . 環境アドバイザー, (財)ひょうご環境創造協  
会.

1999.4-2009.4 . (財)都市緑化技術開発機構, 研究顧

- 問.
- 1999.6-2010. (財)姫路市緑化協会, 理事.
- 2000.5- . NPO法名森のゼロエミッションサポート倶楽部, 運営委員.
- 2000.6- . 里山保全アドバイザー, (社)大阪自然環境保全協会.
- 2001.5- . (財)兵庫県(高齢者)生きがい創造協会, 理事.
- 2001.8- . 関電公害防止協議会, 委員長, 兵庫県・姫路市・関西電力株式会社.
- 2001.9- . 丹波地域ビジョン委員会専門委員, 兵庫県丹波県民局.
- 2002.3- . (財)日本グラウンドワーク協会, 評議員.
- 2002.5- . 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.
- 2002.7-2009.4 . 長期ビジョン推進委員会, 副委員長, 兵庫県企画管理部(県民政策部).
- 2002.7- . 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.
- 2002.12- . 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県生活文化部(県民政策部).
- 2003.2- . コミュニティ・ガーデン・ネットワーク, 理事, (財)都市緑化基金.
- 2003.6- . (社)日本公園緑地協会, 研究顧問.
- 2003.10- 兵庫県高大連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
- 2004.6- . (財)日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議, 委員, (財) 日本グラウンドワーク協会.
- 2004.7- . 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.
- 2004.7- . グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
- 2004.12- . 国営事業環境配慮アドバイザーグループ, アドバイザー, 近畿農政局.
- 2005.1- . 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市.
- 2005.1- . 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.
- 2005.4- . 阪神北ビジョン委員会, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.
- 2005.5.1- . ひょうご環境学校事業, アドバイザー, 兵庫県健康生活部.
- 2005.5.1- . 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 神戸市.
- 2005.7- . 独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会, 臨時委員, 財務省.
- 2005.7- . 大門寺整備委員会, 委員, 宗教法人大門寺.
- 2005.7- 2009.4 . 長期ビジョン推進委員会公募委員審査委員会, 委員, 兵庫県県民政策部.
- 2005.8- . 兵庫県立丹波の森公苑, 公苑長, (財)丹波の森協会.
- 2005.8- . 丹波 OB 大学, 学長, 兵庫県立丹波の森公苑.
- 2005.8- . たんば共創の森, 塾長, 兵庫県立丹波の森公苑.
- 2005.9- . 平成 17 年度ひょうごガーデンマイスター認定委員会, 委員, (社)兵庫みどり公社.
- 2006.2- . 事業評価監視委員会, 常任委員, 西日本高速道路株式会社.
- 2006.3- . (財)大阪市文化財協会, 理事.
- 2006.4-2009.3 . (財)公園緑地管理財団, 研究顧問.
- 2006.4- . (財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 参与.
- 2006.4- . (財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究企画委員会, 委員.
- 2006.4- . 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
- 2006.5- . 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』, 塾長, (財)兵庫丹波の森協会.
- 2006.6- . 兵庫県高大等連携推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
- 2006.7- . 近畿農政局農村景観・自然環境保全再生パイロット事業審査委員会, 委員長, 農林水産省近畿農政局.
- 2006.8- . 兵庫楽農生活センター運営協議会, 顧問, (財)兵庫みどり公社.
- 2006.9- . (財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 安全・安心研究所, 上級研究員.
- 2006.10- . 内ヶ池整備に関する検討委員会, 委員長, 大阪府, 高槻市.
- 2006.10- . ひょうごっこグリーンガーデン研究会, 会長, 兵庫県健康生活部.
- 2007.1- . 丹波年輪の里運営協議会, 委員, 兵庫県立年丹波年輪の里.
- 2007.1- . 環境体験支援委員会, 副委員長, 兵庫県教育委員会.
- 2007.4- . 神戸市公園緑地審議会, 委員, 神戸市.
- 2007.4- . 神戸市公園緑地審議会運営部会, 部会長, 神戸市.
- 2007.4- . 機関誌「公園緑地」編集委員会, 委員, (財)日本公園緑地協会.
- 2007.6- . 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市.
- 2007.6- . 西播磨風景づくり支援センター, 登録, 兵庫県西播磨県民局.
- 2007.6- . 平成 20 年度助成事業審査委員会, 委員, 特定非営利法人しみん基金・こうべ.)
- 2007.7- . 丹波恐竜化石にかかる事業連携推進会議, 会長, 県立名と自然の博物館, 丹波県民局, 丹波市.
- 2007.8- . 平成 20 年度環境体験丹波地域支援委員会, 委員長, 兵庫県教育委員会丹波教育事務所.
- 2008.1- . 野生動物保護管理運営協議会, 会長(201001

- から), 副会長, 兵庫県農林水産部.
- 2008.1ー. 野生動物保護管理運営協議会, WLM 推進部  
会, 部会長代行, 兵庫県農林水産部.
- 2008.4ー. 丹波縄文の森塾, 塾長, (財)兵庫丹波の森協  
会.
- 2008.4ー. やしろの森公園運営協議会, 委員, やしろの  
森公園協会.
- 2008.6ー. 恐竜を活かしたまちづくりプロジェクトチーム,  
座長, 兵庫県丹波県民局.
- 2008.6ー. 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員,  
兵庫県阪神南県民局.
- 2008.6ー. 農産漁村(ふるさと)地域力発掘支援モデル事  
業アドバイザー, 全国土地改良事業団体連合会.
- 2008.11ー2009. 神戸市新神戸ロープウェー再整備等事  
業者審査委員会, 委員長, 神戸市.
- 2008.12ー2009.4. 淡路を舞台とする花の祭典(淡路花博  
10周年記念事業)(仮称)企画委員会, 委員長, 兵庫  
県県土整備部.
- 2008.12ー. 「尼崎の森中央緑地海辺エリア整備計画検討  
委員会」, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
- 2009.1ー. 「丹波の森大学」, 学長, (財)兵庫丹波の森協  
会.
- 2009.2ー2010.3. 「国営明石海峡公園神戸地区基本計画  
改定委員会」, 委員長, 国土交通省近畿地方整備局  
国営明石海峡公園事務所.
- 2009.4ー2010.3. 加古川流域委員会, 委員長, 国土交  
通省姫路河川国道事務所.
- 2009.5ー2010.3. 「大学教育等推進事業委員会大学部  
会書面審査委員会, 委員, 独立行政法名日本学術振  
興会.
- 2009.5ー2010.3 . 「近畿圏広域地方計画学識者会議」,  
委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2009.5ー. 「淡路花博 10 周年記念事業実行委員会」, 委  
員, (財)淡路島くこうみ協会.
- 2009.5ー. 「県立祥雲館高等学校に係るスーパーサイ  
エンスハイスクール運営指導委員会」, 委員, 兵庫県  
教育委員会.
- 2009.6ー. 「兵庫の将来像研究会」, 委員, 「地域構造チ  
ーム」, 委員, 兵庫県企画県民部.
- 2009.6ー. 「兵庫の将来像研究会地域構造チーム」, 委  
員, 兵庫県企画県民部.
- 2009.6ー. 「地域空間再生検討チーム」, メンバー, 兵庫  
県企画県民部.
- 2009.6ー. 「環境体験淡路地域支援委員会」, 委員長, 兵  
庫県教育委員会淡路教育事務所.
- 2009.6ー. 「淡路花博 10 周年記念事業実行委員会実施  
アドバイザー会議」, 委員長, (財)淡路島くこうみ協  
会.
- 2009.6ー2010.2. 「兵庫の貴重な自然改訂方針検討委員  
会」, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2009.7ー. 「公園・花・子ども国際フォーラム実行委員会」,  
委員長, 公園・花・子ども国際フォーラム実行委員会.
- 2009.11ー. 「環境フォーラム in 淡路島」, 委員, 環境フ  
ォーラム in 淡路島実行委員会.
- 2009.10ー2010.3. 「大都市圏の広域緑地施策の推進方  
策等に関する研究会」, 委員, 国土交通省.
- 2009.12ー. 「都市緑化推進検討委員会」, 委員長,  
(財)兵庫県園芸・公園協会.
- 2009.12ー. 「丹波地域ビジョン検討委員会」, 委員, 兵  
庫県丹波県民局.
- 2009.12ー. 「神戸市環境保全審議会」, 臨時委員, 神  
戸市.
- 2009.12ー. 「県立三木防災公園運営協議会」, 会長,  
兵庫県北播磨県民局三木土木事務所.
- 2010.01ー2010.03. 「県道篠山山南線愛称選定委員会」,  
委員長, 兵庫県丹波県民局.
- 2010.01ー. 「高槻市総合計画審議会」, 委員・部会長,  
高槻市.
- 2010.01ー2010.03. 「生物多様性配慮指針検討委員会」,  
委員長, 兵庫県農政環境部.
- 2010.01ー. 「新名神高速道路 兵庫県域自然環境保全  
検討委員会」, 委員長, 西日本高速道路株式会社.
- 2010.02ー. 「(財)淡路島くこうみ協会」, 評議員, 会長,  
(財)淡路島くこうみ協会. .
- 2010.02ー. 「たんば恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづ  
くり推進協議会」, 副会長.
- 2009.02ー. 「円山川水系自然再生推進委員会」, 委員,  
近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.
- 2009.03ー. 「阪神北ふれあいフェスティバル実行委員  
会」, 委員長. 兵庫県阪神北県民局.
- 2008.12ー. 「尼崎の森中央緑地海辺エリア整備計画検  
討委員会」, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
- 相談・指導助言
- 来訪者 100 件, 180 名. 電話・FAX 相談 50 件, メール相談  
150 件.

## 藤本 真里, FUJIMOTO Mari

自然・環境マネジメント研究室

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 助教

昭和36年兵庫県生. 大阪市立大学生生活科学部卒. 日本造園学会, 日本都市計画学会, 社会経済システム学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. マーケティング・マネジメント部門

企画調整室

生涯学習推進室 恐竜フェス連携担当

#### 2. タスクフォース

ジオパークタスクフォース(サブリーダー)

恐竜・化石タスクフォース(サブリーダー)

地域再生人材養成タスクフォース

#### 3. 研究開発部門

研究・シンクタンク推進室

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 住民参画型の公園運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究ー兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

##### ■ その他著作

藤本真里 (2009) ミツカンよかわビオトープの効果的な広報に関する研究. 株式会社ミツカングループ本社受託研究報告書.

藤本真里 (2009) 清流猪名川を取り戻そう町民運動推進活動支援. 猪名川町協定報告書.

藤本真里 (2009) パークマネジメントの人材養成に関する研究 その3. 兵庫県阪神北県民局受託研究報告書.

藤本真里・武田重昭 (2009) 三木防災総合防災公園における住民参画型公園運営に関する研究. 兵庫県北播磨県民局受託研究報告書.

藤本真里 (2009) 地域・企業・博物館が育むビオトープーミツカンよかわビオトープ倶楽部の実践. P.6-7, 兵庫県シンクタンク等協議会.

藤本真里他(2009 取材)有馬富士公園整備事業. P. 2-4, CON-TECH ひょうご 34, (財)兵庫県まちづくり技術セン

ター.

藤本真里(2009)みんなで何でもできる公園をつくろうー

兵庫県立有馬富士公園における住民参画型公園運営. P.20-22, 公園緑地 VOL.70-3, 社団法人日本公園緑地協会.

藤本真里(2010)パートナー, ライバルとしての人と自然の会. P.3, エルタン第65号, NPO法人人と自然の会.

小舘誓治, 田原直樹, 藤本真里, 武田重昭, 北村俊平 (2010)博物館における自己点検・評価の取り組みについて. 博物館研究 45(3): 27-31

##### ■ ブログへの情報提供

1件

##### ■ 学会役員など

日本造園学会, 代議員

### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.8 佐用町水害被災状況写真収集. 佐用町.

2009.4-2010.3 但馬地域(山陰海岸)における地域資源写真収集. 豊岡市他.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

藤本真里・赤澤宏樹・中瀬・勲, 2009.8, ひとはくパークマネジメントゼミ第2回「公園運営の主役は住民 その1」, 博物館. (10名)

藤本真里・赤澤宏樹・中瀬・勲, 2009.8, ひとはくパークマネジメントゼミ第3回「公園運営の主役は住民 その2」, 博物館. (10名)

藤本真里・赤澤宏樹・中瀬・勲, 2009.9, ひとはくパークマネジメントゼミ第10回ワークショップ「公園を核とした地域づくり」, 博物館. (10名)

藤本真里, 2009.11, 簡単料理教室 味で感じる丹波, 博物館. (17名)

藤本真里, 2009.6-9, 「クイズ うんちく博物館」, 博物館. (全2回 43名)

藤本真里, 2009.11, 「有馬富士公園のしくみ」他, 講師およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー'09, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (24名×4日 96名)

藤本真里, 2009.3, ありまふじサミット 現場発! みんなでつくり育てる公園 テーマ'09 公園の新展開, 企画およびコーディネーター, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (60名)

館外講演

藤本真里, 2009.6, 「知る・出会う・わかりあう 宝塚のまちづくり」, 講師, いきいき学舎・プレミア専門コース「環

- 境・自然コース」,宝塚市立老人福祉センター,宝塚市.  
(39人).
- 藤本真里,2009.6,「理想のまちづくりを考える」,講師,  
いきいき学舎・プレミア専門コース「環境・自然コース」,  
宝塚市立老人福祉センター,宝塚市.(24人).
- 藤本真里,2009.11,「みんなでつくり育てる公園」,講師,  
平成21年度兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座  
「但馬文教府みてやま学園」教養講座,但馬県民局,  
豊岡市.(220名)
- 藤本真里,2009.5,「みんなで育てる公共施設」,講師,  
東部拠点のまちづくり市民フォーラム,吹田市.(40  
名)
- 藤本真里,2009.6,「みんなで育てる公共施設」,講師,  
関西大学,吹田市.(8人)
- 藤本真里,2009.7,「NPO法人 人と自然の会とひとほく」,  
講師,NPO法人 人と自然の会 新人研修,NPO法  
人 人と自然の会,博物館.(10人)
- 藤本真里,2009.7,「地域を支える・育てるしくみづくり」,  
講師,阪神北500人委員会,阪神北県民局,宝塚市.  
(40名)
- 藤本真里,2009.11,「ひとほくのシンクタンク活動」,講師,  
兵庫県漁場管理委員会,兵庫県,博物館.(15名)
- 藤本真里,2009.11,「みんなでつくり育てる公園」,講師,  
神戸シルバーカレッジ,神戸市.(30名)
- 藤本真里,2010.2,「山陰海岸ジオパークをきっかけに地  
域の担い手づくり」,講師,新温泉町ジオパークネット  
ワーク設立総会,新温泉町.(35名)
- 兵庫県立大学・大学院教育  
共生博物学(分担)  
非常勤講師  
2009.7,「人と自然の共生」,兵庫県立大学.  
2009.7,「自然とデザイン」,神戸芸術工科大学.
- キャラバンおよび地域研究員養成事業  
西播磨地域担当  
三河展示 ふれあい喫茶,2009.4  
2009.7,ふれあい喫茶(分担者),佐用町,佐用町役  
場
  - ミニキャラバン事業  
2009.11,ふれあいの祭典(総括),但馬まるごと感動市実  
行委員会,豊岡市.
  - 連携事業  
連携グループ等  
NPO法人人と自然の会(副担当)  
共催事業  
2009.11-12,有馬富士公園公開セミナー,兵庫県阪神北  
県民局(企画・運営,講師)  
2009.3,ありまふじサミット,兵庫県阪神北県民局(企画・  
運営,コーディネーター)
  - 学校教育支援  
トライやるウィーク  
2009.6.9-6.12,富士中学校2名,八景中学校1名,ゆり  
のき台中学校1名.
  - 研修生等の受入  
博物館実習(主担当)  
2009.8.7-8.21 関西学院大学,京都精華大学,近畿大学,  
神戸大学,神戸学院大学,5名.
  - フェスティバル等  
2009.11 ひとほくフェスティバル,「公園」(担当者).
  - 展示  
2009.10.1-11.23 「がんばれ!佐用町」-2009 台風第9  
号災害からの復興-(総括)  
2009.11.1-2010.1.11 トピックス展示「あれから15年 阪  
神・淡路大震災被害実態緊急調査 被災度別建物分  
布状況図集(総括)
- ## 2. シンクタンク事業
- 受託研究  
「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研  
究」.猪名川町.(30万円)  
「ミツカンよかわビオトープの効果的な広報に関する研  
究」.研究代表者,株式会社ミツカングループ本社.  
(75万円)  
「パークマネジメントの人材養成に関する研究 その3」.  
研究代表者,兵庫県阪神北県民局.(100万円)  
「三木総合防災公園における住民参画型公園運営に関  
する研究」.研究分担者,北播磨県民局.(200万円)
  - 行政等支援  
委員会等(計19件)  
2006.7- 有馬富士公園運営・計画協議会,委員,兵庫  
県阪神北県民局.  
1998.4- 豊中市まちづくり専門家会議,委員,豊中市.  
2001.8- 阪神北地域ビジョン委員会,専門委員,阪神  
北県民局  
2005.6- 三木市都市計画審議会,委員,三木市.  
2003.4- 宝塚市都市景観デザイン審査会,委員,宝塚  
市.  
2009.5-2010.1 宝塚市総合計画検討市民会議委員及び  
第1部会長,宝塚市.  
2010.2-11 宝塚市総合計画審議会委員及び第1部会長,  
宝塚市.  
2005.9- 財団法人しそ森林王国協会,理事,財団法  
人しそ森林王国協会.  
2008.12- 兵庫県内水面漁場管理委員会,委員,兵庫  
県.  
2007.7- 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議,委員,  
兵庫県阪神南県民局.  
2008.6- 姫路市提案型協働事業審査会,委員,姫路市.  
2008.8- 尼崎市都市公園等指定管理者選定委員会,委  
員長,尼崎市.  
2009.6- 市民活動・ボランティアサポートセンター運営会  
議,委員長,姫路市.  
2009.4-2010.3 山陰海岸ジオパーク専門部会,委員,兵



兵庫県但馬県民局.  
2009.1- 高砂市歴史文化基本構想等策定委員会, 委員,  
高砂市教育委員会.  
2009.5-2010.3 平成 21 年度地域づくり活動支援会議, 委  
員, こころ豊かな美しい阪神北推進会議.  
2009.9- 尼崎の森中央緑地参画と協働の仕組みづくりワ

ーキング, 委員, 兵庫県阪神南県民局.  
2010.1 姫路城応援事業審査会, 委員, 姫路市.  
2009.5- 岩塊流を活かした地域づくり検討会, 委員, 宍  
粟市.  
相談・指導助言  
電話・FAX 相談 120 件, メール相談 180 件.

## 赤澤 宏樹, AKAZAWA Hiroki

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ／生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門 講師。  
昭和45年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会、日本都市計画学会、環境情報科学センター、人間・植物関係学会、IFPRA 所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

再生人材養成タスクフォース

事務局運営、調査等担当

#### 3. 研究開発部門

研究・シンクタンク推進室副室長、研究企画開発マネージャー

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する基礎的研究
2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落分布とその現状に関する調査・研究」、研究分担者。

部門研究「大規模公園での住民参画型運営システムとソーシャルキャピタル形成」、研究分担者。

##### ■ 論文・著書

赤澤宏樹・中瀬勲(2009)米国シカゴ・パークディストリクトとNPOの協働に関する研究, 環境情報科学論文集, 23, 391-394.

◎赤澤宏樹・藤本真里・中瀬勲(2010) 国営明石海峡公園神戸地区におけるアクションリサーチを通じたソーシャル・キャピタル形成, ランドスケープ研究, Vol.72(5), 701-706.

◎赤澤宏樹・中瀬勲(2009) 国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャル・キャピタル形成と利用増進の可能性, 公園管理研究, Vol.3, 105-113.

##### ■ その他著作

◎赤澤宏樹・中瀬勲(2009) 国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャル・キャピタル形成と利用増進の可能性, 第2回(財)公園緑地管理財団研究成果報告会報告書, 13-21.

##### ■ 研究発表

◎赤澤宏樹・中瀬勲(2009) 国営明石海峡公園神戸地区

における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性. 公園緑地管理財団第14回技術研究発表会, 公園緑地管理財団, 東京都.

◎赤澤宏樹・中瀬勲(2009) 国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性. 第2回(財)公園緑地管理財団研究成果発表会, 昭和記念公園, 東京都.

赤澤宏樹・中瀬勲(2009) 米国シカゴ・パークディストリクトとNPOの協働に関する研究, 第23回環境研究発表会, 東京都.

##### ■ 学会役員など

日本造園学会, 代議員.

日本造園学会, 論文校閲委員.

日本造園学会, ランドスケープ・マネジメント研究委員会委員.

日本造園学会, 造園技術報告集刊行委員会, 委員.

日本造園学会関西支部, 幹事.

日本造園学会関西支部大会実行委員会, 委員.

日本造園学会関西支部大会実行委員会作業部会, 委員.

日本造園学会関西支部・みどりの5団体合同設計競技事務局, 委員.

情報処理学会, 校閲委員.

環境情報科学センター, 校閲委員.

日本都市計画学会, 校閲委員.

##### ■ 助成を受けた研究

米国・公園区を事例とした官民協働による地域マネジメント手法に関する研究. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者(金額50万円/270万円)

博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策. 文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究, 研究分担者(金額110万円/300万円)

来館者の体験活動が学びあう素材となる「演示」の展開手法. 財団法人カメイ社会教育振興財団, 研究代表者(20万円/20万円)

##### ■ 海外調査

2009.8 アメリカ・シカゴ市

2009.10 アメリカ・ボストン市, ニューヨーク市

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 古写真の収集. 佐用町, 三田市等.

##### ■ 整理同定担当資料

古写真(佐用町, 三田市).

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

赤澤宏樹, 2009.8, 「カメラをつかって撮影・現像まで(初級編)」, 博物館. (15名)

赤澤宏樹, 2009.8, 「針穴(ピンホール)カメラをつくって撮影・現像まで(中級編)」, 博物館. (8名)

赤澤宏樹, 2009.8, 「針穴(ピンホール)カメラをつくって撮影・現像まで(教職員セミナー)」, 博物館. (20名)

赤澤宏樹, 2009.8, 「ひとく公園マネジメントゼミ第1回『公園運営の現場から』趣旨と概要」, 博物館(10名)

赤澤宏樹, 2009.9, 「ひとく公園マネジメントゼミ第4回『地域へ貢献する公園づくりと活動その1』」, 尼崎の森中央緑地(10名)

赤澤宏樹, 2009.9, 「ひとく公園マネジメントゼミ第5回『地域へ貢献する公園づくりと活動その2』」, 尼崎の森中央緑地(10名)

赤澤宏樹, 2009.9, 「ひとく公園マネジメントゼミ第6回『市民主体の管理運営計画づくりその1』」, 国営明石海峡公園神戸地区(10名)

赤澤宏樹, 2009.9, 「ひとく公園マネジメントゼミ第7回『市民主体の管理運営計画づくりその2』」, 国営明石海峡公園神戸地区(10名)

赤澤宏樹, 2010.2, 「芦屋でまなぶ森・川・海の自然①～手作りカメラで自然を写そう～」, 芦屋市総合運動公園(10名)

館外講演

赤澤宏樹, 2009.4, 「生き物と公園」, 海峡フレンズ総会, 講師, 国営明石海峡公園淡路地区(20名).

赤澤宏樹, 2009.6, 「牛乳パックでカメラを作って撮影しよう」, 講師, MINT 神戸「大人の理科教室」, MINT 神戸(10名).

赤澤宏樹, 2009.6, 「環境にやさしいまちづくり」, 阪神広域行政圏協議会(80名).

赤澤宏樹, 2009.6, 「尼崎21世紀の森づくり構想～みどりからのアプローチ～」, 兵庫県立大学社会人セミナー・プロフェッショナルコース, 兵庫県立大学生涯学習支援センター(20名).

赤澤宏樹, 2009.11, 「共の空間とみどりの風景」, 三田市くらしの風景塾, 三田市まちづくり協働センター(11名).

赤澤宏樹, 2010.3, 「海峡フレンズのこれからに向けて」, 海峡フレンズ総会, 講師, 国営明石海峡公園淡路地区(20名).

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学(分担)

環境戦略特論(指導補助)

非常勤講師

2005- 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学, 分担.

2005- 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学.

2005- 「農業と社会」, 奈良県立大学.

2006- 「博物館事前実習」, 神戸大学, 分担.

#### ■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2009.8 西播磨地区 テーマ「古写真にみる暮らしと自然」

展示作成

2009.8 西播磨地区 テーマ「古写真にみる暮らしと自然」

#### ■ 学校教育支援

トライやるウィーク

2009.6.9-6.12, 富士中学校2名, 八景中学校1名, ゆりのき台中学校1名.

講師派遣

2009.4-2010.3. 「総合的な学習の時間(プロジェクト研究)」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生(5名).

#### ■ 研修生等の受入

博物館実習

2009.8.7-8.21 関西学院大学, 京都精華大学, 近畿大学, 神戸大学, 神戸学院大学, 5名.

## 2. シンクタンク事業

#### ■ 行政等支援

委員会等(計24件)

2003.10- 西武庫公園ネットワーク, アドバイザー, 兵庫県阪神南県民局.

2003.8- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.

2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.

2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会鉄工団地小部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.

2004.12- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.

2005.10- 兵庫県立西武庫公園管理運営協議会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2006.8- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2005.4-2010.3 国営明石海峡公園フレンズ, 会長, 国営明石海峡公園事務所.

2006.8- 西宮市都市景観アドバイザーグループ, 委員, 西宮市.

2006.4-2009.6 芦屋市立総合公園運営計画協議会, 委員, ヘッズグループ(指定管理者)

2006.8- 芦屋市史編纂委員会専門部会, 委員, 芦屋市教育委員会.

2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会, 委員, 阪神南県民局.

2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 阪神南県民局.

2009.6- 兵庫県地域空間再生検討チーム, メンバー, 兵庫県県民政策部.

2009.6-2010.3 平成21年度阪神広域職員研修「政策研究事業」, アドバイザー, 阪神地域広域行政圏協議会.

2009.9- 尼崎市総合計画審議会, 委員, 尼崎市.

2009.9- 尼崎市総合計画審議会「あり方検討」専門部会,

委員, 尼崎市.  
2009.10-2010.3 尼崎の森中央緑地参画と協働の仕組み  
づくりワーキング, 座長, 兵庫県阪神南県民局.  
2009.10- 西宮市都市景観審議会, 委員, 西宮市.  
2009.10- 西宮市都市景観審議会アドバイザー部会, 委  
員, 西宮市.  
2009.11-2010.3 三田市くらしの風景塾, 全体コーディネ  
ーター, 三田市.  
2009.12-2010.3 尼崎 21 世紀の森中央緑地植樹祭実行  
委員会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.  
2010.3 国営明石海峡公園神戸地区管理運営手法検討

会, 特別委員, 国土交通省近畿地方整備局.  
2010.3 大阪市立長居公園管理運営協議会準備会, 委  
員, 大阪市.  
相談・指導助言  
来訪者 15 件, 40 名. 電話・FAX 相談 80 件, メール相談  
40 件.  
■ 学会開催等支援  
2009.10 造園学会関西支部大会. 300 名.

## 武田 重昭, TAKEDA Shigeaki

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/企画調整室

研究員

昭和50年兵庫県神戸市生, 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了, 修士(農学), 日本造園学会, 日本都市計画学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. マーケティング・マネジメント部門  
企画調整室, 経営戦略会議及び月例報告会運営担当
2. タスクフォース  
地域再生人材養成タスクフォース, 事務局担当
3. 研究開発部門  
会計担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

- 特別課題研究(個人研究)
  1. 屋外空間の活用による団地再生に関する研究
  2. 姫路駅前の都市再生に関する考察
  3. 恐竜を活かしたまちづくりに関する考察
  4. 戸建住宅地のコモンスペースに関する考察
  5. 山陰海岸ジオパークの推進に関する考察
  6. 多自然居住地域における低炭素社会のための政策に関する考察
  7. 三木総合防災公園の運営に関する考察
- 論文・著書  
武田重昭・増田昇・永井心平・小木曾裕・村岡政子(2010) 利用実態から捉えた団地屋外空間の活用による団地再生に関する研究. ランドスケープ研究 VOL.73, NO.5, 469-472
- その他著作  
藤本真里・武田重昭(2009) 三木防災総合防災公園における住民参画型公園運営に関する研究. 兵庫県北播磨県民局受託研究報告書.  
武田重昭(2009) 公共空間が育む新しい「パブリックスタイル」. シビックプライド研究会編著, BIOCITY 2009/no.43「シビックプライドと都市のコミュニケーションデザイン」, p109, 株式会社ビオシティ  
武田重昭(2010) 新しい都市のパブリックスタイルを育む. (有)クッド研究所/榊学芸出版社企画・編集, 季刊まちづくり26「地域づくりの視点から都市計画制度に提案する」, pp67-68, 学芸出版社  
山本一馬・山崎義人・武田重昭(2010) 都市計画に都市計画教育を位置づける. (有)クッド研究所/榊学芸出版社企画・編集, 季刊まちづくり26「地域づくりの視点から都市計画制度に提案する」, pp38-40, 学芸出版社  
小館誓治, 田原直樹, 藤本真里, 武田重昭, 北村俊平

(2010) 博物館における自己点検・評価の取り組みについて. 博物館研究 45(3): 27-31

- ブログへの情報提供  
1 件
- 学会役員など  
日本造園学会, 作品選集刊行委員会委員  
日本造園学会, 代議員  
日本都市計画学会, 編集委員会委員  
日本都市計画学会関西支部, 「次世代の関西」検討委員会委員  
NPO 法人パブリックスタイル研究所, 理事  
(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構「多自然居住と自治体の低炭素社会への取り組み」研究会, 研究協力者
- 助成を受けた研究  
公共空間を介した「新しい公」の形成に関する事例研究.  
兵庫県シンクタンク等協議会, 研究代表者(金額 25 万円/50 万円)

#### 2. 資料収集・整理

- 資料収集  
2009.8 佐用町水害被災状況写真収集. 佐用町.  
2010.3 企画展関連資料の収集(明石海峡イカナゴ漁写真資料, 日本海ホタルイカ漁映像資料). 明石海峡, 日本海

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

- セミナー  
館主催セミナー  
武田重昭, 2009.9, 「連続セミナー人と自然」, 博物館, (兵庫県立有馬高等学校人と自然科 40 名)  
館外講演  
武田重昭, 2009.9, 「シビックプライドー都市のコミュニケーションをデザインするー」, 榊友会(主催:財団法人大阪地域振興調査会), DAN計画研究所(15 名)  
武田重昭, 2009.12, 「人生を魅力的に演出する屋外空間」, 環境講座シンポジウム阪神南から自然環境を考える〜うるおいのある「まちづくり」をめざして〜(主催:阪神南県民局ビジョン委員会), 尼崎市労働福祉会館小ホール(70 名)  
武田重昭, 2009.12, 「団地屋外空間の特性とその活用に求められる視点」, 平成 21 年度近畿地方公共住宅事業者等連絡協議会改善分科会 講演会(主催:近畿地方公共住宅事業者等連絡協議会), 向ヶ丘第一団地ストック再生実証試験現場(30 名)  
武田重昭, 2010.2, 「都市のみどりを使いこなす」, 日本建築学会近畿支部環境保全部会公開研究会(主催:日本建築学会近畿支部環境保全部会), 大阪市立大学文化交流センター・大セミナー室(20 名)  
武田重昭, 2010.2, 「まちに対する誇りや愛着を育む」, 門真市幸福町・垣内町・中町まちづくり協議会タウンマ

ネーチャー育成勉強会(主催:門真市幸福町・垣内町・中町まちづくり協議会),光亜興産会議室(30名)  
武田重昭,2010.3,「みどりを活かしたまちづくり」,大阪府高齢者大学校園芸科 講義(主催:NPO 法人大阪府高齢者大学校),住之江公園管理事務所会議室(50名)

非常勤講師

2009.7,「自然とデザイン(うち風景のデザイン)」神戸芸術工科大学.

■ ミニキャラバン事業

2009.5,ありまふじフェスティバル'09 春(分担者),ありまふじフェスティバル実行委員会,有馬富士公園

2009.7,ふれあい喫茶(分担者),佐用町,佐用町町役場

2009.10,丹波焼陶器まつり(分担者),篠山市ほか,兵庫県立陶芸美術館

■ 学校教育支援

トライやるウィーク

2009.6.9-6.12,富士中学校2名,八景中学校1名,ゆりのき台中学校1名.

■ 研修生等の受入

博物館実習

2009.8.7-8.21 関西学院大学,京都精華大学,近畿大学,神戸大学,神戸学院大学,5名.

■ フェスティバル等

2009.11 ひとほくフェスティバル,「ステージ」(担当者).

2. シンクタンク事業

■ 行政等支援

委員会等 (計2件)

2009.6- 兵庫県地域空間再生検討チーム,チームメンバー,兵庫県企画県民部政策室

2009.12- 三木総合防災公園管理運営協議会設置に関する研究会,委員,兵庫県北播磨県民局加東土木事務所

相談・指導助言

来訪者2件2名. 電話・FAX 相談1件,メール相談2件.

## 田原 直樹, TAHARA Naoki

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ/企画調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門

教授.

昭和28年福岡県生. 大阪大学大学院工学研究科修士課程修

了. 工学博士. 日本造園学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. マーケティング・マネジメント部門

総括

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

部長代理

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 歴史的緑の研究
2. 環境文化の考察

##### ■ 共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究—兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

##### ■ その他著作

小舘誓治, 田原直樹, 藤本真里, 武田重昭, 北村俊平 (2010) 博物館における自己点検・評価の取り組みについて. 博物館研究 45(3): 27-31

##### ■ 研究発表

田原直樹, 宮地将行, 上甫木昭春(2009) 公的オープンスペースの種類及び立地に着目した地域資源の存在状況に関する研究. 日本造園学会全国大会, 明治大学, 東京都.

田原直樹(2009) 東南アジア都市研究. 関西大学コロキウム, 関西大学, 吹田市.

##### ■ 学会役員など

- (社)日本造園学会, 校閲委員.
- (社)環境情報科学センター学会, 校閲委員.
- (社)日本都市計画学会, 校閲委員.
- (社)日本都市計画学会関西支部, 国際交流委員.
- (社)日本建築学会, 校閲委員.
- (社)日本土木学会, 校閲委員.

##### ■ 助成を受けた研究

博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策. 文部科学省科学研究費基盤研究(c)(研究代表者)(金額 /300万円)

地域再生人材創出拠点の形成に向けた教育システムの検討. 兵庫県立大学特別教育研究助成金(部局独自事業)(研究代表者)(金額 /160万円)

## 2. 資料収集・整理

### ■ 資料収集

2009.5-11 名所写真. 大阪府など.

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■ セミナー

館主催セミナー

田原直樹, 2009.4, 「都市の歩き方・名所編 大阪中之島界隈を歩く」, 大阪市, (15名)

田原直樹, 2009.5, 「都市の歩き方・名所編 兵庫県宝塚市清荒神・小浜・中山寺界隈を歩く」, 宝塚市, (15名)

田原直樹, 2009. 9-11, 「都市の歩き方・企画編 名所図会探検倶楽部(全4回)」, 博物館, 明石市, (10名)

田原直樹, 2009.10, 「都市の歩き方・名所編 兵庫県伊丹界隈を歩く」, 伊丹市, (15名)

田原直樹, 2009.10, 「都市の歩き方・街道編 大阪市天王寺から熊野街道を歩く」, 大阪市, (15名)

田原直樹, 2009.11, 「都市の歩き方・番外編 名所図会探検倶楽部の皆さんと明石界隈を歩く」, 明石市, (10名)

田原直樹, 2009.4, 「ひとく名所めぐり」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

田原直樹, 2009.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館, (15名)

環境人間学部

2009.4-9, 「環境文化特別演習」, 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科

■ フェスティバル等

2009.11, ひとはくフェスティバル, (自動車誘導/舞台担当)(分担者).

2. シンクタンク事業

■ 行政等支援

委員会等 (計 19 件)

2009.4-2010.3, 揖保川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2009.4-2010.3, 兵庫県土地収用事業認定審議会, 委員, 兵庫県.

2009.4-2010.3, 地域空間再生検討懇話会, 委員, 兵庫県企画県民部ビジョン課.

2009.4-2010.3, 中播磨地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県中播磨県民局.

2009.11-2010.3, 千種川委員会, 委員, 兵庫県西播磨県民局.

2009.5-2010.3, 県立加古川東高等学校に係るスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.

2009.7-2010.3, 平成 21 年度環境体験丹波地域支援委員会, 委員長, 兵庫県教育委員会丹波教育事務所.

2009.4-2010.3, 姫路市都市計画審議会, 委員, 姫路市.

2009.4-2010.3, 姫路市景観・広告物審議会, 委員, 姫路市.

2009.9-10, 姫路市景観賞選定委員会, 委員, 姫路市.

2010.1-3, 姫路市地域審議会公募委員選考委員会, 委員, 姫路市.

2009.4-2010.3, 加西市都市計画審議会, 会長, 加西市.

2009.4-2010.3, 加西市住宅マスタープラン策定委員会, 委員, 加西市.

2009.4-2010.3, 三田市環境保全審議会, 会長, 三田市.

2009.4-2010.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会, 委員, 篠山市.

2009.4-2010.3, 西はりま天文台公園運営協議会, 委員, 兵庫県立西はりま天文台公園.

2009.4-2010.3, (財)丹波の森協会丹波 OB 大学運営委員会, 委員, (財)丹波の森協会.

2009.4-2010.3, いなみ野学園大学院指導教官, (財)兵庫県高齢者生きがい創造協会.

2009.6-2010.3, 地域空間再生検討チーム, 兵庫県企画県民部政策室ビジョン課.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 30 名. 電話・FAX 相談 10 件



## 山崎義人, YAMAZAKI Yoshito

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ／

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門 講師。  
昭和47年神奈川県生。早稲田大学大学院理工学研究科博士  
後期課程修了。博士(工学)。日本建築学会, 日本都市計画学  
会, 農村計画学会, 日本生活学会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

なし

#### 2. タスクフォース

地域再生人材タスクフォース(サブリーダー)

恐竜化石タスクフォース

#### 3. 研究開発部門

研究シンクタンク推進室, 資料担当, マルチメディアデータ  
担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 太平洋沿岸におけるペンキ塗り住宅の実態把握に関する研究
2. 多自然居住地域におけるデータベース利用に関する研究
3. コミュニティの拠点となる農産物直売所に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「古写真にみる自然との共生に関する研究」, 研究分担者。

##### ■ 論文・著書

跡部嵩幸, 後藤春彦, 遊佐敏彦, 山崎義人(2009)「学生を対象とした都市・農村交流の継続に関する研究 -山梨県早川町を事例として-」都市計画論文集 no.44

小野ちれか, 後藤春彦, 遊佐敏彦, 山崎義人(2009)「未利用地と空き店舗運用主体としての商工会議所の可能性に関する研究 -青森県弘前市の「ドテヒロ屋台村」の事例を対象に-」都市計画論文集 no.44

◎Takahiro Tanaka, Daniel Benjamin Abramson, Yoshito Yamazaki (2009), “Using GIS in Community Design Charettes: Lessons from a Japan-U.S. Collaboration in Earthquake Recovery and Mitigation Planning for Kobe” Habitat International, 2009.10

山崎義人, 田中貴宏, 山口秀文(2009), 「伝統的な建物配置や敷地構成の居住環境の再建への影響」日本建築学会計画系論文集第639号, p1075-p1083.

##### ■ その他著作

山本一馬, 山崎義人, 武田重昭(2010)「都市計画に都市計画教育を位置づける」季刊まちづくり第26号, 学芸出版社

嘉名光市, 山崎義人(2010)「都市の空洞化にどう向き合うか」季刊まちづくり第26号, 学芸出版社

田中貴宏, 山崎義人(2010)「環境・生態系の視点を都市計画制度に位置づける」季刊まちづくり第26号, 学芸出版社

◎山崎義人(2010)「淡路島・三原平野に想う, 生物多様性。」ひととはく新聞第10号, 兵庫県立人と自然の博物館

##### ■ 研究発表

◎Hidefumi YAMAGUCHI, Yoshito YAMAZAKI, Takahiro TANAKA, Tsutomu Shigemura, Akihiko HOKUGO, (2009)“Reconstruction of Rural Village Environments, focusing on Common Space and Public Facilities, after the 2006 Central Java Earthquake”, ISSC 2009 in Yogyakarta

◎山崎義人, 塩山沙弥香(2009):兵庫県篠山市における農産物直売所に関わる現地踏査 小屋に着目した生業景観に関する研究その1:日本建築学会学術講演梗概集 E-2 分冊, pp631-pp632

◎山崎義人, 塩山沙弥香(2009):小屋に着目した「生業景観」の保全に関する研究:平成21年度兵庫県立大学研究発表会

跡部嵩幸・後藤春彦・遊佐敏彦・山崎義人(2009):都市・農村交流を継続する地域の課題に関する研究:日本建築学会学術講演梗概集 E-2 分冊

##### ■ 学会役員など

日本建築学会農村計画委員会, 委員

日本建築学会技術報告集委員会, 委員

日本建築学会農村計画委員会農村居住小委員会, 幹事  
日本建築学会農村計画委員会集落共生デザイン小委員会, 委員

日本建築学会農村計画委員会ルーラルネット WG, 幹事  
日本建築学会近畿支部都市計画部会, 委員

日本都市計画学会近畿支部, 幹事

日本都市計画学会近畿支部国際交流委員会, 副委員長  
日本都市計画学会近畿支部国際シンポジウム委員会, 委員

日本都市計画学会近畿支部20周年記念事業委員会, 次世代の関西ワーキンググループ, 代表

##### ■ 助成を受けた研究

口述集積型データベース(LUDS)を用いた自律型景観利用の促進計画. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者(金額 40 万円 / 730 万円).

恐竜発掘を素材にした地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(c)(研究分担者)(金額 / 370 万円)

博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策. 文部科学省科学研究費基盤研究(c)(研究分担者)(金額 / 300 万円)

「支援員」による集落支援の評価手法と支援策 -中越地域および全国過疎地域との比較を通じて-. 地域復興

支援事業(地域貢献型中越復興研究支援)補助事業  
(研究分担者)(金額 /637 万円)

地域再生人材創出拠点の形成に向けた教育システムの  
検討.兵庫県立大学特別教育研究助成金(部局独自事  
業)(研究分担者)(金額 /160 万円)

## 2. 資料収集・整理

### ■ 資料収集

2009.8 佐用町被災状況緊急調査.佐用町.兵庫県

2009.12 戦前開拓村である平野集落の古写真等の収集.  
三田市.兵庫県

2010.3 企画展関連資料の収集(イカナゴ漁など).淡路  
市.兵庫県

2010.3 企画展関連資料の収集(ホタルイカ漁, 集落地  
図など).豊岡市.新温泉町.兵庫県

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■ セミナー

館主催セミナー

◎山崎義人, 2009.5, 「多面体おもちゃ(テンセグリティ)を  
つくりよう」, 博物館, 10 名

山崎義人, 2009.8, 「多面体おもちゃ(テンセグリティ)をつ  
くりよう」, 博物館, 5 名

山崎義人, 2009.8「環境学習に活かす地域の見方」博物  
館, 20 名

フロアスタッフ+山崎義人, 2009.8「けんちかの日」博物館,  
40 名

山崎義人, 2009.9-2009.10「建築スケッチ紀行」, 各地, 20  
名

山崎義人, 2009.10「ひとはく」だまし「セミナー」博物館, 30  
名

山崎義人, 2009.11「環境と町並みのフィールドワーク」野  
外, 60 名

山崎義人, 2009.12「ふかたん 博物館探検」博物館, 4 名  
フロアスタッフ+山崎義人, 2010.3「けんちかの日」博物  
館, 9 名

館外講演

山崎義人(2009)『生業(なりわい)文化に着目したまちづ  
くり』『農楽カフェ』NPO 棚田 Lover's, オーガニックレス  
トラン&カフェ愛農人, (10 名)

山崎義人(2009)『自然と共生する文化を活かす地域づく  
り』『ひょうご講座 2009』ひょうご震災記念 21 世紀研究  
機構, 兵庫県民会館, (30 名)

山崎義人(2009)「農村と計画研究のフロンティア」日本建  
築学会農村計画委員会秋期学術交流会, 日本建築学  
会, (40 名)

山崎義人(2009)『重村力の方法』重村力先生神戸大学退  
任記念イベント, 御影公会堂(300 名)

山崎義人(2009)『伝統的集落の居住環境の再建』近畿大  
学(40 名)

山崎義人(2009)「ひとはく」だまし「セミナー」兵庫県立美  
術館, 100 名

山崎義人(2009)「段ボールでドームづくり」『大人の理科  
教室』神戸新聞文化センター, 10 名

兵庫県立大学・大学院教育

環境文化特別演習(指導補助)

環境戦略特論(指導補助)

修士論文指導(指導補助)

非常勤講師

2009.10-2009.3. 「景観工学」, 神戸市工業高等専門学  
校.

2009.10-2009.3. 「応用 CAD」, 神戸市工業高等専門学  
校.

2009.8「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

2009.4-2010.3. 早稲田大学理工学術院, 客員講師

#### ■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2009.7 播磨地域 佐用町の古写真展(実施)

2009.8 播磨地域 佐用町の被災状況報告(実施)

リサーチプロジェクト

2009.8 播磨地域 佐用町の被災状況調査(実施)

#### ■ 学校教育支援

トライやるウィーク

2009.6.9-6.12, 富士中学校 2 名, 八景中学校 1 名, ゆり  
のき台中学校 1 名.

講師派遣

2009.11. 「環境と町並みのフィールドワーク」, 講師, クラ  
ーク記念高校 2 年生(80 名).

遠隔授業

2009.5-2010. 2「まちやむらの成り立ちと成り行き」, 兵庫  
県立大学附属中学校 2 年生(5 名).

#### ■ 研修生等の受入

博物館実習

2009.8.7-8.21 関西学院大学, 京都精華大学, 近畿大学,  
神戸大学, 神戸学院大学, 5 名.

卒論生等

2009.4.1-2010.3.31, 木村美樹雄(早稲田大学大学院理  
工学研究科修士課程 2 年), 企業による伝健地区の景  
観保全の可能性と課題.

2009.4.1-2010.3.31, 川見亮介(早稲田大学大学院理工  
学研究科修士課程 2 年), 移住者の空き家利用のため  
のコーディネイターに関する研究.

#### ■ フェスティバル等

2009.11 ひとはくフェスティバル, (自動車誘導/舞台担  
当)(分担者).

#### ■ 展示

特別企画展

2009.4.25-2009.5.31, 特別企画「丹波の恐竜をしろう- 3  
年間の発掘報告-」(分担者)

ミニ企画展

2009.8.21-2009.10.31, ミニ企画展「がんばれ! 佐用町」

(分担者).

2009.9.01 - 2009.10.31, ミニ企画展「だまし絵といろんなだまし」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

- 収蔵庫・ジーンファームの公開  
環境系収蔵庫等の案内, 2回, 50名.
- 行政等支援  
委員会等 (計1件)

2009.6 - 地域空間再生検討チーム, 委員, 兵庫県ビジョン課.

相談・指導助言

来訪者 2件, 5名. 電話・FAX 相談 2件

2009.5 姫路駅前の再開発に関して, 兵庫県立大学工学部.

- 学会開催等支援

2009.6 重村力先生神戸大学退任記念イベント開催. 300名.

## 上田 萌子, UEDA Moeko

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ/生涯学習推進室

研究員

昭和57年愛知県生. 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科修士課程修了. 緑地環境科学修士. 日本造園学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室 広報・出版支援担当, ひとつは新聞, ひとつは手帖の編集・デザイン

#### 2. タスクフォース

地域再生人材養成タスクフォース, 研究会運営, アンケート調査担当

#### 3. 研究開発部門 研究・シンクタンク推進室

研究・紀要担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 塩生植物の利用履歴と変遷状況に関する研究
2. 地域資源を活用した学習素材の開発に関する考察

##### ■ 共同研究

総合共同研究「古写真にみる自然との共生に関する研究」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

Enoki, T., Ueda, M., Nanki, D., Suwa, R., & Hagihara, A. (2009) Distribution and stem growth patterns of mangrove species along the Nakara River in Iriomote Island, Southwestern Japan. *Journal of Forest Research* 14:51-54.

##### ■ その他著作

◎上田萌子(2009)「ありまふじフェスティバルレポート」ひとつは新聞2009年7月14日号, 兵庫県立人と自然の博物館

◎上田萌子(2009)「ひとつは図鑑『名所図会』にみる雪の日」ひとつは新聞2009年12月25日号, 兵庫県立人と自然の博物館

上田萌子・上甫木昭春(2010)西表島仲良川流域におけるマングローブ林の変遷. 国立公園協会機関誌 国立公園, 681:15-18

##### ■ ブログへの情報提供

7件

##### ■ 助成を受けた研究

博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策. 文部科学省科学研究費基盤研究(c)(研究分担者)(金額 /300万円)

地域再生人材創出拠点の形成に向けた教育システムの検討. 兵庫県立大学特別教育研究助成金(部局独自事業)(研究分担者)(金額 /160万円)

## 2. 資料収集・整理

### ■ 資料収集

2010.3 企画展関連資料の収集(イカナゴ漁取材映像). 淡路市. 兵庫県

2010.3 企画展関連資料の収集(ホタルイカ漁取材映像, 集落地図など). 豊岡市. 新温泉町. 兵庫県

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

上田萌子, 2009.6, 「特注セミナー 環境情報管理システムの講習」, 大阪府立大学生命環境科学部(20名).

上田萌子, 2009.8, 「特注セミナー 川と人の暮らし」, 神戸大学附属住吉小学校(114名)

上田萌子, 2009.9, 「マングローブ林と人の暮らし」, クラーク記念国際高等学校連携セミナー. (114名)

##### ■ キャンパバンおよび地域研究員養成事業

西播磨地域担当

2009.7 佐用町三河地区 テーマ「三河地域の古写真」

##### ■ ミニキャンパバン事業

2009.4, 有馬富士フェスティバル'09春(分担者), 有馬富士フェスティバル実行委員会, 有馬富士公園

2009.7, ふれあい喫茶(分担者), 佐用町, 佐用町役場

2009.11, ふれあいの祭典 コウノトリ翔る但馬まるごと感動市(分担者), 但馬まるごと感動市実行委員会, 県立但馬ドーム.

##### ■ 学校教育支援

トライやるウィーク(主担当)

2009.6.9-6.12, 富士中学校2名, 八景中学校1名, ゆりのき台中学校1名..

講師派遣

2009.7. 「文化を活かす, 地域を活かす—今なぜ文化コーディネーターなのか—」, 京都文教大学(30名).

2009.10. 「マングローブ林と沖縄の自然」, 講師, 雲雀ヶ丘学園中学校3年生(160名).

##### ■ 研修生等の受入

博物館実習

2009.8.7-8.21 関西学院大学, 京都精華大学, 近畿大学, 神戸大学, 神戸学院大学, 5名.

##### ■ フェスティバル等

2009.11 ひとつはフェスティバル, 「ステージプログラム」(責任者).

##### ■ 展示

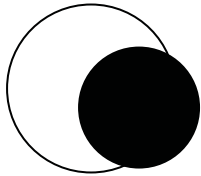
企画展

2010.2.11-2010.4.4, 企画展「共生のひろば展」(責任者).

#### 2. シンクタンク事業

- 収蔵庫・ジーンファームの公開  
環境系収蔵庫等の案内, 2回, 12名.
- 行政等支援

委員会等 (計1件)  
2009.6ー. 地域空間再生検討チーム, 委員, 兵庫県ビジ  
ョン担当課.



# 個人別成果報告に関する資料

No. 5

● 自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/  
生物多様性保全研究グループ

## 服部 保, HATTORI Tamotsu

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/事業推進部門

研究部長/総合調整担当

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門  
教授。

昭和23年大阪府生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了。学術博士。日本生態学会、日本造園学会、植生学会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

総合調整担当

#### 2. タスクフォース

生物多様性タスクフォース(リーダー)

#### 3. 研究開発部門

部門研究調整担当、会計担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 各種植生の保全・復元・創出に関する研究
2. 森づくりに関する総合的な研究
3. 里山、草原、照葉樹林の生物多様性保全に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」、研究代表者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」、研究代表者。

##### ■ 論文・著書

服部 保・栃本大介・南山典子・橋本佳延・澤田佳宏・石田弘明(2009)九州南部の照葉樹林における維管束着生植物の種多様性および種組成。植生学会誌, 26: 49-61.

服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延(2009)鹿児島県屋久島における照葉樹林の種組成および種多様性。人と自然, No.20: 1-14.

黒田有寿茂・澤田佳宏・小舘誓治・服部 保(2009)法面保護工の施工された植栽下層植生の種組成と構造—シダ植物の定着とその要因に着目して—。保全生態学研究, 14(1): 55-65.

石田弘明・浅見佳世・黒田有寿茂・青木秀昌・服部 保(2009)猪名川上流域における希少樹種エドヒガンの

生育立地と個体群構造。保全生態学研究, 14(2): 143-152.

##### ■ その他著作

服部 保(2009)植生学への期待と不安。植生情報, 13: 9-10.

◎服部 保(2009)生物多様性三田戦略。キッピーフレンズ通信, No.11: 1.

◎黒田有寿茂・南山典子・服部 保(2009)絶滅危惧植物ナガボテンツキの種子発芽特性—兵庫県加古川市産での事例—。人と自然, No.20: 63-66.

◎赤松弘治・浅見佳世・田村和也・福井 聡・服部 保(2009)チガヤ人工草原の16年後の変化と創出の可能性。人と自然, No.20: 81-91.

澤田佳宏・服部 保・橋本佳延・南山典子(2009)北海道石狩海岸における海浜型チガヤ群落の組成。人と自然, No.20: 107-112.

◎服部 保・黒田有寿茂・南山典子(2010)里山放置林管理マニュアル。兵庫県立人と自然の博物館, 24p.

◎服部 保・南山典子・橋本佳延・石田弘明・小舘誓治・黒田有寿茂(2010)多様性植生調査法—生物多様性評価と数量的な解析を進めるための植生調査法—。兵庫県立人と自然の博物館, 28p.

◎栃本大介・服部 保・南山典子(2010)生物多様性都市山六甲戦略(案)。兵庫県立人と自然の博物館, 4p.

◎自然と文化の森協会(著)・橋本佳延・服部 保(監修)(2010)エノキをめぐるいきものたち〜猪名川自然林生物多様性戦略へむけて〜。兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部, 4p.

##### ■ 学会役員など

植生学会 群集に関する検討ワーキング  
日本生態学会 地区委員

##### ■ 助成を受けた研究

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究  
日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)、研究代表者(金額 130 万円/442 万円)。

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 植物および植生景観の映像資料収集。神戸市、宝塚市、尼崎市、姫路市、伊丹市、三田市、川西市、大阪府、鹿児島県、宮崎県、沖縄県。

2009.4-2010.3 照葉樹林の映像資料収集。沖縄県(石垣島、沖縄本島)、鹿児島県(種子島、屋久島、奄美大島)、宮崎県。

##### ■ 整理同定担当資料

植物および植生景観の映像資料収集、照葉樹林の映像資料収集。

## <事業推進>

### 1. 生涯学習支援事業

#### ■ セミナー

##### 館主催セミナー

服部 保, 2009.5, 「博物館セミナー 日本一の里山観察会」, 川西市. (40名)

服部 保, 2009.8, 「教職員セミナー 生物多様性と里山」, 博物館. (26名)

服部 保, 2009.9, 「博物館セミナー 植物と文化・万葉集の植生」, 博物館. (13名)

服部 保, 2009.4, 「特注セミナー 里山」, 有馬富士公園自然学習センター展示交流員養成講座, 博物館. (27名).

服部 保, 2009.4, 「特注セミナー 里山」, 大阪大学理学部化学科, 博物館. (99名).

服部 保, 2009.6, 「特注セミナー 里山について」, 武庫川女子大学附属高等学校, 博物館. (41名).

服部 保, 2009.6, 「特注セミナー 兵庫県内にある5つの日本一の自然」, 神戸市シルバーカレッジ 生活環境コース, 博物館. (76名).

服部 保, 2009.6, 「特注セミナー 都市山六甲」, 小泉製麻(100名).

服部 保, 2009.7, 「特注セミナー 植物と文化・万葉集の植生」, 猪名川自然林サポーター講座, 博物館. (15名)

服部 保, 2009.9, 「特注セミナー 里山管理の方向」, 阪神北地域ビジョン, 博物館. (9名).

服部 保・他, 2009.10, 「特注セミナー 生物多様性里山戦略推進研修」, 博物館. (93名).

服部 保, 2009.10, 「特注セミナー 生物多様性の重要性～里山と湿原の保全～」, 宝塚市環境学習リーダー入門講座, 博物館. (11名).

服部 保, 2009.11, 「特注セミナー 里山について」, UFJ, (6名).

服部 保, 2010.2, 「特注セミナー 希少植物の保護について」, 京都府立農芸高等学校, 博物館. (11名).

服部 保, 2010.3, 「特注セミナー 川西市の日本一の里山について」, 川西市立明峰小学校, 博物館. (173名).

服部 保, 2010.3, 「特注セミナー さとやまについて」, 三田市立弥生小学校, 博物館. (54名).

服部 保, 2010.3, 「特注セミナー 生物多様性と里山」, 大阪府立能勢高等学校, 博物館. (11名).

##### オープンセミナー

服部 保, 2009.5, 「チガヤとちまき」, 博物館. (10名)

服部 保, 2009.10, 「月見と七種」, 博物館. (4名)

##### 館外講演など

服部 保, 2009.4, 「講演 どんぐりの木を育てよう～里山

とどんぐり～」, 講師, 箕面市立西南図書館, (40名).

服部 保, 2009.4, 「講演 里山の保全～生物多様性について～」, 講師, 宝塚教養学校, (20名).

服部 保, 2009.4, 「見学会 川西市黒川の里山」, 講師, コープの森・社家郷山見学会, (20名).

服部 保, 2009.4, 「講演 森林のはたらき②照葉樹林と里山林の保全」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ, (80名).

服部 保, 2009.5, 「講演 生物多様性と里山」, 講師, 芦屋川カレッジ大学院, (20名).

服部 保, 2009.5, 「講演 里山の文化 かしわもちとちまき」, 講師, 地球環境「自然学」講座, シニア自然大学, (200名).

服部 保, 2009.5, 「講演 タマムシの飛ぶ森づくり」, 講師, 猪名川自然林サポーター講座, 自然と文化の森協会, (40名).

服部 保, 2009.6, 「講義 神戸の都市山・六甲山」, 講師, 神戸学, 神戸市看護大学, (200名).

服部 保, 2009.6, 「講演 猪名川流域の自然を考える」, 講師, 豊中・伊丹環境政策フォーラム, (40名).

服部 保, 2009.7, 「講演 宮崎県綾町における照葉原生林へのシカの影響について」, 講師, 植生学会シンポジウム, (150名).

服部 保, 2009.7, 「講演 河川の植生と課題について」, 講師, 河川講習会, 兵庫県県土整備部, (100名).

服部 保, 2009.7, 「講演 里山」, 講師, 森林ボランティア講座, ひょうご森の倶楽部, (80名).

服部 保, 2009.8, 「講演 日本の森照葉樹林, 照葉樹林から里山林へ」, 講師, 平成21年度現任神職研修会, 兵庫県神社庁神戸市支部, (50名).

服部 保, 2009.8, 「講義 里山」, 講師, 兵庫の里山・里海, 兵庫県県立大学, (50名).

服部 保, 2009.9, 「講演 生物多様性」, 講師, 三木山森林公園, (100名).

服部 保, 2009.9, 「講演 里山活動の意義」, 講師, なしオン創造の森, (50名).

服部 保, 2009.9, 「講演 川西市黒川地区の里山保全と観察」, 講師, シニア自然大学, (60名).

服部 保, 2009.9, 「講演 陸域の生物多様性評価に係わる植生調査手法と解析結果」, 講師, 日本環境アセスメント協会, (150名).

服部 保, 2009.9, 「現地指導 猪名川の外来種対策・第1回勉強会」, 現地指導, 国土交通省猪名川河川事務所, (30名).

服部 保, 2009.9, 「シンポジウム 里山の現状と未来について」, パネラー, 国崎クリーンセンター啓発施設, (60名).

服部 保, 2009.9, 「講演 外来植物対策勉強会」, 講師, 外来植物対策勉強会, (30名).

服部 保, 2009.10, 「講演 里山の基本知識」, 講師, みのお森の学校, みのお山麓保全委員会, (50名).

服部 保, 2009.10, 「講演 生物多様性と里山の保全」, 講師, 宝塚市民カレッジ 本科・宝塚学コース, 宝塚市立中央公民館, (50 名).

服部 保, 2009.10, 「現地指導・講演 河川環境技術研究会」, 現地指導・講師, 国土交通省近畿地方整備局, (20 名).

服部 保, 2009.10, 「講演 六甲山の生物多様性について」, 講師, (財)ひょうご環境創造協会, (20 名).

服部 保, 2009.10, 「講演 里山林の保全を考える」, 講師, 西宮明昭山の会, (60 名).

服部 保, 2009.10, 「講演 チガヤ群落の多様性」, 講師, 河川環境管理財団, (10 名).

服部 保, 2009.11, 「講演 どんぐりからの森づくり」, 講師, 林野庁箕面森林環境保全ふれあいセンター, (150 名).

服部 保, 2009.11, 「現地指導 猪名川の外来種対策・第 2 回勉強会」, 現地指導, 国土交通省猪名川河川事務所, (30 名).

服部 保, 2009.11, 「講演 温暖化」, 講師, 河川環境管理財団, (6 名).

服部 保, 2009.11, 「講演 能勢環境・農業フォーラム」, 講師, 能勢町, (150 名).

服部 保, 2009.11, 「現地指導 外来種勉強会」, 現地指導, 国土交通省近畿地方整備局, (20 名).

服部 保, 2009.12, 「現地案内 箕面森林環境保全ふれあいセンター運営推進懇談会」, 現地案内, 近畿中国森林管理局, (20 名).

服部 保, 2009.12, 「講演 兵庫の里山, 日本の里山」, 講師, 西宮市立甲山自然環境センター, (60 名).

服部 保, 2009.12, 「講演 住宅の緑でまちなみを変える」, 講師, ぐらしの風景塾第 3 回, 三田市, (15 名).

服部 保, 2009.12, 「講演 照葉樹林と里山」, 講師, 人と自然の博物館背景画セミナー, (30 名).

服部 保, 2010.1, 「講演 照葉樹林・草原・里山の生物多様性保全」, 講師, 21 世紀文明研究セミナー, ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, (75 名).

服部 保, 2010.1, 「栽培指導」, 講師, ぐらしの風景塾第 4 回, 三田市, (15 名).

服部 保, 2010.1, 「講演 生物多様性と里山」, 講師, 兵庫県立福崎高等学校, (80 名).

服部 保, 2010.1, 「講演 箕面の里山 NOW」, 講師, 箕面山麓の植生調査発表会, 山麓ファンド, (130 名).

服部 保, 2010.1, 「講演 日本一の猪名川上流域の里山」, 講師, 黒川地区の里山保全を体感する日帰り学習ツアー, アサヒビール, (120 名).

服部 保, 2010.2, 「講演 里山林の価値と里山林管理の方向」, 講師, 大阪府立刀根山高等学校, (30 名).

服部 保, 2010.2, 「講演 川西市の里山はどうして日本一なの?」, 講師, 川西市, (100 名).

服部 保, 2010.2, 「講演 生物多様性と尼崎の森中央緑地で目指す森について」, 講師, 尼崎森づくり勉強会,

アマフォレストの会, (22 名).

服部 保, 2010.2, 「講演 生物多様性と道路の樹木→多様性と交流」, 講師, THE 談会, 美たんばネット, (60 名).

服部 保, 2010.3, 「講演 生物多様性と里山・湿原」, 講師, 西谷ゆめプラザ, (70 名).

服部 保, 2010.3, 「講演 絶滅危惧種 C ランクと言われるエドヒガン」, 講師, エドヒガンを守る会, (40 名).

服部 保, 2010.3, 「講演 姫路城の照葉樹林」, 講師, 姫路城自然調査中間発表会, (70 名).

兵庫県立大学・大学院教育

2009.5.16, 17, 23, 24 植生保全管理論(大学院)

2009.9.16, 17 共生生物学(分担講義)

非常勤講師など

2009.10 大学院特別講義(明治大学)

ラジオ・テレビ等出演

2009.10.3, 「里山にレッツ・ゴー!」, テレビ大阪「かがく de ムチャミタス!」

2009.12.5, 「紅葉の科学」, 日本テレビ「所さんの目がテン!」

2010.2.14, 「生物多様性ひょうご戦略」, サンテレビ「ひょうご夢ワイド」

#### ■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2009.10 生物多様性里山戦略推進研修(責任者)(93 名).

#### ■ 連携事業

共催事業

2009.10, 生物多様性里山戦略推進研修, 北摂里山博物館振興協議会(セミナーの実施)

## 2. シンクタンク事業

### ■ 受託研究

「平成 21 年度オグラコウホネ等管理業務」. 兵庫県丹波県民局. 研究代表者(25.3 万円)

「シダ類, ラン類の栽培等業務」. 財団法人ひょうご環境創造協会. 研究代表者(170 万円)

「平成 21 年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局. 研究代表者(110.04 万円)

「平成 21 年度兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全業務」. 西日本高速道路株式会社関西支社兵庫工事事務所. 研究代表者(26.6 万円)

「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 研究代表者(95 万円)

### ■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム等の案内, 30 回, 156 名.

### ■ 行政等支援

委員会等 (計 61 件)

1992.7- 国土交通省河川水辺の国勢調査, アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局.

1993.7- 一庫ダム河川水辺の国勢調査, アドバイザー,



- (独)水資源機構。
- 1995.8- 自然環境アドバイザー、アドバイザー、国土交通省近畿地方整備局。
- 1996.5- 宝塚市環境審議会、委員、宝塚市。
- 1996.7- 兵庫県緑化推進協会運営協議会、委員、(社)兵庫県緑化推進協会。
- 1996.10- 宝塚市文化財審議会、委員、宝塚市。
- 1997.9- 兵庫県環境影響評価審査会、委員、兵庫県農政環境部。
- 2000.10- 有馬富士公園運営・計画協議会、委員、兵庫県阪神北県民局。
- 2001.2- 宝塚市環境影響評価専門委員会、委員、宝塚市。
- 2001.9- 自然環境保全基礎調査・植生調査に係わる近畿ブロック調査会議、委員、環境省。
- 2002.3- ささやまの森公園運営協議会、委員、(財)丹波の森協会。
- 2002.7- 玄武洞公園整備事業検討会、委員、豊岡市。
- 2002.12- 兵庫県環境審議会、特別委員、兵庫県。
- 2003.1- 円山川水系自然再生計画検討委員会、委員、近畿地方整備局・兵庫県但馬県民局。
- 2003.3- 円山川流域委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局。
- 2003.3- ゆめさきの森公園運営協議会、委員、ゆめさきの森公園運営協議会。
- 2004.1- 猪名川自然環境委員会、委員、国土交通省猪名川河川事務所。
- 2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議、委員長、兵庫県阪神南県民局。
- 2005.4- 六甲山系グリーンベルト整備事業、景観アドバイザー、国土交通省六甲砂防事務所。
- 2005.4- 近畿地方整備局景観アドバイザー、アドバイザー、国土交通省近畿地方整備局。
- 2005.6- 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会、委員、猪名川上流広域ごみ処理施設組合。
- 2005.6- 慶野松原保存管理計画策定委員会、委員長、南あわじ市。
- 2005.7- 近畿地方整備局事業評価監視委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局。
- 2006.6- 琵琶湖・淀川流域圏再生推進会議、委員、国土交通省近畿地方整備局。
- 2006.11- 兵庫県河川審議会特別委員会、委員、兵庫県土整備部。
- 2007.1- 野生動物育成林整備にかかる指導・助言、アドバイザー、兵庫県農林水産部。
- 2007.4- 丹波の森公苑運営委員会、委員、兵庫県丹波の森協会。
- 2007.6- 六甲山自然保護センター環境学習運営委員会、委員、兵庫県神戸県民局。
- 2007.7- 箕面体験学習の森整備事業検討委員会、委員長、近畿中国森林管理局。
- 2008.1- 明石市環境審議会、委員、明石市。
- 2008.4- やしろの森公園協会評議会、委員、やしろの森公園協会。
- 2008.6- 加古川流域委員会、委員、国土交通省姫路河川国道事務所。
- 2008.7- 「災害に強い森づくり」にかかる事業検証委員会、委員長、兵庫県農政環境部。
- 2008.11- 一庫公園管理運営協議会、委員長、(財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2009.1- 尼崎の森中央緑地海辺エリア整備計画検討委員会、委員、兵庫県阪神南県民局。
- 2009.3- 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会調査委員、委員、文部科学省。
- 2009.4- 「ひょうご森のまつり2009」実行委員会、委員、川西市。
- 2009.5- 「ひょうごの川・自然環境調査」アドバイザー、アドバイザー、兵庫県阪神北県民局。
- 2009.5- 国道178号余部・東浜居組道路、アドバイザー、兵庫県新温泉土木事務所。
- 2009.6- 気候変動と河川環境(影響)委員会、委員、(財)河川環境管理財団。
- 2009.6- 「兵庫の貴重な自然」改訂方針検討委員会、委員、兵庫県農政環境部。
- 2009.6- 神戸版レッドデータブック検討委員会、委員、神戸市。
- 2009.6- 植物群落専門委員会、委員長、兵庫県。
- 2009.7- 環境NGO・NPO Hyogo 対話企画運営委員会、委員、(財)ひょうご環境創造。
- 2009.7- 近畿地方整備局技術スペシャリスト会議アドバイザー、アドバイザー、国土交通省近畿地方整備局。
- 2009.9- 外来生物対応方策検討委員会、委員、兵庫県。
- 2009.9- 「阪神北・夏休みのエコ研究表彰事業」審査会、委員、兵庫県阪神北県民局。
- 2009.10- 河川堤防及び周辺域における生態緑化技術の開発に関する研究会、委員、(財)河川環境管理財団。
- 2009.11- 猪名川・藻川河川保全利用委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局。
- 2009.11- 和田山八鹿道路、アドバイザー、国土交通省豊岡河川国道事務所。
- 2009.12- 神戸市環境保全審議会(生物多様性神戸戦略)、臨時委員、神戸市。
- 2009.12- 川西市環境審議会、委員、川西市。
- 2009.12- 森づくりセンター開設準備委員会、会長、兵庫県・他。
- 2010.1- 鶏籠山国有林森林整備検討会、委員長、林野庁兵庫森林管理署。
- 2010.1- 第2阪和道路淡輪孝子地区、アドバイザー、国土交通省浪速国道事務所。
- 2010.1- 国営明石海峡公園神戸地区管理運営手法検討会、委員、国土交通省国営明石海峡公園整備局。

2010.1- 加古川河道掘削, アドバイザー, 国土交通省姫路河川国道事務所.

2010.2- 「森と緑のふれあい支援事業」実行委員会, 委員, 黒川自治会.

2010.2- 豊岡道路, アドバイザー, 国土交通省豊岡河川国道事務所.

2010.3- 国崎クリーンセンター運営懇話会, 委員長, 国崎クリーンセンター.

2010.3- 加古川自然再生, アドバイザー, 国土交通省姫路河川国道事務所.

相談・指導助言

来訪者 207 件, 525 名. 電話・FAX 相談 200 件, メール相談 150 件.

## 小館 誓治, KODATE Seiji

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和37年福岡県生, 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 森林立地学会, 植生学会, 日本ペドロロジー学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. マーケティング・マネジメント部門

企画調整室 副室長, 経営戦略担当

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 環境保全に関する土壌生態学的研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

黒田有寿茂・澤田佳宏・小館誓治・服部 保(2009)法面保護工の施工された植栽林下層植生の種組成と構造ーシダ植物の定着とその要因に着目して.保全生態学研究, 14(1).55-65.

##### ■ その他著作

小館誓治・田原直樹・藤本真里・武田重昭・北村俊平(2010)博物館における自己点検・評価の取り組みについて. 博物館研究 3, 45(3), 27-31 .

##### ■ ブログへの情報提供

13件

##### ■ 研究発表

◎小館誓治(2009)砂防堰堤上流側に発達した森林植生とその立地環境. 日本ペドロロジー学会, 京都市テルサ, 京都市.

◎小館誓治(2009)六甲山系における砂防堰堤上流側に発達した森林植生とその立地環境. 日本造園学会, 明治大学, 東京.

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資料収

集. 神戸市, 芦屋市など.

- 整理同定担当資料  
土壌断面映像資料.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

◎小館誓治, 2009.4, 「ちょっと観察! この植物(春の植物)」, 博物館・深田公園(10名).

小館誓治, 2009.5, 「六甲山「森の植物」観察会(春)」, 六甲山(17名).

小館誓治, 2009.6, 「森と土の観察会」(太山寺編), 神戸市・太山寺(24名).

小館誓治, 2009.7, 「森と土の観察会」(六甲山編), 六甲山(16名).

小館誓治, 2009.8, 夏季教職員セミナー「身近な植物の観察の仕方」, 博物館・深田公園(46名).

小館誓治, 2009.9, まちの寺子屋師範塾「植物観察の方法」, 博物館(14名).

小館誓治, 2009.9, 「森林植生の調べ方」, 有馬富士公園・有馬富士自然学習センター(4名).

小館誓治/まか, 2009.10, 特注セミナー「生物多様性里山戦略推進研修」, 博物館・深田公園(93名).

小館誓治, 2009.10, 高校連携セミナー(有馬高等学校)「里山の自然」, 博物館・深田公園(全2回, 77名).

◎小館誓治, 2009.11, 「ちょっと観察! この植物(秋の植物)」, 博物館(25名).

小館誓治, 2009.11, ひとくはく生物多様性研修会「里山管理と深田公園植物観察」, 博物館(6名).

小館誓治, 2009.11, 特注セミナー「兵庫県立人と自然の博物館(ひとくはく)と兵庫県立大学について」(姫路工業大学OB(M38有志)の会), 博物館(11名).

小館誓治, 2010.3, 「芦屋でまなぶ森・川・海の自然⑨ ～森の樹木と土の観察～」, 芦屋市(5名).

館外講演

小館誓治, 2009.5, 六甲山セミナー「六甲の森林植生と土壌」, 六甲山を活用する会, 六甲山(25名).

小館誓治, 2009.9, 「六甲山の植生と土壌(秋)」, 平成21年度六甲山自然案内人養成研修プログラム入門コース, 六甲山(47名).

小館誓治, 2009.10, 「中山寺周辺で植物の見分け方実習」, いきいき学舎プレミラ 環境・自然コース, 講師, 宝塚市. (20名).

小館誓治, 2009.10, 「植物の観察方法(役に立つ植物と怖い植物)」, いきいき学舎プレミラ 環境・自然コース, 講師, 宝塚市. (38名).

##### ■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2009.7-8 夏休み展示「加東市まちまるごとミュージアム」, 加東市.

2009.12 冬休み展示「加東市環境学習地域研究作品展  
およびハチ類の展示」, 加東市.

■ ミニキャラバン事業

展示作成

2009.10 有馬富士フェスティバル'09・ひとはくミニキャラ  
バン「木の幹を触ったり, 音を鳴らしてみよう」(60名)

■ 連携事業

連携展示

2009.12.24~2010.1.15 県美ひとはく連携展示「栗林慧  
の瞬間写真展~里山のいきもの~」と「里山のいきもの  
たち」. 兵庫県立美術館.

連携グループ等

おおばこの会(アドバイザー)

成果発表

2010.2 共生のひろば「世界で一つの貴石を探そう!~  
河川敷での観察学習報告~」, 自然観察サポーター  
チーム「おおばこの会」(指導・助言)

2010.2 共生のひろば「学校林『浄川の森』を使った小学  
校3年生の自然体験学習『浄川の森』を知ろうの実  
施」, 谷山陽子・笹倉智子・山内寛和(指導・助言)

2010.2 共生のひろば「地域の支援者の方々と一緒に環  
境体験学習『葉っぱで学ぼう』を行って」, (指導・助  
言)

共催事業

2009.4. 「かわいい春をみつけよう」. run♪run♪ plaza 深

田公園(1回;講師)

2009.10, 生物多様性里山戦略推進研修, 北摂里山博物  
館振興協議会(セミナーの実施)

2009.5-2010.3「自然観察サポーターチーム活動への支  
援事業」. NPO 法人北播磨市民活動支援センター, 小  
野市他(全4回)

■ 学校教育支援

トライやるウィーク

2009.6.4, けやき台中学校2名.

学校団体対応

2009.4 神戸朝鮮初中級学校中1年生(30名).

2009.6 西脇市立芳田小学校3年生(22名).

2009.8 養父市教育研修所(小学校教員)(20名).

2009.10 明石市林小学校5年生(93名).

2009.11 小野市立小野東小学校3年生(147名).

2009.12 尼崎市立名和小学校3年生(114名).

2010.2 丹波市立進修小学校3年生(20名).

2010.2 西宮市立山口小学校3年生(82名).

講師派遣

2009.5, 「教職員研修 春の植物の観察方法」, 講師, 小  
野市立小野東小学校教職員, 小野市(40名).

2009.6, 「葉っぱの観察の仕方」, 講師, 西宮市立山口小  
学校3年生, 西宮市(81名).

2009.11, 「教職員研修 秋の植物の観察方法」, 講師,  
小野市立小野東小学校教職員, 小野市(38名).

## 石田 弘明, ISHIDA Hiroaki

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門

講師.

昭和46年兵庫県生, 神戸大学大学院教育学研究科修士課程

修了. 農学博士. 日本生態学会, 植生学会, 日本造園学会,

森林立地学会所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室, 演示フロアサービスマネージャー

#### 2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース

地域再生人材創成タスクフォース

#### 3. 研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

森林群落, 特に照葉樹林, ブナ林, 里山林の生物多様性とその保全・復元に関する研究

絶滅危惧植物の保全に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

◎石田弘明・浅見佳世・黒田有寿茂・青木秀昌・服部 保(2009) 猪名川上流域における希少樹種エドヒガンの生育立地と個体群構造. 保全生態学研究, 14(2): 143-152.

石田弘明・黒田有寿茂・田村和也・岩切康二・武 素功・岩槻邦男・武田義明(2009) 中国雲南省菜陽河自然保護区に分布する *Betula alnoides* 林の構造と動態. 植生学会誌, 26: 111-118.

服部 保・柄本大介・南山典子・橋本佳延・澤田佳宏・石田弘明(2009) 九州南部の照葉樹林における維管束着生植物の種多様性および種組成. 植生学会誌, 26: 49-61.

服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延(2009) 鹿児島県屋久島における照葉樹林の種組成および種多様性. 人と自然, No.20: 1-14.

##### ■ その他著作

石田弘明・八木 剛・山下治子(2009) イタリアの自然史系ミュージアム(2) 歴史と伝統に裏打ちされた「こだわりの展示」. ミュゼ, 88: 16-19.

石田弘明(2009) あれもこれもトラ! ひとほく新聞 2009年12月25日号.

◎石田弘明(2010) 中山間地域における限界集落の増加が生物多様性に与える影響. HIT Spring NEWS, 229: 4-5.

八木 剛・石田弘明・山下治子(2009) イタリアの自然史系ミュージアム(3) ホテルは飛ぶか? PAV(Parco d'Arte Vivente)の取り組み. ミュゼ, 89: 20-23.

◎服部 保・南山典子・橋本佳延・石田弘明・小館誓治・黒田有寿茂(2010) 多様性植生調査法—生物多様性評価と数量的な解析を進めるための植生調査法—. 兵庫県立人と自然の博物館, 28p.

##### ■ ブログへの情報提供

1件

##### ■ 研究発表

石田弘明(2009) 中山間地域における限界集落の増加が生物多様性に与える影響. 兵庫県立大学発表会, 兵庫県立大学, 姫路.

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・服部 保(2009) 布団籠工の表層におけるシダ群落の成立とその要因について. 日本造園学会全国大会, 明治大学, 東京.

##### ■ 学会役員など

植生学会, 運営委員.

植生学会, 会計幹事.

日本生態学会近畿地区会, 運営委員.

Landscape and Ecological Engineering 誌, レフェリー.

##### ■ 助成を受けた研究

シカの不着好性植物が生態系保全に果たす役割とその緑化への応用に関する研究. 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(B), 研究代表者(金額120万円).

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 研究分担者(分担金なし/130万円).

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集. 猪名川町, 三田市, 姫路市, 南あわじ市, 川西市, 神河町, 朝来市, 香美町, 大阪府, 鹿児島県.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2009.5, 「身近な環境を調査しよう」, 博物館. (18名)

石田弘明, 2009.5-6, 「校内の草本群落を調査しよう」, 祥雲館高等学校・博物館. (全3回, 23名)

石田弘明, 2009.6, 「オープンセミナー 身近な植物を観察しよう」, 博物館. (24名)

石田弘明, 2009.7, 「特注セミナー 里山調査講習会」, 宝塚市. (15名)

石田弘明, 2009.7-8, 「ボルネオジャングルスクール」, マレーシア. (28名)

石田弘明・他, 2009.8, 「特注セミナー 里山調査講習会」, 宝塚市. (16名)

石田弘明, 2009.8, 「教職員セミナー 生物多様性と照葉樹林」, 博物館. (21名)

石田弘明, 2009.9, 「特注セミナー エドヒガンの特徴と保全」, 川西市立緑台小学校. (69名)

石田弘明, 2009.10, 「里山の植物を観察しよう」, 有馬富士公園. (16名)

石田弘明・他, 2009.10, 「特注セミナー 生物多様性里山戦略推進研修」, 博物館. (93名).

石田弘明, 2009.11, 「オープンセミナー いろいろなタネを観察しよう」, 博物館. (22名)

石田弘明, 2009.11, 「特注セミナー 里山調査講習会」, 宝塚市. (12名)

石田弘明, 2009.12, 「特注セミナー 身近な植物と有馬富士公園の植物」, 尼崎市立武庫東小学校. (157名)

石田弘明, 2010.1, 「特注セミナー エドヒガンの特徴と保全」, 川西市立陽明小学校(60名)

石田弘明, 2010.2, 「人間活動による森林の変化」, 博物館. (12名)

石田弘明, 2010.2, 「特注セミナー 里山調査講習会」, 宝塚市. (24名)

館外講演

石田弘明, 2009.8, 「ヒメハナ公園植物観察会」, 講師, 山東の自然に親しむ会, 山東町梁瀬(11名).

石田弘明, 2009.9, 「身近な植物の不思議」, 講師, 兵庫県少子対策本部, 博物館(9名).

石田弘明, 2009.10, 「都市の自然と里山保全」, 講師, 吹田市, 吹田市立博物館(55名).

石田弘明, 2009.10, 「武田尾溪谷の植物観察会」, 講師, 宝塚市老人福祉センター, 宝塚市(18名).

石田弘明, 2009.10, 「武庫川の植物」, 講師, 宝塚市老人福祉センター, 宝塚市(39名).

石田弘明, 2009.10, 「川西市黒川の里山」, 講師, 環境省, 川西市(25名).

石田弘明, 2009.10, 「里山の植物観察会」, 講師, ひょうご環境体験館, 佐用町(64名).

石田弘明, 2009.10, 「野生植物の保全と活用」, 講師, (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構, 神戸市(30名).

石田弘明, 2009.11, 「三田の里山の現状と保全」, 講師, 三田市中央公民館, 三田市(31名).

石田弘明, 2009.11, 「与布土地区植物観察会」, 講師, 山東の自然に親しむ会, 山東町与布土(11名).

石田弘明, 2009.11, 「ひょうごの植生の多様性」, 講師, 兵庫県立大学, 神戸市(14名).

兵庫県立大学・大学院教育

2009.5.24 植生保全管理論(大学院)  
非常勤講師

2009.4. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

■ キャラバンおよび地域研究員養成事業  
主担当

2009.4-2010.3 阪神北地域 テーマ「里山林の保全・復元・再生」  
セミナー担当

2009.6 エドヒガン調査研修会(責任者)(14名)

2009.7 里山調査講習会(責任者)(15名)

2009.8 里山調査講習会(責任者)(16名)

2009.10 エドヒガン調査研修会(責任者)(16名)

2009.10 生物多様性里山戦略推進研修(分担者)(93名).

2009.11 里山調査講習会(責任者)(12名)

2010.2 里山調査講習会(責任者)(24名)

2010.3 エドヒガン調査研修会(責任者)(6名)

2010.3 エドヒガン調査研修会(責任者)(10名)

■ 連携事業  
連携グループ等

山東の自然に親しむ会(アドバイザー:主)

菊炭友の会(アドバイザー:主)

櫻守の会(アドバイザー:主)

成果発表

2010.2 共生のひろば「ふるさといきもの館を実施して」, 山東の自然に親しむ会(指導・協働)

共催事業

2009.8, ふるさといきもの館, 山東の自然に親しむ会(開催支援, セミナーの実施)

2009.10, 生物多様性里山戦略推進研修, 北摂里山博物館振興協議会(セミナーの実施)

■ 学校教育支援  
トライやるウィーク

2010.6.3, 狭間中学校1名, けやき台中学校2名.  
学校団体対応

2009.9 川西市立緑台小学校3年生(71名).

2009.12 尼崎市立武庫東小学校3年生(152名).

2010.1 川西市立陽明小学校3年生(62名).

■ 展示  
ミニ企画等

2009.12.12-2010.1.11, ミニ企画展「トラさんようこそ！」(責任者).

**2. シンクタンク事業**

■ 受託研究

「福本大歳神社およびその周辺の植物・植生等調査業務」. 福本水土里会. 研究分担者(10万円)

「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 分担者(90万円)

■ 行政等支援  
委員会等 (計3件)

2009.4－. MAB 計画委員会, 委員, MAB 国内委員会.  
2009. 貴重な野生生物等(植物群落)専門委員会, 委員,  
兵庫県  
2009.4－2010.3. 野生動物育成林整備事業, アドバイザ  
ー, 豊かな森づくり課

相談・指導助言  
来訪者 3 件, 4 名. 電話・FAX 相談 6 件, メール相談 5 件.

## 橋本 佳延, HASHIMOTO Yoshinobu

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室

研究員

昭和51年愛知県生, 神戸大学大学院総合人間科学研究科修士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 植生学会, 環境教育学会, 日本造園学会等所属

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室, 連携・担い手養成マネージャー・担当  
キャラバン事業総括, 地域研究員養成事業総括, 連携事業総括, 「共生のひろば」発表会実施総括

#### 2. タスクフォース

生物多様性タスクフォース(サブリーダー),  
生物多様性ひょうご戦略の実践, 館内作業とりまとめ

#### 3. 研究開発部門

資料・データベース整備活用担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

- 特別課題研究(個人研究)
  1. タケ類天狗巣病による竹林の衰退に関する研究
  2. 半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
  3. 里山の生物多様性保全に関する研究
  4. 外来植物の侵入・定着に関する研究
- 共同研究  
総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.  
部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.
- 論文・著書  
服部 保・柄本大介・南山典子・橋本佳延・澤田佳宏・石田弘明(2009)九州南部の照葉樹林における維管束着生植物の種多様性および種組成. 植生学会誌, 26: 49-61.  
服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延(2009)鹿児島県屋久島における照葉樹林の種組成および種多様性. 人と自然, No.20: 1-14.
- その他著作  
◎橋本佳延(2009)ひょうごの自然 14—東お多福山の草原. エコひょうご 2009 夏号 No.52.  
澤田佳宏・服部 保・橋本佳延・南山典子(2009)北海道石狩海岸における海浜型チガヤ群落の組成. 人と自然, No.20: 107-112.  
◎服部 保・南山典子・橋本佳延・石田弘明・小館誓治・黒田有寿茂(2010)多様性植生調査法—生物多様性評価と数量的な解析を進めるための植生調査法—. 兵庫県立人と自然の博物館, 28p.  
◎自然と文化の森協会(著)・橋本佳延・服部 保(監修)

(2010)エノキをめぐるいきものたち～猪名川自然林生物多様性戦略へむけて～. 兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部, 4p.

◎橋本佳延(2010)兵庫県における都市域での生物多様性への取り組み～生物多様性ひょうご戦略の実践～. 公園緑地, 70 巻 6 号, 14-16.

◎橋本佳延(2010)猪名川における外来樹木の侵入と定着. 宝塚の自然, 24, 2-4.

#### ■ ブログへの情報提供

4 件

#### ■ 研究発表

◎Yoshinobu Hashimoto(2009) Current status of the bamboo die back caused by the destructive disease "witches' broom of bamboo" in SATOYAMA area in western Japan. First ASIAHORCs Joint Symposium・Japan Society for the Promotion of science. Nagoya University.

橋本佳延(2010)河川の植物相の帰化率は何によって決まるか?. 日本生態学会第57回大会, 東京大学, 東京.

#### ■ 学会役員など

2010.1 Ecological Research, レフェリー

#### ■ 助成を受けた研究

シカ・イノシシ高密度生息地域における, ススキ草原の生物多様性と観光資源利用の持続性を保全するための管理手法の開発. 国際科学技術財団. 研究代表者. 100万円. (助成期間 2010.1-2010.12)

### 2. 資料収集・整理

#### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 里地・里山における植物および植生景観映像資料の収集(川西市, 伊丹市, 神戸市, 神河町, 上郡町, 北海道石狩市).

#### ■ 整理同定担当資料

植生映像資料.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

#### ■ セミナー

館主催セミナー

橋本佳延. 2009.4「日本一の里山, 北摂地域の早春を観察しよう」川西市黒川(26名)

橋本佳延. 2009.4「春の六甲山ハイキング」六甲山(7名)

◎橋本佳延. 2009.6「オープンセミナー くぐる回って落ちる種子を観察しよう!」(23名)

橋本佳延. 2009.6「特注セミナー 草原と生物多様性」人と自然の博物館(11名)

橋本佳延. 2009.9「ススキ草原の生物多様性(植物)の復元を目指して(座学)」人と自然の博物館(12名)

橋本佳延・他. 2009.10, 「特注セミナー 生物多様性里山戦略推進研修」, 博物館. (93名).

橋本佳延. 2009.10「ススキ草原の生物多様性(植物)の復



元を目指して(野外)東お多福山(5名)

◎橋本佳延,2009.11「オープンセミナー ぐるぐる回って落ちる種子を観察しよう!」(30名)

橋本佳延,2009.11「特注セミナー 移入種を活用する実習」人と自然の博物館(15名)

橋本佳延,2009.11「特注セミナー 外国からやってきた植物」人と自然の博物館(24名)

橋本佳延,2009.12「特注セミナー 平成21年度環境パートナーシップ基礎講座(兵庫)「生物多様性保全施策」を学ぶ」人と自然の博物館(45名)

橋本佳延,2009.12「特注セミナー 現代生物ゼミナール「生物多様性ひょうご戦略」」人と自然の博物館(65名)

館外講演

橋本佳延,2009.4,「館外特注セミナー 里山管理・調査実習」,講師,ひょうご森の倶楽部・NTT Docomo(11名)

橋本佳延,2009.6「館外特注セミナー 外来植物トウネズミモチの脅威」,講師,自然と文化の森協会,(23名).

橋本佳延,2009.9「館外特注セミナー」講師,住吉川流域連絡協議会(45名)

橋本佳延,2009.10「館外特注セミナー 里山観察会」講師,川西里山クラブ(30名)

橋本佳延,2009.10「1人では守れない生物多様性～科学に根ざした多様な主体の参画と協働の必要性～」,講師,ひょうごサイエンスフォーラム(70名)

橋本佳延,2010.2,「他地域と比較してわかる川西市の台場クヌギの特徴」,講師,川西市,(100名).

橋本佳延,2010.3「問題の全体像を感じる力～複雑な生物多様性問題に取り組む上で役立っている大学での学び～」,フォーラム「理系AO入試が開く科学者へのトビラ」-高大連携による人材の育成をめざして-(70名)

ラジオ・テレビ等出演

2010.2,「生物多様性」,サイエンス・ニュース・ネットワーク(JST 科学技術振興機構)

■ キャンパンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2009.10 生物多様性里山戦略推進研修(分担者)(93名).

成果発表

2010.2 共生のひろば「住吉川の自然再生に向けた里海づくりのための調査活動」,神戸川と海を考える会・アマモ種子バンク(助言)

2010.2 共生のひろば「住吉川の自然再生に向けたアユの棲みやすい川づくりのための調査活動」,住吉川清流の会・アマモ種子バンク(助言)

2010.2 共生のひろば「東お多福山草原刈り取り管理の2年間の成果と今後の展望」,ブナを植える会・芦屋森の会 2001・日本山岳会 関西支部・六甲楽学会.(指導・協働)

- 連携事業
- 共催事業
- 2009.10, 生物多様性里山戦略推進研修, 北摂里山博物館振興協議会(セミナーの実施)
- 2009.12, 平成21年度環境パートナーシップ基礎講座(兵庫)「生物多様性保全施策」をまなぶ, 特定非営利活動法人 大阪府民環境会議(セミナーの実施)
- 協力事業
- 2009.10, 里山観察会, 川西里山クラブ(セミナーの実施)
- 学校教育支援
- トライやるウィーク
- 2009.6.5, 狭間中学校1名, けやき台中学校2名. 学校団体対応
- 2009.6 東ときわ台小学校3・4年生(43名)
- 2009.7 香川県立観音寺第一高等学校(30名)
- 2009.9 松尾台小学校3年生(55名)
- 2009.10 加西市立賀茂小学校(26名)
- 講師派遣
- 2009.4-2010.2 兵庫県立大学附属中学校との連携授業, 講師,3年生(3名).
- 研修生等の受入
- 博物館実習
- 2009.8.10 龍谷大学・国際文化部・国際文化学科3年1名, 静岡大学・理学部・地球科学科3年1名
- フェスティバル等
- 2009.11 ひとほくフェスティバル(運営分担)
- 展示
- ミニ企画等
- 2010.2.11-2010.4.4, 特別企画「共生のひろば展」(分担者)

## 2.シンクタンク事業

- 受託研究
- 「福本大蔵神社およびその周辺の植物・植生等調査業務」. 福本水土里会, 10万円(分担者)
- 行政等支援
- 委員会等 (計3件)
- 2008.7-1.ひょうごサイエンスクロスオーバーネット運営委員会, 運営委員, 神戸大学.
- 2009.9-2010.3.外来生物対応方策検討委員会.委員, 兵庫県自然環境課
- 2010.1-2010.3.生物多様性配慮指針検討委員会.委員.兵庫県自然環境課
- 相談・指導助言
- 電話・FAX 相談5件.
- 2009.4-2010.3 東お多福山ススキ草原の保全活動に対する助言・指導, ブナを植える会.

## 鈴木 武, SUZUKI Takeshi

自然・環境再生研究所

生物多様性保全研究グループ／生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門

助教

昭和37年千葉県生, 東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学, 理学博士, 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室, 副室長, ネットワーク構築担当

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究
2. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

##### ■ 論文・著書

◎鈴木武(2010) 特定外来生物アメリカオアカウキクサを含む外来アブラの現状. 種生物額研究 33 外来生物の生態学, 181-194.

鈴木武(2009) 外来タンポポの花粉の役割は?—「繁殖干渉」?『強奪種』? 関西自然保護機構会誌 32(2):137-139.

##### ■ ブログへの情報提供

1件

##### ■ 研究発表

鈴木武・狩山俊悟・小川誠・高島耕一郎・木村進・布谷知夫(2010)タンポポ調査・西日本2010 予備調査からみたカンサイタンポポの分布. 日本植物分類学会第7回大会, 愛知教育大, 刈谷市.

##### ■ 学会役員など

兵庫植物誌研究会, 幹事.

兵庫県生物学会, 事務局

##### ■ 助成を受けた研究

市民参加による西日本でのタンポポ調査, 那須自然史基金, 10万円, 西日本自然史ネット.

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.5-2010.3 アカウキクサ属植物の収集. 南あわじ市, 豊岡市, 京都府など.

2009.4-2010.3 西日本のタンポポ物の収集. 豊岡市, 京都府, 山口県など.

##### ■ 整理同定担当資料

シダ植物

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

鈴木武, 2009.4, 「ソクシをよく見よう」, 博物館. (30名)

鈴木武, 2009.5, 「電子レンジで押し葉しおり作り」, 博物館. (4名)

鈴木武, 2009.5, 「藍那のシダを見る」, 神戸電鉄藍那駅周辺. (15名)

鈴木武, 2009.6, 「藍那のシダを見る追加版」, 神戸電鉄藍那駅周辺. (15名)

鈴木武, 2009.6, 「丹波下滝のシダを見る」, JR 下滝駅周辺. (21名)

鈴木武, 2009.7, 「神戸市立森林植物園のシダを見る」, 神戸市立森林植物園. (25名)

鈴木武, 2009.8, 「タンポポの仲間を観察する」, 博物館. (5名)

鈴木武, 2009.10, 「六甲山の生き物」, クラーク高校. (150名)

鈴木武, 2010.3, 「タンポポをよく見よう」, 博物館. (20名)

鈴木武, 2009.4, 「特注セミナーシダ植物の形と種類」, 大阪府立泉北高校. (17名)

鈴木武, 2009.4, 「特注セミナー タンポポ分布調査」, 京都府立桃山高校. (89名)

鈴木武, 2009.5, 「特注セミナー 兵庫県のカタツムリ」, こどもエコクラブ グリーンキッズ. (14名)

鈴木武, 2009.6, 「特注セミナー 深田公園の昆虫観察」, 小野市立小野東小学校. (150名)

鈴木武, 2009.7, 「特注セミナー スミスネズミについて」, 大阪青山大学歴史博物館. (12名)

鈴木武, 2009.10, 「特注セミナー 身近な生き物について」, 川西市立久代小学校. (89名)

鈴木武, 2009.11, 「特注セミナー 深田公園の植物観察」, 小野市立小野東小学校. (150名)

鈴木武, 2009.11, 「特注セミナー 博物館の活動と連携について」, 京都文教大学. (26名)

館外講演

鈴木武, 2009.4, 「タンポポ調査西日本について」, タンポポ調査西日本2010 徳島県実行委員会, 講師, 徳島県立博物館(16名)

鈴木武, 2009.4, 「綾部市のタンポポ」, 綾部市立天文館, 講師, 綾部市立天文館(32名)

鈴木武, 2009.4, 「福井県のタンポポ」, NPO 法人ウエットランド中池見, 講師, 中池見湿地(25名)

鈴木武, 2009.6, 「六甲山の生きもの」, 神戸市立名谷小学校3年, 講師, 神戸市立名谷小学校(98名)

鈴木武, 2009.6, 「箕面のシダ植物」, 大阪シニア自然大学, 講師, 箕面市箕面公園(15名)

鈴木武, 2009.6, 「六甲山の生きもの」, 神戸市立なごさ小学校3年, 講師, 神戸市立なごさ小学校(140名)

鈴木武, 2009.6, 「シダ植物の種類とかたち」, 大阪市立大学植物園公開講座, 講師, 大阪市立大学附属植物園(30名)

鈴木武, 2009.6, 「丹波市青垣町のシダ植物」, 丹波市青垣町中佐治, 講師, 丹波市立青垣いきものふれあいの里(18名)

鈴木武, 2009.7, 「六甲山のシダ」, 六甲山自然案内人の会, 講師, 六甲山自然保護センター(25名)

鈴木武, 2009.7, 「六甲山のネズミとカタツムリ」, 明石市立天文科学館, 講師, 明石市立天文科学館(20名)

鈴木武, 2009.7, 「博物館の楽しみ方」, 県立学校技能労務職員研修, 講師, 六甲プラザ(50名)

鈴木武, 2009.8, 「六甲山のスマスネズミ」, 神戸市立森林植物園講座, 講師, 神戸市立森林植物園(10名)

鈴木武, 2009.8, 「タンポポ調査について」, 伊丹市立中学校理科部会, 講師, 伊丹市立北中学校(10名)

鈴木武, 2009.8, 「田んぼの植物でつくる押し花」, 北播磨県民局田んぼの学校講座, 講師, 県立播磨農業高校(15名)

鈴木武, 2008.8, 「香川県絶滅危惧種ウンラン・アッケンソウ・オニバス・アサザを探して」, 香川自然博物館, 講師, 観音寺市・高松市など(50名)

鈴木武, 20010.2, こどもパークレンジャー講座「六甲山の冬の植物」, 六甲山自然保護センターを活用する会, 講師, 六甲山小学校(20名)

鈴木武, 2009.2, 「宝塚のシダ植物」, フレミラ宝塚, 講師, 宝塚市立老人福祉センター(80名)

鈴木武, 2010.3, 「タンポポ調査西日本について」, タンポポ調査西日本2010福岡県実行委員会, 講師, 北九州市立いのちのたび博物館(20名)

鈴木武, 2010.3, 「タンポポ調査西日本について」, タンポポ調査西日本2010福岡県実行委員会, 講師, 九州大学箱崎キャンパス(5名)

鈴木武, 2010.3, 「タンポポ調査西日本について」, タンポポ調査西日本2010奈良県実行委員会, 講師, 奈良県立文化会館(35名)

鈴木武, 2010.3, 「タンポポ調査西日本について」, タンポポ調査西日本2010愛媛県実行委員会, 講師, 県立大洲高校(25名)

鈴木武, 2010.3, 「タンポポ調査西日本について」, タンポ

ポ調査西日本2010鳥取県/島根県実行委員会, 講師, 米子市立児童文化センター(40名)

鈴木武, 2010.3, 「タンポポ調査西日本について」, タンポポ調査西日本2010京都府実行委員会, 講師, 京都学園大学(20名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生(分担)

非常勤講師

2009.5. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

ラジオ・テレビ等出演

2009.4, 「小野市の赤い浮き草」NEWS ゆう+, 朝日放送

#### ■ ミニキャラバン事業

2009.10, 有馬富士フェスティバル(分担者), 有馬富士公園, 有馬富士公園.

#### ■ 連携事業

連携グループ等

希少植物研究会(主担当)

#### ■ 学校教育支援

トライやるウィーク

2009.6.2-6.5, 狭間中学校1名, けやき台中学校2名. 学校団体対応

2009.4, 大阪府立泉北高校(17名)

2009.4, 京都府立桃山高校(89名)

2009.6, 小野市立小野東小学校(150名)

2009.10, 川西市立久代小学校(89名)

2009.11, 小野市立小野東小学校(150名)

2009.11, 京都文教大学(26名)

講師派遣

2009.2 「六甲山の生き物」, 講師, 神戸市立摩耶小学校5年生(10名)

#### ■ 研修生等の受入

博物館実習

2008.8.13, 龍谷大学国際文化学部学生1名, 静岡大学理学部学生1名.

#### ■ フェスティバル等

2009.11 ひとはくフェスティバル, 「ミュージアムワールド」(担当者).

## 2. シンクタンク事業

#### ■ 行政等支援

委員会等 (計2件)

2009.6.1-2010.3.31 朝来市生野銀山の文化的景観調査委員会, 委員, 朝来市教育委員会

2009.7.1-2010.3.31 貴重な野生生物等(植物)専門委員会, 委員, 兵庫県

相談・指導助言

来訪者10件, 15名. 電話・FAX相談20件, メール相談5件.

## 藤井 俊夫, FUJII Toshio

自然・環境再生研究所

生物多様性保全研究グループ

主任研究員

昭和39年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 理学修士. 日本生態学会, 日本植物分類学会等所属.

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門 生涯学習推進室

なし

#### 2. タスクフォース

なし

#### 3. 研究開発部門・シンクタンク推進事業室

研究環境整備・研究紀要担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 野生植物の保全生態学的研究

2. 木本植物の種生態学的研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

##### ■ その他著作

藤井俊夫(2009) 天神公園(兵庫県三田市)の植物相, 人と自然, 20:121-127.

藤井俊夫(2009) 多紀連山のクリンソウとその保護について, 多紀九輪の花畠, 1:2-3.

##### ■ ブログへの情報提供

2件

##### ■ 研究発表

藤井俊夫・樋口清一・谷口次男(2010) ベニバナヤマシャクヤクの個体群構造と開花サイズ. 植物分類学会, 愛知教育大学, 刈谷市.

藤井俊夫・多紀連山のクリンソウを守る会(2010) 兵庫県のクリンソウ大群落と保全活動. 植物分類学会, 愛知教育大学, 刈谷市.

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 植物標本の収集. 三田市, 大阪市など.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

藤井俊夫, 2009.4, 「植物観察会(春の福島大池)」, 有馬

富士公園. (17名)

藤井俊夫, 2009.6, 「オグラコウホネ観察会」, 広野. (14名)

藤井俊夫, 2009.7, 「オニバス観察会」, 明石. (9名)

藤井俊夫, 2009.8, 「サギソウ観察会」, 相野. (12名)

藤井俊夫, 2009.8, 「サギソウ観察会」, 相野. (21名)

藤井俊夫, 2009.9, 「植物観察会(秋の虚空蔵山)」, 相野. (24名)

藤井俊夫, 2009.10, 「植物観察会(秋の福島大池)」, 有馬富士公園. (17名)

藤井俊夫, 2009.11, 「植物観察会(秋の甲山)」, 甲山森林公園. (18名)

藤井俊夫, 2009.11, 「ふかたん」, 博物館. (7名)

藤井俊夫, 2009.12, 「ノジギク観察会」, 姫路. (17名)

藤井俊夫, 2010.01, 「春日山原始林観察会」, 奈良. (28名)

藤井俊夫, 2010.02, 「咲くやこの花館観察会」, 大阪. (13名)

藤井俊夫, 2010.03, 「シバナ観察会」, 相生. (6名)

館外講演

兵庫県立大学・大学院教育

非常勤講師

ラジオ・テレビ等出演

##### ■ キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

副担当

展示作成

リサーチプロジェクト

セミナー担当

2009.4 有馬富士植物調査(責任者)(4名)

2009.5 クリンソウ見学会(責任者)(7名)

2009.5 深田公園植物調査(責任者)(4名)

2009.9 深田公園植物調査(責任者)(2名)

成果発表

##### ■ ミニキャラバン事業

2009.10 テーマ「ひとはくミニキャラバン・巨大ズズメバチがやってきた」(主担当), ありまふじフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園

##### ■ 連携事業

連携グループ等

貴重植物研究会(アドバイザー:副)

成果発表

共催事業

協力事業

##### ■ 学校教育支援

トライやるウィーク

2009.6.2-6.5, 狭間中学校1名, けやき台中学校2名, 学校団体対応

2009.4 県立大学附属中学校1年生(40名)

2009.6 神戸市立大池小学校3年生(60名)

2009.8 多可町教育委員会(28名)

2009.9 子供チャレンジクラブ(74名)  
2009.10 神戸市立若宮小学校3年生(46名)  
2009.11 県立大学附属中学校1年生(20名)  
2009.12 加西市立北条小学校3年生(86名)  
2009.12 加古川市立川西小学校3年生(56名)

遠隔授業

■ 研修生等の受入

博物館実習

2009.8.09-8.13, 龍谷大学国際文化学部学生1名, 静岡  
大学理学部学生1名.

卒論生等

## 2. シンクタンク事業

■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

2009.4, 収蔵庫見学, 大阪府立泉北高校(11名)

2009.8, 収蔵庫見学, 博物館実習(17名)

■ 行政等支援

相談・指導助言

来訪者 86件, 124名. 電話・FAX 相談 29件, メール相談  
36件.

## 黒田 有寿茂, KURODA Asumo

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門

助教

昭和53年愛知県生。広島大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。日本生態学会、植生学会、日本造園学会等所属。

### <事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

#### 1. 事業推進部門

生涯学習推進室、連携・アウトリーチサブマネージャー

#### 2. タスクフォース

グローバル・プログラムタスクフォース

#### 3. 研究開発部門

なし

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■ 特別課題研究(個人研究)

1. 二次林・人工林における生物多様性保全に関する研究
2. 希少植物の種生態に関する研究

##### ■ 共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」、研究分担者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」、研究分担者。

##### ■ 論文・著書

黒田有寿茂・澤田佳宏・小舘誓治・服部 保(2009)法面保護工の施工された植栽林下層植生の種組成と構造—シダ植物の定着とその要因に着目して—。保全生態学研究, 14(1):55-65.

石田弘明・浅見佳世・黒田有寿茂・青木秀昌・服部 保(2009)猪名川上流域における希少樹種エドヒガンの生育立地と個体群構造。保全生態学研究, 14(2):143-152.

石田弘明・黒田有寿茂・田村和也・岩切康二・武 素功・岩槻邦男・武田義明(2009)中国雲南省菜陽河自然保護区に分布する *Betula alnoides* 林の構造と動態。植生学会誌, 26:111-118.

##### ■ その他著作

◎黒田有寿茂・南山典子・服部 保(2009)絶滅危惧植物ナガボテンツキの種子発芽特性—兵庫県加古川市産での事例—。人と自然, No.20:63-66.

服部 保・黒田有寿茂・南山典子(2010)里山放置林管理マニュアル。兵庫県立人と自然の博物館, 24p.

服部 保・南山典子・橋本佳延・石田弘明・小舘誓治・黒田有寿茂(2010)多様性植生調査法—生物多様性評

価と数量的な解析を進めるための植生調査法—。兵庫県立人と自然の博物館, 28p.

##### ■ ブログへの情報提供

1件

##### ■ 研究発表

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・服部 保(2009)布団籠工の表層におけるシダ群落の成立とその要因について。日本造園学会全国大会, 明治大学, 東京。

藤原道郎・三浦弘之・黒田有寿茂・澤田佳宏・大藪崇司・山本 聡(2009)名勝慶野松原における海岸クロマツ林の維持管理の現状および地域の関わり。日本海岸林学会研究発表会, 日本大学, 習志野市。

藤原道郎・三浦弘之・黒田有寿茂・澤田佳宏・大藪崇司・山本 聡(2010)海岸クロマツ林の保全管理。日本生態学会第57回全国大会, 東京大学, 東京。

##### ■ 助成を受けた研究

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 研究分担者(分担金なし/130万円)。

#### 2. 資料収集・整理

##### ■ 資料収集

2009.4-2010.3 植物および植生の映像資料収集。神戸市、猪名川町、三田市、姫路市、南あわじ市、川西市、神河町、明石市、朝来市、芦屋市、たつの市、大阪府、鹿児島県。

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■ セミナー

館主催セミナー

黒田有寿茂, 2009.4, 「博物館セミナー 気ままに植物ウォッチング①～銀山～」, 川辺郡猪名川町銀山地区周辺。(19名)

黒田有寿茂, 2009.5, 「博物館セミナー 気ままに植物ウォッチング②～山田町藍那～」, 神戸市北区山田町藍那地区周辺。(27名)

黒田有寿茂・他, 2009.8, 「特注セミナー 里山調査講習会」, 宝塚市。(16名)

黒田有寿茂, 2009.10, 「博物館セミナー 気ままに植物ウォッチング③～山田町藍那～」, 神戸市北区山田町藍那地区周辺。(17名)

黒田有寿茂, 2009.11, 「博物館セミナー 気ままに植物ウォッチング④～六甲山魚屋道～」, 神戸市北区六甲山魚屋道周辺。(21名)

黒田有寿茂, 2009.5, 「博物館オープンセミナー 鳴らそう草笛」, 博物館。(3名)

黒田有寿茂, 2009.10, 「博物館オープンセミナー 鳴らそう草笛」, 博物館。(6名)

黒田有寿茂, 2009.4, 「特注セミナー 葉っぱで見分ける身近な樹木」, 大阪府立泉北高等学校, 博物館。(25

名)

黒田有寿茂, 2009.6, 「特注セミナー 森の話」, 明石市立沢池小学校, 博物館. (101名)

黒田有寿茂, 2009.7, 「特注セミナー 山の自然観察に向けて」, 尼崎市立七松小学校, 博物館. (98名)

黒田有寿茂, 2009.7, 「特注セミナー 環境学習に生かす植物観察」, 西宮市立総合教育センター教員研修, 博物館. (8名)

黒田有寿茂, 2009.10, 「特注セミナー 森の話」, 三木市立三樹小学校, 博物館. (63名)

黒田有寿茂・他, 2009.10, 「特注セミナー 生物多様性里山戦略推進研修」, 博物館. (93名).

黒田有寿茂, 2010.1, 「特注セミナー 葉っぱで見分ける身近な樹木」, 大阪府立三国丘高等学校, 博物館. (20名)

黒田有寿茂, 2010.1, 「特注セミナー 希少植物の保護について」, 京都府立農芸高等学校, 博物館. (11名) 館外講演など

黒田有寿茂, 2009.7, 「現地指導 植物・植生調査」, 現地指導, 明石市金ヶ崎公園. (5名)

黒田有寿茂, 2009.11, 「現地指導 植物・植生調査」, 現地指導, 明石市金ヶ崎公園. (4名)

兵庫県立大学・大学院教育

2009.5.17 植生保全管理論(大学院)

■ キャンパシおよび地域研究員養成事業  
セミナー担当

2009.6 エドヒガン調査研修会(分担者)(14名)

2009.8 里山調査講習会(分担者)(16名)

2009.10 生物多様性里山戦略推進研修(分担者)(93名).

2010.3 エドヒガン調査研修会(分担者)(6名)

2010.3 エドヒガン調査研修会(分担者)(10名)

成果発表

2010.2 共生のひろば 「「ふれあいの里山」復活大作戦 IN 明石」, エコウイングあかし(指導・協働)

■ ミニキャンパシ事業

2009.10, ひととはくミニキャンパシ・巨大スズメバチがやってきた!!(分担者), ありまふじフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

■ 連携事業

連携グループ等

菊炭友の会(アドバイザー:副)

櫻守の会(アドバイザー:副)

共催事業

2009.10, 生物多様性里山戦略推進研修, 北摂里山博物館振興協議会(セミナーの実施)

■ 学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.2-6.5, 挾間中学校1名, けやき台中学校2名. 講師派遣

2009.10 「里山学 里山とジーンバンク」, 講師, 近畿大学農学部学生(100人)

2009.10 「里山とひとの暮らし ~循環型の生活を学ぶ~」, 講師, 雲雀丘学園中学校1年生(159人)

2009.10 「葉っぱで見分ける身近な樹木」, 講師, 朝来市立竹田小学校(29人)

2009.11 「葉っぱで見分ける身近な樹木(神戸市中学校理科ブロック別研修会)」, 講師, 神戸市立歌敷山中学校(30人)

■ 研修生等の受入

博物館実習

2009.8.10-13, 龍谷大学国際文化部学生1名, 静岡大文学部学生1名.

■ 展示

## 2. シンクタンク事業

■ 受託研究

「慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務」. 兵庫県立淡路景観園芸学校. 研究代表者(35万円)

「福本大歳神社およびその周辺の植物・植生等調査業務」. 福本水土里会. 研究代表者(10万円)

「平成21年度オグラコウホネ等管理業務」. 兵庫県丹波県民局. 研究分担者(25.3万円)

■ 収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 3回, 30名.

■ 行政等支援

委員会等(計1件)

2009.7-2010.3. 加東市とひととはく協力協定連携推進会議委員, 加東市教育委員会.

相談・指導助言

電話・FAX相談5件, メール相談5件.

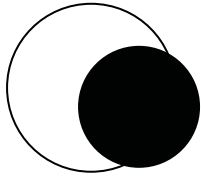
			研究開発															
			調査研究															
			特別課題研究	共同研究(総合)	共同研究(部門)	論文・著書		そのほか著作		ブログへの情報提供	研究発表		学会役員など	助成を受けた研究		海外調査	受賞等	
研究員氏名(掲載順)	博物館	大学				テーマ数	参画数	参画数	第一著者件数		第一著者以外の件数	第一著者件数		第一著者以外の件数	件数			第一著者件数
			件数	(万総円)	件数													
小林文夫	主任研究員	教授	3	1	1	3	0	1	0	0	1	0	7	1	340	0	0	0
佐藤裕司	主任研究員	教授	3	1	1	0	0	2	0	0	0	6	3	0	0	1	0	0
先山 徹	主任研究員	准教授	3	1	1	0	0	6	0	1	2	0	1	1	370	0	0	0
加藤茂弘	主任研究員		3	1	1	1	0	0	1	0	0	12	6	1	468	2	2	0
古谷 裕	主任研究員	准教授	2	1	1	0	0	1	2	2	0	2	0	0	0	1	0	0
三枝春夫	主任研究員	准教授	2	1	1	1	1	4	1	0	3	4	2	1	1481	0	3	0
半田久美子	主任研究員		2	1	1	0	1	0	1	1	0	3	2	0	0	0	0	0
松原尚志	主任研究員		2	1	1	6	4	4	2	0	4	2	4	0	0	1	0	0
池田忠弘	研究員		2	1	1	0	0	2	1	0	1	2	0	0	0	1	1	0
高橋 晃	研究部長	教授	3	1	1	0	1	2	2	1	0	2	0	0	0	2	0	0
秋山弘之	主任研究員	准教授	3	1	1	10	1	0	0	2	2	0	3	0	0	1	1	0
高野温子	主任研究員		2	1	1	1	0	1	0	0	2	0	3	2	402	0	1	0
布施静香	研究員		5	1	1	0	2	1	0	18	0	2	3	0	0	2	0	0
山本伸子	研究員		1	1	1	2	0	0	0	23	1	0	0	0	0	0	1	0
太田英利	主任研究員	教授	4	1	1	4	5	2	0	0	3	9	7	1	300	2	1	0
橋本佳明	主任研究員	准教授	4	1	1	1	0	1	0	2	3	0	4	1	487	3	5	0
沢田佳久	研究員	助教	1	1	0	2	0	0	1	25	2	0	2	0	0	0	0	0
八木 剛	主任研究員		2	1	0	0	0	3	1	15	0	2	1	1	350	0	0	0
江崎保男	研究部長/研究系次長	教授	2	1	1	0	1	1	1	0	1	1	6	2	110	0	0	0
田中哲夫	主任研究員	准教授	4	1	1	1	0	1	1	0	3	0	1	1	480	0	0	0
三橋弘宗	主任研究員		3	1	1	2	4	7	0	15	4	5	4	1	400	0	0	0
大谷 剛	主任研究員	教授	3	1	0	1	0	1	0	5	2	0	1	0	0	1	0	0
三谷雅純	主任研究員	准教授	3	1	0	2	0	38	0	4	0	1	3	1	109	1	1	0
遠藤菜緒子	研究員		2	1	1	0	0	0	0	10	1	2	0	0	0	1	0	0
北村俊平	研究員		2	1	1	3	0	5	0	2	5	0	1	0	0	0	0	0
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	2	1	1	3	5	13	0	0	0	3	12	1	300	0	0	0
藤本真里	研究員	助教	2	1	0	0	0	8	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
赤澤宏樹	研究員	講師	2	1	1	3	0	1	0	0	3	0	11	2	290	1	2	0
武田重昭	研究員		7	0	0	1	0	2	3	1	0	0	6	1	50	0	0	0
田原直樹	主任研究員	教授	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	6	2	460	0	0	0
山崎義人	研究員		3	1	0	1	3	1	3	0	2	2	10	0	0	5	0	0
上田萌子	研究員		2	1	0	0	1	3	0	7	0	0	0	0	0	2	0	0
服部 保	研究部長	教授	3	1	1	2	2	4	5	0	0	0	2	1	442	0	0	0
石田弘明	研究員	講師	3	1	1	2	2	3	2	1	1	1	4	1	120	1	0	0
小館誓治	研究員	助教	2	1	1	0	1	1	0	13	2	0	0	0	0	0	0	0
橋本佳延	研究員		4	1	1	0	2	2	3	4	2	0	1	1	100	0	0	0
鈴木 武	研究員	助教	2	1	1	2	0	0	0	1	1	0	2	1	10	0	0	0
黒田有寿茂	研究員	助教	2	1	1	1	2	1	2	1	1	2	0	0	0	1	0	0
藤井俊夫	研究員		2	1	1	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
合計			104	38	30	55	38	124	33	157	56	63	119	24	7069	29	18	0



研究開発				生涯学習																			
資料収集・整理				セミナー											キャラバン事業								
資料収集	資料受贈	資料貸出・借用・譲渡	整理 同定 担当資料	館主催		館内特注セミナー		館外講演		非常勤講師	兵庫県立大学・大学院教育	兵庫県立大学付属中学校	ラジオ・TV出演等	主担当	副担当	展示作成	リサーチプロジェクト	セミナー担当	成果発表	ミニキャラバン事業			
				責任者	分担者	のべ受講者数	のべ受講者数	のべ受講者数	のべ受講者数											のべ受講者数	のべ受講者数	主担当件数	分担件数
実施の有無	担当件数	担当件数	担当の有無	件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数	主担当件数	分担件数
有	0	0	有	7	253	0	0	4	331	5	129	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有	0	0	有	4	153	3	104	0	0	4	209	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
有	0	0	有	16	683	5	118	6	182	14	860	1	1	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0
有	1	0	有	9	200	2	52	0	0	8	652	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0
有	0	0	有	9	584	0	0	0	0	5	165	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
有	0	0	有	5	249	1	11	0	0	9	1020	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
有	5	0	有	6	373	1	16	0	0	4	228	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
有	1	0	有	4	174	0	0	0	0	1	20	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
有	0	0	有	14	1173	0	0	0	0	6	134	0	0	0	3	0	1	1	0	1	0	0	0
有	17	0	有	15	288	9	228	2	58	5	35	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0
有	0	0	有	8	107	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有	1	0	有	6	197	3	87	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
有	2	0	有	1	4	4	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有	0	0	有	5	70	9	299	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
無	0	0	有	1	20	0	0	1	56	7	440	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
有	0	0	有	5	120	1	40	0	0	2	160	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
有	6	0	有	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
有	0	0	有	5	392	0	0	5	335	16	160	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
有	0	2	有	3	55	0	0	1	62	9	757	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有	1	0	有	11	308	0	0	1	12	0	0	6	3	1	0	4	1	0	0	1	2	0	1
有	1	0	有	10	461	0	0	5	217	21	1950	0	1	0	0	1	1	0	0	3	0	0	1
有	0	0	無	19	803	0	0	4	117	16	1381	2	7	0	4	0	0	0	0	2	0	0	2
有	0	0	有	7	137	0	0	0	0	2	70	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有	0	0	無	10	258	0	0	0	0	1	24	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	1	0
有	1	0	有	0	0	2	68	1	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
無	0	0	無	2	158	0	0	0	0	43	6234	2	3	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1
有	0	0	無	7	246	0	0	0	0	10	461	2	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0
有	0	0	有	9	103	0	0	0	0	6	161	4	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
有	2	0	無	1	40	0	0	0	0	6	215	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
有	0	0	無	8	110	0	0	0	0	6	360	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有	0	0	無	7	149	2	49	0	0	7	530	4	3	1	0	0	0	2	1	0	0	0	3
有	0	0	無	1	114	0	0	2	134	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
有	0	0	有	19	819	0	0	0	0	48	3073	1	2	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0
有	0	0	無	16	610	0	0	0	0	11	307	1	1	0	0	1	0	0	0	9	0	0	0
有	0	0	有	13	348	0	0	0	0	4	130	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0
有	0	0	有	6	103	0	0	6	253	7	349	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0
有	0	0	有	9	285	0	0	8	547	23	799	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
有	0	0	無	7	109	0	0	8	419	2	9	0	1	0	0	0	0	0	0	5	1	0	1
有	0	0	無	13	203	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0
	38	2		298	10459	42	1183	54	2843	308	21022	34	45	9	27	10	12	9	1	40	8	8	18

			生涯学習事業												
			連携事業				学校教育支援					研修生等の受入			イベント
			連携グループ	共催事業	協力事業	後援事業	トライやるウィーク	学校団体対応	講師派遣	博物館実習	卒論生など	その他	フェスティバル等の実施		
研究員氏名	博物館	役職	件数	件数	件数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	受講生徒数	受入人数	受入人数	実施件数
小林文夫	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
佐藤裕司	主任研究員	教授	0	0	0	1	4	2	7	2	25	0	2	0	1
先山 徹	主任研究員	准教授	0	3	1	0	0	0	0	5	155	0	0	0	1
加藤茂弘	主任研究員		3	0	2	0	4	2	58	2	161	0	2	0	0
古谷 裕	主任研究員	准教授	2	2	3	0	0	8	587	9	538	3	0	0	1
三枝春夫	研究員	助教	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
半田久美子	主任研究員		0	0	0	0	0	1	88	2	118	3	1	0	1
松原尚志	主任研究員		0	0	0	0	0	0	0	1	109	3	0	0	1
池田忠弘	研究員		0	0	0	0	4	7	541	1	90	0	0	0	1
高橋 晃	研究部長	教授	7	3	2	9	0	3	143	2	36	0	0	20	1
秋山弘之	主任研究員	准教授	2	0	0	0	0	2	122	0	0	0	0	1	0
高野温子	主任研究員		0	0	0	0	0	7	435	0	0	0	0	3	0
布施静香	主任研究員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山本伸子	研究員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太田英利	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋本佳明	主任研究員	准教授	0	0	0	0	0	2	138	0	0	0	0	1	0
沢田佳久	研究員	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八木 剛	主任研究員	主任研究員	7	9	0	7	0	8	709	4	99	0	0	0	1
江崎保男	研究部長/研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
田中哲夫	主任研究員	准教授	3	2	0	1	0	7	473	4	151	3	0	0	1
三橋弘宗	主任研究員		4	1	0	2	0	18	1476	1	50	0	0	0	1
大谷 剛	主任研究員	教授	3	1	3	3	4	9	690	1	8	0	1	0	0
三谷雅純	主任研究員	准教授	1	0	0	0	0	3	225	0	0	0	0	0	2
遠藤菜緒子	研究員		1	0	1	0	0	9	570	0	0	0	0	0	0
北村俊平	研究員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤本真里	研究員	助教	1	2	0	0	4	0	0	0	0	5	0	0	1
赤澤宏樹	研究員	講師	0	0	0	0	4	0	0	1	5	5	0	0	0
武田重昭	研究員		0	0	0	0	4	0	0	0	0	5	0	0	1
田原直樹	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1
山崎義人	研究員		0	0	0	0	4	2	60	1	80	5	2	0	1
上田萌子	研究員		0	0	0	0	4	0	0	2	190	5	0	0	1
服部 保	研究部長	教授	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石田弘明	研究員	講師	3	2	0	1	3	3	285	0	0	0	0	0	0
小館誓治	研究員	助教	1	3	0	3	2	8	528	3	159	0	0	0	0
橋本佳延	研究員		0	1	1	0	3	4	154	1	3	2	0	0	1
鈴木 武	研究員	助教	1	0	0	0	3	6	521	1	10	2	0	0	1
黒田有寿茂	研究員	助教	2	1	0	0	3	0	0	4	318	2	0	0	0
藤井俊夫	研究員		1	0	0	0	3	8	410	0	0	2	0	0	0
合計			38	27	8	27	41	99	6939	47	1109	39	3	25	20

生涯学習事業						シンクタンク事業											
展示作成・実施						受託研究	収蔵庫・ジーンファームの公開	行政等支援						学会開催等支援			
常設展 (映像資料作成を含む)	企画展		ミニ企画展等					代表		分担	実施件数	のべ受講者数	委員会など		相談・指導助言 (来訪者)	相談・指導助言 (TEL・FAX・メール等)	件数
	主担当件数	分担件数	主担当件数	分担件数	主担当件数			分担件数	件数								
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	17	0	
0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	8	4	17	30	35	1	0	
0	0	1	0	0	1	1	30	1	0	0	5	10	20	10	0	0	
0	0	0	0	0	1	1	27	0	12	34	2	5	10	80	1	0	
0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	10	12	13	0	0	
0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	6	6	2	0	0	
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	10	20	6	0	0	
0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	26	0	15	18	24	1	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	0	0	
0	0	0	0	0	1	0	0	0	10	115	7	5	0	10	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	44	1	5	10	46	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	72	1	0	0	6	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	35	0	0	0	4	0	0	
0	0	0	0	0	0	1	17	1	0	0	13	6	15	14	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	7	0	22	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	50	4	3	3	0	2	0	
0	0	0	0	0	0	1	30	0	0	0	19	50	220	60	0	0	
0	0	0	1	0	2	1	70	0	8	40	10	20	50	50	1	0	
0	0	1	0	2	0	0	0	0	5	18	12	65	195	110	0	0	
0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	6	1	4	8	34	1	0	
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	6	30	50	0	0	
0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	4	6	35	0	0	
0	0	0	1	0	3	0	0	0	6	9	0	0	0	29	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101	100	180	200	0	0	
0	0	0	0	2	0	3	205	1	0	0	19	120	0	180	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	15	40	120	1	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	3	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	10	30	10	0	0	
0	0	0	1	0	2	0	0	0	2	50	1	2	5	2	1	0	
0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	12	1	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	5	427	0	30	156	61	207	525	350	0	0	
0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3	3	4	11	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0	5	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	15	25	0	0	
0	0	0	0	0	0	2	45	1	3	30	1	0	0	10	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	28	0	86	124	65	0	0	
0	0	4	8	6	18	15	851	9	114	734	326	813	1594	1643	9	0	



# 博物館事業報告に関連する資料

## 開催したセミナーの一覧

平成 21 年度は下記のような様々な分野・対象のセミナーを実施した（キャラバンを除く）。

実施日	セミナー名	講師	定員	参加者
4月4日(土)	日本一の里山、北摂地域の早春を観察しよう	橋本 佳延	25	26
4月8日(水)	気ままに植物ウォッチング①～銀山～	黒田 有寿茂	20	19
4月11日(土)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	14
4月12日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全6回)	高橋 晃、高野 温子、布施 静香、山本 伸子	10	8
4月12日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	14
4月16日(木)	春の万博公園植物観察	ひとつはく連携活動グループ 希少植物研究会	20	10
4月18日(土)	都市の歩き方・名所編 大阪市中之島界限を歩く	田原 直樹	10	7
4月19日(日)	神戸層群の木材化石を観察しよう	半田 久美子	20	21
4月19日(日)	白髪岳の植物を調べる ①早春の植物	高野 温子、高橋 晃、山本 伸子	20	21
4月19日(日)	もいちど始める昆虫採集	沢田 佳久	5	5
4月19日(日)	キリギリスの赤ちゃんを育てよう(全3回)	八木 剛、大谷 剛	10	22
4月25日(土)	ため池を探る	田中 哲夫、佐藤 裕司	20	10
4月25日(土)	都市の歩き方・名所編 兵庫県伊丹界限を歩く	田原 直樹	10	0
4月26日(日)	石めぐりハイキングー丹生山地と帝釈鉦山ー	加藤 茂弘、先山 徹	30	33
4月25日(土)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然～春の六甲山ハイキング～	橋本 佳延、大澤 剛士(ひとつはく地域研究員)	30	7
4月26日(日)	植物観察会(春の福島大池)	藤井 俊夫	20	16
4月26日(日)	愛蜂家養成講座・初級全4回	大谷 剛	20	28
4月26日(日)	ため池を探る	田中 哲夫、佐藤 裕司	20	12
4月29日(水)	今年こそ！多紀アルプス自然探訪	小林 文夫、高橋 晃 高野 温子、山本 伸子	25	20
5月5日(火)	丹波の恐竜化石第三次発掘報告会	三枝 春生	100	28
5月6日(水)	化石のレプリカをつくろう!	松原 尚志	15	15
5月6日(水)	気ままに植物ウォッチング②～山田町藍那～	黒田 有寿茂	20	27
5月6日(水)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	16
5月9日(土)	身近な植物を観察しよう	石田 弘明	20	18

5月9日(土)	ため池を探る 芦屋でまなぶ森・川・海の自然	佐藤 裕司、田中 哲夫	20	11
5月9日(土)	～浜辺の鳥 食べもののとり方を観察しよう～	遠藤 菜緒子、前畑 晃也(県立大院生)	50	13
5月9日(土)	日本列島の歴史——人と自然の共生とその危機	岩槻 邦男	50	38
5月10日(日)	日本一の里山観察会	服部 保	30	40
5月10日(日)	ため池を探る	田中 哲夫、佐藤 裕司	20	10
5月13日(水)	校内の草本群落を調査しよう(全3回)	石田 弘明	10	8
5月15日(金)	標本資料を理解する(全2回)	高野 温子	10	41
5月16日(土)	南あわじで地層を見る	古谷 裕、先山 徹、加藤 茂弘	20	21
5月16日(土)	篠山層群の観察 都市の歩き方・名所編 兵庫県宝塚市清荒 神・小浜・中山寺界限を歩く	小林 文夫 田原 直樹	15 10	14 14
5月17日(日)	南あわじで地層を見る	古谷 裕、先山 徹、加藤 茂弘	20	4
5月17日(日)	初夏の武田尾溪谷で植物を観察しよう	石田 弘明	20	0
5月17日(日)	キリギリスの赤ちゃんを育てよう(全3回)	八木 剛、大谷 剛	10	19
5月19日(火)	土の中のむし	沢田 佳久	5	1
5月19日(火)	電子レンジで押し花しおりづくり	鈴木 武	5	5
5月23日(土)	六甲山「森の植物」観察会(春)	小舘 誓治	15	17
5月23日(土)	アリ学入門編	橋本 佳明	10	4
5月24日(日)	植物観察会(春の虚空蔵山)	藤井 俊夫	20	0
5月24日(日)	愛蜂家養成講座・初級全4回	大谷 剛	20	26
5月24日(日)	家族で蜂蜜しばり5月	大谷 剛	30	36
5月27日(水)	藍那のシダを見る	鈴木 武	20	15
5月30日(土)	白髪岳の植物を調べる ②初夏の植物	高野 温子、高橋 晃、山本 伸子	20	21
6月2日(火)	芦屋川の水生生物と水環境	三橋 弘宗	10	128
5月27日(水)	藍那のシダを見る 追加版	鈴木 武	20	17
6月5日(金)	標本資料を理解する(全2回)	高野 温子	10	35
6月6日(土)	キリギリスの赤ちゃんを育てよう(全3回)	八木 剛、大谷 剛	10	13
6月6日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座全3回	大谷 剛	20	8
6月7日(日)	石ころクラブ	先山 徹	20	17
6月7日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	13
6月10日(水)	校内の草本群落を調査しよう(全3回)	石田 弘明	10	8
6月12日(金)	池尻川のホタル観察一川のしぐみを学ぶー	三橋 弘宗、水辺のフィールドミュージアム研究会・有馬高校科学部	80	41
6月13日(土)	丹波下滝のシダを見る	鈴木 武	20	21
6月13日(土)	初夏の鳴く虫観察会	大谷 剛	30	3
6月13日(土)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ～川の魚と水生昆虫～	田中 哲夫、三橋 弘宗・山田 勝己(芦屋川に魚を増やそう会)	50	44
6月13日(土)	日本列島の歴史——人と自然の共生とその危機	岩槻 邦男	50	42
6月14日(日)	超丹波帯の時代、古生代とは？	古谷 裕	30	21

6月16日(火)	挿し木から育てる希少植物(実習)	ひとはく連携活動グループ 希少植物研究会	20	12
6月20日(土)	森と土の観察会(太山寺編)	小舘 誓治	15	24
6月21日(日)	オグラコオホネ観察会	藤井 俊夫	20	14
6月21日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全6回)	高橋 晃、高野 温子、布施 静香、山本伸子	10	9
6月24日(水)	植物の多様性を調べる(全3回)	山本 伸子	10	9
6月26日(金)	ヒメボタル観察オールナイトハイキング	八木 剛	50	35
6月27日(土)	とつとこ倶楽部 夏のキノコ観察1	秋山 弘之	15	12
6月27日(土)	昆虫アドベンチャー	ひとはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るるるんぷらざ、八木 剛、ひとはく連携活動グループ「テネラル」	20	20
6月27日(土)	豊岡で学ぶ自然再生の理論と実践 ～湿地の自然再生～	三橋 弘宗、コウノトリ湿地ネット・コウノトリ郷公園	20	0
6月28日(日)	よくわかる苔のすべて	秋山 弘之	50	17
6月28日(日)	愛蜂家養成講座・初級全4回	大谷 剛	20	22
6月28日(日)	家族で蜂蜜しばり6月	大谷 剛	30	37
6月28日(日)	昆虫アドベンチャー	ひとはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るるるんぷらざ、八木 剛、ひとはく連携活動グループ「テネラル」	20	20
6月28日(日)	ため池地域の人と自然	江崎 保男、(大学院生を予定)	50	23
6月28日(日)	豊岡で学ぶ自然再生の理論と実践 ～湿地の自然再生～	三橋 弘宗、コウノトリ湿地ネット・コウノトリ郷公園	20	0
7月1日(水)	校内の草本群落を調査しよう(全3回)	石田 弘明	10	7
7月1日(水)	森林植物園のシダを見る	鈴木 武	20	25
7月4日(土)	とつとこ倶楽部 夏のキノコ観察2	秋山 弘之	15	12
7月4日(土)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	14
7月4日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座全3回	大谷 剛	20	8
7月5日(日)	丹波の石を見分けよう	先山 徹	30	23
7月5日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	13
7月5日(日)	カワウとの共生を考える	江崎 保男、(大学院生を予定)	50	0
7月10日(金)	兵庫の恐竜	三枝 春生	10	44
7月12日(日)	石ころクラブ	先山 徹	20	11
7月12日(日)	パパといっしょの昆虫アドベンチャー	ひとはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るるるんぷらざ、八木 剛、足立 勲(自然体験教育研究所)	20	60
7月12日(日)	小さな虫の標本作り	沢田 佳久	20	6
7月18日(土)	森と土の観察会(再度山編) 芦屋でまなぶ森・川・海の自然	小舘 誓治	10	16
7月18日(土)	～森の昆虫は何を食べ、何に食べられるか～	大谷 剛	30	10
7月18日(土)	カエル骨格作成教室	三枝 春生、池田 忠広	15	11
7月19日(日)	カエル骨格作成教室	池田 忠広、三枝 春生	15	11

7月19日(日)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール'09	ひとはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るんるんぷらざ、小館 誓治、八木剛、加藤 茂弘	24	26
7月20日(月)	親子でつくり植物標本(全2回)	山本 伸子、高橋 晃、外部講師	30	15
7月24日(金)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール'09	ひとはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るんるんぷらざ、小館 誓治、八木剛、加藤 茂弘、古谷 裕	24	10
7月25日(土)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール'09	ひとはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るんるんぷらざ、小館 誓治、八木剛、加藤 茂弘、古谷 裕	24	10
7月26日(日)	オニバス観察会	藤井 俊夫	20	9
7月26日(日)	愛蜂家養成講座・初級全4回	大谷 剛	20	17
7月26日(日)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール'09	ひとはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るんるんぷらざ、小館 誓治、八木剛、加藤 茂弘、古谷 裕	24	10
7月31日(金)	親子でつくる昆虫標本(全2回)	大谷 剛、沢田 佳久	30	39
8月1日(土)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール'09	ひとはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るんるんぷらざ、小館 誓治、八木剛、加藤 茂弘	24	9
8月2日(日)	石ころクラブ	先山 徹	20	14
8月2日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	10
8月6日(木)	親子でつくる昆虫標本(全2回)	大谷 剛、沢田 佳久	30	36
8月8日(土)	いろいろな化石をみる	古谷 裕	25	19
8月8日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座全4回	大谷 剛	10	3
8月9日(日)	花粉の観察:花粉だんごを調べよう	半田 久美子	20	14
8月9日(日)	カメラをつくって撮影・現像まで(初級編)	赤澤 宏樹	30	23
8月10日(月)	カメラをつくって撮影・現像まで(初級編)	赤澤 宏樹	30	33
8月10日(月)	生物多様性と照葉樹林	石田 弘明	30	21
8月10日(月)	生物多様性と里山	服部 保	30	26
8月10日(月)	体の不自由な子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	30	11
8月10日(月)	地層の見方・調べ方 in 淡路	古谷 裕	20	11
8月11日(火)	身近な植物の観察の仕方	小館 誓治	20	25
8月11日(火)	昆虫標本をつくってみませんか(全2回)	大谷 剛、沢田 佳久	30	2
8月11日(火)	タンポポの仲間を観察する	鈴木 武	15	5
8月11日(火)	丹波の恐竜とその頃の日本	先山 徹	40	41
8月11日(火)	生態系ってなに?	江崎 保男	50	20
8月12日(水)	クマムシの観察	佐藤 裕司	20	10
8月12日(水)	ハチの知識増強講座	大谷 剛、	30	4
8月12日(水)	環境学習に生かす地域の見方	山崎 義人	20	18
8月12日(水)	ビオトープ池調査法	田中 哲夫	30	11
8月13日(木)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ～真夏の鳴く虫を聞く～	大谷 剛、鳴く虫研究会「きんひばり」	30	29

8月15日(土)	ひとつはく博士と行く ハチ北高原サマースクール'09	ひとつはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るんるんぶらざ、小舘 誓治、八木 剛、古谷 裕	24	10
8月16日(日)	土の中のむし	沢田 佳久	20	8
8月24日(月)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	10
8月25日(火)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	10
8月18日(火)	地層の見方・調べ方 in 丹波	古谷 裕	20	28
8月18日(火)	植物標本の作り方	山本 伸子、高橋 晃	30	21
8月18日(火)	昆虫標本をつくってみませんか(全2回)	大谷 剛、沢田佳久	30	2
8月18日(火)	子どもと楽しむ葉脈標本作り	生涯学習課	30	21
8月18日(火)	学校でできる！やさしい化石レプリカづくり	生涯学習課	30	22
8月18日(火)	植物を観察して描いてみよう	高橋 晃、山本 伸子	10	10
8月26日(水)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	10
8月19日(水)	珪化木を観察しよう	半田 久美子	20	6
8月19日(水)	地震のゆれ方と液状化の実験をしよう	先山 徹	30	10
8月19日(水)	環境総合学習ソフト「私のまちの環境マップをつくろう！」	生涯学習課	20	16
8月19日(水)	恐竜とは何か～丹波の恐竜化石の発見と発掘～	池田 忠広	30	28
8月19日(水)	チョコとココアでおいしい火山実験をしよう	先山 徹	20	18
8月20日(木)	鳴く虫の標本づくり(全2回)	大谷 剛、	30	13
8月20日(木)	石の見分け方ー兵庫を代表する岩石と鉱物	先山 徹	30	27
8月20日(木)	体験的な環境学習に活かす校区の昆虫しらべ	八木 剛	20	17
8月20日(木)	体験しよう！川の水生昆虫の学習と調査	三橋 弘宗	20	11
8月22日(土)	いろいろな化石をみる	古谷 裕	25	5
8月22日(土)	ひとつはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	赤澤 宏樹、中瀬 勲、藤本 真里	20	9
8月23日(日)	親子でつくろう植物標本(全2回)	山本 伸子、高橋 晃、外部講師	30	16
8月23日(日)	ひとつはく博士と行く ハチ北高原サマースクール'09	ひとつはく連携活動グループ run♪run♪ plaza るんるんぶらざ、小舘 誓治、八木 剛、古谷 裕	24	28
8月23日(日)	針穴(ピンホール)カメラをつくって撮影・現像まで(中級編)	赤澤 宏樹	20	9
8月27日(木)	鳴く虫の標本づくり(全2回)	大谷 剛、	30	13
8月29日(土)	ひとつはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	藤本 真里、赤澤 宏樹	20	9
8月29日(土)	ひとつはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	藤本 真里、赤澤 宏樹	20	9
8月30日(日)	石の見分け方ーふしぎな岩石と鉱物	先山 徹	30	31
8月30日(日)	サギソウ観察会	藤井 俊夫	20	21
9月3日(木)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	9
9月5日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座全3回	大谷 剛	20	7
9月5日(土)	豊岡で学ぶ自然再生の理論と実践 ～川其自然再生～	三橋 弘宗、コウノトリ湿地ネット・コウノトリ 郷公園	20	4



9月5日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	赤澤 宏樹、藤本 真里	20	9
9月5日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	赤澤 宏樹、藤本 真里	20	9
9月6日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全6回)	高橋 晃、高野 温子、布施 静香、山本 伸子	10	8
9月6日(日)	愛蜂家養成講座・上級全4回	大谷 剛	20	15
9月6日(日)	豊岡で学ぶ自然再生の理論と実践 ～川の自然再生～	三橋 弘宗、コウノトリ湿地ネット・コウノトリ 郷公園	20	4
9月8日(火)	秋の伊吹山高山植物観察	ひとはく連携活動グループ 希少植物研究会	24	20
9月8日(火)	マングローブ林と人の暮らし	上田 萌子		114
9月11日(金)	都市の自然を考える(都市に自然は必要か?)	武田 重昭		39
9月12日(土)	植物と文化・万葉集の植生	服部 保	40	13
9月12日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座全4回	大谷 剛	10	4
9月12日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	赤澤 宏樹、藤本 真里	20	10
9月12日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	赤澤 宏樹、藤本 真里	20	10
9月12日(土)	日本列島の歴史——人と自然の共生とその危機	岩槻 邦男	50	38
9月13日(日)	石ころクラブ	先山 徹	20	15
9月13日(日)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ～芦屋の里山～	三橋 弘宗、芦屋森の会 2001	30	18
9月13日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	6
9月16日(水)	植物の多様性を調べる(全3回)	山本 伸子	10	10
9月18日(金)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	10
9月19日(土)	ススキ草原の生物多様性(植物)の復元をめざして(全2回)	橋本 佳延	50	12
9月19日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	中瀬 勲、赤澤 宏樹、藤本 真里	20	9
9月19日(土)	建築スケッチ紀行 序	山崎 義人	20	6
9月19日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	中瀬 勲、赤澤 宏樹、藤本 真里	20	9
9月20日(日)	虫の体を調べよう	沢田 佳久	30	14
9月23日(水)	石の見分け方ー顕微鏡で見る鉱物と岩石	先山 徹	30	16
9月26日(土)	微生物が語る水惑星の環境史	佐藤 裕司	30	3
9月26日(土)	森林植生の調べ方	小舘 誓治	10	4
9月26日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座全4回	大谷 剛	10	3
9月26日(土)	都市の歩き方・企画編 名所図会探検倶楽部	田原 直樹	10	4
9月26日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全10回)	藤本 真里、中瀬 勲、赤澤 宏樹	20	9
9月27日(日)	植物観察会(秋の虚空蔵山)	藤井 俊夫	20	24
9月27日(日)	愛蜂家養成講座・上級全4回	大谷 剛	20	14
9月30日(水)	植物の多様性を調べる(全3回)	山本 伸子	10	10
9月30日(水)	ビオトープ池を調べる(全3回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	10	8
10月1日(木)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	9
10月3日(土)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然	秋山 弘之	30	7

～芦屋をとりまく森のキノコ～

10月3日(土)	植物画を描こう	高橋 晃	30	7
10月3日(土)	里山の植物を観察しよう	石田 弘明	20	16
10月3日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座全4回	大谷 剛	10	4
10月3日(土)	親と子の鳴く虫の夕べ	ひとはく連携活動グループ・鳴く虫研究会 「きんひばり」、大谷 剛	30	9
10月3日(土)	リサーチプロジェクト「カワウ」	遠藤 菜緒子	20	11
10月3日(土)	建築スケッチ紀行「村野藤吾作品 01」	山崎 義人	20	4
10月4日(日)	篠山川と武庫川の流路の争奪合戦—恐竜化石が河床に顔を出した—	小林 文夫	30	10
10月4日(日)	植物画を描こう	高橋 晃	30	9
10月4日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	5
10月7日(水)	気ままに植物ウォッチング③～山田町藍那	黒田 有寿茂	20	17
10月7日(水)	ビオトープ池を調べる(全3回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	10	9
10月8日(木)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	8
10月9日(金)	里山の自然(全2回)	小舘 誓治	10	39
10月10日(土)	日本列島の歴史——人と自然の共生とその危機	岩槻 邦男	50	30
10月11日(日)	石めぐりハイキング—たつの市	加藤 茂弘、先山 徹	30	20
10月11日(日)	有鱗類の化石	池田 忠広	30	5
10月11日(日)	秋の砥峰高原を歩く	高野 温子、高橋 晃、山本 伸子	20	13
10月13日(火)	六甲山のホテル	八木 剛	10	119
10月14日(水)	ビオトープ池を調べる(全3回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	10	9
10月15日(木)	とっとこ倶楽部秋のスペシャル コケとキノコ	秋山 弘之	20	14
10月17日(土)	ススキ草原の生物多様性(植物)の復元をめざして(全2回)	橋本 佳延、一	50	5
10月17日(土)	アリ学応用編	橋本 佳明	10	4
10月17日(土)	リサーチプロジェクト「カワウ」	遠藤 菜緒子	20	9
10月17日(土)	建築スケッチ紀行「村野藤吾作品 02」	山崎 義人	20	8
10月17日(土)	都市の歩き方・企画編 名所図会探検倶楽部	田原 直樹	10	2
10月20日(火)	六甲山の生き物	鈴木 武	10	130
10月22日(木)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	7
10月24日(土)	植物園を歩く・食べられる木の実を探しに行こう	高野 温子、高橋 晃、山本 伸子	20	15
10月24日(土)	都市の歩き方・街道編 大阪市天王寺から熊野街道を歩く	田原 直樹	10	11
10月25日(日)	石ころクラブ	先山 徹	20	15
10月25日(日)	植物観察会(秋の福島大池)	藤井 俊夫	20	17
10月29日(木)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	10
10月30日(金)	里山の自然(全2回)	小舘 誓治	10	37
11月4日(水)	気ままに植物ウォッチング④～六甲山魚屋道～	黒田 有寿茂	20	21

11月6日(金)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ～モクズガニとウミボタルの観察～	三橋 弘宗、大脇 巧巳(NPO法人さん びいす)	30	25
11月7日(土)	とつこ倶楽部 秋のキノコ 1	秋山 弘之	20	20
11月7日(土)	六甲山「森の植物」観察会(秋)	小舘 誓治	15	0
11月8日(日)	丹波の恐竜と巨樹をたずねて	高橋 晃、先山 徹	30	11
11月8日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	13
11月8日(日)	立体写真撮影入門	沢田 佳久	10	1
11月10日(火)	海の一生	小林 文夫	10	88
11月12日(木)	秋の箕面公園植物観察	ひとはく連携活動グループ 希少植物研 究会	20	11
11月12日(木)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	8
11月14日(土)	建築スケッチ紀行「村野藤吾作品 03」	山崎 義人	20	3
11月14日(土)	都市の歩き方・企画編 名所図会探検倶楽 部	田原 直樹	10	0
11月14日(土)	日本列島の歴史——人と自然の共生とその 危機	岩槻 邦男	50	31
11月14日(土)	熱帯雨林の奇妙なアリたちの生態と生物多 様性保全	橋本 佳明	30	5
11月15日(日)	丹波の恐竜化石—研究の現状と展望—	三枝 春生	30	19
11月15日(日)	植物観察会(秋の甲山)	藤井 俊夫	20	18
11月21日(土)	簡単料理教室 味で感じる三田	藤本 真里	20	17
11月21日(土)	都市の歩き方・名所編 兵庫県伊丹界隈を 歩く	田原 直樹	10	9
11月21日(土)	封入標本をつくろう	三橋 弘宗	30	20
11月22日(日)	石ころクラブ	先山 徹	20	8
11月22日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全6回)	高橋 晃、高野 温子、布施 静香、山本 伸子	10	6
11月22日(日)	青赤立体写真実習	沢田 佳久	10	1
11月23日(月)	小さな化石の抽出と観察	松原 尚志、なし	10	5
11月24日(火)	環境と町並みのフィールドワーク	山崎 義人	10	120
11月26日(木)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	9
11月28日(土)	都市の歩き方・企画編 名所図会探検倶楽 部	田原 直樹	10	4
11月28日(土)	都市の歩き方・番外編 名所図会探検倶楽 部の皆さんによるまち歩き	田原 直樹	10	4
11月29日(日)	愛蜂家養成講座・上級全4回	大谷 剛	20	12
11月29日(日)	へビの世界	池田 忠広	30	4
11月29日(日)	霊長類学の冒険:ヒトとは何者なのか?	三谷 雅純	10	5
12月3日(木)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	8
12月4日(金)	霊長類学が描くヒトの姿—われわれは何者 か?	三谷 雅純	10	47
12月6日(日)	丹波珪石で火打石セットを作ろう	先山 徹	30	19
12月6日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	7

12月12日(土)	活断層はどのように調べるのか	加藤 茂弘	20	0
12月13日(日)	ノジギク観察会	藤井 俊夫	20	17
12月15日(火)	兵庫県化石	松原 尚志	10	103
12月20日(日)	石ころクラブ	先山 徹	20	11
12月20日(日)	愛蜂家養成講座・上級全4回	大谷 剛	20	13
12月23日(水)	サルに学ぶヒトの知恵	三谷 雅純	10	14
12月24日(木)	造園景観学講座	中瀬 勲	20	8
1月9日(土)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ～芦屋の街 野鳥図鑑をつくろう～	遠藤 菜緒子、三橋 弘宗	50	1
1月10日(日)	春日山原始林観察会	藤井 俊夫	20	28
1月10日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全6回)	高橋 晃、高野 温子、布施 静香、山本 伸子	10	4
1月10日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	8
1月11日(月)	石ころクラブ	先山 徹	20	13
1月15日(金)	霊長類学が描くヒトの姿ーわれわれは何者 か？(続編)	三谷 雅純	10	37
1月19日(火)	芦屋川と野鳥のくらし	遠藤 菜緒子	10	116
2月7日(日)	石ころクラブ	先山 徹	20	11
2月7日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全6回)	高橋 晃、高野 温子、布施 静香、山本 伸子	10	7
2月7日(日)	ユース昆虫研究室	八木 剛	15	6
2月13日(土)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ～手作りカメラで自然を写そう～	赤澤 宏樹	30	10
1月9日(土)	日本列島の歴史——人と自然の共生とその 危機	岩槻 邦男	50	30
2月14日(日)	咲くやこの花館観察会	藤井 俊夫	20	13
2月21日(日)	人間活動による森林の変化	石田 弘明	50	12
2月27日(土)	リサーチプロジェクト「カワウ」	遠藤 菜緒子	20	6
2月28日(日)	植物リサーチクラブ 標本の調べ方 (2日 間)	布施 静香、高橋 晃、高野 温子	20	8
3月7日(日)	植物リサーチクラブ 標本の調べ方 (2日 間)	布施 静香、高橋 晃、高野 温子	20	5
3月13日(土)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ～湿地の水生動物～	三橋 弘宗、NPO法人さんびいす	30	0
2月13日(土)	日本列島の歴史——人と自然の共生とその 危機	岩槻 邦男	50	35
3月14日(日)	石の見分け方ー火山はどうして噴火するか	先山 徹	30	12
3月17日(水)	タネから育てる山野草(実習)	ひとくはく連携活動グループ 希少植物研 究会	20	17
6月28日(日)	地球温暖化 CO2 犯人説はウソか本当か？	佐藤 裕司	30	18
12月5日(土)	芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ～森の樹木と土の観察～	小舘 誓治	20	5
3月28日(日)	シバナ観察会	藤井 俊夫	20	6

## 企画展等一覧(平成21年度)

下記のような特別企画展、ミニ企画展を企画展示室・ミニ企画展示室・3階ギャラリー・4階ひとくサロンで開催した。

### 【特別企画】

期間	テーマ	入場者数	担当者(所属)、順不同(*代表者)
2009.4.25～5.31	丹波の恐竜を知らう-3年間の発掘報告-	14903	*先山 徹・古谷 裕・池田忠広・三枝春生・山崎義人・藤本真里・半田久美子・松原尚志・佐藤裕司
2009.6.6～8.31	初夏の鳴く虫と巡回展	48977	*大谷剛・八木 剛・三橋弘宗・川東丈純(ひとく)
2009.9.21～11.23	コウノトリのいる風景	52097	*三橋弘宗・赤澤宏樹・遠藤菜緒子・田中哲夫・江崎保男・北村俊平(ひとく)
2009.10.24～12.27	竜と獣の道展	45062	*松原尚志・古谷 裕・池田忠広・三枝春生・半田久美子・小林文夫・先山 徹・佐藤裕司・山崎義人・藤本真里
2010.2.11～4.4	共生のひろば展	21278	*橋本佳延・上田萌子(ひとく)

### 【ミニ企画展(臨時に企画される小規模な展示)】

期間	テーマ	展示場所	担当者(所属)、順不同(*代表者)
2009.2.10～5.31	六甲山のキノコ展～リアルな森の妖精たち～	4階ひとくサロン	*三橋弘宗(ひとく)
2009.3.20～4.26	第19回堀明子詩集『四季の色』展	3階ギャラリー、4階ひとくサロン	*詩集『四季の色』を読む会
2009.4.28～5.31	子供のアトリエひこうせん展	3階ギャラリー、4階ひとくサロン	*子供のアトリエ&ギャラリー「ひこうせん」
2009.6.10～8.31	ホッパーズ	4階ひとくサロン	*沢田佳久(ひとく)
2009.6.10～7.31	コウノトリの巣から発見された絶滅種アカマダラハナムグリ	4階ひとくサロン	*三橋弘宗(ひとく)
2009.8.10～8.20	自然環境シミュレーター『ビオトープ』をつくろう!	4階ひとくサロン	*赤澤宏樹(ひとく)
2009.8.21～11.23	がんばれ! 佐用町	3階ギャラリー	*山崎義人・藤本真里・八木 剛(ひとく)
2009.9.1～10.31	ぎっちゃん君ハウス	4階ひとくサロン	*大谷剛・川東丈純(ひとく)
2009.9.1～12.6	だまし絵といろんなだまし	4階ひとくサロン	*川東丈純・大谷剛・山崎義人・沢田佳久(ひとく)
2009.9.19～25	三田市立中学校理科自由研究展	4階ひとくサロン	*平松紳一(ひとく)
2009.12.12～2010.1.11	トラさんようこそ!	3階ギャラリー、4階ひとくサロン	*石田弘明・遠藤菜緒子・三谷雅純・高野温子・先山徹・大谷 剛・沢田佳久・太田英利・北村俊平(ひとく)
2009.12.5～2010.1.11	篠山の角竜と丹波の蛙化石	3階小企画展示室	*三枝晴生・池田忠広
2010.2.10～3.28	日本一のダリアを守りたい～ふるさと西谷を感じよう～	3階ギャラリー	*三橋弘宗・北村俊平・田中哲夫(ひとく)

2010.2.11～5.16

六甲山のキノコ展 2010

4 階ひとはくサロン

\* 三橋弘宗・北村俊平・田中哲夫・遠藤  
菜緒子 (ひとはく)

---

【資料・トピックス展示(新着資料や研究員による発見などのトピックスを展示)】

期間	テーマ	展示場所	担当者(所属)、順不同(*代表者)
2009.4.1～5.31	希少種ベニバナヤマシヤクヤクを篠 山で発見!	3 階トピックスコーナー	* 藤井俊夫 (ひとはく)
2009.6.2～8.31	六甲山のキノコ展で展示した標本 —高校生制作のキノコ標本 110 点	3 階トピックスコーナー	* 三橋弘宗 (ひとはく)
2009.9.1～10.31	畑中コレクション	3 階トピックスコーナー	* 沢田佳久 (ひとはく)
2009.11.1～2010.1.11	あれから 15 年-阪神淡路大震災の 記録	3 階トピックスコーナー	* 藤本真理・田原直樹 (ひとはく)
2010.2.6～3.31	河原で採集した珪化木(竹内コレク ション展)	3 階トピックスコーナー	* 半田久美子 (ひとはく)

---

## 生徒・学生等の受け入れ状況

### 【トライやる・ウィーク】

期間	学校名	人数	担当研究部課室名
6月2日～5日(Ⅰ期)	三田市立上野台中学校	2	自然・環境評価研究部、自然・再生研究部、総務課、生涯学習課、情報管理課
	三田市立狭間中学校	3	
	三田市立けやき台中学校	5	
	三田市立藍中学校	2	
	宝塚市立宝塚中学校	3	
	宝塚市立西谷中学校	3	
	計	18	
6月9日～12日(Ⅱ期)	三田市立ゆりのき台中学校	6	自然・環境マネジメント研究部、生涯学習課、情報管理課
	三田市立八景中学校	3	
	三田市立富士中学校	2	
	神戸市立有馬中学校	2	
	計	13	
11月5, 6, 10, 11日(Ⅲ期)	神戸市立北神戸中学校	2	生涯学習課、情報管理課
	神戸市立有野北中学校	2	
	計	4	
11月17日～20日(Ⅳ期)	篠山市立篠山中学校	1	生涯学習課、情報管理課
	篠山市立丹南中学校	1	
	計	2	

### 【博物館実習】

8月7日から8月25日までの10日間

龍谷大学

1名

大学名

計 17名

静岡大学 2名

神戸学院大学 1名

京都府立大学 1名

京都女子大学 1名

福岡大学 1名

神戸大学 4名

京都精華大学 1名

近畿大学 2名

神戸芸術工科大学 1名

関西学院大学 2名

担当研究部門

自然・環境評価部 7名

自然・環境マネジメント部 8名

自然・環境再生研究部 2名

## 学校教育支援プログラム

### 【スクールパートナー推進事業 夏季教職員セミナー】

実施日	セミナー名	講師	参加人数
8月10日(月)	カメラをつかって撮影・現像まで (初級編)	赤澤 宏樹	33
	生物多様性と照葉樹林	石田 弘明	21
	地層の見方・調べ方 in 淡路	古谷 裕	8
	生物多様性と里山	服部 保	26
	体の不自由な子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	11
8月11日(火)	身近な植物の観察の仕方	小舘 誓治	24
	昆虫標本をつくらせてみませんか(全2回)	大谷 剛	2
	第1回 ※第2回は8/18に実施	沢田 佳久	
	タンポポの仲間を観察する*	鈴木 武	5
	丹波の恐竜とその頃の日本	先山 徹	41
	生態系ってなに？	江崎 保男	21
8月12日(水)	クマムシの観察	佐藤 裕司	10
	ハチの知識増強講座*	大谷 剛	4
	環境学習に生かす地域の見方	山崎 義人	16
	ビオトープ池調査法	田中 哲夫	11
8月18日(火)	地層の見方・調べ方 in 丹波	古谷 裕	28
	植物標本の作り方	高橋 晃	21
		高野 温子	
		山本 伸子	
	植物を観察して描いてみよう	高橋 晃	10
	子どもと楽しむ葉脈標本作り	西岡 敬三	21
	学校のできる！やさしい化石レプリカづくり	平松 紳一	22
8月19日(水)	珪化木を観察しよう	半田久美子	6
	地震のゆれ方と液状化の実験をしよう	先山 徹	10
	環境総合学習ソフト	八尾 滋樹	16
	「私のまちの環境マップをつくろう」		
	恐竜とは何か	池田 忠広	28
	～丹波の恐竜化石の発見と発掘～		
	チョコとココアでおいしい火山実験をしよう	先山 徹	18
8月20日(木)	石の見分け方ー兵庫を代表する岩石と鉱物	先山 徹	27
	体験的な環境学習に活かす校区の昆虫しらべ	八木 剛	17
	体験しよう！川の水生昆虫の学習と調査	三橋 弘宗	11

\*印:独立行政法人科学技術振興機構(JST)主催教員免許状更新講習を兼ねる。



# 平成20～21年度2年間学校団体連続入館状況

(カッコ内、5年間の来館状況)

学 校 名	地域	17	18	19	20	21
神戸市立かみと幼稚園	神戸市			○	○	○
西舞子幼稚園	神戸市	○	○	○	○	○
神楽台幼稚園	神戸市	○	○	○	○	○
神戸海星女子学院マリア幼稚園	西宮市	○	○	○	○	○
三田こぼと保育園	三田市	○	○		○	○
やよい幼稚園	三田市	○	○	○	○	○
北摂第一幼稚園	三田市	○	○	○	○	○
北摂学園幼稚園	三田市		○		○	○
西脇市立楠丘幼稚園	西脇市				○	○
西脇市立桜丘幼稚園	西脇市				○	○
福知山市立大正幼稚園	京都府			○	○	○
豊中文化幼稚園	大阪府				○	○
保育園・幼稚園 合計 (12校)						
神戸市立高津橋小学校	神戸市	○	○	○	○	○
神戸市立桜が丘小学校	神戸市				○	○
神戸市立山田小学校	神戸市			○	○	○
神戸市立若宮小学校	神戸市				○	○
神戸市立狩場台小学校	神戸市				○	○
神戸市立大池小学校	神戸市	○	○	○	○	○
神戸市立淡河小学校	神戸市				○	○
神戸市立筑紫が丘小学校	神戸市	○	○	○	○	○
神戸市立唐櫃小学校	神戸市				○	○
神戸市立藤原台小学校	神戸市	○	○	○	○	○
神戸市立箕谷小学校	神戸市				○	○
神戸市立有瀬小学校	神戸市	○	○	○	○	○
神戸市立有野小学校	神戸市	○	○	○	○	○
神戸市立有野東小学校	神戸市			○	○	○
芦屋市立岩園小学校	芦屋市				○	○
芦屋市立精道小学校	芦屋市	○	○		○	○
芦屋市立潮見小学校	芦屋市		○	○	○	○
甲子園学院小学校	西宮市				○	○
西宮市立甲陽園小学校	西宮市			○	○	○
西宮市立上ヶ原南小学校	西宮市			○	○	○
西宮市立生瀬小学校	西宮市	○	○		○	○
西宮市立段上小学校	西宮市			○	○	○
尼崎市立園田北小学校	尼崎市				○	○
尼崎市立七松小学校	尼崎市				○	○
尼崎市立成文小学校	尼崎市				○	○
尼崎市立武庫の里小学校	尼崎市				○	○
伊丹市立花里小学校	伊丹市	○		○	○	○
伊丹市立昆陽里小学校	伊丹市	○	○	○	○	○
伊丹市立桜台小学校	伊丹市	○	○	○	○	○
伊丹市立笹原小学校	伊丹市			○	○	○
伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市	○	○	○	○	○
伊丹市立池尻小学校	伊丹市	○	○	○	○	○
伊丹市立天神川小学校	伊丹市	○	○	○	○	○
三田市立あかしあ台小学校	三田市	○	○	○	○	○
三田市立すずかけ台小学校	三田市	○	○	○	○	○
三田市立ゆりのき台小学校	三田市	○			○	○

学 校 名	地域	17	18	19	20	21
三田市立学園小学校	三田市	○			○	○
三田市立狭間小学校	三田市	○	○	○	○	○
三田市立広野小学校	三田市	○	○	○	○	○
三田市立三輪小学校	三田市		○	○	○	○
三田市立弥生小学校	三田市	○	○	○	○	○
川西市立加茂小学校	川西市	○	○		○	○
川西市立久代小学校	川西市		○		○	○
川西市立清和台小学校	川西市	○			○	○
川西市立川西小学校	川西市	○	○	○	○	○
川西市立川西北小学校	川西市				○	○
川西市立東谷小学校	川西市			○	○	○
川西市立北陵小学校	川西市		○	○	○	○
川西市立明峰小学校	川西市				○	○
川西市立陽明小学校	川西市	○	○	○	○	○
小林聖心女子学院小学校	宝塚市		○	○	○	○
宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市	○	○	○	○	○
宝塚市立安倉北小学校	宝塚市		○	○	○	○
宝塚市立丸橋小学校	宝塚市				○	○
宝塚市立高司小学校	宝塚市				○	○
宝塚市立仁川小学校	宝塚市	○			○	○
宝塚市立西山小学校	宝塚市	○	○	○	○	○
宝塚市立宝塚小学校	宝塚市	○	○	○	○	○
稲美町立天満東小学校	加古郡稲美町				○	○
播磨町立蓮池小学校	加古郡播磨町	○	○	○	○	○
高砂市立伊保小学校	高砂市	○	○	○	○	○
高砂市立荒井小学校	高砂市				○	○
明石市立錦浦小学校	明石市	○	○	○	○	○
明石市立山手小学校	明石市	○			○	○
明石市立大久保小学校	明石市				○	○
明石市立沢池小学校	明石市				○	○
加西市立賀茂小学校	加西市		○	○	○	○
加西市立北条小学校	加西市	○	○	○	○	○
加東市立東条東小学校	加東市	○	○	○	○	○
加東市立米田小学校	加東市				○	○
西脇市立芳田小学校	西脇市				○	○
市川町立瀬加小学校	神崎郡市川町				○	○
姫路市立広畑第二小学校	姫路市				○	○
姫路市立手柄小学校	姫路市				○	○
姫路市立勝原小学校	姫路市	○			○	○
南あわじ市立松帆小学校	南あわじ市	○		○	○	○
京都府舞鶴市立倉梯小学校	京都府				○	○
京都府舞鶴市立大浦小学校	京都府				○	○
福知山市立庵我小学校	京都府				○	○
大阪府茨木市立玉櫛小学校	大阪府				○	○
大阪府茨木市立山手台小学校	大阪府	○	○		○	○
大阪府茨木市立春日小学校	大阪府	○	○		○	○
大阪府高槻市立津之江小学校	大阪府		○		○	○
追手門学院小学校	大阪市	○	○	○	○	○
大阪教育大学附属池田小学校	大阪府	○	○	○	○	○
大阪府池田市立呉服小学校	大阪府	○	○	○	○	○
大阪府池田市立細河小学校	大阪府		○		○	○

学 校 名	地域	17	18	19	20	21
大阪府池田市立石橋小学校	大阪府	○		○	○	○
小学校 合計 (88 校)						
神戸市立押部谷中学校	神戸市				○	○
神戸市立広陵中学校	神戸市		○		○	○
神戸朝鮮初級中学校	神戸市	○	○		○	○
武庫川女子大学附属中学校	西宮市			○	○	○
尼崎市立武庫中学校	尼崎市				○	○
加古川市立山手中学校	加古川市				○	○
加西市立泉中学校	加西市		○	○	○	○
西脇市立西脇南中学校	西脇市		○	○	○	○
多可町立中町中学校	多可町中区				○	○
兵庫県立大学附属中学校	赤穂郡上郡町			○	○	○
赤穂市立赤穂東中学校	赤穂市				○	○
宍粟市立山崎南中学校	宍粟市			○	○	○
豊岡市立港中学校	豊岡市				○	○
豊岡市立日高東中学校	豊岡市				○	○
豊岡市立豊岡南中学校	豊岡市				○	○
豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市			○	○	○
香美町立香住第一中学校	香美町				○	○
丹波市立市島中学校	丹波市		○	○	○	○
開明中学校	大阪府	○	○	○	○	○
関西大倉中学校	大阪府	○	○	○	○	○
同志社香里中学校	大阪府		○		○	○
中学校 合計 (21 校)						
県立御影高等学校	神戸市				○	○
県立舞子高等学校	神戸市	○	○	○	○	○

学 校 名	地域	17	18	19	20	21
県立西宮北高等学校	西宮市	○	○	○	○	○
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市	○	○	○	○	○
県立宝塚北高等学校	宝塚市	○	○	○	○	○
県立福崎高等学校	神崎郡福崎町	○	○	○	○	○
県立篠山鳳鳴高等学校	篠山市	○	○	○	○	○
県立柏原高等学校	丹波市	○	○	○	○	○
愛媛県立松山南高等学校	愛媛県	○		○	○	○
京都府立農芸高等学校	京都府				○	○
京都府立桃山高等学校	京都市		○	○	○	○
香川県立観音寺第一高等学校	香川県			○	○	○
大阪府立泉北高等学校	堺市	○	○	○	○	○
大阪府立北野高等学校	大阪市	○	○	○	○	○
和歌山県立海南高等学校	和歌山県	○	○	○	○	○
高等学校 合計 (15 校)						
神戸大学理学部地球惑星科学科	神戸市	○		○	○	○
兵庫教育大学	加東市	○	○	○	○	○
広島女学院大学	広島県				○	○
大阪大学理学部化学科	大阪府		○	○	○	○
大阪府立大学生命環境科学部	堺市	○	○		○	○
大学 合計 (5 校)						
県立神出学園	神戸市			○	○	○
その他 学校 合計 (1 校)						
合 計 (142 校)						

# 来館一般団体一覧

## ◆県内

団体名	所在地		
松井幼稚園 PTA	多可郡多可町	加東市やしろアフタースクール	加東市
多可町教育委員会	多可郡多可町	加東市立東条西小学校元気クラブ	加東市
さくらグループ	たつの市	河高老人会	加東市
たつの市生きがいセンター	たつの市	宮前子ども会	加東市
ピアしんぐう	たつの市	窪田子ども会	加東市
原光明会	たつの市	三草・福田アフタースクール	加東市
高齢者大学有年援	たつの市	森子ども会	加東市
西播磨高齢者文化大学	たつの市	滝野東小学校アフタースクール	加東市
西播磨文化大学2年生	たつの市	牛谷団地子ども会	高砂市
大道子ども会	たつの市	高砂市身障者福祉協会	高砂市
中井奥垣内子ども会	たつの市	小松原子ども会	高砂市
片島長生会	たつの市	中筋1丁目子ども会	高砂市
本條子ども会	たつの市	美保里老人クラブ	高砂市
龍野商工会議所 理財部会	たつの市	円応寺子ども会	佐用郡佐用町
浦上子ども会	美方郡香美町	佐用中学校 PTA	佐用郡佐用町
こどもエコクラブ グリーンキッズ	芦屋市	三河小学校 PTA	佐用郡佐用町
芦屋インターナショナルスクール	芦屋市	上長尾子ども会	佐用郡佐用町
夢くらぶ	芦屋市	JA兵庫六甲三田支店	三田市
ガールスカウト日本連盟兵庫支部伊丹市	伊丹市	JA兵庫六甲女性協議会	三田市
連絡協議会		SAS 絵画サークル	三田市
コープ野村第一自治会	伊丹市	けやき台児童クラブ/けやき台第2児童クラブ	三田市
伊丹市文化財ボランティアの会	伊丹市	こぐまちゃんの会	三田市
荻野春日倶楽部	伊丹市	こぐまちゃんの会	三田市
御願塚自治会	伊丹市	スイートポテト	三田市
口酒井自治会	伊丹市	すずかけ台児童クラブ	三田市
兵庫障害者職業能力開発校	伊丹市	つつじが丘児童クラブ	三田市
稲見町じんけんワクワクスクール	加古郡稲美町	ゆりのき台児童クラブ	三田市
稲美町昭和苑老人会	加古郡稲美町	井の草さつき会	三田市
金守老人会	加古郡稲美町	介護老人保健施設アルカディア	三田市
母里学童保育所	加古郡稲美町	介護老人保健施設アルカディア	三田市
播磨町ゆめづくり塾	加古郡播磨町	介護老人保健施設アルカディア	三田市
本荘中さわやか倶楽部	加古郡播磨町	学園児童クラブ	三田市
いきいきサロン池の内	加古川市	九陵会	三田市
いなみ野学園園芸科	加古川市	県立有馬富士公園自然学習センター・展示交流員養成講	三田市
サークルつくしんぼ	加古川市	三田ウッディサティ イオンチアーズクラブ	三田市
リバーサイドパレス自治会(加古川市)	加古川市	三田の「魅力探検寺子屋」	三田市
加古川市立鳩里小学校 PTA	加古川市	三田ゆかりの会	三田市
加古川市老人大学院 OB	加古川市	三田ライオンズクラブ	三田市
賀古の里大学	加古川市	三田広野児童クラブ	三田市
坂元町内会	加古川市	三田市高齢者大学	三田市
志方西山子ども会	加古川市	三田市高齢者大学教養講座	三田市
西条子ども会	加古川市	三田市立松が丘児童クラブ・高平児童クラブ	三田市
池田東浜少年団	加古川市	三田児童クラブ	三田市
平岡東少年団	加古川市	三輪児童クラブ第2児童クラブ	三田市
万葉ハイソ PTA	加古川市	小野児童クラブ	三田市
宮前区自治会	加西市	杉菜の会	三田市
坂元町子ども会	加西市	兵庫中央病院つわぶき会	三田市
子どもチャレンジクラブ	加西市	弥生児童クラブ	三田市
繁昌ハイソ子ども会	加西市	こもれび	三木市
富合はつらつ委員会	加西市	学校北エブロン会	三木市
富田まちづくり推進協議会	加西市		
別府東子ども会	加西市		

環境学習会	三木市	神戸市立小部小学校野球部	神戸市
広野大空・ひまわり学級	三木市	神戸大学ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット	神戸市
三木市高齢者大学	三木市	神戸大学技術職員研修	神戸市
三木市高齢者福祉センター	三木市	神戸鳥取県人会	神戸市
三木市高齢者福祉センター高齢者生きがいセミナー	三木市	神戸北プロバスケット	神戸市
大沢子ども会(三木市)	三木市	須磨区子ども会連合会	神戸市
大島婦人会	三木市	垂水区老人クラブ連合会	神戸市
中自由が丘1丁目子ども会	三木市	水谷子ども会	神戸市
しろう地区営農組合	宍粟市	星空観察クラブ「れいんぼうすたあ」	神戸市
宍粟市消防団山崎支団	宍粟市	泉台1丁目自治会	神戸市
蔦沢地区老人会	宍粟市	多井畑ふれあいまちづくり協議会	神戸市
野々上子ども会	宍粟市	大沢たんぼぼクラブ	神戸市
友染会	宍粟市	大池少年野球クラブ	神戸市
篠山市立日置小学校解放学級	篠山市	丹波竜化石発掘現場見学ツアー	神戸市
篠山市老人クラブ連合会西紀支部	篠山市	長田区老人クラブ連合会	神戸市
篠山地区更生保護女性会	篠山市	天寿会	神戸市
松寿会 第九クラブ	篠山市	南多聞台狩口台友愛訪問グループ	神戸市
杉子ども会	篠山市	南別府自治会	神戸市
波賀尾グループ	篠山市	板宿ふれあいのまちづくり協議会	神戸市
久保木町老人会	小野市	舞子地区民生児童委員協議会	神戸市
小野市垂井町子ども会	小野市	兵庫県教育研究会生物部会	神戸市
青野ヶ原町老人会	小野市	兵庫県農政環境部環境創造局 自然環境課	神戸市
(財)ひょうご環境創造協会	神戸市	兵庫県立美術館 ボランティア研修	神戸市
JAF兵庫支部 午後の部	神戸市	北五葉ふれあいのまちづくり協議会	神戸市
JAF兵庫支部 午前の部	神戸市	北摂支部少年会	神戸市
NPO法人 シニアしごと創造塾	神戸市	市川町消費者の会	神崎郡市川町
アメニティホーム夢野	神戸市	市川町谷子ども会	神崎郡市川町
ガーデンハウス名谷	神戸市	上瀬加子ども会	神崎郡市川町
つつじが丘ふれあいまちづくり協議会	神戸市	神河町中央公民館	神崎郡神河町
デイサービスげんきながら	神戸市	神河町中央公民館	神崎郡神河町
ひょうご創造環境協会	神戸市	いなみ野神崎	神崎郡福崎町
ボーイスカウト神戸第45団	神戸市	シルバー親睦会	神崎郡福崎町
ヨゼフ寮	神戸市	共済会	神崎郡福崎町
ヨゼフ寮	神戸市	市川流域アメニティ研究会	神崎郡福崎町
菊水ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	神谷老人会	神崎郡福崎町
救護施設ヨハネ寮	神戸市	西治子ども会	神崎郡福崎町
魚崎親交会	神戸市	南大貫子ども会	神崎郡福崎町
玉津民児協	神戸市	福崎町駅前子ども会	神崎郡福崎町
県立東灘高等学校PTA	神戸市	アイビーハイツ甲子園	西宮市
県立夢野台高等学校 親鸞会	神戸市	ビリーフ	西宮市
鉱物クラブ	神戸市	レインボー親子会	西宮市
高尾台管理組合	神戸市	塩瀬コープ委員会	西宮市
国際協会 335-A 地区ライオンズクラブ YE委員会	神戸市	苦楽園子ども会	西宮市
三菱電機(株)	神戸市	甲陽園婦人会	西宮市
山の街少年野球部	神戸市	阪神電鉄労組本社支部	西宮市
上筒井ひかり子ども会	神戸市	上甲子園公民館推進委員会	西宮市
新生楠会	神戸市	上大市第二自治会	西宮市
神戸YMCA	神戸市	西宮市きのこクラブOB会	西宮市
神戸教悠会	神戸市	西宮市職員労働組合 現業支部	西宮市
神戸市シルバーカレッジ	神戸市	西宮市段上西青少年愛護協議会	西宮市
神戸市遺族会連合会女性部	神戸市	西宮市立総合教育センター	西宮市
神戸市教育委員会理科実践力向上研修	神戸市	西宮青年生活学校	西宮市
神戸市西区月が丘ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	西宮協浜校区老連	西宮市
神戸市立岩岡中学校草名木グループ	神戸市	日本キリスト協会西宮中央協会日曜学校	西宮市
神戸市立魚崎児童館	神戸市	歴史の舞台を実見する 散策の会	西宮市
		うれしの学園生涯大学学友会 西脇多可	西脇市

丹波支部		尼崎市健康福祉局「親と子の健康回復事業」	尼崎市
黒田庄町愛育班	西脇市	尼崎市武庫地区民生児童協議会	尼崎市
西脇多可少年消防クラブ	西脇市	尼崎市立小学校教頭会	尼崎市
西脇多可婦人防火クラブ	西脇市	尼崎東防犯協会杭瀬支部	尼崎市
和布町子ども会	西脇市	武庫地区会館登録同好会連絡会	尼崎市
上郡エコサークル	赤穂郡上郡町	武庫東自治会	尼崎市
塩屋地区地域福祉推進連絡会	赤穂市	立花民協	尼崎市
環境衛生同業組合	赤穂市	たじまJA女性会村岡ブロック	美方郡村岡町
正保橋子ども会	赤穂市	デイサービスセンターゆめさき	姫路市
赤穂市民生児童委員障害者福祉部会	赤穂市	どんぐりの里	姫路市
ゆうゆう会	川西市	英賀保小学校PTA	姫路市
M38 有志	川西市	柿ノ丁西子ども会	姫路市
パルティK2 住宅管理委員会	川西市	佐土新子ども会	姫路市
リターナブルびんをすすめる会川西	川西市	妻鹿仲町子ども会	姫路市
現工会	川西市	城東町補習教室	姫路市
市立川西病院さくら会	川西市	植物同好会	姫路市
新田自治会	川西市	西夢前台6丁目自治会	姫路市
川西YMCA	川西市	則直子ども会	姫路市
大阪青山歴史文学博物館	川西市	中播磨地域婦人会連絡協議会	姫路市
若葉子ども会	川辺郡猪名川町	中幡 YBS	姫路市
猪名川町社会福祉協議会障害者福祉センター「希望の家すばる」	川辺郡猪名川町	的形小島自治会婦人部	姫路市
「あうんの会」介護者の集い	相生市	日本触媒労働組合研究姫路支部	姫路市
相生市山手2丁目子ども会	相生市	姫路科学館友の会	姫路市
那波野本町子ども会	相生市	姫路市飾磨民生委員児童委員協議会	姫路市
ミニサロンわかば会	丹波市	姫路市日出町子ども会	姫路市
三方寿会	丹波市	姫路北コープ委員会	姫路市
丹波市山南支部共励会	丹波市	姫路北コープ委員会	姫路市
丹波市社会福祉協議会氷上支所	丹波市	兵庫フォークリフト株式会社	姫路市
丹波市身障福祉協議会 市島支部	丹波市	保城子ども会	姫路市
丹波市中町自治会	丹波市	北野子ども会	姫路市
丹波市婦人共励会	丹波市	グリーンホーム	宝塚市
本郷子ども会	丹波市	ボーイスカウト宝塚第5団	宝塚市
山垣区	丹波市	ボーイスカウト宝塚第6団	宝塚市
丹波市青垣民生委員児童委員協議会	丹波市	ボーイスカウト宝塚第6団カブスカウト隊	宝塚市
丹波市氷上民児協東南地区	丹波市	花屋敷つつじが丘自治会	宝塚市
県立淡路景観園芸学校	淡路市	高司くすのき自治会	宝塚市
淡路市身体障害者福祉厚生会	淡路市	阪神シニアカレッジ園芸3班	宝塚市
あすなろ希望学級	朝来市	中島子ども会(宝塚市)	宝塚市
サンコーボラス子ども会	朝来市	長尾タイガース	宝塚市
わだやま作業所	朝来市	日本語の会「ともだち」	宝塚市
一品子ども会	朝来市	宝塚カブスカウト第8団	宝塚市
加都青空子ども会	朝来市	宝塚やまびこ友の会	宝塚市
口田路子ども会	朝来市	宝塚市環境政策部	宝塚市
秋葉台4区子ども会	朝来市	宝塚市立山手台小学校育成会	宝塚市
生野町六区子ども会	朝来市	宝塚市立中山桜台小学校育成会	宝塚市
朝来市和田山町岡田区子ども会	朝来市	宝塚市立老人福祉センターフレミラ環境・自然コース	宝塚市
アマフォレストの会	尼崎市	宝塚市立老人福祉センターフレミラ環境・自然コース	宝塚市
みこころ幼稚園親子学級	尼崎市	宝塚市立老人福祉センターフレミラ環境・自然コース	宝塚市
メリーマート 鍋田店	尼崎市	宝塚市立老人福祉センターフレミラ環境・自然コース	宝塚市
丸久食堂	尼崎市	宝塚市立老人福祉センターフレミラ環境・自然コース②	宝塚市
杭瀬野球スポーツ少年団	尼崎市	北摂☆きらっとバス	宝塚市
阪神医療生協長洲支部	尼崎市	こぶしサークル	豊岡市
自然と文化の森協会	尼崎市	久斗育成会	豊岡市
若竹体操教室	尼崎市	港青年クラブ	豊岡市
大西東世治会	尼崎市		
南清水若葉子ども会	尼崎市		

山本子ども会	豊岡市	東大阪市第二分区保護司会	大阪府
清滝老人クラブ	豊岡市	日吉台地区老人クラブ連合会	大阪府
西谷区	豊岡市	能勢ラグビースクール	大阪府
竹野中学校 PTA	豊岡市	別所子ども会	大阪府
土淵育成会	豊岡市	豊中市教育センター	大阪府
日高西中学校PTA	豊岡市	豊能町教科教育研究会	大阪府
豊岡公民館 まるやま学園	豊岡市	絆会	大阪府
豊岡子育て支援推進の会	豊岡市	NPOシニア自然大学研究部(環境)	大阪市
豊岡市小島区	豊岡市	イオンチアーズクラブジャスコ野田阪神店	大阪市
豊岡市日高町三方地区老人クラブ連合会	豊岡市	シニア自然大学「講師会・いつでも LOUPE の会」	大阪市
弥栄区子ども育成会	豊岡市	シニア自然大学校「自然と文化科」	大阪市
アルス子ども会	明石市	ポパイ会	大阪市
新和坂自治会	明石市	環境パートナーシップ基礎講座(兵庫)	大阪市
西大窪厚生館	明石市	住吉区老人クラブ連合会	大阪市
東藤江自治会	明石市	大阪府教育センター	大阪市
北別府寿会	明石市	大阪府国保連合会	大阪市
明石市立高齢者大学校あかねが丘学園	明石市	大阪府立北淀高等学校 PTA	大阪市
田中子ども会(揖保郡)	揖保郡太子町	中央区政協会	大阪市
すずらんの会	養父市	童夢大念仏	大阪市
元町町内会親睦旅行	養父市	日本セカンドライフ協会	大阪市
三谷幼児センター保護者会	養父市	淀川少年剣道推進会	大阪市
新町まちづくり協議会	養父市	堺市地学教育研究会	堺市
大屋文化協会	養父市	春秋会	堺市
◆県外		0-99おかやまおしえてネット	岡山県
YMCA 土曜探検クラブ	大阪府	ハートフル会	岡山県
おもと会	大阪府	第一児童クラブ ピノキオ	岡山県
シニアCITYカレッジ	大阪府	藤原子ども会	岡山県
シニア自然大学花組	大阪府	芳明児童クラブ	岡山県
シニア自然大学校「つちのこ探検隊」	大阪府	老松学区町内会婦人部	岡山県
シニア自然大学風組	大阪府	下京料飲組合	京都府
つばさ会	大阪府	亀岡市地域環境子ども村	京都府
ベル悠悠会	大阪府	子どもサイエンスレンジャークラブ	京都府
歌垣山顕彰会	大阪府	城陽市青谷コミュニティセンター	京都府
蛍池消防団	大阪府	福知山市下六人部児童センター	京都府
拳聖会	大阪府	峰山 17 区	京都府
交野古文化同好会	大阪府	網野町高齢者大学	京都府
高石市総合保健センター	大阪府	川本義郎	広島県
樹木・環境ネットワーク協会	大阪府	日本珪藻学会	三重県
小金台フットボールクラブ	大阪府	日本珪藻学会	三重県
上馬伏自治会	大阪府	湖南地域社会福祉連絡協議会	滋賀県
寝屋川市社会を明るくする運動推進委員 会	大阪府	阿南市小中学校理科教員研修会	徳島県
摂津市母子福祉会	大阪府	板野郡小学校理科研究会	徳島県
大阪 NPO 法人シニア自然大学	大阪府	冠西会	奈良県
大阪 NPO 法人シニア自然大学	大阪府	東洋シール工業(株) K4 課	奈良県
大阪 NPO 法人シニア自然大学	大阪府	魚類自然史研究会	奈良県
大阪府立和泉総合高等学校 PTA	大阪府	福井市防犯隊幹部研修会	福井県
大東市北条青少年教育センター	大阪府		

## 来館学校団体一覧

### ◆県内

#### <保育所・幼稚園>

キッズポート保育園

芦屋市立精道保育所

正覚坊保育園 東古瀬保育園

光の子保育園

三田こぼと保育園

三田市立三田保育所

若草保育園

やよい幼稚園

三田つつじが丘幼稚園

三田市立高平幼稚園

三田市立三輪幼稚園

三田市立母子幼稚園

北摂第一幼稚園

神和保育園

育ヶ丘保育園

光明保育所

小野保育所

神戸市立本山保育所

こぐまプリスクール北神戸園

育英幼稚園

高丸幼稚園

神戸市立からと幼稚園

神戸市立すずかけ幼稚園

神戸市立みどりのまち幼稚園

神戸市立東灘のぞみ幼稚園

神戸市立名谷さぼりの丘幼稚園

西舞子幼稚園・神陵台幼稚園合同

学校法人上谷学園 幸幼稚園

神戸海星女子学院マリア幼稚園

西脇市立楠丘・桜丘幼稚園

川西市所外保育

緑台幼稚園

新東三国保育園

丹波市立柏原保育所

明和幼稚園

北摂学園幼稚園

明石市立朝霧幼稚園

#### <小学校>

たつの市立東栗栖小学校

芦屋市立岩園小学校

芦屋市立宮川小学校

芦屋市立山手小学校

芦屋市立精道小学校

芦屋市立潮見小学校

伊丹市立伊丹南小学校

伊丹市立稲野小学校

伊丹市立萩野小学校

伊丹市立花里小学校

伊丹市立昆陽里小学校

伊丹市立桜台小学校

伊丹市立笹原小学校

伊丹市立瑞穂小学校

伊丹市立撰陽小学校

#### 所在地

三田市

芦屋市

加東市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三木市

小野市

小野市

小野市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

西宮市

西宮市

川西市

川西市

大阪市

丹波市

尼崎市

三田市

明石市

たつの市

たつの市

芦屋市

芦屋市

芦屋市

芦屋市

芦屋市

伊丹市

伊丹市

伊丹市

伊丹市

伊丹市

伊丹市

伊丹市

伊丹市

伊丹市

伊丹市

伊丹市立池尻小学校

伊丹市立天神川小学校

伊丹市立緑丘小学校

稲美町立天満小学校

稲美町立天満東小学校

播磨町立蓮池小学校

加古川市立平岡北小学校

加古川市立別府西小学校

加西市立賀茂小学校

加西市立西在田小学校

加西市立北条小学校

加東市立滝野南小学校

加東市立東条東小学校

加東市立米田小学校

兵庫教育大学附属小学校

高砂市立阿弥陀小学校

高砂市立伊保小学校

高砂市立荒井小学校

佐用町立上月小学校

三田市立あかしあ台小学校

三田市立すずかけ台小学校

三田市立つつじが丘小学校

三田市立ゆりのき台小学校

三田市立学園小学校

三田市立狭間小学校

三田市立広野小学校

三田市立三田小学校

三田市立三輪小学校

三田市立武庫小学校

三田市立弥生小学校

三木市立口吉川小学校

三木市立三樹小学校

三木市立緑が丘小学校

宍粟市立菅野小学校

宍粟市立土万小学校

篠山市立日置小学校

小野市立小野東小学校

神戸市立井吹東小学校

神戸市立駒ヶ林小学校

神戸市立高津橋小学校

神戸市立桜が丘小学校

神戸市立山田小学校

神戸市立若宮小学校

神戸市立狩場台小学校

神戸市立住吉小学校

神戸市立西山小学校

神戸市立大池小学校

神戸市立谷上小学校

神戸市立淡河小学校

神戸市立筑紫が丘小学校

神戸市立長尾・道場・鹿の子台小学校

神戸市立唐櫃小学校

神戸市立東町小学校

神戸市立藤原台小学校

神戸市立箕谷小学校

神戸市立箕谷小学校

伊丹市

伊丹市

伊丹市

加古郡稲美町

加古郡稲美町

加古郡播磨町

加古川市

加古川市

加西市

加西市

加西市

加東市

加東市

加東市

加東市

高砂市

高砂市

高砂市

佐用郡佐用町

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三木市

三木市

三木市

宍粟市

宍粟市

篠山市

小野市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市立有瀬小学校	神戸市	姫路市立広畑第二小学校	姫路市
神戸市立有野小学校	神戸市	姫路市立高岡小学校	姫路市
神戸市立有野台小学校	神戸市	姫路市立糸引小学校	姫路市
神戸市立有野東小学校	神戸市	姫路市立手柄小学校	姫路市
神戸大学発達科学部附属住吉小学校	神戸市	姫路市立勝原小学校	姫路市
神戸大学附属住吉小学校	神戸市	姫路市立飾磨小学校	姫路市
市川町立瀬加小学校	神崎郡市川町	姫路市立余部小学校	姫路市
神河町立粟賀小学校	神崎郡神河町	小林聖心女子学院小学校	宝塚市
福崎町立福崎小学校	神崎郡福崎町	宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市
甲子園学院小学校	西宮市	宝塚市立安倉北小学校	宝塚市
西宮市立安井小学校	西宮市	宝塚市立丸橋小学校	宝塚市
西宮市立甲陽園小学校	西宮市	宝塚市立光明小学校	宝塚市
西宮市立山口小学校	西宮市	宝塚市立高司小学校	宝塚市
西宮市立小松小学校	西宮市	宝塚市立仁川小学校	宝塚市
西宮市立上ヶ原南小学校	西宮市	宝塚市立西山小学校	宝塚市
西宮市立深津小学校	西宮市	宝塚市立西谷小学校	宝塚市
西宮市立生瀬小学校	西宮市	宝塚市立宝塚小学校	宝塚市
西宮市立段上小学校	西宮市	宝塚市立良元小学校	宝塚市
西宮市立樋ノ口小学校	西宮市	豊岡市立静修小学校	豊岡市
西脇市立芳田小学校	西脇市	明石市立貴崎小学校	明石市
川西市立加茂小学校	川西市	明石市立錦浦小学校	明石市
川西市立久代小学校	川西市	明石市立山手小学校	明石市
川西市立清和台小学校	川西市	明石市立大観小学校	明石市
川西市立川西小学校	川西市	明石市立大久保小学校	明石市
川西市立川西北小学校	川西市	明石市立大久保南小学校	明石市
川西市立多田小学校	川西市	明石市立沢池小学校	明石市
川西市立多田東小学校	川西市	明石市立谷八木小学校	明石市
川西市立東谷小学校	川西市	明石市立朝霧小学校	明石市
川西市立北陵小学校	川西市	明石市立藤江小学校	明石市
川西市立明峰小学校	川西市	明石市立二見小学校	明石市
川西市立陽明小学校	川西市	明石市立二見北小学校	明石市
川西市立緑台小学校	川西市	明石市立林小学校	明石市
猪名川町立阿古谷小学校	川辺郡猪名川町	<b>&lt;中学校&gt;</b>	
猪名川町立松尾台小学校	川辺郡猪名川町	たつの市立龍野東中学校	たつの市
丹波市立進修小学校	丹波市	播磨高原広域事務組合立 播磨高原東中 学校	たつの市
丹波市立和田小学校	丹波市	香美町立香住第一中学校	美方郡香美町
南あわじ市立松帆小学校	南あわじ市	伊丹市立西中学校	伊丹市
尼崎市立園田小学校	尼崎市	加古川市立山手中学校	加古川市
尼崎市立園田北小学校	尼崎市	加古川市立志方中学校	加古川市
尼崎市立園和小学校	尼崎市	加西市立泉中学校	加西市
尼崎市立園和北小学校	尼崎市	三木市立三木中学校	三木市
尼崎市立七松小学校	尼崎市	三木市立志染中学校	三木市
尼崎市立上坂部小学校	尼崎市	三木市立別所中学校	三木市
尼崎市立水堂小学校	尼崎市	宍粟市立山崎南中学校	宍粟市
尼崎市立成文小学校	尼崎市	小野市立小野南中学校	小野市
尼崎市立大庄小学校	尼崎市	神戸市立押部谷中学校	神戸市
尼崎市立潮小学校	尼崎市	神戸市立広陵中学校	神戸市
尼崎市立長洲小学校	尼崎市	神戸市立大池中学校	神戸市
尼崎市立難波小学校	尼崎市	神戸市立樫谷中学校	神戸市
尼崎市立尼崎北小学校	尼崎市	神戸大学附属中等教育学校	神戸市
尼崎市立浜田小学校	尼崎市	神戸朝鮮初中級学校	神戸市
尼崎市立武庫の里小学校	尼崎市	関西学院中学部	西宮市
尼崎市立武庫東小学校	尼崎市	武庫川女子大学附属中学校	西宮市
尼崎市立武庫南小学校	尼崎市	西脇市立西脇中学校	西脇市
尼崎市立名和小学校	尼崎市	西脇市立西脇南中学校	西脇市
尼崎市立立花南小学校	尼崎市	県立大学附属中学校	赤穂郡上郡町
		兵庫県立大学附属中学校	赤穂郡上郡町



赤穂市立赤穂東中学校  
 川西市立清和台中学校  
 川西市立川西中学校  
 多可町立加美中学校  
 多可町立中町中学校  
 丹波市立市島中学校  
 丹波市立氷上中学校  
 朝来市立生野中学校  
 朝来市立梁瀬中学校  
 尼崎市立武庫中学校  
 百合学院中学校  
 姫路市立高丘中学校  
 姫路市立菅野中学校  
 姫路市立大的中学校  
 豊岡市立港中学校  
 豊岡市立但東中学校  
 豊岡市立日高東中学校  
 豊岡市立豊岡南中学校  
 豊岡市立豊岡北中学校  
 太子町立太子西中学校  
 養父市立青溪中学校  
 養父市立大屋中学校  
**<高等学校>**  
 県立加古川東高等学校

赤穂市  
 川西市  
 川西市  
 多可郡多可町  
 多可郡多可町  
 丹波市  
 丹波市  
 朝来市  
 朝来市  
 尼崎市  
 尼崎市  
 姫路市  
 姫路市  
 姫路市  
 豊岡市  
 豊岡市  
 豊岡市  
 豊岡市  
 豊岡市  
 豊岡市  
 揖保郡太子町  
 養父市  
 養父市  
 加古川市

県立篠山鳳鳴高等学校  
 県立御影高等学校  
 県立神戸高塚高等学校  
 県立舞子高等学校  
 県立福崎高等学校  
 県立西宮北高等学校  
 武庫川女子大学附属高等学校  
 武庫川女子大学附属高等学校 SS クラス  
 県立多可高等学校  
 県立柏原高等学校  
 県立家島高等学校  
 県立宝塚北高等学校  
**<大学>**  
 兵庫教育大学  
 神戸大学理学部地球惑星科学科  
**<特別支援学校など>**  
 加西市立特別支援学校  
 篠山市立篠山養護学校  
 県立視覚特別支援学校  
 県立神出学園  
 神戸市立青陽西養護学校小学部  
 宝塚市立養護学校  
 県立清水が丘学園

篠山市  
 神戸市  
 神戸市  
 神戸市  
 神崎郡福崎町  
 西宮市  
 西宮市  
 西宮市  
 多可郡多可町  
 丹波市  
 姫路市  
 宝塚市  
 加東市  
 神戸市  
 加西市  
 篠山市  
 神戸市  
 神戸市  
 神戸市  
 宝塚市  
 明石市

## 共催および協力事業等

(他施設、他団体との連携事業)

### 【キャラバン事業】

地域名	開催場所(展示)	開催期間	テーマ	ビジター数
阪神北	有馬富士公園	2009年5月4日～5月5日	ひとはくミニキャラバン in 春の有馬富士フェスティバル	9220
西播磨	三河基幹集落センター	2009年7月11日～20日	古写真展	200
丹波	篠山市立中央図書館	2009年8月1日～8月31日	篠山市立中央図書館企画展「篠山に生きた古生物展」	17454
神戸	アートホール神戸	2009年8月13日～25日	神戸元町・夏の昆虫館	1918
阪神北	有馬富士公園	2009年10月17日～18日	ひとはくミニキャラバン in 秋の有馬富士フェスティバル	11240
丹波	兵庫県立陶芸美術館	2009年10月17日	ひとはくミニキャラバン in 陶芸美術館	1440
但馬	県立但馬ドーム及びその周辺 (平成21年度ふれあいの祭典 コウノトリ翔る但馬まるごと感動市 会場)	2009年11月9日	ひとはくミニキャラバン in ふれあいの祭典	320
西播磨	猪名川町立つつじが丘小学校	2010年1月21日～1月26日	ひとはくキャラバン in 猪名川町立つつじが丘小学校	1671

#### 1. 香美町(但馬)

キャラバン参画者の所属

有限責任中間法人 ハチ北高原自然協会(ハチ北観光協会)

セミナー名	実施日	会場	参加人数	内容	講師
春の自然案内人養成講座	5月28日、29日	ハチ北観光協会事務所 ならびに野外	14	自然案内のための解説書作成と、案内の実施を想定した演習により問題点等を検討した。	高橋 晃、秋山弘之、山本伸子
ホテル鑑賞ツアー	7月11日	ハチ北高原	5	ホテル観察を取り入れたイベントを協会が実施。	協会講師
ハチ北自然案内人講座ー秋の観察会	9月30日	ハチ北高原	9	自然案内の予行演習として、実際に外部の人を募集し、協会の案内人が講師になり大池周辺での自然案内を実施した。	高橋 晃、秋山弘之
ハチ北自然案内人講座ープログラム検討会	10月1日	ハチ北観光協会	7	前日の予行演習を受けて、自然案内実践のための問題点抽出とプログラムの検討を行った。	高橋 晃

#### 2. 丹波市(丹波)

キャラバン参画者の所属

丹波県民局、丹波市企画部恐竜を活かしたまちづくり課、上久下自治会、上久下振興会、篠山層群をしらべる会、地元・県内在住ボランティア

セミナー名	実施日	会場	参加人数	内容	講師
「超かんたん！カラフル化石レプリカをつくろう」	5月31日	丹波市柏原町 県立丹波の森公園	78	お湯につけると柔らかくなる樹脂「おゆまる」を使用して化石のレプリカ作りを行った。	先山 徹、加藤茂弘、古谷 裕
超丹波帯の時代、古生代とは？	6月14日	丹波市山南町 上久下地域づくりセ	21	丹波地域に広く分布する超丹波帯と、その超丹波帯が形成された古生代という時代について、解説した。	古谷 裕

		ンター			
石の見分け方講座「丹波の石を見分けよう」	7月5日	丹波市山南町 上久下地域づくりセンター	23	恐竜化石の発掘が行われている丹波地域の様々な石の見分け方を解説した。	先山 徹
微生物が語る水惑星の環境史	9月26日	丹波市山南町、上久下地域づくりセンター	3	微生物の化石を手がかりにして解明された、過去の地球の気候と海水順の変動について解説した	佐藤裕司
篠山川と武庫川の流路の争奪合戦～恐竜化石が河床に顔を出した～	10月4日	丹波市山南町、上久下地域づくりセンター	10	2万年前の古篠山川が古武庫川との間で行われた流路の争奪合戦の結果、篠山川河床に恐竜化石が顔を出すことになった。	小林文夫
丹波の恐竜化石－研究の現状と展望－	11月15日	丹波市山南町、上久下地域づくりセンター	19	丹波の恐竜化石に関する最新情報も含めて、恐竜に関する最近の話題をわかりやすく紹介した	三枝春生
石の見分け方講座－丹波珪石で火打石セットを作ろう－	12月6日	丹波市山南町、上久下地域づくりセンター	19	丹波地域で多量に産出するチャートを使った火打ち石作り。	先山徹

### 3. 佐用町(西播磨)

キャラバン参画者の所属

佐用町教育委員会、佐用町三河地域づくり協議会、佐用町南光支所、佐用町上月支所、佐用町昆虫館、NPO 法人こどもとむしの会

### 4. 川西市(阪神北)

キャラバン参画者の所属

環境省、阪神北泉民局、財団法人兵庫県園芸・公園協会一庫公園管理事務所、菊炭友の会

セミナー名	実施日・	会場	参加人数	内容	講師
エドヒガン調査研修会	6月21日	川西市黒川	14	市民グループを対象にエドヒガンの調査方法に関する現地講習を行った。	石田弘明、黒田有寿茂、小館誓治
里山調査講習会 1	7月16日	宝塚市	15	市民グループを対象に里山の調査方法に関する現地講習を行った。	石田弘明
里山調査講習会 2	8月13日	宝塚市	16	市民グループを対象に里山の調査方法に関する現地講習を行った。	石田弘明、黒田有寿茂
「対談 生物多様性の危機と里山」	9月26日	国崎クリーンセンター啓発施設	100	生物多様性の危機と里山について講演と対談を行った。	服部 保
「現地指導 猪名川の外来種対策・第1回勉強会」	9月27日	猪名川	30	猪名川の外来種について現地指導を行った。	服部 保
生物多様性里山戦略推進研修	10月4日	人と自然の博物館	93	多様性植生調査法についての研修会を行った。	服部 保、小館誓治、石田弘明、橋本佳延、黒田有寿茂
「講演 みのお森の学校」	10月10日	箕面文化・交流センター	50	里山放置林の多様性夏緑高林への変換を講義した。	服部 保
「現地指導・講演 河川環境技術研究会」	10月20日	猪名川河川事務所	30	外来種対策について指導した。	服部 保
エドヒガン調査研修会	10月22日	川西市水明	16	市民グループを対象にエドヒガンの調査	石田弘明

		台		方法に関する現地講習を行った。	
里山調査講習会 3	11月12日	宝塚市	12	市民グループを対象に里山の調査方法に関する現地講習を行った。	石田弘明
「現地指導 猪名川の外来種対策・第2回勉強会」	11月7日	猪名川	30	猪名川の外来種について現地指導を行った。	服部 保
「講演 能勢環境・農業フォーラム」	11月23日	能勢町浄るりシアター	100	猪名川上流域の里山林について講演した。	服部 保
「現地指導 外来種勉強会」	11月24日	猪名川	20	外来種に対しての勉強会を行った。	服部 保
「現地案内 箕面森林環境保全ふれあいセンター運営推進懇談会」	12月4日	川西市黒川	15	川西市黒川の里山林を案内し解説した。	服部 保
「講演 箕面山麓の植生調査発表会」	1月23日	みのお市民活動センター	120	箕面山麓の植生調査結果についての講演を行った。	服部 保
「講演 黒川地区の里山保全を体感する日帰り学習ツアー」	1月31日	国崎クリーンセンター啓発施設、川西市黒川	130	川西市黒川地区の里山保全について現地にて講演を行った。	服部 保
里山調査講習会 4	2月25日	宝塚市	24	市民グループを対象に、里山の調査によって得られたデータの解析方法に関する講習を行った。	石田弘明
エドヒガンの保全をかけて	3月25日	川西市日高町川西教育会館	40	エドヒガンの保全について講演を行った。	服部 保
エドヒガン調査研修会	3月25日	エドヒガン調査研修会	6	市民グループを対象にエドヒガンの調査方法に関する現地講習を行った。	石田弘明、黒田有寿茂
エドヒガン調査研修会	3月25日	エドヒガン調査研修会	10	市民グループを対象にエドヒガンの調査方法に関する現地講習を行った。	石田弘明、黒田有寿茂

## 5. 芦屋市(阪神南)

キャラバン参画者の所属

NPO 法人さんびーす・芦屋川に魚を増やそう会・芦屋市

セミナー名	実施日	会場	参加人数	内容	講師
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ① ～春の六甲山ハイキング～	4月26日	六甲山(芦屋市および神戸市)	7	JR芦屋駅よりバスで東お多福山登山口へ。有馬温泉にぬけるコースを歩き、サクラやツツジなどの季節の花や、樹木の新緑、草原のスミレなどを観察した。草原、夏緑樹林、針葉樹林と多様な植生も観察できた。	橋本佳延
芦屋でまなぶ自然のしくみ～親子で参加！森・川・海の自然観察会～【第2回】浜辺の鳥 食べもののとり方を観察しよう	5月9日	芦屋市(芦屋川河口部)	13	芦屋川の河口に位置する芦屋浜の浜辺において、鳥類を観察しながら、鳥と環境・他の生きものとの関係を観察した。	遠藤菜緒子
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ③ ～川の魚と水生昆虫～	6月13日	芦屋市(芦屋川上流)	75	芦屋川の上流部に位置する奥池入口にて、水生昆虫と魚類の観察を行った。きれいな水に生息する30種類以上の生物を観察することができた。	田中哲夫、三橋弘宗、北村俊平
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ④ ～森の昆虫は何を食べ、何に食べられるか～	7月18日	芦屋市	12	芦屋市の森林(八幡谷)で昆虫採集をし、食う-食われるの關係に注目して観察した。	大谷 剛
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ⑤ ～真夏の鳴く虫を聞く～	8月13日	芦屋市	29	芦屋市内の中心部をながれる芦屋川の河川敷にて観察会と事前学習会を行った。まず、生息する鳴く虫の姿と鳴き声を	大谷 剛、ひとはく連携活動グループ鳴く虫研究

				覚え、夕方に観察会を行った。	会「きんひばり」、NPO法人さんびーす
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ～芦屋の里山～	9月13日	芦屋市芦有 ゲート周辺	22	芦屋市の北部に位置する八幡谷周辺において、芦屋の森の会 2001 のメンバーが管理する里山の維持管理について観察を行った。	村上敏彦(芦屋森の会 2001)
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ⑦ ～芦屋をとりまく森のキノコ～	10月3日	芦屋市奥池	11	芦屋市の北部に位置する奥池周辺において、森林とその周辺の生えるキノコの観察を行った。	秋山弘之
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ⑧ ～モクズガニとウミボタルの観察～	11月6日	芦屋市 芦屋川	29	市民センター前の芦屋川にて、モクズガニの夜間観察を行うとともに、カゴを使つての捕獲体験を行った。	三橋弘宗、遠藤奈緒子、北村俊平
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ⑩芦屋の街 野鳥図鑑をつくらう	1月9日	芦屋中央公園とその周辺	1	芦屋中央公園およびその周辺といった身近な街の中の鳥をじっくり観察した。観察の成果は、手作り野鳥図鑑として整理した。	遠藤菜緒子
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ⑪ ～手作りカメラで自然を写そう～	2月13日	芦屋市総合運動公園	10	芦屋市総合運動公園にて、ピンホールカメラの手作りを行った。このカメラにて風景写真の撮影と現像を行った。	赤澤宏樹
芦屋でまなぶ森・川・海の自然 ⑫ ～湿地の水生動物～	3月13日	芦屋市奥池	10	芦屋市北部の奥池地区に残された湿地にて、水生動物ならびに湿地の成因について観察を行った。雨天のため、本来行事としては中止としたが、当日連絡がとれない方が多かつたため、これらの方に対して短縮版の観察会を行った。	三橋弘宗

## 6. 三田市(阪神北)

### キャラバン参加者の所属

水辺のフィールドミュージアム研究会、ありまふじフェスティバル実行委員会、有馬富士公園運営・計画協議会(兵庫県、三田市、人と自然の博物館、兵庫県園芸・公園協会、住民委員)

セミナー名	実施日	会場	参加人数	内容	講師
魚をつかまえてみよう	5月4日	県立有馬富士公園	20	福島大池でエビや小魚を捕まえ、観察を行った。	田中哲夫
プランクトンをつかまえてみよう	5月4日	県立有馬富士公園	50	福島大池でプランクトンネットにてミジンコ類の採集を行い、観察を行った。	三橋弘宗
ビワのコマをまわそう	5月4日	県立有馬富士公園	95	子供たちを対象に、ビワの若い実でつくったコマ遊びを紹介した。	上田萌子
昆虫をつかまえてみよう	5月5日	県立有馬富士公園	19	有馬富士公園で昆虫採集および観察を行った。	大谷 剛
鳥を見つけてみよう	5月5日	県立有馬富士公園	7	有馬富士公園で野鳥観察を行った。	遠藤菜緒子
折り紙でコウノトリをつくらう	5月5日	県立有馬富士公園	70	折り紙でコウノトリをつくり、人と自然との共生を紹介した。	武田重明
タネがはこばれるしくみ	5月4-5日	県立有馬富士公園	45	くだものタネの実物を使い、植物のタネと動物との関係を紹介した。	北村俊平

7. 三田市(阪神北)

キャラバン参画者の所属

ありまふじフェスティバル実行委員会、有馬富士公園運営・計画協議会(兵庫県、三田市、人と自然の博物館、兵庫県園芸・公園協会、住民委員)

セミナー名	実施日	会場	参加人数	内容	講師
ひとはく研究員と歩く有馬富士公園(植物)	10月17日	有馬富士公園	1	有馬富士公園で見られる様々な植物の観察会を行った。	藤井

8. 猪名川町(阪神北)

キャラバン参画者の所属

猪名川町立つつじが丘小学校

セミナー名	実施日	会場	参加人数	内容	講師
①「ハンミョウのはなし」	1月21日	猪名川町立つつじが丘小学校	266	1、2年生を対象に、子どもが興味を持つハンミョウについて説明した	大谷剛
②「鱗粉(りんぷん)のはなし」	1月21日	猪名川町立つつじが丘小学校	218	3、4年生を対象に、蝶や蛾の羽を覆っている鱗粉の不思議について解説した。	大谷剛
③「化石のレプリカづくりと丹波の恐竜化石」	1月21日	猪名川町立つつじが丘小学校	97	5年生を対象にアンモナイトや三葉虫の化石レプリカ(石膏)を作成した。また、丹波の恐竜化石発掘調査について説明した。	大谷剛
④「化石のレプリカづくりと丹波の恐竜化石」	1月26日	猪名川町立つつじが丘小学校	82	6年生を対象にアンモナイトや三葉虫の化石レプリカ(石膏)を作成した。また、丹波の恐竜化石発掘調査について説明した。	西岡敬三
⑤「丹波の恐竜化石～発見から第4次発掘調査まで～」	1月24日	猪名川町立つつじが丘小学校	120	PTA、近隣住民を対象に、「丹波の恐竜化石～発見から第4次発掘調査まで～」の解説を行った。また、アンモナイトの化石レプリカ(おゆまる)を作成した。	平松紳一

【アウトリーチプログラム】

月	地域	事業名	場所	開催日	博物館の 関わり	連携相手	内容 種別
4	神戸	平成21年度「六甲山魅力再 発見市民セミナー」	六甲山自然 保護センター	2009/4-2010/3	協力	六甲山を活用する 会	セミナ ー
4	中播磨	植物画研究会	人と自然の博 物館および周 辺の野外	2009/4/2-2010 /1/31	共催	GREEN GRASS	その 他
4	淡路	特別展・地球の贈り物1「生 きた宝石～モルフォ蝶の世 界～」	三原ショッピ ングプラザ・パ ルティ	2009/4/9-5/12	共催	南あわじ市教育委 員会	展示
4	阪神北	ホテル調査講習会	有馬富士自 然学習センタ ー、県立有馬 富士公園	2009/4/12	協力	特定非営利活動法 人 キッピーフレンズ	セミナ ー
4	神戸・ 阪神北	虫の世界をのぞいてみよう！	兵庫県立人と 自然の博物 館ほか	2009/4/14, 6/5, 8/5, 8/20, 8/27, 9/28, 9/30	協力	NPO法人 さんぼく らぶ	セミナ ー
4	阪神北	企画展「森の掃除屋さん」	三田市有馬 富士公園学 習センター	2009/4/18-7/1 2	共催	三田市有馬富士公 園学習センター	展示
4	中播磨	～民俗学のふるさと・銀の馬 車道ふれあい事業～「歴史 に化石がやってくる！」～第 3幕 中生代Ⅱ～	福崎町立福 崎郡歴史民 族資料館 展 示室	2009/4/25-5/1 0	共催	福崎町教育委員会	展示
5	神戸	六甲山自然保護センターに おけるヒメボタルのパネル展 示	六甲山自然 保護センター	2009/5-8	協力	兵庫県 神戸県民 局	展示
5	阪神北	みんなで展覧会に参加しよう ー芭蕉とともにつくる	伊丹市内小 学校、柿衛文 庫	2009/5-10	協力	財団法人 柿衛文 庫	その 他
5	丹波	GWフェア 恐竜フェスティバ ル	丹波の森ショ ッピングタウン	2009/5/1-6	協力	株式会社 丹波の 森ショッピングタウン	展示
5	丹波	「恐竜キッズパーク」	ゆめタウン	2009/5/2	共催	(株)タンバンベルグ	展示、 セミナ ー
5	阪神北	メダカの放流にむけて	宝塚市立 西 谷小学校	2009/5/13	協力	宝塚市立 西谷小 学校	その 他
5	阪神北	日本珪藻学会 第30回大会	兵庫県立人と 自然の博物 館	2009/5/16-17	共催	日本珪藻学会	学会
5	北播磨	「NPO法人北播磨市民活動 支援センター 自然観察サ ポーターチーム活動への支 援事業」	小野市うるお い交流館エク ラ内および北 播磨地域の 野外施設等	2009/5/16-201 0/3	共催	NPO法人北播磨市 民活動支援センター	その ほか
5	神戸	大人の理科教室	神戸新聞文 化センター	2009/5/31, 6/7, 6/21, 7/5, 7/19, 8/2	共催	(社)神戸新聞文化 センター 神戸本部	セミナ ー
6	丹波	現生貝エビと篠山層群化石 探索会	西紀南小学 校	2009/6/7	共催	西紀南部開発促進 協議会	展示・ セミナ ー

6	阪神北	ひとほく大谷先生のホテル観察会と鳴く虫の夕べ	兵庫県立人と自然の博物館ほか	2009/6/14	協力	ゆりのきフィールドウォーカー	セミナー
6	丹波	武庫川上流部の魚類調査	武庫川上流部	2009/6/18	共催	兵庫県立篠山産業高等学校丹南校	その他
6	阪神北	兵庫県高等学校教育研究会生物部会 丹有支部 第1回支部会	篠山産業高等学校丹南校	2009/6/18	協力	兵庫県高等学校教育研究会生物部会 丹有支部 兵庫県立有馬高等学校	その他
6	丹波	第4回姫ボタル祭り	丹波市山南地域	2009/6/20, 27, 7/4, 11	共催	姫ボタル祭り実行委員会	その他
6	阪神北	昆虫アドベンチャー	三田市波豆川方面	2009/6/27-28	共催	ひとほく連携活動グループ run♪run♪ plaza	セミナー
7	丹波	平成21年度 森林動物研究センター「企画展」	兵庫県庁ほか	2009/7-12	協力	兵庫県森林動物研究センター	展示
7	阪神北	ドリームスタジオ体験セミナー	兵庫県立人と自然の博物館	2009/7/5,7/19, 8/2,8/23,8/30	共催	NPO法人 人と自然の会	セミナー
7	阪神北	企画展連携イベント 河南堂珍元斎のお絵書き講談「うちんち大好き すからべえ」	三田市有馬富士公園学習センター	2009/7/5	共催	三田市有馬富士公園学習センター	その他
7	阪神南	尼崎市いきいき100万歩運動事業 シニアウォーキング入門教室	尼崎市立老人福祉センター	2009/7/7,8/4,11/17,12/15	協力	社会福祉法人 尼崎市社会福祉協議会	セミナー
7	東播磨	パパといっしょの昆虫アドベンチャー	明石公園	2009/7/12	共催	ひとほく連携活動グループ run♪run♪ plaza	セミナー
7	神戸	世界の鳴く虫昆虫展	地方職員共済組合 有馬保養所 瑞宝園	2009/7/17-8/31	共催	地方職員共済組合 有馬保養所 瑞宝園	展示, セミナー
7	阪神北	皆既日食、直前案内-黒い太陽を見よう-	兵庫県立人と自然の博物館	2009/7/18	共催	NPO法人 人と自然の会・星の会	セミナー
7	淡路	バリフラワーショー「アジアのおもしろ昆虫展」	兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館	2009/7/18-9/6	共催	兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館	展示
7	但馬	ひとほく博士と行くハチ北高原サマースクール'09	兵庫県立人と自然の博物館、ハチ北高原	2009/7/19,7/24,8/1,8/15,8/23	共催	ひとほく連携活動グループ run♪run♪ plaza	セミナー
7	大阪府高槻市	たかつき子ども自然体験学校 昆虫標本づくり	大阪府衛生会地域交流支援センター	2009/7/19,8/30	協力	特定非営利活動法人たかつき	セミナー
7	神戸	六甲山自然保護センターにおける夏休み特別展示「六甲山にちなむ生き物たち」	県立六甲山自然保護センター	2009/7/20-8/30	協力	兵庫県 神戸県民局	展示
7	阪神北	三田市子ども環境セミナー	兵庫県立人と自然の博物館ほか	2009/7/22, 26, 30, 31	協力	三田市	セミナー



7	淡路	奇跡の星の植物館 少年少女自然科学教室	兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館	2009/7/23-24	協力	兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館	その他
7	東播磨	天文ひとはく科楽セミナー	明石市立天文科学館	2009/7/26,8/2,8/9	協力	明石市立天文科学館	セミナー
7	但馬	夏休み！ふるさといきものわくわく館	朝来市立ヒメハナ公園うつぎの館	2009/7/29-8/9	共催	山東の自然に親しむ会	展示・セミナー
7	島根県松江市	子ども塾「スーパーヘルンさん講座」	島根県立青少年の家	2009/7/29-30	協力	島根県松江市役所	セミナー
8	北播磨	昆虫展「北はりま昆虫展」	北はりま田園空間博物館 総合案内所 体験学習コーナー	2009/8/1-16	共催	特定非営利活動法人 北はりま田園空間博物館	展示
8	丹波	篠山市立中央図書館企画展「篠山に生きた古生物展」	篠山市立中央図書館	2009/8/1-30	共催	篠山市立中央図書館	展示
8	神戸	2009年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」	神戸市立六甲山小学校・記念碑台周辺	2009/8/2	協力	六甲山を活用する会	その他
8	阪神北	鳴く虫カードで遊ぼう	兵庫県立人と自然の博物館	2009/8/9	共催	ひとはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」	セミナー
8	神戸	神戸元町・夏の昆虫館 ～この虫知っとおで。小さな生きものたち～	アートホール神戸	2009/8/13-25	共催	財団法人 兵庫県学校厚生会	展示
8	淡路	淡路文化会館「いざなぎ学園」高齢者大学講座	淡路文化会館	2009/8/26,12/9	協力	兵庫県淡路県民局 県民室淡路文化会館	セミナー
8	阪神北	第5回 みやまあかね祭	宝塚ゴルフ倶楽部	2009/8/31	共催	ひとはく連携活動グループあかねちゃんクラブ	その他
9	奈良県	秋の伊吹山高山植物観察	伊吹山	H21.9.8	共催	ひとはく連携活動グループ 希少植物研究会	セミナー
9	多賀町	企画展「秋の鳴く虫展 ～パッタ・コオロギ・キリギリスの仲間たち～」	多賀町立博物館	2009/9/19-11/3	協力	多賀町立博物館	展示
9	神戸	県美ひとはく連携事業「ひとはく“だまし”セミナー」	兵庫県立美術館	2009/9/22	協力	兵庫県立美術館	セミナー
9	但馬	ハチ北自然高原 ～小さな秋みつけた～ モニターツアー	ハチ北高原 (大沼付近)	2009/9/30-10/1	共催	ハチ北観光協会	セミナー
10	阪神北	親と子の鳴く虫の夕べ	道場町有野川周辺	2009/10/3	共催	ひとはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」	セミナー
10	中播磨	柳田國男のかまきりの話	財団法人 柳田國男・松岡家顕彰会記念館	2009/10/4	協力	財団法人 柳田國男・松岡家顕彰会記念館	セミナー

10	阪神北	生物多様性里山戦略推進 研修－植生調査・解析方法 の実習－	兵庫県立人と 自然の博物 館	2009/10/4	共催	北摂里山博物館振 興協議会	セミナ ー
10	神戸	環境NGO・NPO Hyogo対 話～生物多様性の危機！ 地球温暖化が与える影響～	甲南大学	2009/10/11	後援	財団法人ひょうご環 境創造協会	シンポ ジウム
10	阪神北	里山観察会	妙見山	2009/10/11	協力	川西里山クラブ	セミナ ー
10	阪神北	第49回 魚類自然史研究会	兵庫県立人と 自然の博物 館ほか	2009/10/17,18	共催	魚類自然史研究会	その 他
10	西播磨	いどうこんちゅうかん	兵庫県立三 木山森林公 園ほか	2009/10/18,22, 23	共催	佐用町昆虫館(NPO 法人こどもとむしの 会)	その 他
10	東播磨	東播磨南北道路部分開通イ ベント「県立人と自然の博物 館展示コーナー」	加古川市神 野町福留(東 播磨南北道 路)	2009/10/25	協力	兵庫県東播磨県民 局加古川土木事務 所 東播磨南北道 路対策室	展示
11	阪神北	平成21年度 有馬富士公園 公開セミナー	有馬富士公 園	2009/11/7,8,28, 29	共催	兵庫県阪神北県民 局宝塚土木事務所	セミナ ー
11	阪神北	秋の箕面公園植物観察	箕面公園	2009/11/12	共催	ひとほく連携活動グ ループ 希少植物 研究会	セミナ ー
11	神戸	神戸大学学園祭「六甲祭」 第2ステージ	神戸大学六 甲台地区特 設ステージ	2009/11/13-14	協力	神戸大学放送委員 会	その 他
11	阪神北	橿原市昆虫館開館20周年 記念特別企画・鳴く虫巡回 展ファイナル「バッタ・コオロ ギ・キリギリス」展	橿原市昆虫 館	2009/11/17-29	協力	橿原市昆虫館	展示
12	阪神北	平成21年度環境パートナー シップ基礎講座(兵庫)「生 物多様性保全施策」をまな ぶ	兵庫県立人と 自然の博物 館	2009/12/1	共催	特定非営利活動法 人 大阪府民環境 会議	セミナ ー
12	阪神北	昆虫学公開研究発表会(日 本昆虫学会近畿支部2009 年度大会・日本鱗翅学会近 畿支部第139回例会)	兵庫県立人と 自然の博物 館 ホロンピ アホール	2009/12/12	共催	日本昆虫学会近畿 支部	シンポ ジウム
12	神戸	男鹿和雄展関連イベントに 関する連携	兵庫県立美 術館レクチャ ールーム	2009/12/13, 21-2010/1/15	共催	兵庫県立美術館	展示・ セミナ ー
1	阪神北	ひとほくのお正月～日本の 昔あそび～	兵庫県立人と 自然の博物 館	2010/1/3	共催	NPO法人 人と自然 の会	セミナ ー
1	阪神北	兵庫県南部地震(阪神・淡 路大震災)犠牲者追悼のつ どい 第15回あなたの思いを 灯してください ～失った命 の数をロウソクの灯火に込め て～ 第15回開催テーマ「ぬ くもり」	伊丹市昆陽 池公園	2010/1/16,17	協力	ボランティア団体 ユ ー・アイ・アソシエー ション	その 他

1	神戸	2010年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」	神戸市立六甲山小学校・記念碑台周辺	2010/1/31	協力	六甲山を活用する会	その他
1	淡路	北淡国際活断層シンポジウム2010	北淡震災記念公園セミナーハウス	2010/1/17	協力	北淡国際活断層シンポジウム実行委員会	シンポジウム
1	神戸	六甲山のキノコ展 ～リアルな森の妖精たち～	御影公会堂	2010/1/9-11	共催	兵庫県立御影高等学校	展示
3	大阪府高槻市	企画展「安田守昆虫展ー不思議なムシ 巻いた葉い卵をうむオトシブミ」	芥川緑地資料館(あくあびあ芥川)	2010/3/6-5/9	共催	芥川緑地資料館	展示・セミナー
3	阪神北	タネから育てる山野草(実習)	兵庫県立人と自然の博物館	2010/3/17	共催	ひとはく連携活動グループ 希少植物研究会	セミナー
3	徳島県	美術を楽しむ・わたくし流 謎の講談師・河南堂珍元斎のたのしい美術講談	徳島県立近代美術館	2010/3/21	協力	徳島県立近代美術館	セミナー

## ひとはくフェスティバル'09 参画団体リスト(順不同)

### ■後援・協賛団体

株式会社北摂コミュニティ開発センター  
株式会社ミツカングループ本社  
兵庫県阪神北県民局  
財団法人兵庫丹波の森協会  
株式会社エフコーポレーション  
丹波市

### ■ステージ出演団体・キャラクター

兵庫県立有馬高等学校吹奏楽部  
猪名川町のいなぼう  
加東市の加東伝の助  
篠山チルドレンズミュージアムのイノッキー  
三田市のキッピー  
宍粟市のしーたん  
須磨海浜水族園ボランティア SAPV のベニクラ  
ゲ&ウミガメ  
丹波市の丹波竜のちーたん  
兵庫県のマスコットはばタン

### ■イベント開催団体

GREEN GRASS  
NPO 法人体験型科学教育研究所  
NPO 法人人と自然の会「ぐるーぷ缶バッジ」  
NPO 法人人と自然の会「古代の会」  
NPO 法人人と自然の会「ネイチャークラフト・クラブ」  
NPO 法人人と自然の会「花工房」  
NPO 法人人と自然の会「星の会」  
run♪run♪plaza  
明石市立天文科学館  
石ころクラブ  
伊丹市昆虫館友の会  
(株)エフコーポレーション  
希少植物研究会  
キッズプラザ大阪  
九州国立博物館  
県立有馬富士公園(パークセンター&自然学

習センター)

県立国見の森公園  
県立ささやまの森公園  
県立宝塚西谷の森公園  
県立なか・やちよの森公園  
県立やしらの森公園  
県立ゆめさきの森公園運営協議会  
考古楽倶楽部  
篠山チルドレンズミュージアムの支援団体「ミュージアム・クラブ」  
篠山層群をしらべる会  
佐用昆虫館  
三田マッキントッシュ・ユーザーズグループ(SMUG)

須磨海浜水族園ボランティア SAPV

ちんげんさい一座

西宮市貝類館

兵庫陶芸美術館

ボーイスカウト三田第一団

### ■飲食系出店団体

NPO 法人あいな育みの会  
居酒屋 さくら  
ガールスカウト日本連盟兵庫県第90団  
ガキッコクラブ  
加東市観光協会  
(株)飛行船  
(株)北摂コミュニティ開発センター  
神戸三田新阪急ホテル  
社会福祉法人まほろば  
太陽酒造株式会社  
丹波篠山あくあファーム  
福助グループ  
ボーイスカウト三田第一団  
まちづくり三田  
ミツカンよかわビオトープ倶楽部

## フロアサービス実績一覧

イベント名	内容	参加者数	実施回数
デジタル紙芝居	「ススキ草原のオーケストラ」	534	26
	「スミスネズミと100年の森」	847	47
	「丹波の恐竜たんたんの ひとつはくナ イトミュージアム」	2431	93
	「たんぽぽレストラン」	858	42
	「ぶくぶくあわわ」	2558	74
	「アリマキのドロップ」	290	14
	「コウちゃんの60日間」	947	48
レトロ紙芝居	「カーン～少年とトラの約束～」	265	12
展示解説	「いのちの歴史ツアー」	28	3
	「丹波の恐竜ツアー」	299	27
	「氷上回廊」	168	19
	「兵庫の自然自慢ツアー」	48	8
	「ボルネオジャングル探検」	2096	146
	「トラと兵庫の動物」	108	8
FSとあそぼう	「かたつむりペーパークイリング」	38	2
	「鳴く虫おめんを作ろう！」	36	2
	「鳥の巣づくり」	149	7
	「石であそぼう」	25	1
	「うきうきおりがみ～コウノトリ～」	23	2
	「おりがみでツリーをつくろう」	33	2
	「画はくの日」	299	19
	「川で魚釣り」	58	2
	「木とあそぼう！」	47	2
	「恐竜お面づくり」	21	2
	「恐竜おりがみ」	14	1
	「恐竜からくり絵びょうぶ」	32	2
	「恐竜のたまごを探そう」	51	2
	「恐竜のリースづくり」	114	2
	「恐竜骨パズル」	355	15
	「恐竜万華鏡」	293	6
	「恐竜モビール」	34	2
	「ぐるぐるモビール」	4	2
	「けんちくかの日」	85	4

	「コウノトリカードづくり」	31	2
	「しかけ絵本づくり」	48	2
	「星座万華鏡」	83	2
	「凧づくり」	40	1
	「七夕かざりをつくろう」	28	2
	「トラ・トラ ペーパークラフト」	60	3
	「トラのかべかけをつくろう！」	44	2
	「トラの凧をつくろう！」	31	2
	「鳴く虫宝さがしラリー」	86	2
	「パタパタ・コウノトリをつくろう」	22	2
	「パタパタ・プテラドン」	57	2
	「バルーンアート」	87	3
	「ヒオウギガイのうちわづくり」	53	2
	「ひとはくふしぎ発見」	33	2
	「兵庫のカルタとり」	22	2
	「森の妖精たちとあそぼう」	39	2
	「竜と獣の復元画をかこう！ 恐竜復活」	14	1
	「折り紙でさくらをおろう！」	35	2
FSとあそぼうスペシャル	「恐竜おりがみ」	56	1
	「恐竜かべかけづくり」	50	1
	「恐竜しおりづくり」	19	1
	「恐竜のストラップづくり」	52	1
	「恐竜バルーンアート」	122	1
	「恐竜ペーパークラフト」	151	2
	「恐竜万華鏡」	98	1
	「とっても簡単！化石のレプリカづくり」	701	6
	「とびだす！恐竜カードづくり」	163	2
	「パタパタ・プテラドン」	171	2
	「ひょうごの竜モビール」	55	1
	「竜と獣の復元画をかこう！」	141	3
	「かんたん！恐竜の歯のレプリカ作り」	103	6
うきうきタイム	「風に乗って飛ぶタネをつくろう」	29	2
	「お面づくり」	23	4
	「折り紙」	21	4
	「万華鏡」	53	4

	「くるくるとぶたね」	13	1
	「昆虫カード&bidy」	2	1
	「しかけ絵本づくり」	5	1
	「自分のうちわをつくろう！」	13	1
	「鳥の巣づくり」	6	2
	「鳴く虫 貼り絵」	1	1
	「パタパタ・コウノトリをつくろう」	15	2
	「バッタとあそぼう」	3	1
	「葉っぱでカルタ」	1	1
	「バルーンアート」	2	1
	「ヒオウギガイうちわづくり」	29	2
	「水であそぼう」	51	2
	「ひとはくふしぎ発見」	1	1
深田公園うきうき探険隊	「木の花を見に行こう!」、「ぎっちゃん君を探そう!」、「つゆのキノコ」「夏の虫をさがそう」、「水辺の探険隊GO!」、「化石を探そう」、「もみじを観察しよう」、「博物館建物探検」、「うきうきバードウォッチング」、「冬をたえた植物を観察しよう」	151	10
企画展「ぎっちゃん君参上!」特別イベント	「巨大キリギリスをつくろう!」、「ぎっちゃん君ハウスを描こう」、講談おえかき「ぎっちゃん君参上!」、講談「ノコギリ名人 ぎっちゃん君誕生!」	126	4
紙芝居講談	「ちんげんさいのこくせんや合戦」	31	1
その他(特注セミナー対応)	「特注デジタル紙芝居」	1581	28
	「特注恐竜ラボレク」	364	10
<b>合計</b>		<b>18404</b>	<b>792</b>

## 外部資金導入状況

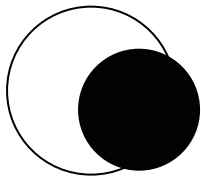
### ◆科研費等助成金

課題名	助成元	種別	代表者氏名	分担者氏名	金額 (千円)
恐竜発掘を素材にした、地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築	日本学術振興会	基盤研究C	先山 徹	古谷裕、佐藤裕司、高橋 晃、藤本真里、山崎義人	1,430
近畿三角帯とその周辺地域の中期更新世テクトニクスと地形発達	日本学術振興会	基盤研究C	加藤茂弘		910
有孔虫化石の群集解析によるペルム系・三畳系石灰岩の起源と搬入・定置過程	日本学術振興会	基盤研究C	小林文夫		1,040
篠山層群産恐竜化石の研究	日本学術振興会	基盤研究B	三枝春生	松原尚志、池田忠弘	6,500
エチオピアにおける人類と類人猿化石の探索と進化的意義に関する研究	日本学術振興会	基盤研究A	加藤茂弘		4,160
中国地方における第三系の年代と地質学的背景の再検討	日本学術振興会	基盤研究C	松原尚志		100
琉球列島産ウミヘビ亜科における遺伝的多様性と個体群分類	日本学術振興会	基盤研究C	太田英利		1,430
アリ類の多様性はアリ擬態クモ多様性の鋳型となっているか	日本学術振興会	基盤研究C	橋本佳明		910
雌しべが動いて性が変わる:フレキシスタイルの起源と進化に関する研究	日本学術振興会	若手研究B	高野温子		1,000
自然史系博物館の連携研究員養成法の研究	日本学術振興会	基盤研究C	岩槻邦男	高橋 晃	100
照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究	日本学術振興会	基盤研究C	服部 保	石田弘明ほか	1,300
シカの嗜好性植物が生態系保全に果たす役割とその緑化への応用に関する研究	日本学術振興会	若手研究B	石田弘明		1,200
博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策	日本学術振興会	挑戦的萌芽	田原直樹	藤本真里、赤澤宏樹、山崎義人、武田重昭、上田萌子	1,100
米国・公園区を事例とした官民協働による地域マネジメント手法に関する研究	日本学術振興会	若手研究B	赤澤宏樹		500
治水と希少水生生物の保全は両立するか	日本学術振興会	基盤研究C	田中哲夫	角野康郎	1,430
コウノトリはなぜ豊岡盆地で生き残ったのか? — 標本と歴史資料が語る生態系のしくみ —	日本学術振興会	基盤研究C	三橋弘宗		600
兵庫県の希少種オチフジはなぜ種子を作らないのか? 保全のための生物学的研究	ひょうご科学技術協会		高野温子		920
シカ・イノシシ高密度生息地域における、ススキ草原の生物多様性と観光資源利用の持続性を保全するための管理手法の開発	国際科学技術研団		橋本佳延		1,000
地域再生人材創出拠点の形成に向けた教育システムの検討	兵庫県立大学特別教育研究助成金		田原直樹		1,600
公共空間を介した「新しい公」の形成に関する事例研究	兵庫県シンクタンク等協議会		武田重昭		250
東西日本で比較したニホンザル各種パラメータの人為的な影響による変容	京大大学霊長類研究所共同利用研究費		三谷雅純		109
治水と希少種の保全は両立するか(河川改修と魚類の応答)	河川美化・緑化調査研究助成(河川環境管理研団)		田中哲夫		980
合計					28,569



◆受託研究等

件名	委託元	受託者	金額(千円)
シダ類・ラン類の栽培等業務	財団法人ひょうご観光創造協会	服部 保	1,700
オグラコウホネ等管理業務	丹波県民局	服部 保	253
平成21年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務	阪神南県民局	服部 保	1,100
城郭石垣の石材産地分析業務	特定非営利活動法人 城郭遺産による街づくり協議会	先山 徹	300
キリンビール神戸工場におけるレフュジアビオトープ創出に関する研究	キリンビール株式会社神戸工場	田中哲夫	700
野島断層保存・活用研究業務委託	淡路市教育委員会	加藤茂弘、先山徹、古谷裕	270
福本大歳神社およびその周辺の植物・植生等調査業務	福本水土里会	黒田有寿茂	100
ミツカンよかわビオトープの効果的な広報に関する研究	株式会社ミツカングループ本社	藤本真里	750
三木総合防災公園における住民参画型公園運営に関する研究	兵庫県北播磨県民局	中瀬 勲	2,000
恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり関連地域環境基礎調査	財団法人兵庫丹波の森協会	江崎保男	300
慶野松原維持のための林庄植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務	淡路景観園芸学校	黒田有寿茂	350
平成21年度兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全業務	西日本高速道路株式会社関西支社兵庫工事事務所	服部 保	266
パークマネジメントの人材養成に関する研究その3	阪神北県民局	藤本真里	1,000
		合計	9,089



# 利用案内

■観覧時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)  
 年末年始  
 (平成22年12月27日～平成23年1月2日)  
 臨時休館日  
 (平成23年1月11日～2月4日)

■観覧料 (平成22年4月1日現在)

区分	個人	団体(20人以上)
一般*	200円	150円
大学生	150円	100円
高校生	100円	70円
小・中学生	無料	

\*:65歳以上の方は半額、障害者(介護者を含む)は半額

■ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。(客席数500)

使用料 (平成22年4月1日現在)

時間帯	9時～12時	13時～17時	9時～17時
(土日祝)	5,500円	7,000円	12,500円
(平日)	4,400円	5,600円	10,000円

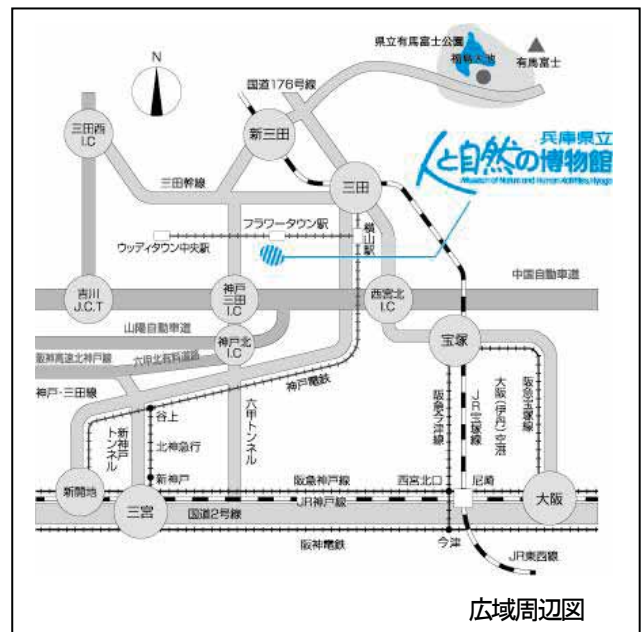
なお、附属設備の料金については別に定めます。

■交通 神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ。  
 神姫バスフラワータウンセンター前下車すぐ。  
 中国自動車道神戸三田より10分。

■駐車場 バス 13台 無料(要予約)  
 普通車は近隣の有料駐車場をご利用ください。



博物館周辺図



広域周辺図



**ANNUAL REPORT**  
**of**  
**Museum of Nature and Human Activities, Hyogo**  
**For the Fiscal Year of 2009**  
**Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan**